
小金井市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

平成31年3月

小金井市

目次

第1章 調査の概要.....	3
1 調査の目的.....	3
2 調査対象者.....	3
3 調査期間.....	3
4 調査方法.....	3
5 配布数と回収状況.....	3
6 調査結果の表示方法.....	4
第2章 調査結果.....	5
I. 就学前児童の保護者調査.....	5
1 回答者属性.....	5
2 お子さんの保護者の就労状況について.....	9
3 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	13
4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	15
5 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	23
6 お子さんの病気の際の対応について.....	25
7 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	28
8 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	31
9 子育て全般について.....	37
10 保育所に入れるための活動について.....	45
11 幼児教育・保育無償化について.....	46
12 飲酒・喫煙について.....	48
13 お子さんの小学校就学後における放課後の過ごし方について.....	49
14 児童虐待に関することについて.....	52
15 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	53
16 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について.....	54
II. 就学児童の保護者調査.....	57
1 回答者属性.....	57
2 お子さんの保護者の就労状況について.....	60
3 子育て全般に関して.....	64
4 お子さんの一時預かりのことについて.....	75
5 ファミリー・サポート・センターの利用について.....	77
6 お子さんの放課後の過ごし方について.....	78
7 児童虐待に関することについて.....	83
8 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	84
9 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について.....	85

目次

Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者調査	89
1 回答者属性.....	89
2 お子さんの保護者の就労状況について.....	91
3 子育て全般について.....	93
4 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	102
5 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について.....	103
Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査.....	107
1 回答者属性.....	107
2 同居している家族の就労状況について.....	109
3 放課後や休日の過ごし方について.....	110
4 小金井市の事業や施設について.....	113
5 日々の生活の問題などについて.....	117
6 あなたの健康について.....	120
7 異世代交流について.....	125
8 将来のことについて.....	127
9 小金井市子どもの権利に関する条例について.....	129
資料編 子どもの環境や子育て環境、子育て支援に関するご意見.....	131
Ⅰ. 就学前児童の保護者.....	131
Ⅱ. 就学児童の保護者.....	144
Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者.....	149
Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年.....	153

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

教育・保育・子育て支援に関する利用状況や今後の利用希望等を把握し、お子さんが健やかに成長できるまちとなるよう、更なる子どもと子育て家庭の支援の充実を推進する小金井市子ども・子育て支援事業計画である「(仮称)のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)」(平成32年度から平成36年度)を策定するための基礎資料とすることを目的に調査を行いました。

2 調査対象者

- (1) 就学前児童の保護者
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 2,000 人
- (2) 就学児童の保護者
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,500 人
- (3) 中学校・高校年代の保護者
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人
- (4) 中学校・高校年代の青少年
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人

3 調査期間

平成30年11月15日～12月5日

(調査対象者の方全員にお礼状と未記入の場合の送付をお願いした関係から、調査票の最終締切は平成30年12月31日消印有効とした)

4 調査方法

郵送による配布回収

5 配布数と回収状況

	就学前児童保護者	就学児童保護者	中・高生年代保護者	中・高生年代青少年	全体
配布数	2,000	1,500	1,250	1,250	6,000
回収数	1,089	782	582	395	2,848
回収率	54.5%	52.1%	46.6%	31.6%	47.5%

6 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示しています。)と表記しています。
- クロス集計については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目などは適宜除外しています。
- クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。

7 標本誤差について

調査結果の比率から母集団(各調査属性を備えた対象者全体)の傾向を推測する際には、統計上の誤差(標本誤差)を考慮に入れる必要があります。本調査における各回答比率での標本誤差は次ページの早見表のとおりとなります。例えば回答者総数(1,089人)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%のとき、小金井市内の就学前児童の保護者のこの質問に対する回答は、47.2%~52.8%の間にあると考えてよいこととなります。

各回答比率における標本誤差早見表

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,089人	±1.7%	±2.2%	±2.6%	±2.7%	±2.8%
800	±1.9%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.2%
700	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.4%	±3.5%
600	±2.3%	±3.0%	±3.5%	±3.7%	±3.8%
500	±2.5%	±3.4%	±3.9%	±4.1%	±4.2%
250	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

• 標本誤差の算出式(ただし、信頼度を95%とする。)

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

(b=標本誤差、N=母集団数、n=比率算出の基数[サンプル数]、P=回答比率)

第2章 調査結果

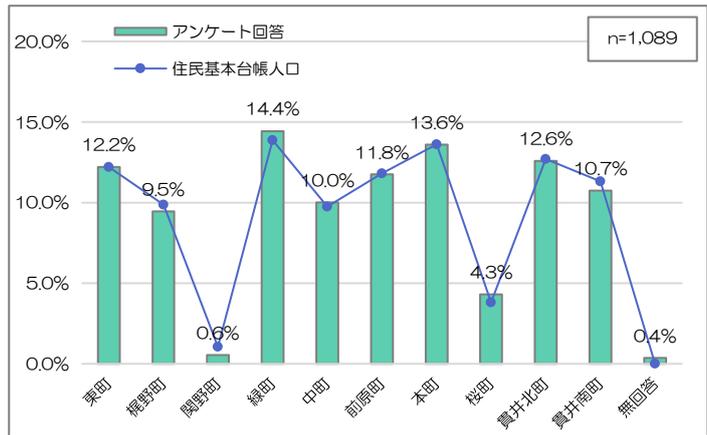
第2章 調査結果

Ⅰ. 就学前児童の保護者調査

1 回答者属性

問1 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による0歳から6歳の地区別人口割合と同等割合となっています。



<参考>

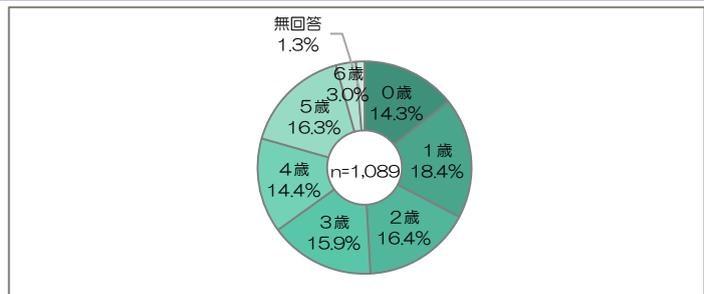
住民基本台帳による町別（0歳～6歳）人口（平成30年12月1日現在）

町名	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	合計
0～6歳人口(人)	896	724	77	1,018	715	866	999	280	932	830	7,337
割合(%)	12.2%	9.9%	1.0%	13.9%	9.7%	11.8%	13.6%	3.8%	12.7%	11.3%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より

問2 お子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）（平成30年12月1日現在）

アンケート回答者のお子さんの年齢割合は右のとおりとなっています。なお6歳児については、本アンケート対象が未就学児を対象としている為、割合が少なくなっています。（6歳児でかつ就学児童は対象外）



<参考>

住民基本台帳による年齢別人口（平成30年12月1日現在）

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳※	合計
人口(人)	1,047	1,079	1,061	1,106	1,030	1,045	969	7,337
割合(%)	14.3%	14.7%	14.5%	15.1%	14.0%	14.2%	13.2%	100.0%

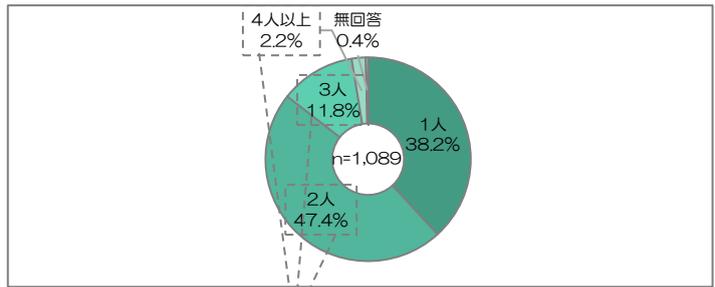
※6歳は小学生を含む

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より

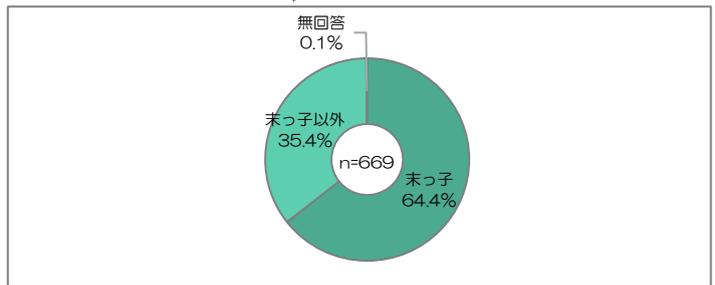
第2章 調査結果（I. 就学前児童の保護者調査）

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。（数字を記入）

きょうだいの人数について「2人きょうだい」が最も多く、47.4%となっています。

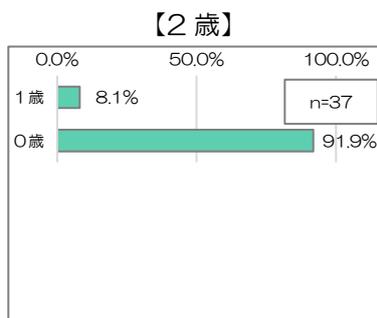
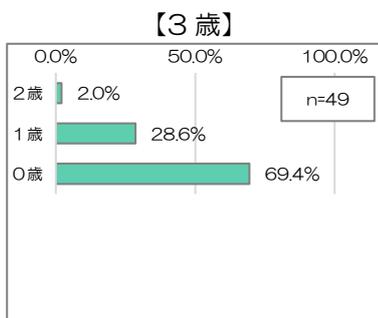
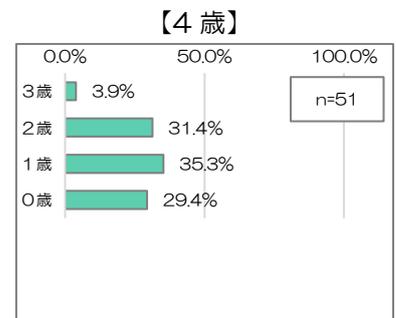
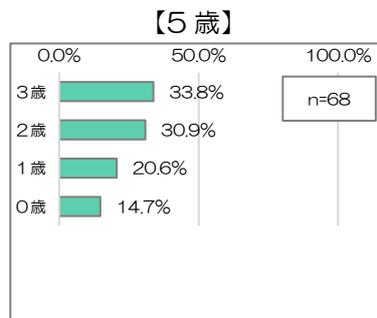
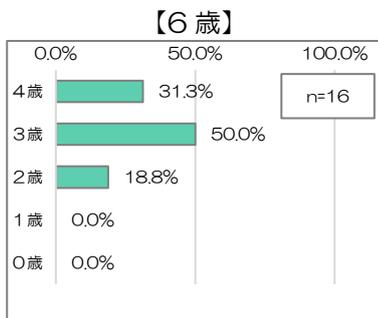


また、きょうだい2人以上の場合、回答の対象となるお子さんが未っ子である割合は64.4%となっています。



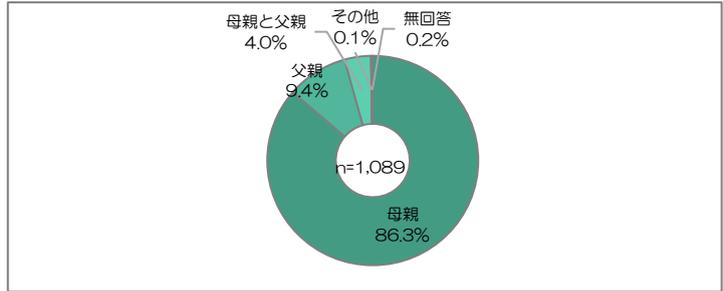
問4 お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月を記入してください。（数字を記入）

年齢毎の末子の年齢割合は以下のとおりとなっています。



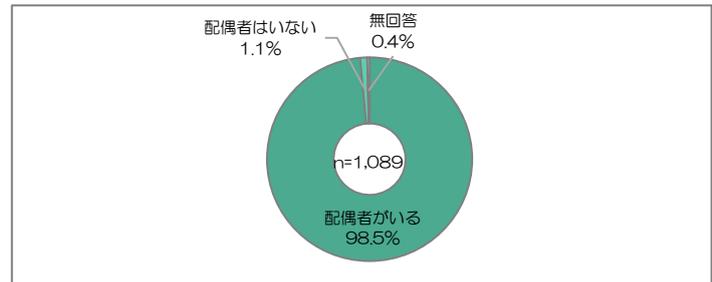
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

調査票の回答者について「母親」が最も多く86.3%となっています。また、「母親と父親」と回答した方は4.0%となっています。



問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つに○）

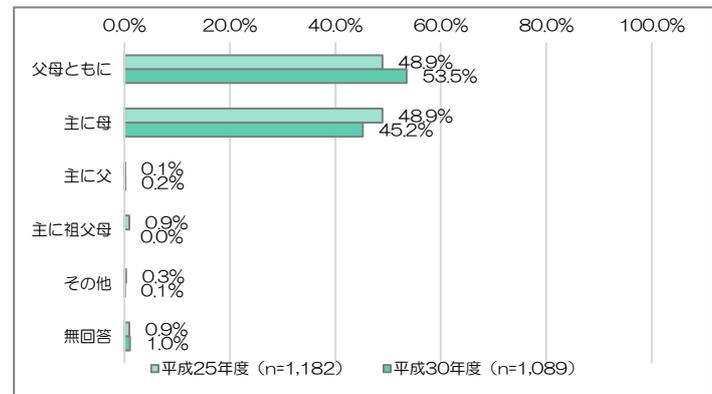
調査票の回答者の配偶者の有無について「配偶者はいない」と回答した方は1.1%となっています。



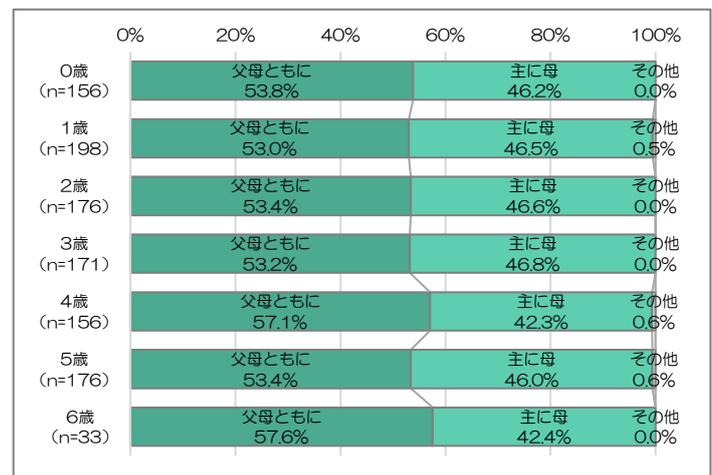
問7 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

お子さんの子育てについて、「父母ともに」が最も多く53.5%となり、「主に母」が45.2%となっています。

また、平成25年度調査と比較すると、「父母ともに」子育てを行っているとお答えした方が4.6%増えています。



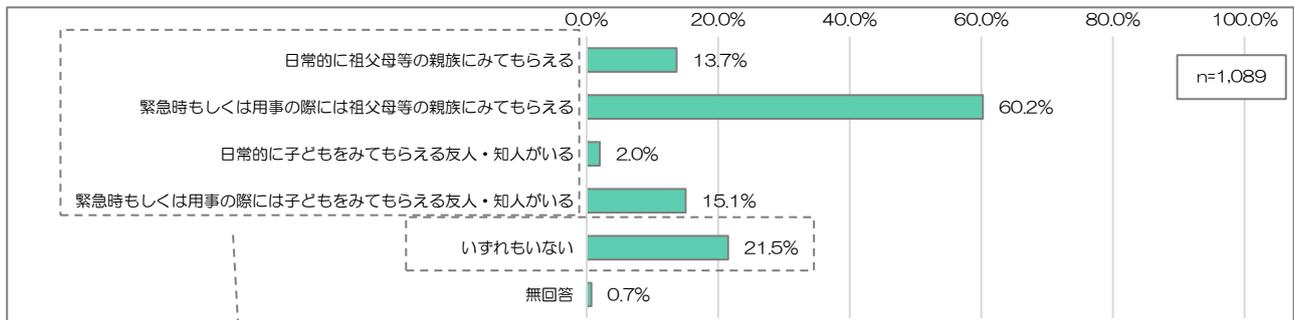
なお、お子さんの年齢別における子育ての主な方についての割合は、年齢別で特に大きな差異は見られていません。



第2章 調査結果（I. 就学前児童の保護者調査）

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

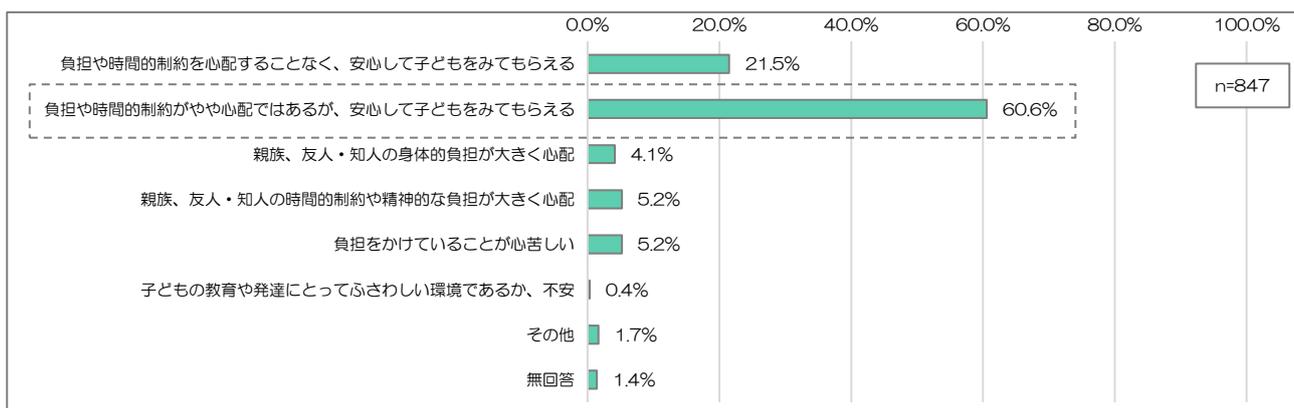
「緊急時や用事があるときにお子さんをみてもらえる祖父母等の親族がいる」と回答した方が最も多く60.2%となっています。一方「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」となると13.7%にとどまり、「いずれもない」と回答した方は21.5%にのぼっています。



【お子さんをみてもらえる親族、友人・知人がいる方のみ回答】

問9 親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況はいかがですか。（1つに○）

お子さんをみてもらえる親族、友人・知人がいる方について、「負担や時間的制約がやや心配ではあるが、安心して子どもをみてもらえる状況である」と回答した方が最も多く60.6%となっています。



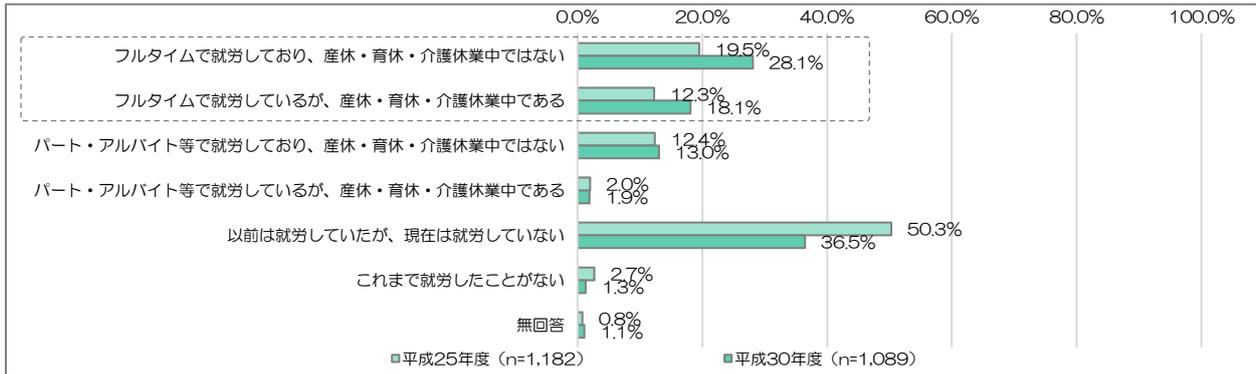
その他・・・緊急時にはみてもらうよう知人にお願いはしているが、実際にみてもらったことはない(9)

2 お子さんの保護者の就労状況について

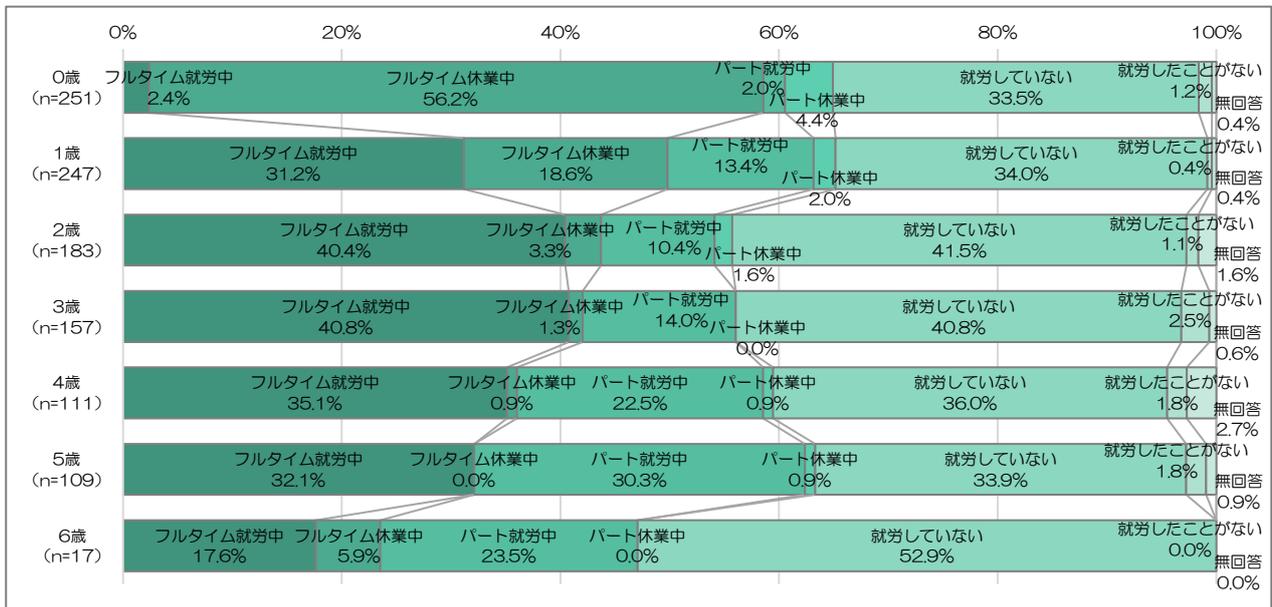
問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つに〇）

【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」方が28.1%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」方が13.0%となり、休業せず就労している方の割合が41.1%と4割を超えています。また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイム就労中」と回答した方が8.6%、「フルタイムで就労中であるが産休・育休中である」と回答した方が5.8%増え、フルタイムでの就労率も14.4%増えています。



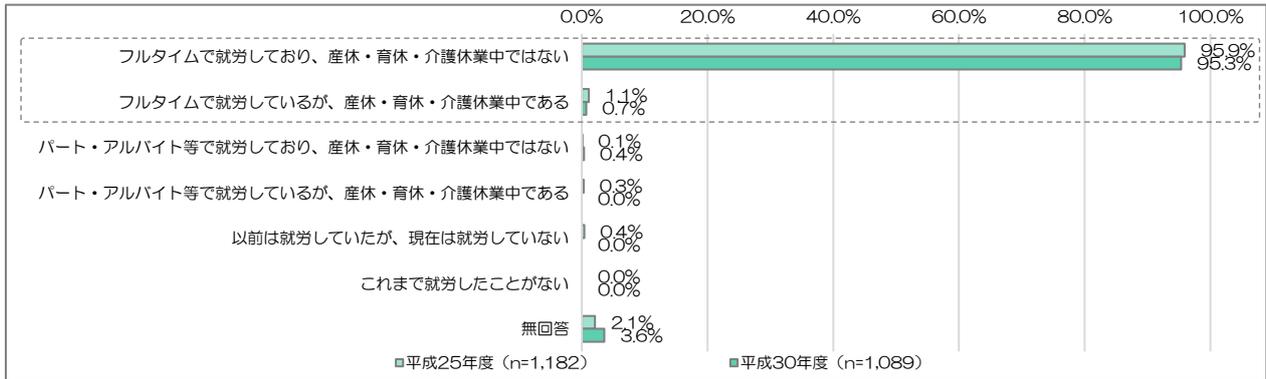
お子さんの年齢別（きょうだいがいる場合は末子の年齢）就労状況について、0歳児ではフルタイムまたはパートタイム就労中の方は4.4%となっていますが、1歳児では44.6%、2歳児では50.8%、3歳児では54.8%、4歳児では57.6%、5歳児では62.4%と1歳児で4割以上が就労し、5歳児となると6割以上が就労しています。



第2章 調査結果（Ⅰ. 就学前児童の保護者調査）

【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」と回答したが95.3%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」と回答した方が0.4%となっています。平成25年度調査と比較しても、父親の就労に関する大きな変化は見られません。



【家族類型】

<フルタイム共働き>

父親・母親ともに「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」

<フルタイム・パートタイム共働き>

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

<パートタイム共働き>

父親・母親ともに「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

<専業主婦（夫）>

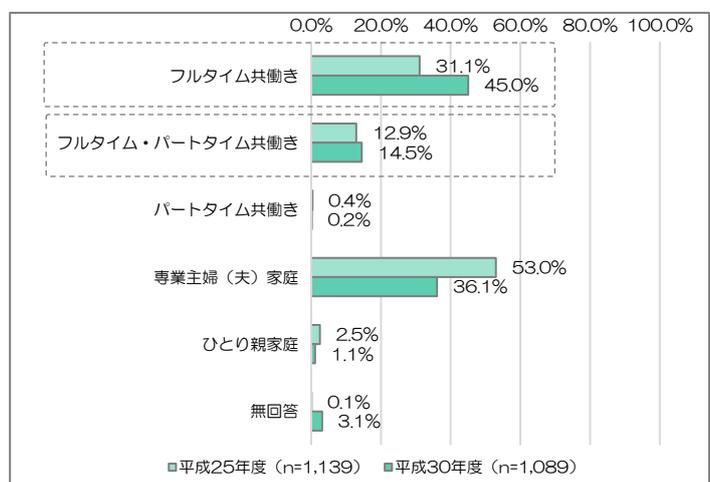
父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」または「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「以前は就労していたが現在は就労していない」または「就労したことがない」

<ひとり親家庭>

「配偶者がいない」

上記のとおり家族類型とした際、「フルタイム共働き」が最も多く、45.0%となっています。「フルタイム・パートタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭は59.7%と、約6割となっています。

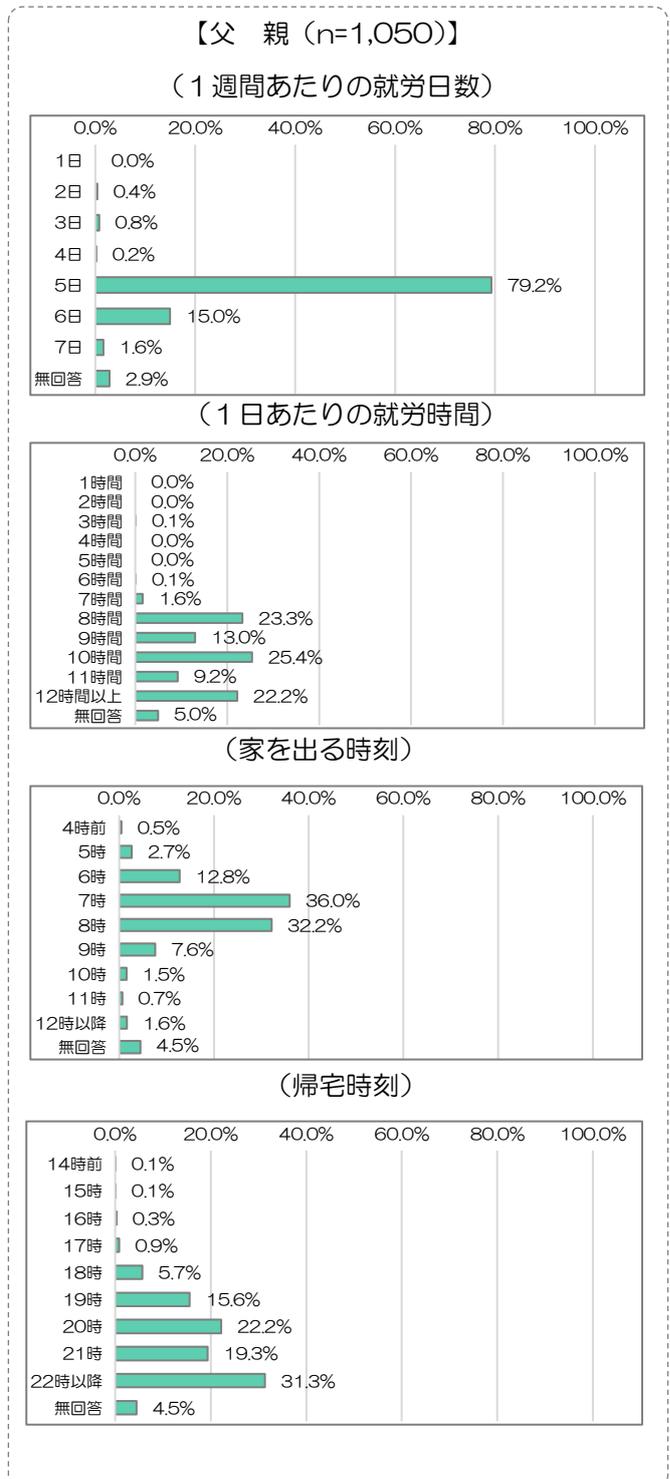
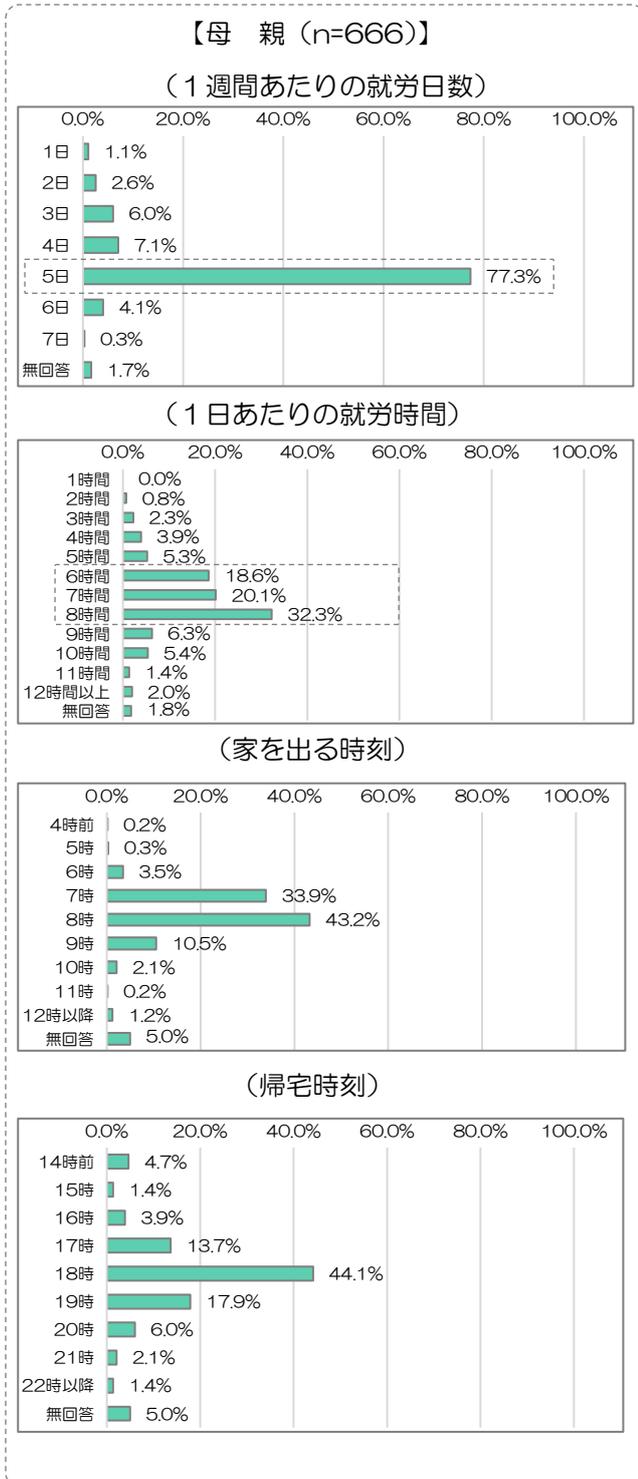
また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイム共働き」が13.9%増加し、「フルタイム・パートタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭が15.3%増加と大幅に増加しています。



【「就労している」方のみ回答】

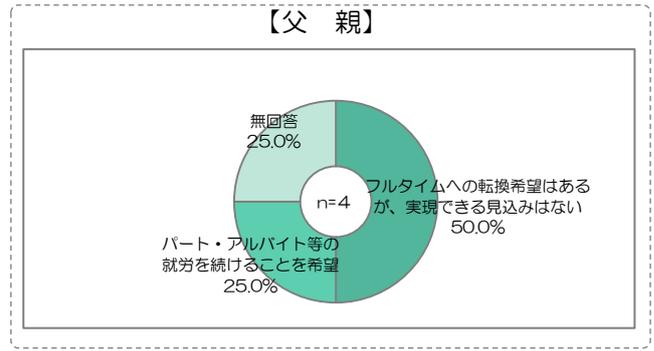
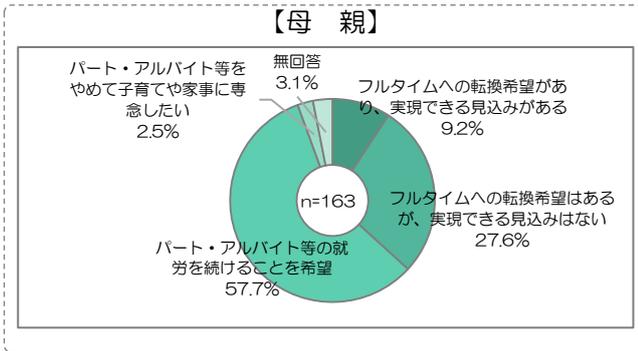
問1 1 週当たりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。（数字を記入）

母親・父親それぞれの就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻について以下のとおりとなっています。特に母親の就労日数については週5日が最も多く77.3%、また就労時間については8時間が最も多く、32.3%となっています。



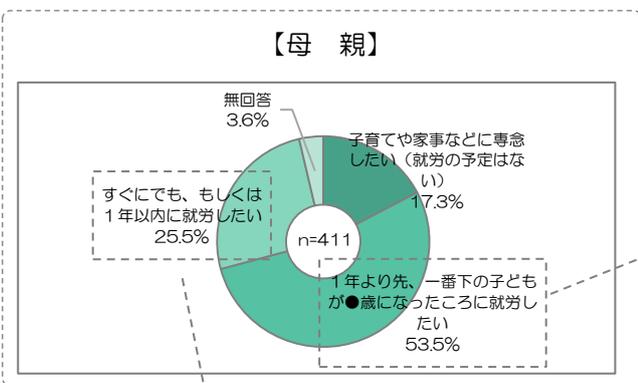
【「パート・アルバイト等で就労している」方のみ回答】

問12 フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに〇）

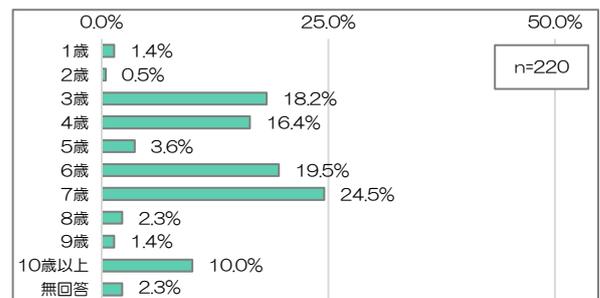


【「現在は就労していない」方のみ回答】

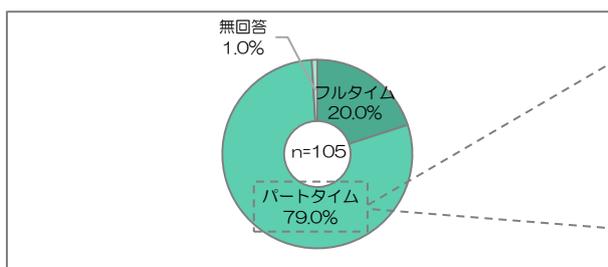
問13 就労したいという希望はありますか。（1つに〇）



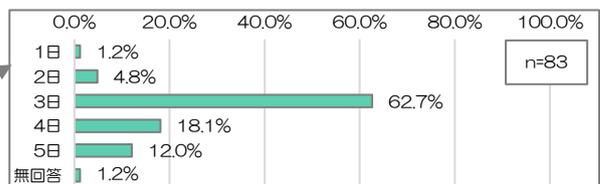
（一番下の子が何歳のときに就労したいか）



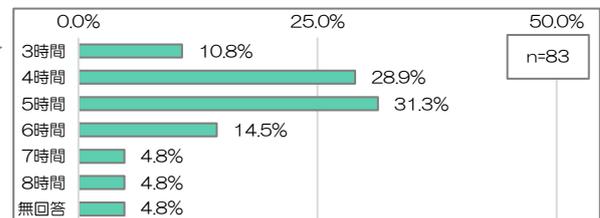
（すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態）



（パートタイムを希望する場合の1週あたり日数）

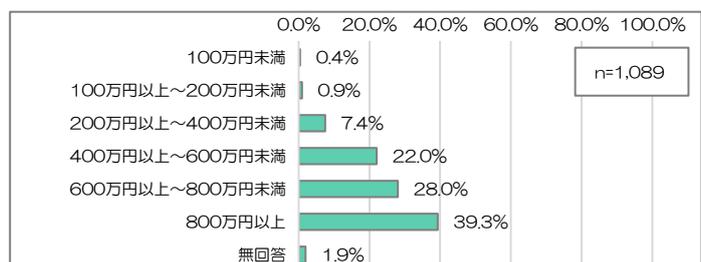


（パートタイムを希望する場合の1日あたり時間）



問14 現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。（1つに〇）

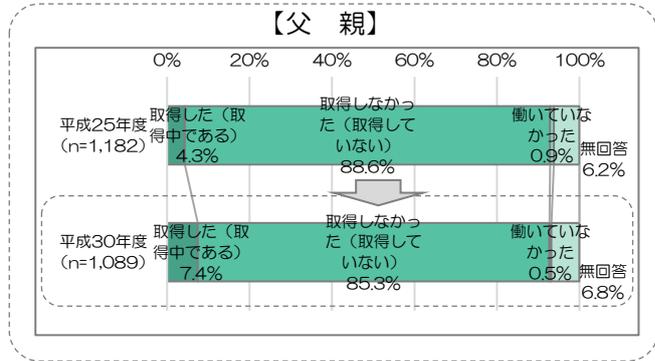
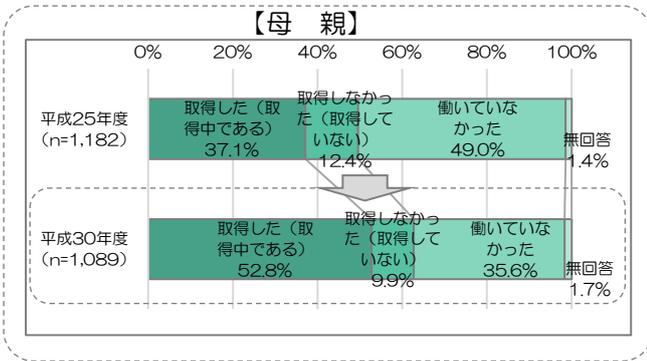
年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」と回答した方が最も多く、39.3%となっています。



3 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問15 お子さんが生まれたとき育児休業を取得しましたか。（1つに〇）

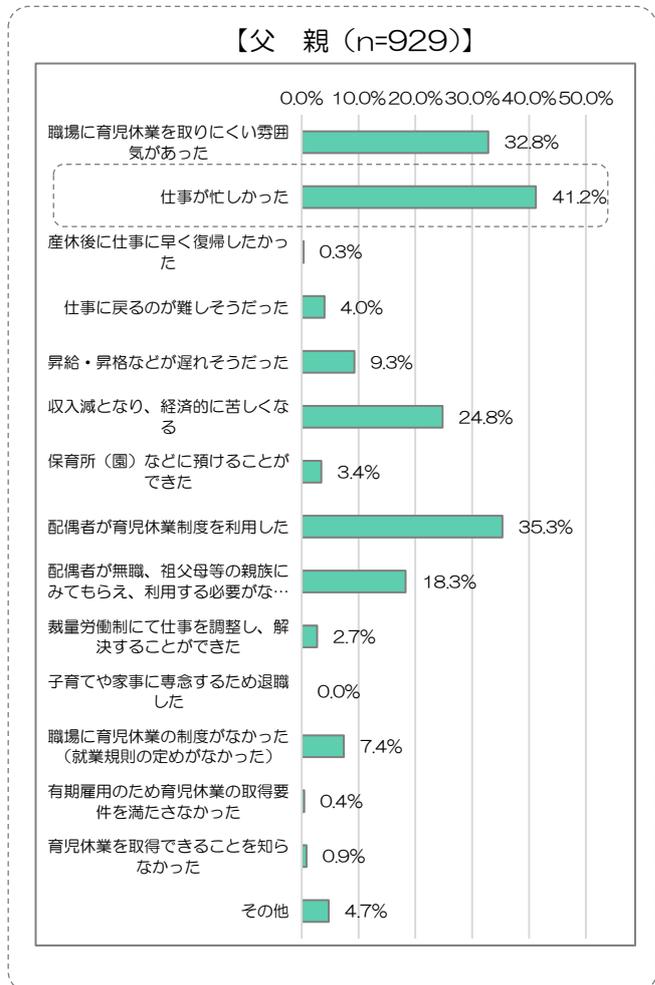
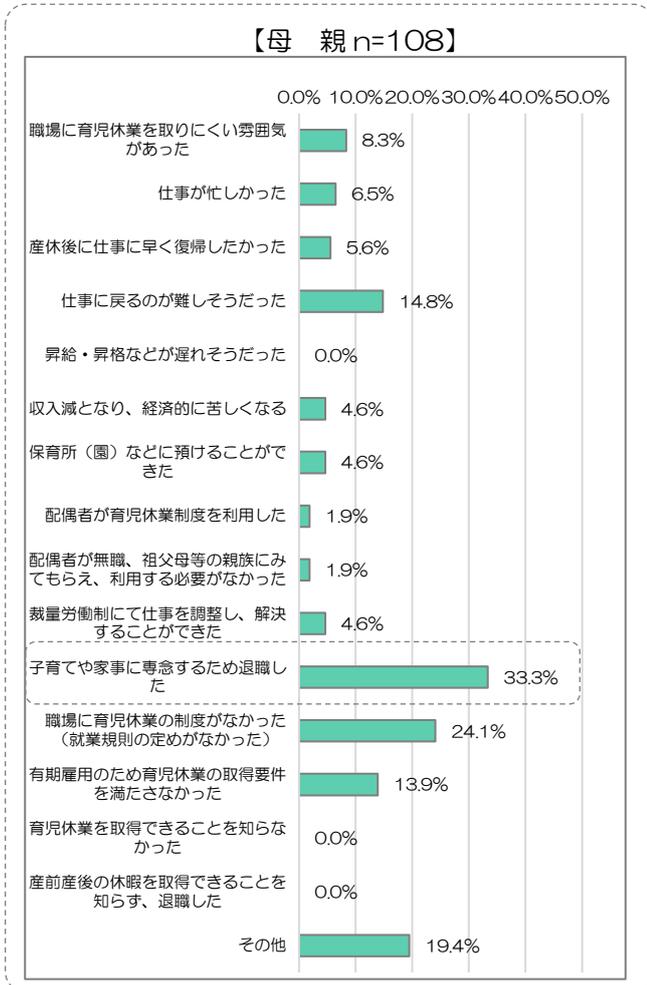
母親について、お子さんが生まれたとき「育児休業を取得した（取得中である）」と回答した方は52.8%となっています。また平成25年度調査と比較すると「育児休業を取得した（取得中である）」と回答した方が15.7%増加し、取得する方が大幅に増えています。一方、父親について、お子さんが生まれたとき「育児休業を取得した（取得中である）」と回答した方は7.4%となっており、平成25年度調査と比較すると「育児休業を取得した（取得中である）」と回答した方の上昇率は3.1%にとどまっています。



【育児休業を取得しなかった方のみ回答】

問16 育児休業を取得しなかった（していない）理由はなんですか。（あてはまるものすべてに〇）

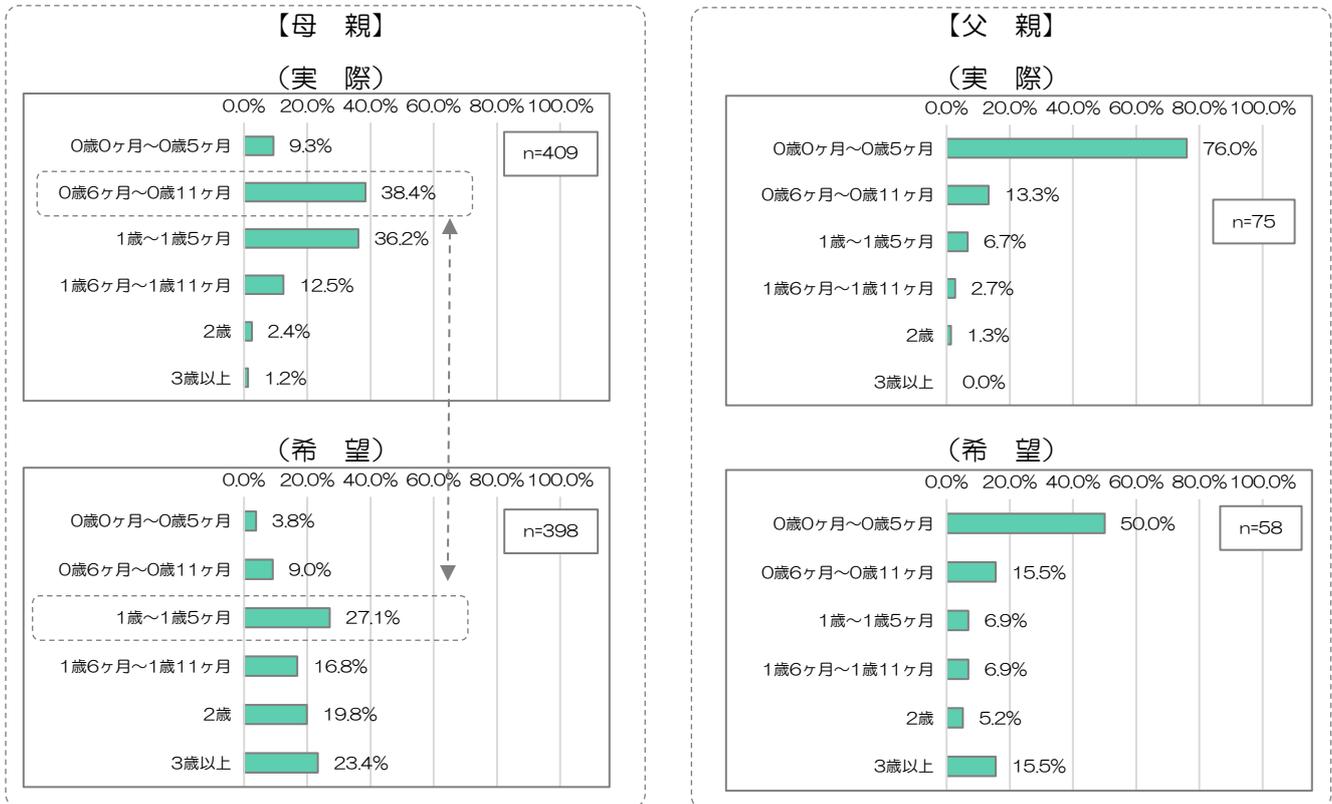
育児休業を取得しなかった（していない）理由として母親では「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した方が最も多く33.3%となっています。一方、父親では「仕事が忙しかった」と回答した方が最も多く41.2%となっています。



【育児休業後、職場に復帰した方のみ回答】

問17 育児休業から職場復帰したとき、お子さんは何歳何か月でしたか。また希望時期に職場復帰できる環境が整っていた場合、何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか。（それぞれ1つに〇）

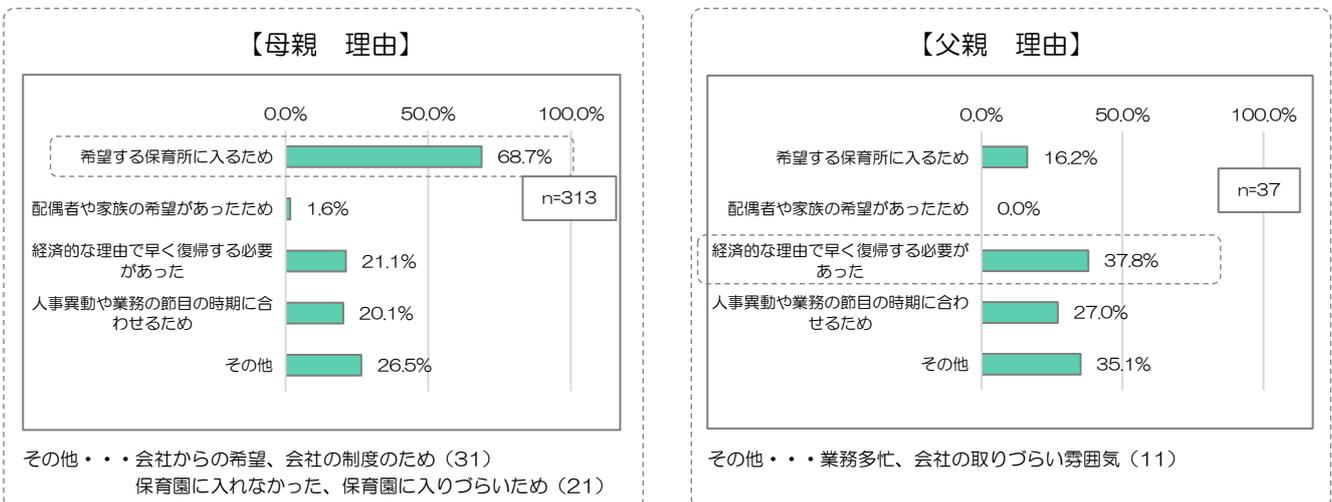
育児休業から職場復帰した際のお子さんの年齢について、母親は「6ヶ月から11ヶ月」が最も多く、38.4%となっています。一方希望については「1歳～1歳5ヶ月」が最も多く27.1%となっています。実際よりも6ヶ月程度長く育児休業を取りたいと希望する傾向となっています。



【実際の復帰と希望が異なる方のみ回答】

問18 希望の時期に職場復帰しなかった理由はなんですか。（あてはまるものすべてに〇）

希望の時期に職場復帰しなかった理由として、母親は「希望する保育所に入るため」が最も多く68.7%となっています。一方父親は「経済的理由で早く復帰する必要があった」が最も多く37.8%となっています。

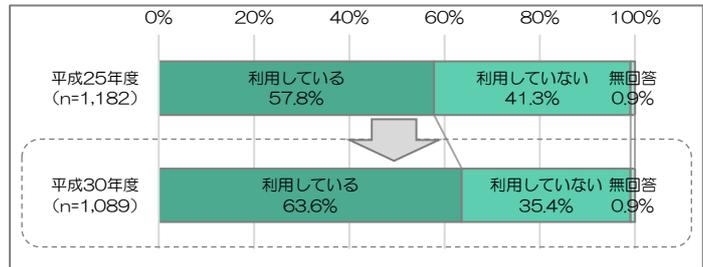


4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

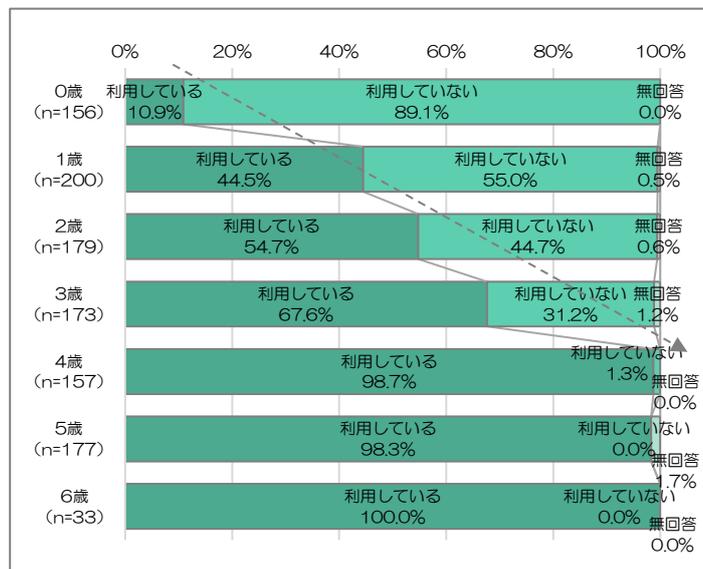
問19 お子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
（1つに〇）

幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育の事業の利用について「利用している」と回答した方が63.6%となっています。

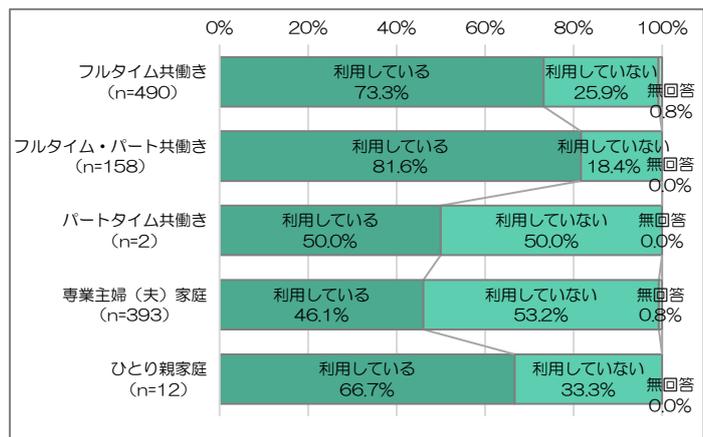
また、平成25年度調査と比較すると定期的な教育・保育の事業の利用について、利用率が5.8%高まっています。



お子さんの年齢別での定期的な教育・保育の事業の利用について、「0歳」では10.9%、「1歳～3歳」では44.5%～67.6%が「利用している」となり、「4歳以降」では、ほぼ利用の98.7%以上となっています。



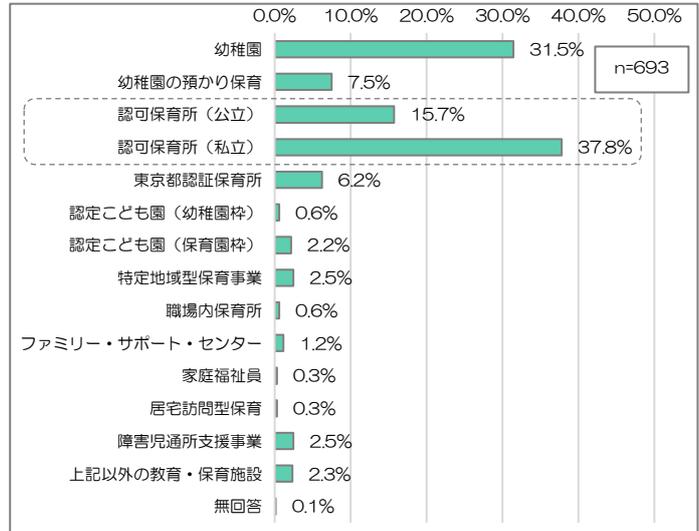
家族類型別での定期的な教育・保育の事業の利用について、「フルタイム共働き」では73.3%、「フルタイム・パートタイム共働き」では81.6%と7割～8割の利用率となっています。



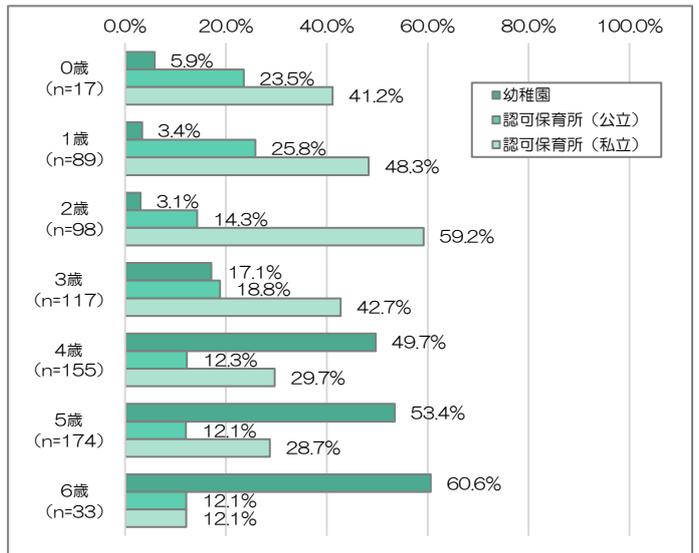
【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

問20 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

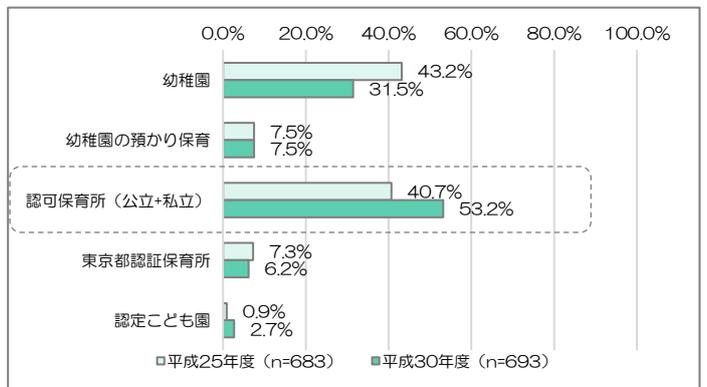
平日利用している教育・保育の事業について、「認可保育所（私立）」が最も多く37.8%、次いで「幼稚園」が31.5%となっています。
 なお、認可保育所について私立・公立を合わせた利用率は53.5%と半数を超えています。



また、年齢ごとの「幼稚園」「認可保育所（公立）」「認可保育所（私立）」の利用率は以下のとおりとなっており、「認可保育所（私立）」の利用について0歳から3歳にかけて利用率が高くなっています。特に1歳から2歳にかけて公立・私立合わせた認可保育所の利用率は73%~74%と非常に高くなっています。



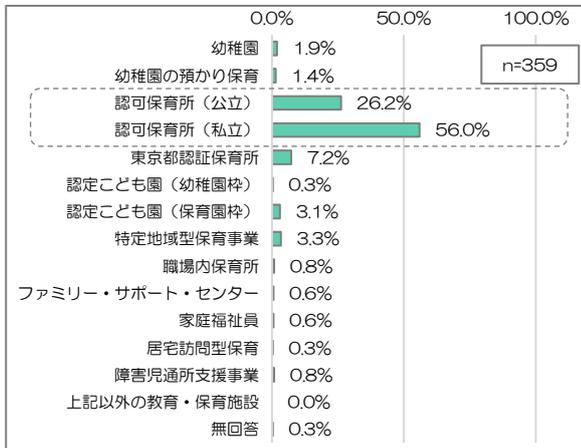
また平成25年度調査と比較すると、幼稚園については11.7%利用率が下がる一方で、認可保育所については12.5%と大幅に利用率が高まっています。



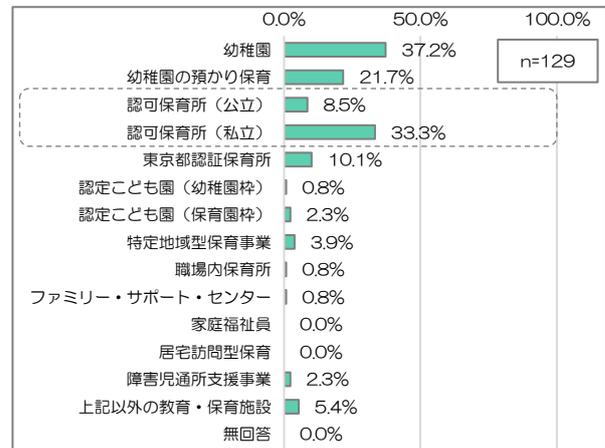
家族類型別での年間を通じて「定期的に」利用している事業について、「フルタイム共働き」では「認可保育所（私立）」が56.0%、「認可保育所（公立）」が26.2%となり「認可保育所」について82.2%となっています。

また、「フルタイム・パートタイム共働き」では「認可保育所（私立）」が33.3%、「認可保育所（公立）」が8.5%となり「認可保育所」について41.8%となっています。

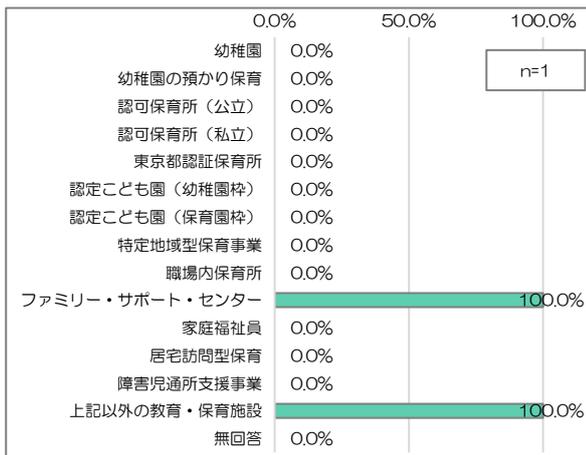
【フルタイム共働き】



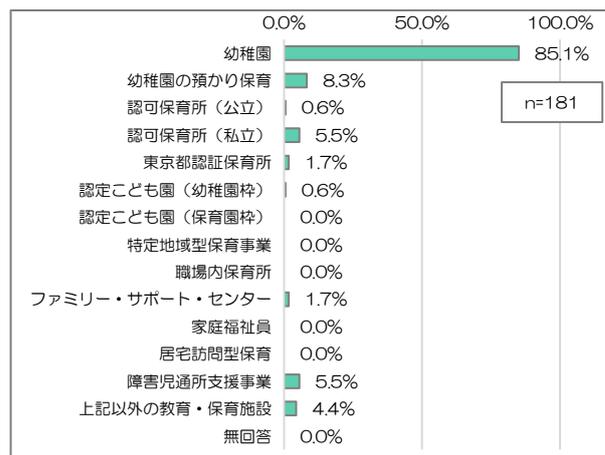
【フルタイム・パートタイム共働き】



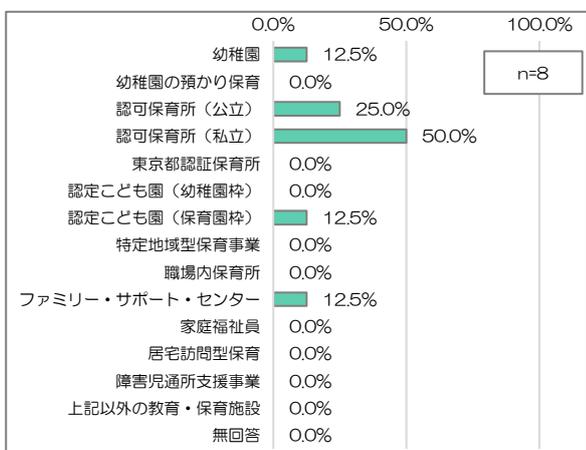
【パートタイム共働き】



【専業主婦（夫）家庭】



【ひとり親家庭】

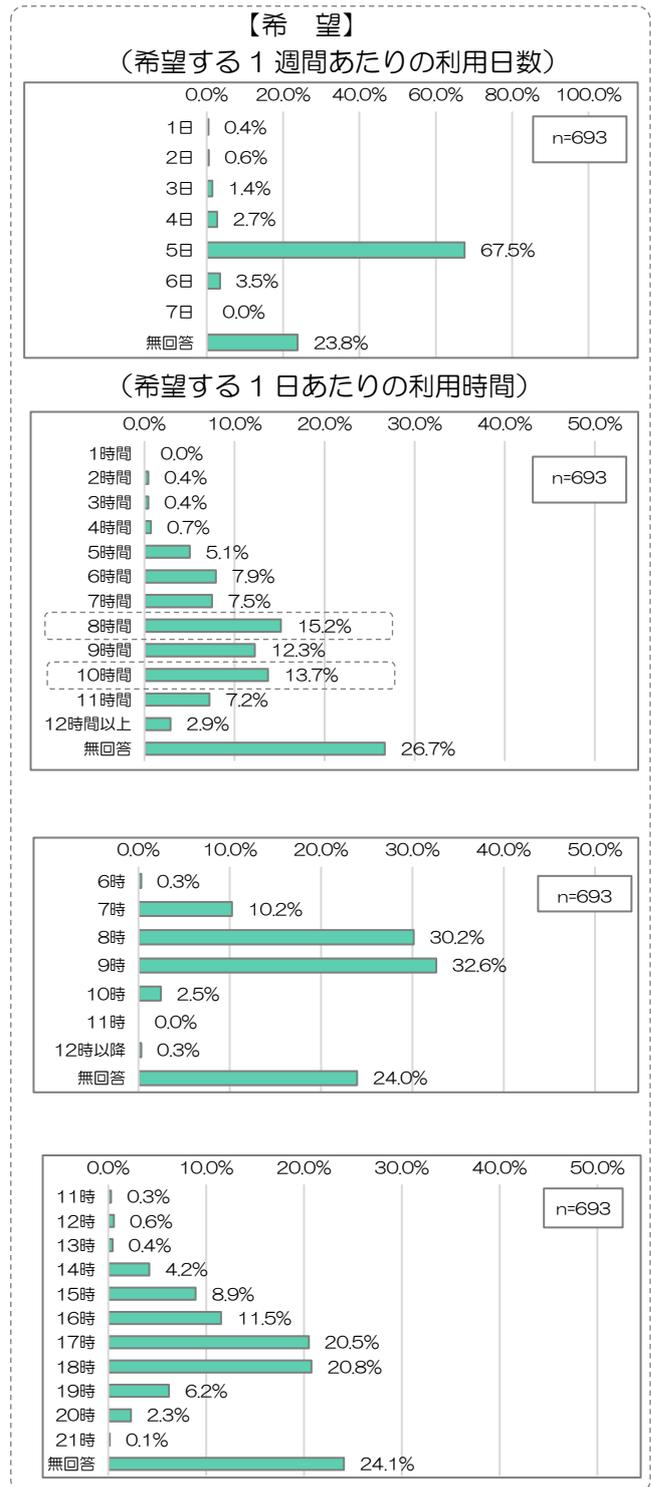
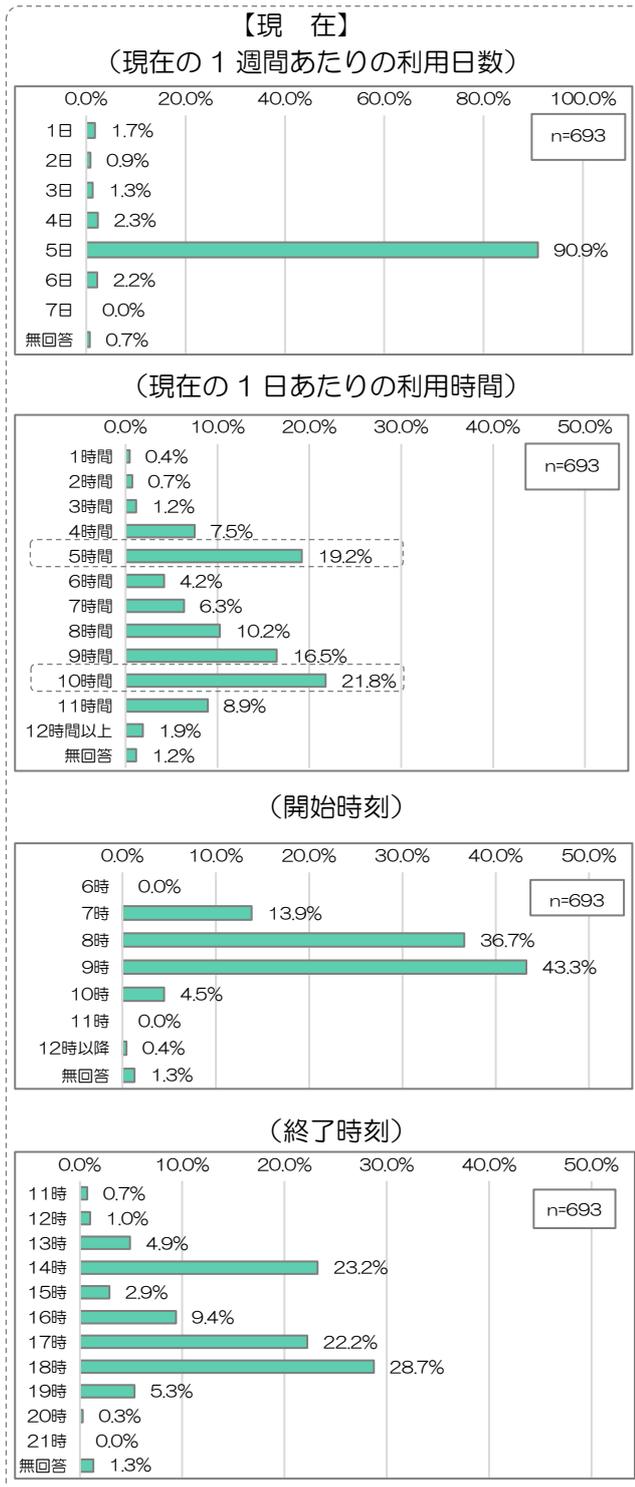


【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

問2-1 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）をお答えください。（数字を記入）

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在の1週間あたりの利用日数について「5日」が最も多くなっており、希望についても「5日」と回答する方が多くなっていきます。

また1日あたりの利用時間について、「10時間」と回答した方が最も多く、次いで「5時間」となっています。希望については「8時間」と回答した方が最も多く、現在「5時間」利用している方について、可能であれば「8時間」（会社の就労時間中）利用したい傾向があると言えます。

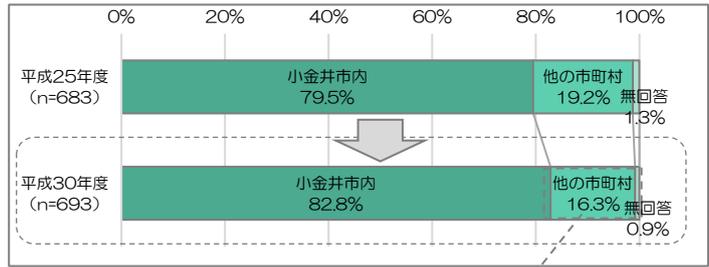


【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

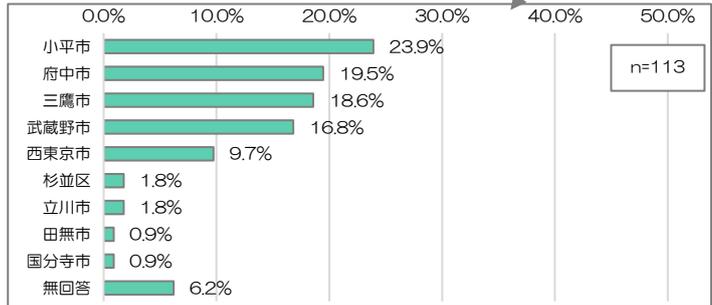
問22 現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。（1つに〇）

現在利用している教育・保育事業の実施場所として、「他の市町村」と回答した方は16.3%となっています。

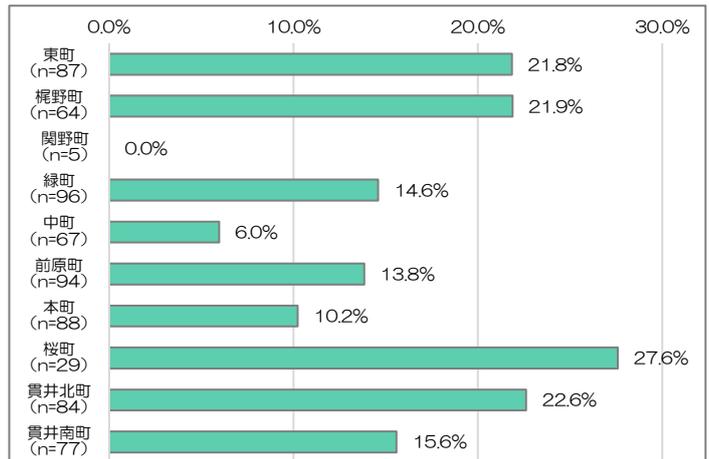
また、平成25年度調査と比較すると、小金井市内の利用率が3.3%上昇しています。



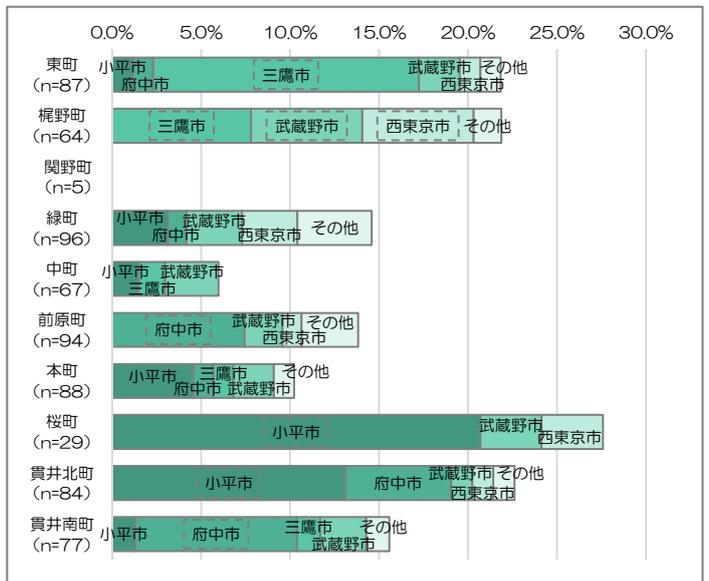
なお、「他の市町村」と回答した方の市町村内訳を見ると、「小平市」が最も多く、次いで「府中市」「三鷹市」となっています。



また、地区別に「他の市町村」の利用率を比較すると「桜町」が最も高く、次いで「貫井北町」となっています。



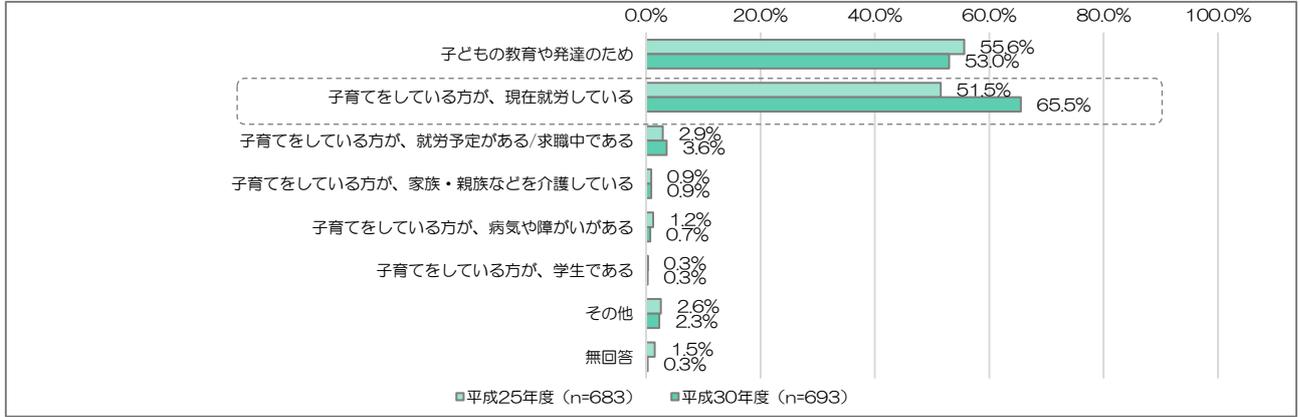
地区別の他市町村利用率のうち、利用の多い市町村「小平市」「府中市」「三鷹市」「武蔵野市」「西東京市」の5市で割合を見ると、「東町」「梶野町」で「三鷹市」の利用割合が高く、「桜町」「貫井北町」で「小平市」の利用割合、「前原町」「貫井南町」で「府中市」の利用割合が高くなっています。また、「梶野町」では「武蔵野市」「西東京市」の利用割合も高くなっています。



【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」方のみ回答】

問23 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由として「子育てをしている方が就労しているため」と回答した方が最も多く65.5%となっています。また、平成25年度調査と比較すると、「就労しているため」と回答した方の割合が14.0%高まっており、就労による利用の需要が高まっています。

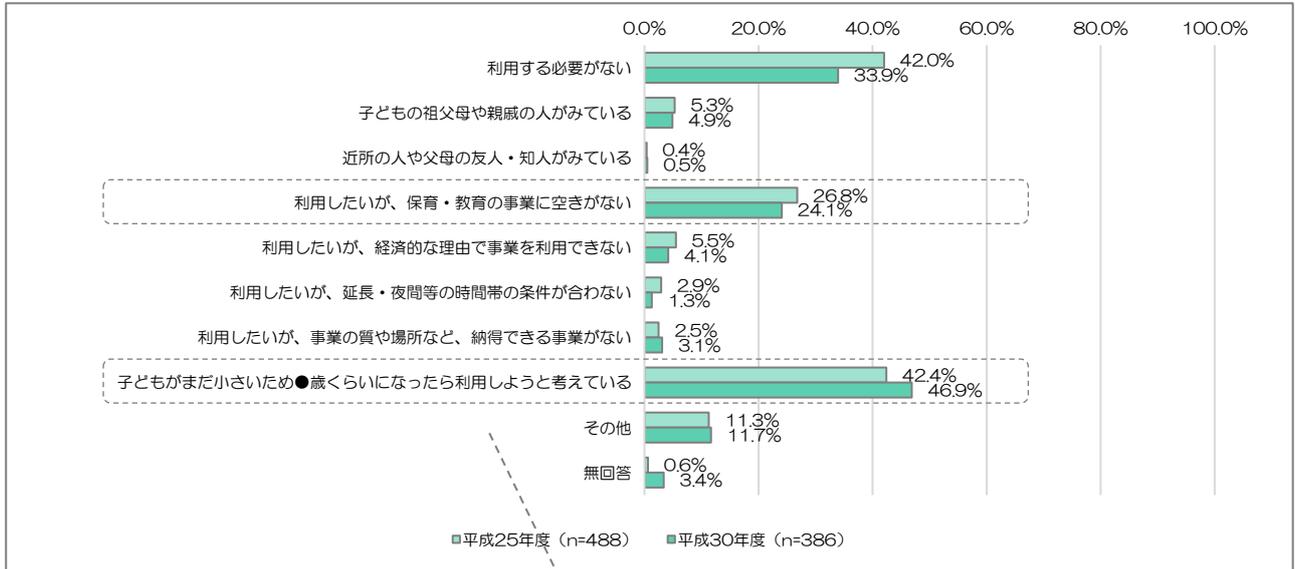


その他・・・自身のリフレッシュ（4）

【幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「利用していない」方のみ回答】

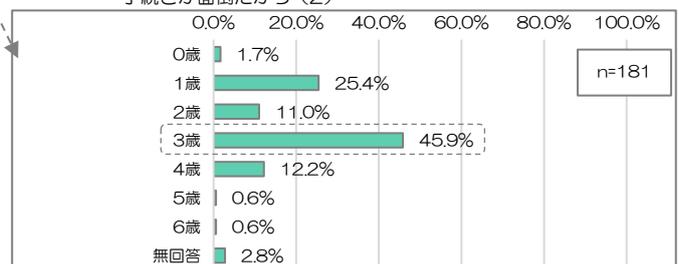
問24 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない主な理由として「子どもがまだ小さいため」と回答した方が最も多く46.9%となっています。平成25年度調査と比較すると、「利用したいが空きがない」と回答した方の割合が2.7%低下しています。



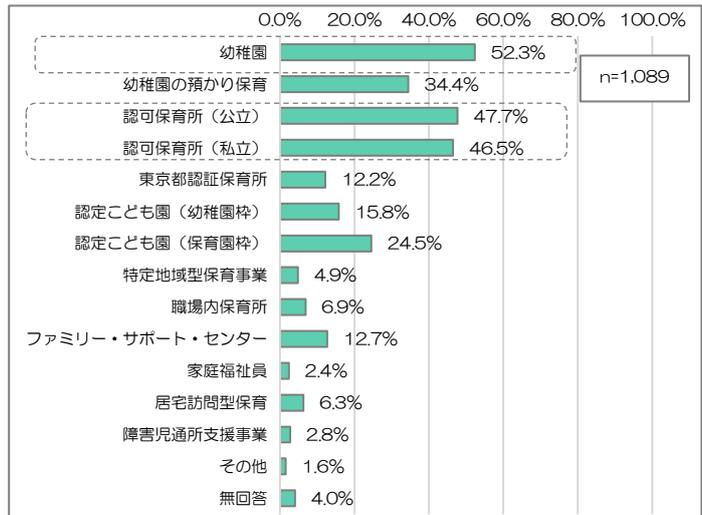
その他・・・来年4月から入園予定（申請中）のため（19）
 育休中のため（11）
 専業主婦だと優先順位が低いため（3）
 手続きが面倒だから（2）

なお「子どもがまだ小さいため利用していない」と回答した方について何歳くらいになったら利用しようと考えているか、については「3歳」が最も多く45.9%となり、次いで「1歳」となっています。



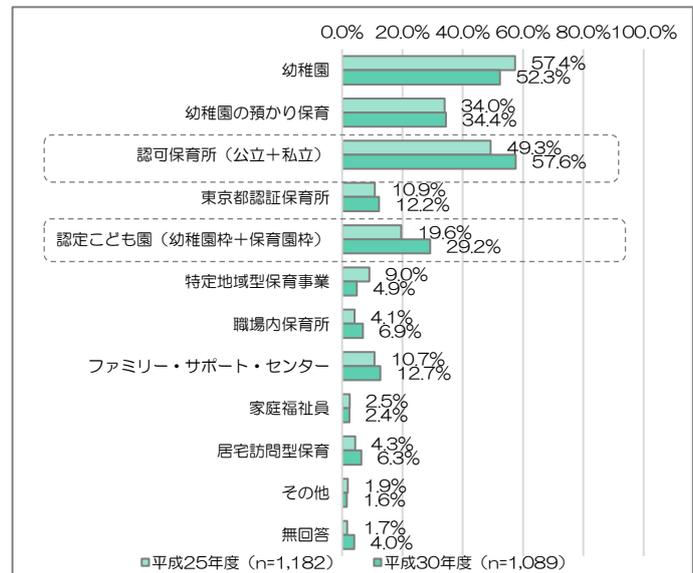
問25 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

定期的に利用したいと考える事業として「幼稚園」が最も多く52.3%となり、次いで認可保育所（公立）、認可保育所（私立）となっています。なお、認可保育所について私立・公立を合わせた利用希望については、57.6%となり、幼稚園を上回っています。



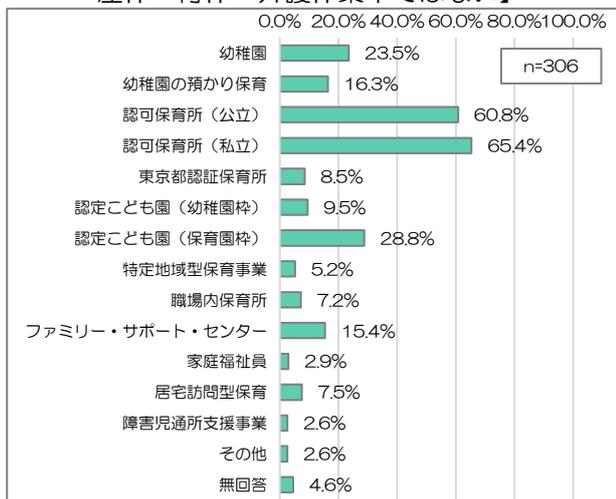
その他・・・病児保育（8）

また、平成25年度調査と比較すると、「認可保育所」の利用希望については8.3%高くなり、「認定こども園」についても9.6%、利用希望が高くなっています。

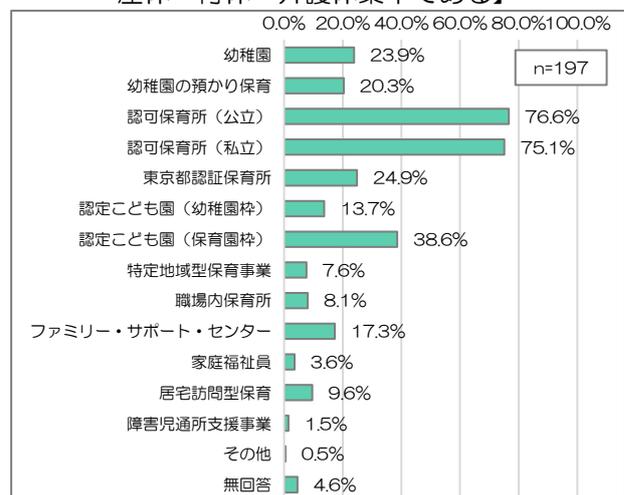


また、母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）別の「定期的に」利用したいと考える事業の割合は以下のとおりとなっています。

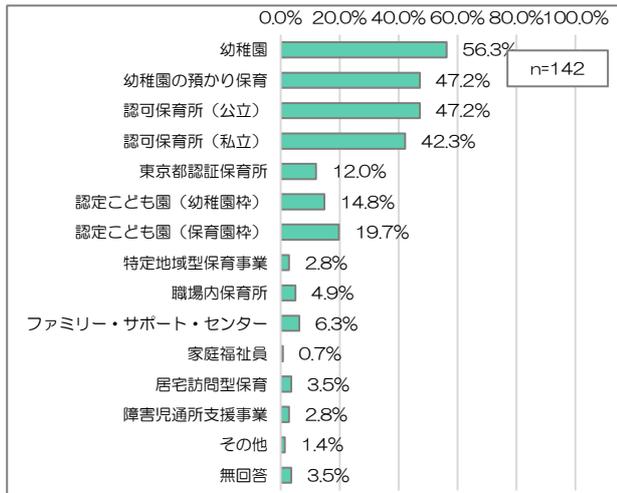
【フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない】



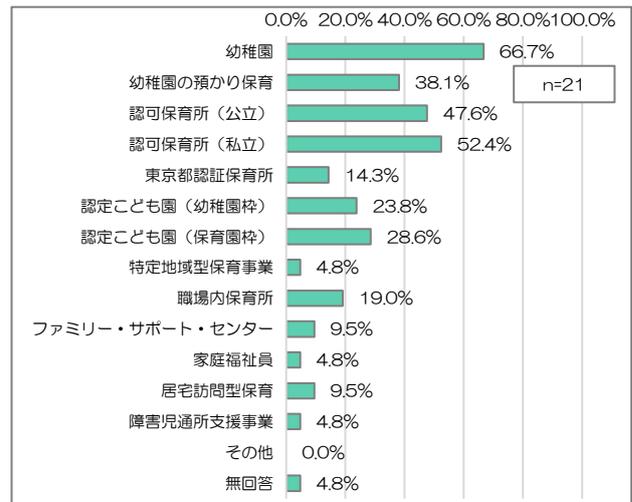
【フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である】



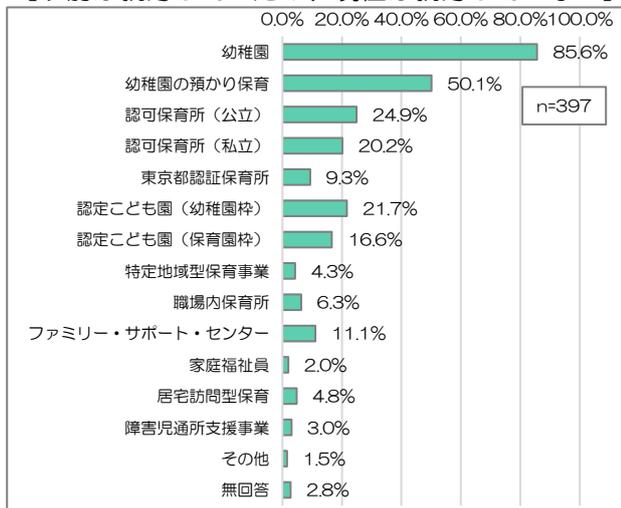
【パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない】



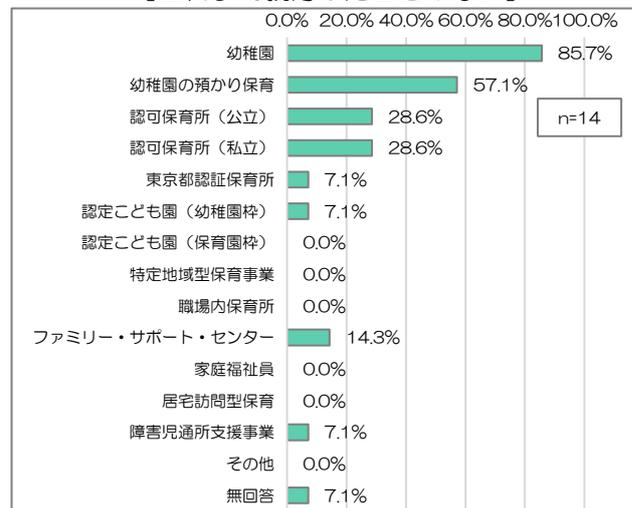
【パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である】



【以前は就労していたが、現在は就労していない】



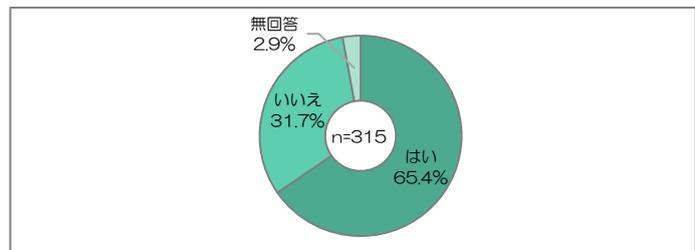
【これまで就労したことがない】



【幼稚園の利用を希望してかつ、他の事業の利用も希望する方のみ回答】

問26 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに〇）

幼稚園の利用を希望してかつ、他の事業の利用も希望する場合に、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を希望するかについては 65.4%が利用したいと希望しています。

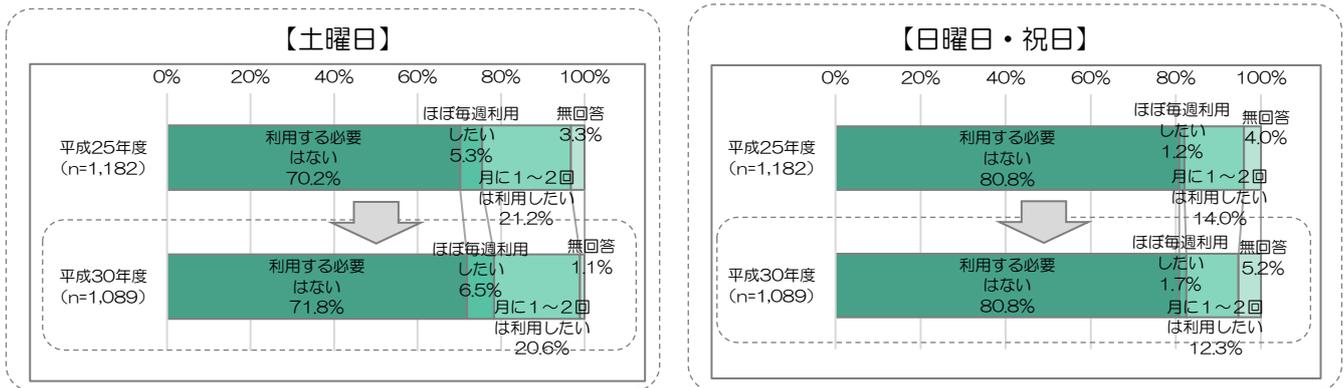


5 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

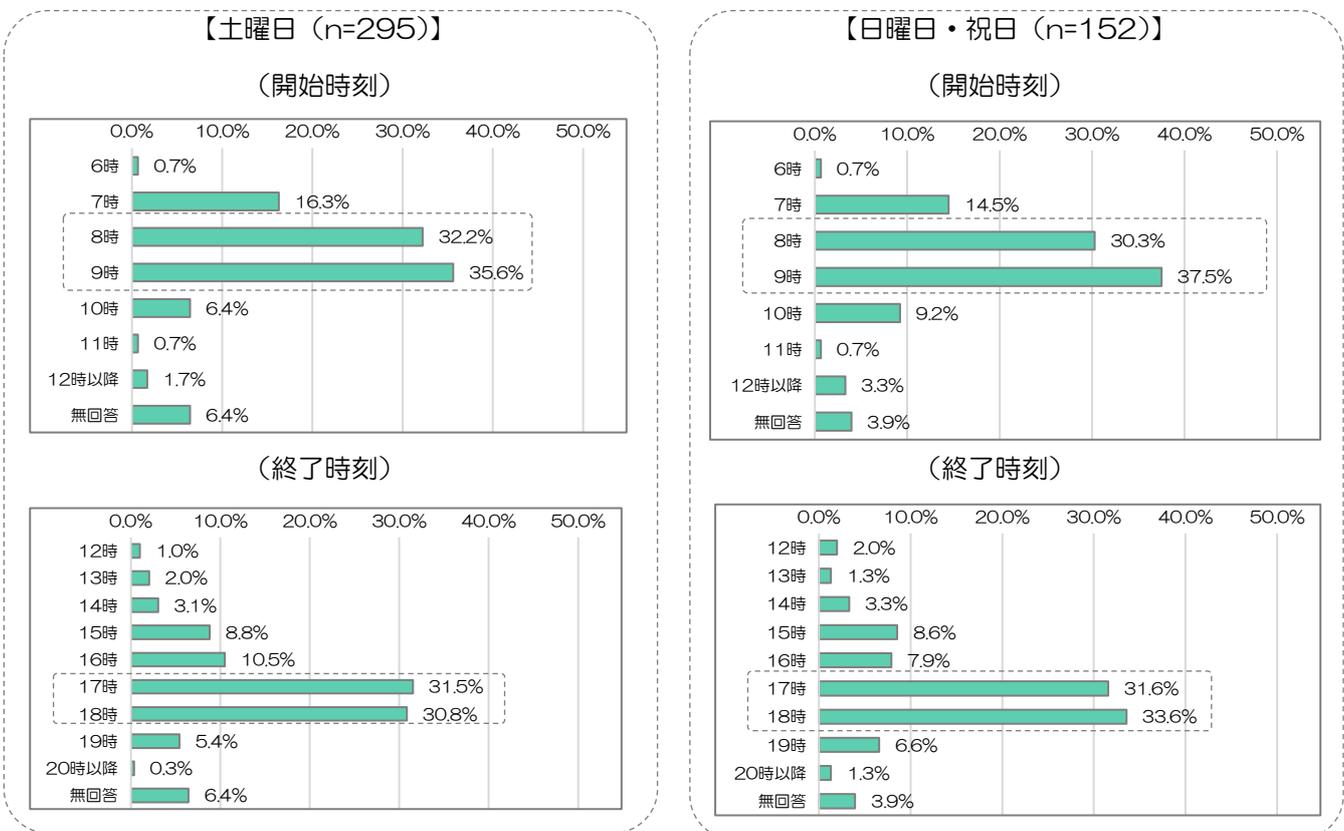
問27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれ1つに〇）

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望について、「月に1～2回は利用したい」は土曜日が20.6%、日曜日・祝日が12.3%、「ほぼ毎週利用したい」は土曜日が6.5%、日曜日・祝日が1.7%となり、土曜日については27.1%、日曜日・祝日については14.0%が利用希望となっています。

なお、平成25年度調査と比較すると、土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望について割合に大きな変化は見られません。



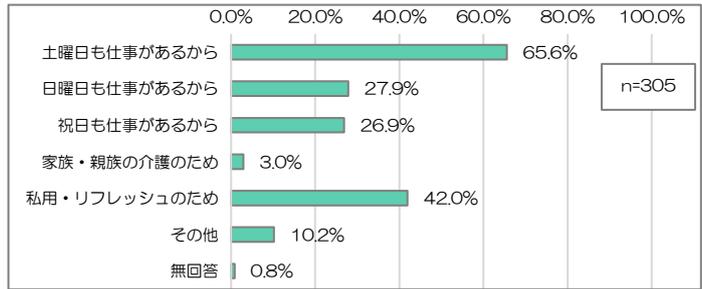
なお、土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業を利用希望される方について、利用開始希望時刻は土曜日と日曜日・祝日ともに8時～9時、利用終了希望時刻は17時～18時となっています。



【土曜日と日曜日・祝日にて教育・保育の事業を「ほぼ毎週」「月1～2回」利用したい方のみ回答】

問28 土曜日、日曜日・祝日に保育サービスを利用したい理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

土曜日、日曜日・祝日に保育サービスを利用したい理由について、「土曜も仕事があるから」「日曜も仕事があるから」と、「仕事があるから」と回答した方が多い一方、「私用・リフレッシュのため」と回答した方の割合も高くなっています。

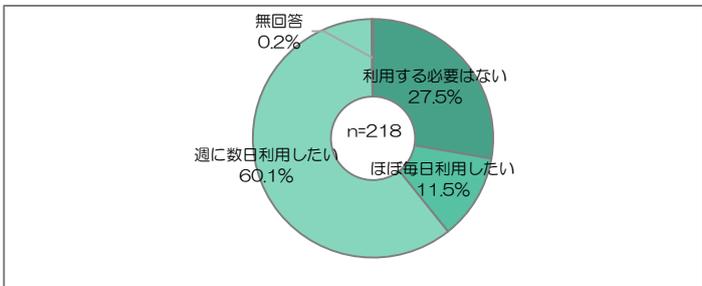


その他・・・きょうだいのフォロー・学校行事（7）
教育のため（3）

【幼稚園を利用されている方のみ回答】

問29 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（1つに○）

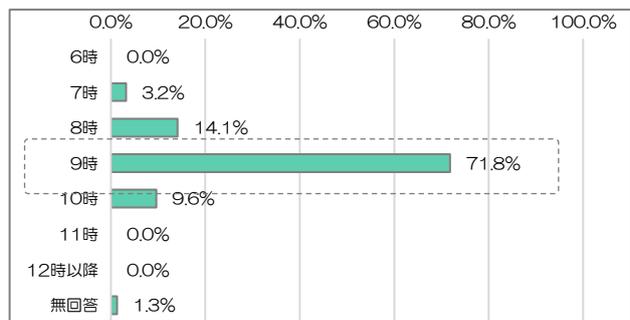
夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用について「週に数日利用したい」と回答した方が最も多く 60.1%となっています。



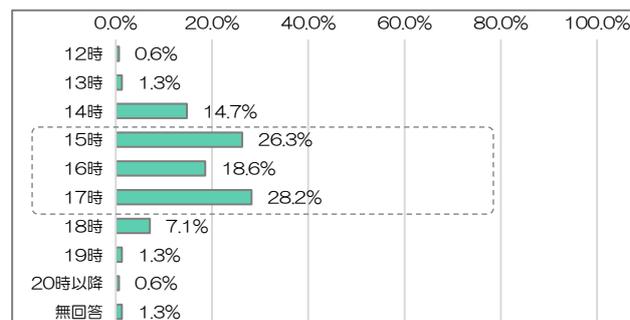
夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に教育・保育の事業を利用希望される方について、利用開始希望時刻は9時、利用終了希望時刻は15時～17時となっています。

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中（n=156）】

（開始時刻）



（終了時刻）

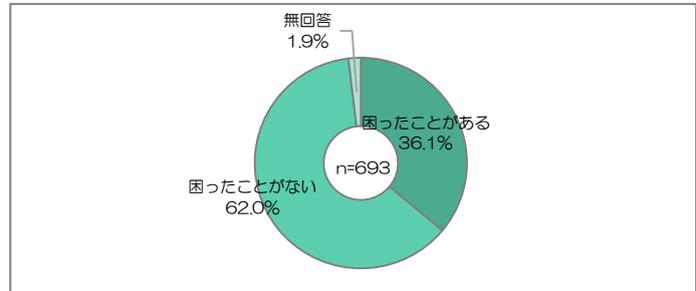


6 お子さんの病気の際の対応について

【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方のみ回答】

問30 お子さんが高熱を出すなど急病の時に、すぐに診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。（1つに○）

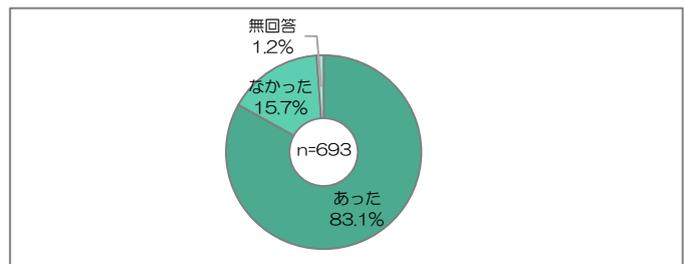
医療機関が見つからず「困ったことがある」と回答した方については、36.1%となっています。



【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方のみ回答】

問31 この1年間に、お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。（1つに○）

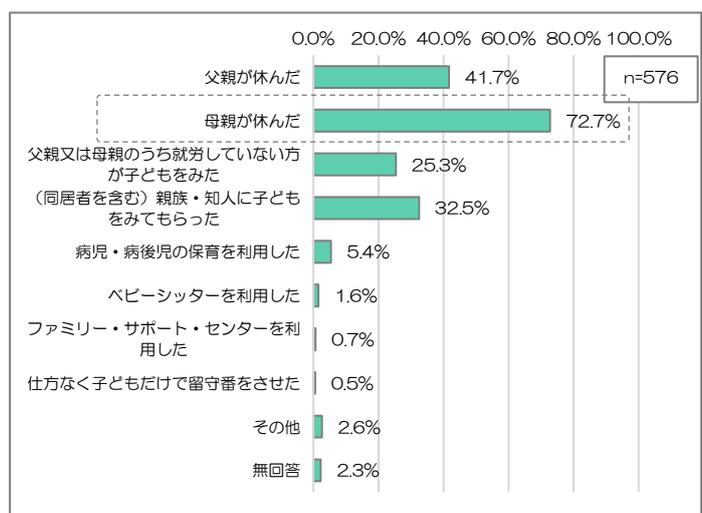
お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」と回答した方は83.1%となっています。



【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方で、病気やケガで利用できなかったことがある方のみ回答】

問32 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間で行った対処方法をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法について、「母親が休んだ」が72.7%と最も多くなっています。

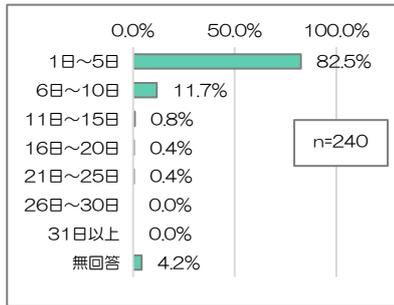


その他・・・祖父母に預けた（6）
育休中だった（4）

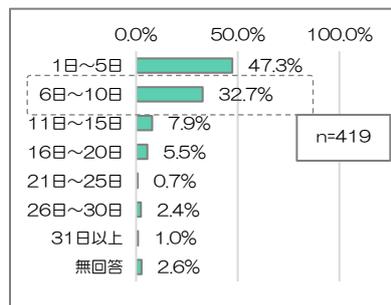
第2章 調査結果（Ⅰ. 就学前児童の保護者調査）

また、各対処で要した日数は以下のとおりとなっており、母親が休んだ日数について「6～10日」が32.7%と、多く日数を要しています。

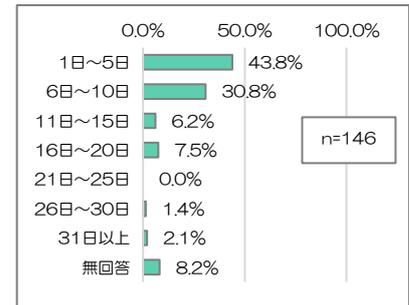
【父親が休んだ】



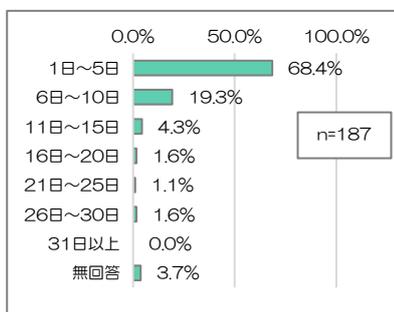
【母親が休んだ】



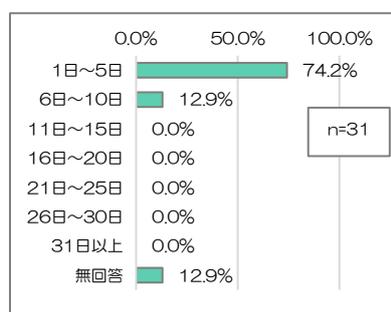
【父親・母親の就労していないほうが休んだ】



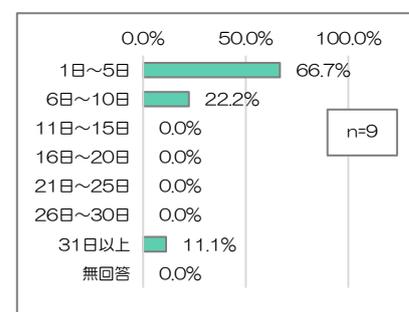
【親族・知人にみてもらった】



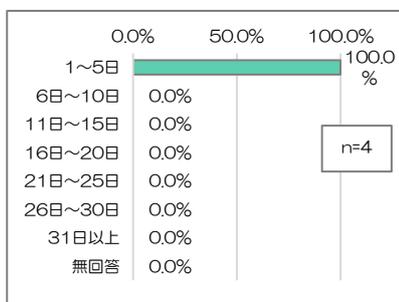
【病児・病後児の保育を利用した】



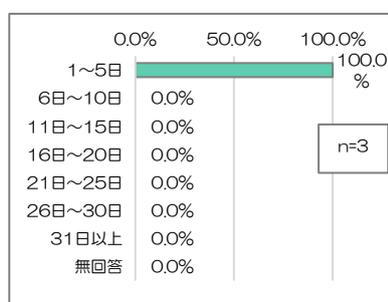
【ベビーシッターを利用した】



【ファミリー・サポート・センターを利用した】



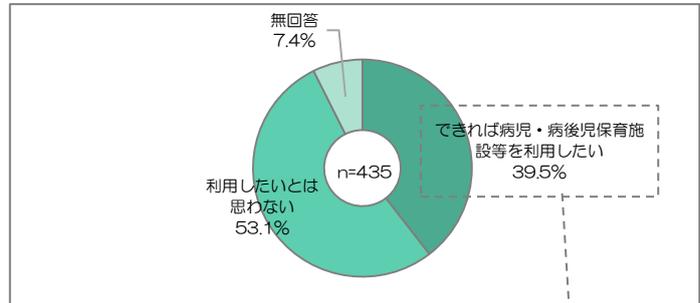
【子どもだけで留守番】



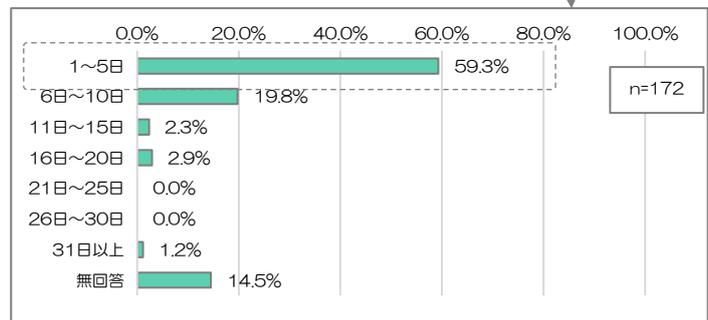
【平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方で、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法として父親または母親が休んだ方のみ回答】

問33 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（1つに○、数字を記入）

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、父親または母親が休んだ方について、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した方は39.5%と約4割となっています。



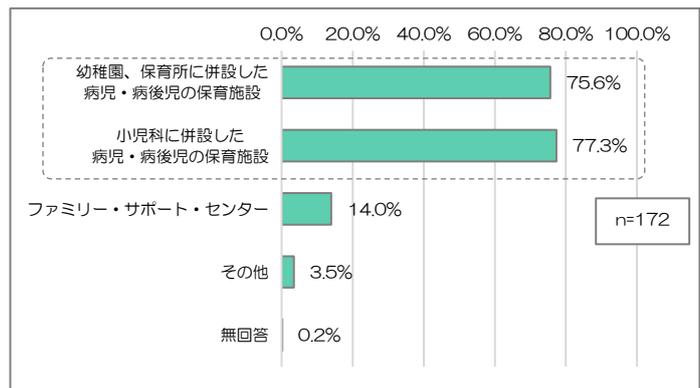
できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと回答した方について、希望する日数については「1～5日」が最も多く59.3%となっています。



【お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい方のみ回答】

問34 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できず、子どもを病児・病後児のための保育施設等に預ける場合、どのような形態が望ましいかについては「小児科に併設した病児・病後児の保育施設」が最も多く77.3%となり、またほぼ同等で「幼稚園、保育所に併設した病児・病後児の保育施設」が75.6%となっています。

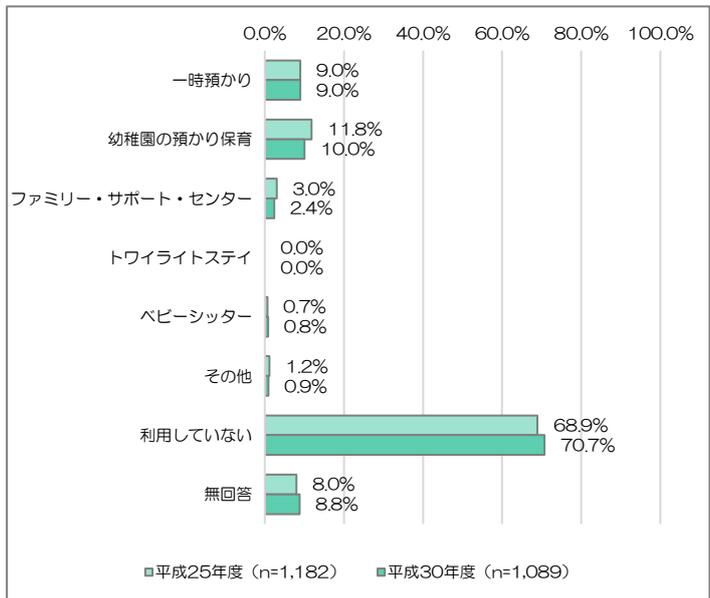


7 お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問35 お子さんについて、現在、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している一時預かり等の事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）

私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している一時預かり等の事業の利用について、「利用していない」が70.7%となり、「幼稚園の預かり保育」については10.0%となっています。

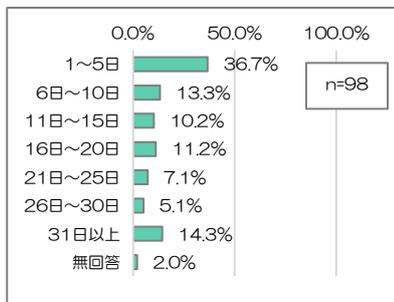
また、平成25年度調査と比較すると一時預かり事業の利用率に大きな変化は見られていません。



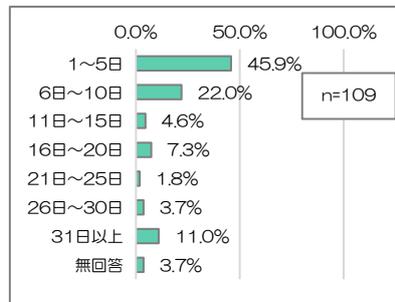
その他・・・生活クラブのエッコロ（2）
シルバー人材センター（2）

また、各事業での利用日数は以下のとおりとなっており、「一時預かり」については31日以上が14.3%となるなど、利用日数について多くなっています。

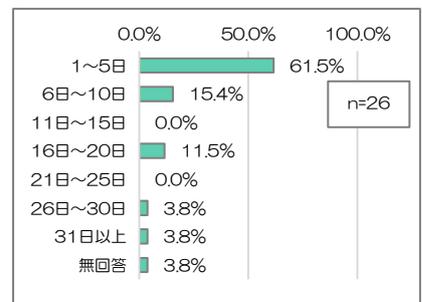
【一時預かり】



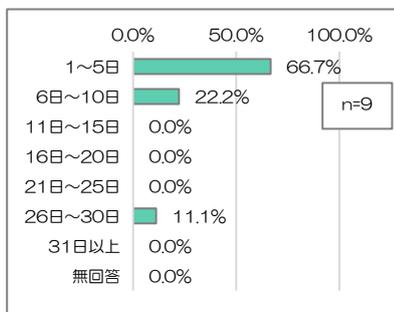
【幼稚園の預かり保育】



【ファミリー・サポート・センター】

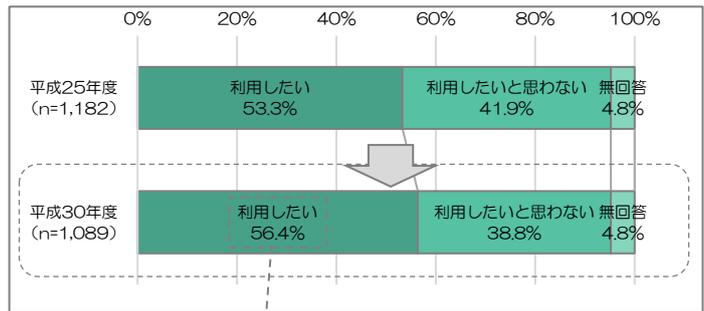


【ベビーシッター】

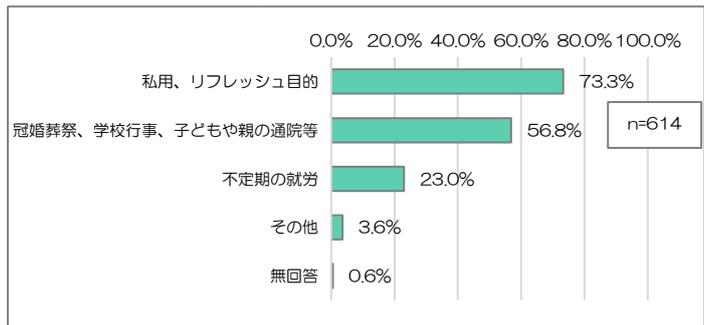


問36 お子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。（1つに〇）

私用、親の通院、不定期の就労等の目的による一時預かり等事業の利用意向について、56.4%が今後「利用したい」となっています。また、平成25年度調査と比較すると3.1%利用意向が高まっています。

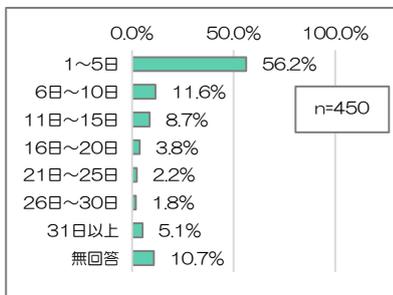


「利用したい」と回答した方の利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く73.3%となっています。

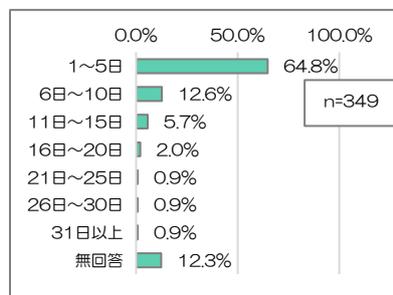


また、各目的別の希望日数については以下のとおりとなっており、「不定期の就労」については、6～10日あるいは31日以上の利用希望が多くなっています。

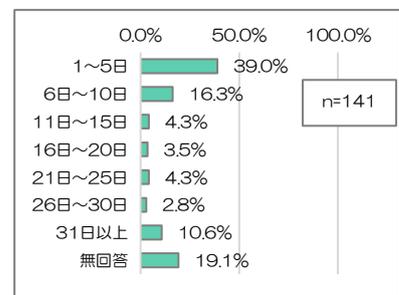
【私用、リフレッシュ目的】



【冠婚葬祭、学校行事】

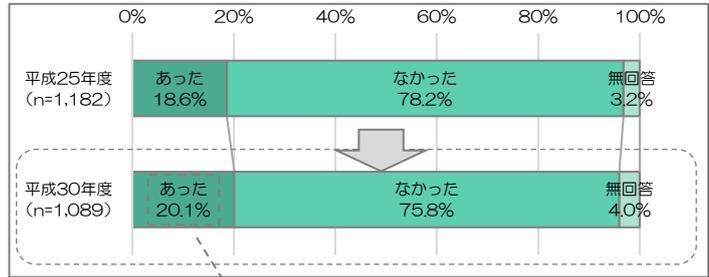


【不定期の就労】

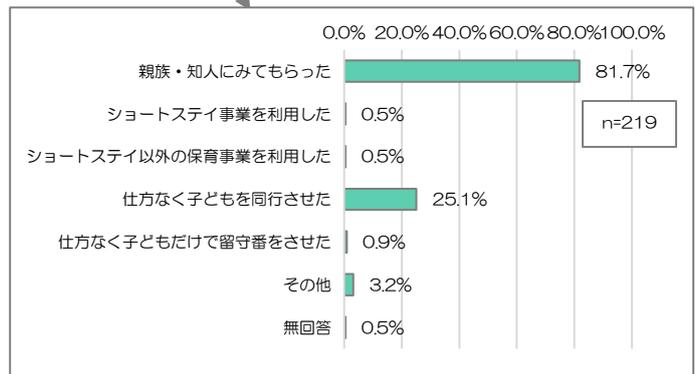


問37 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先がみつからなかった場合も含みます）。（1つに〇）

この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」方は20.1%となっています。平成25年度調査と比較すると、家族以外にみてもらわなければならないことがあった割合に大きな変化は見られていません。

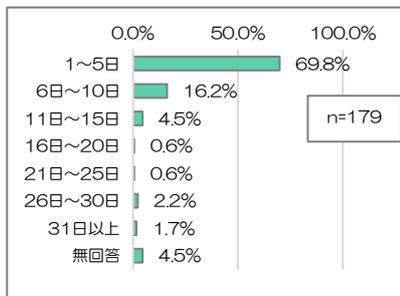


家族以外にみてもらわなければならない場合の預け先として、「親族・知人」が最も多く81.7%となっており、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が25.1%となっています。

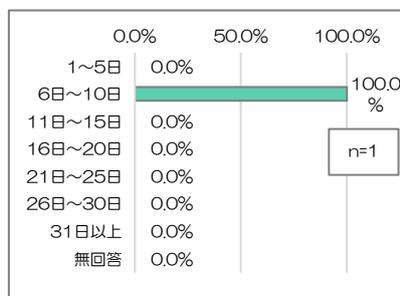


また、各預け先別の預け日数については以下のとおりとなっています。

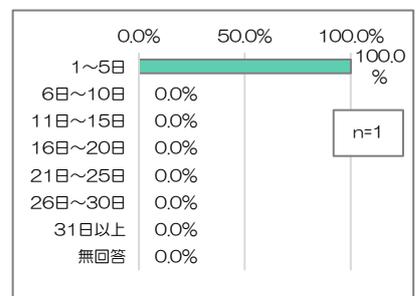
【親族・知人】



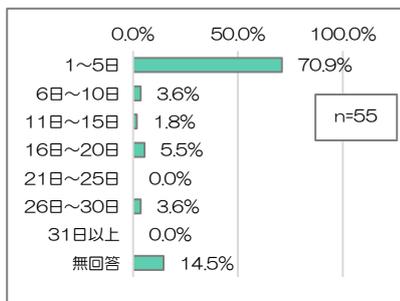
【ショートステイ事業を利用】



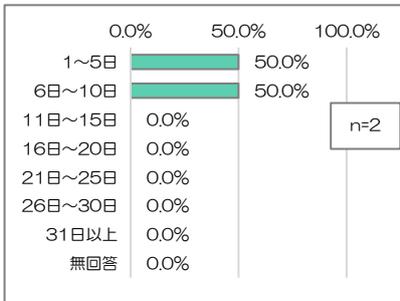
【ショート以外の保育事業を利用】



【仕方なく子どもを同行させた】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

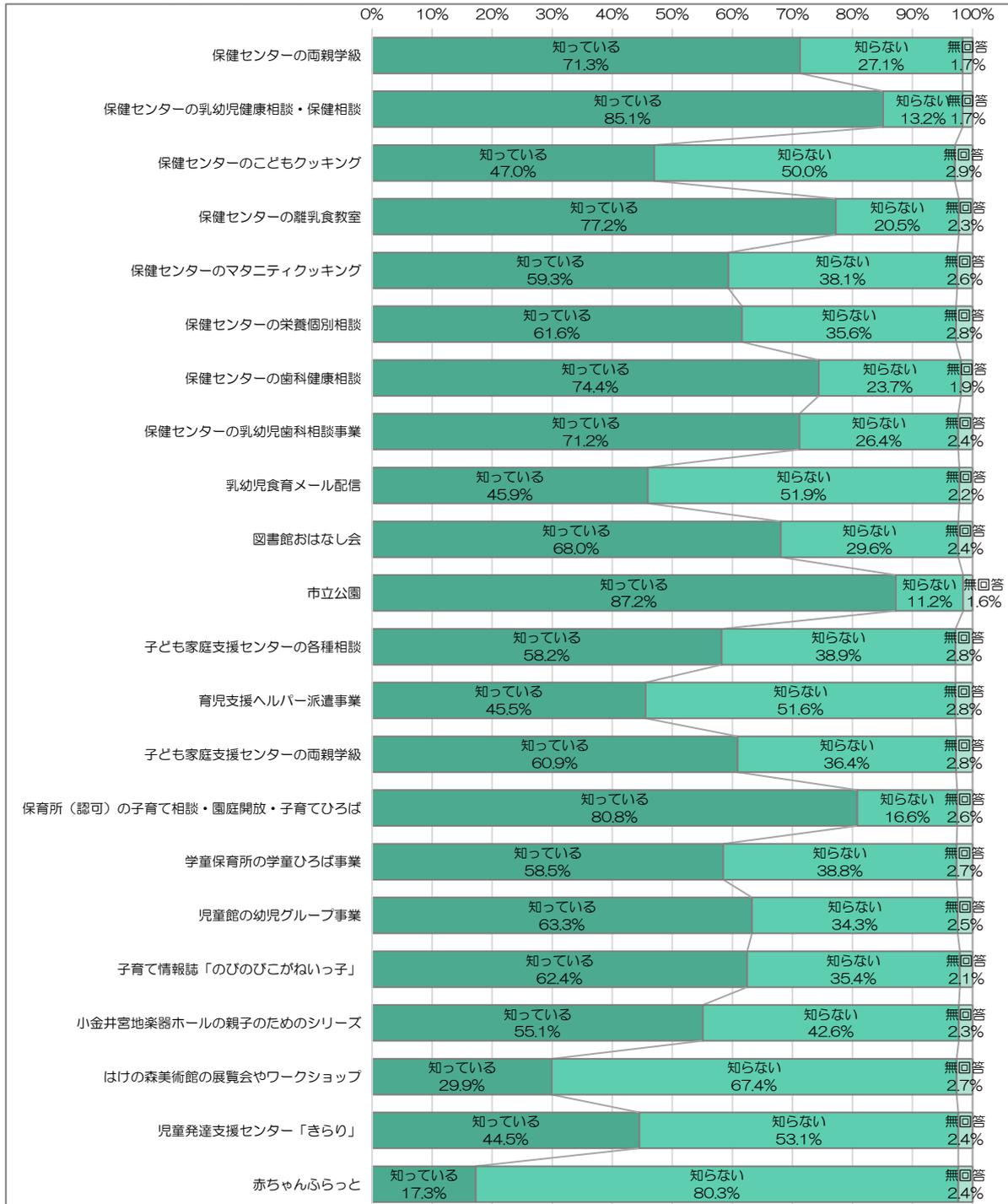


8 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問38 下記のサービスや事業について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は、満足したか、今後も利用したいかお答えください。（1つに○）

各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「市立公園」をはじめ、「保健センターの乳幼児健康相談・保健相談」が85.1%、「保育所（認可）の子育て相談・園庭開放・子育てひろば」が80.8%と高い認知度となっています。一方、「はげの森美術館の展覧会やワークショップ」は29.9%、「赤ちゃんふらっと」は17.3%とこれらの事業については認知度が低くなっています。

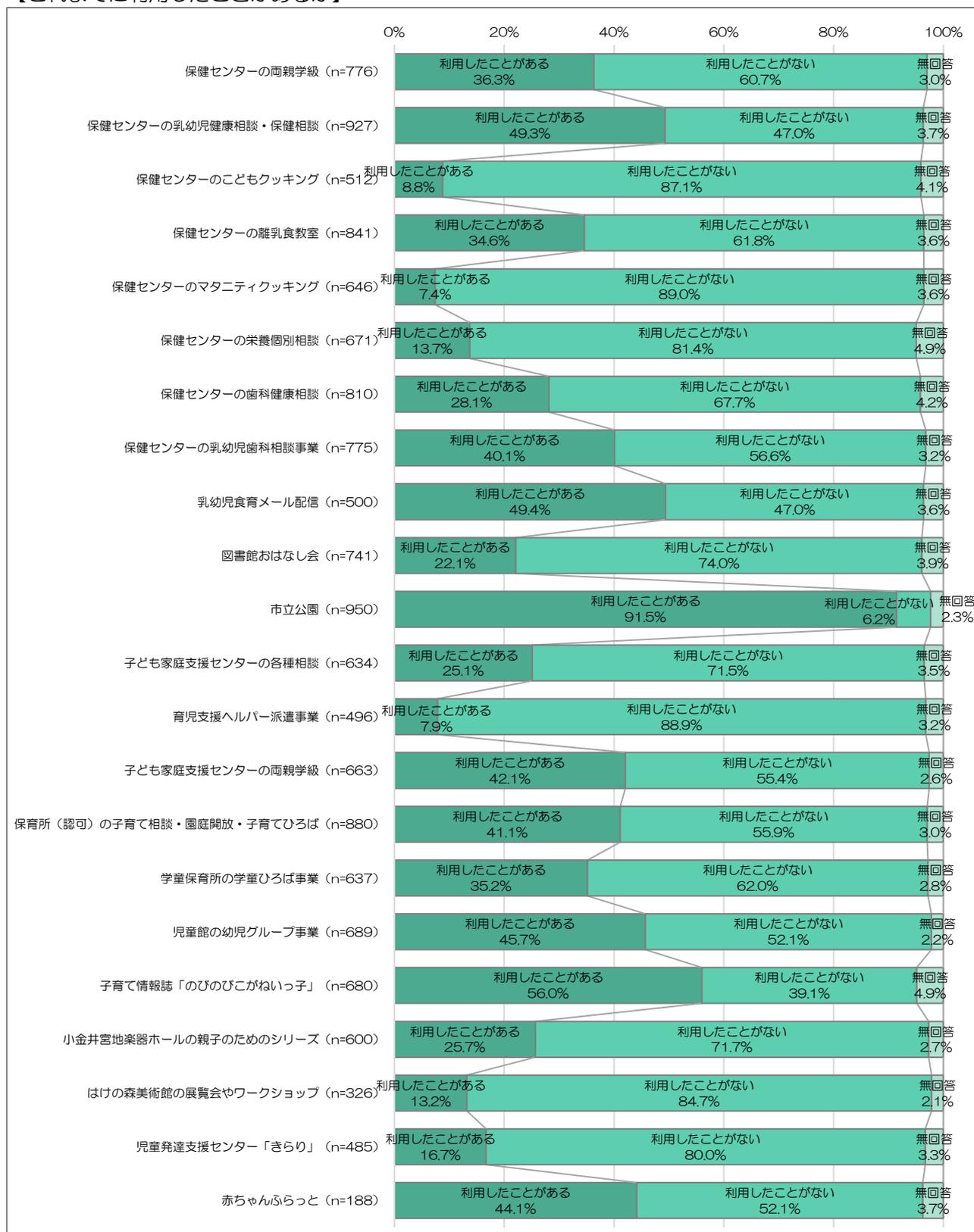
【知っているか】（n=1,089）



第2章 調査結果（Ⅰ. 就学前児童の保護者調査）

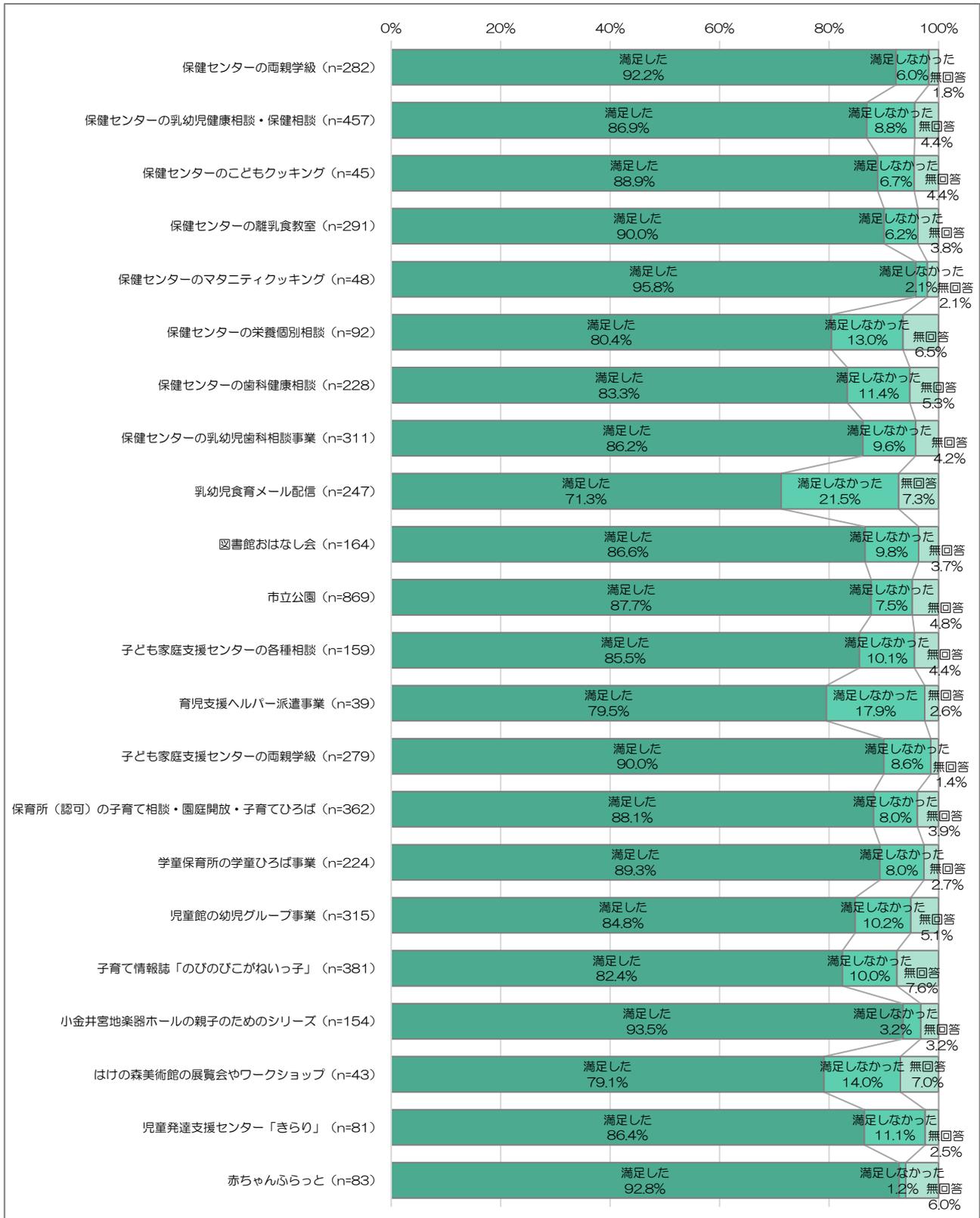
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「市立公園」をはじめ、「子育て情報誌「のびのびこがねいっ子」」が56.0%と高い利用率となっています。一方、「保健センターのマタニティクッキング」は7.4%、「育児支援ヘルパー派遣事業」は7.9%とこれらの事業については利用率が低くなっています。

【これまでに利用したことがあるか】



各事業の満足度について以下のとおりとなっており、「保健センターのマタニティクッキング」が95.8%、「小金井宮地楽器ホールの親子のためのシリーズ」が93.5%と高い満足度となっています。一方、「乳幼児食育メール配信」は71.3%と満足度が約7割にとどまっています。

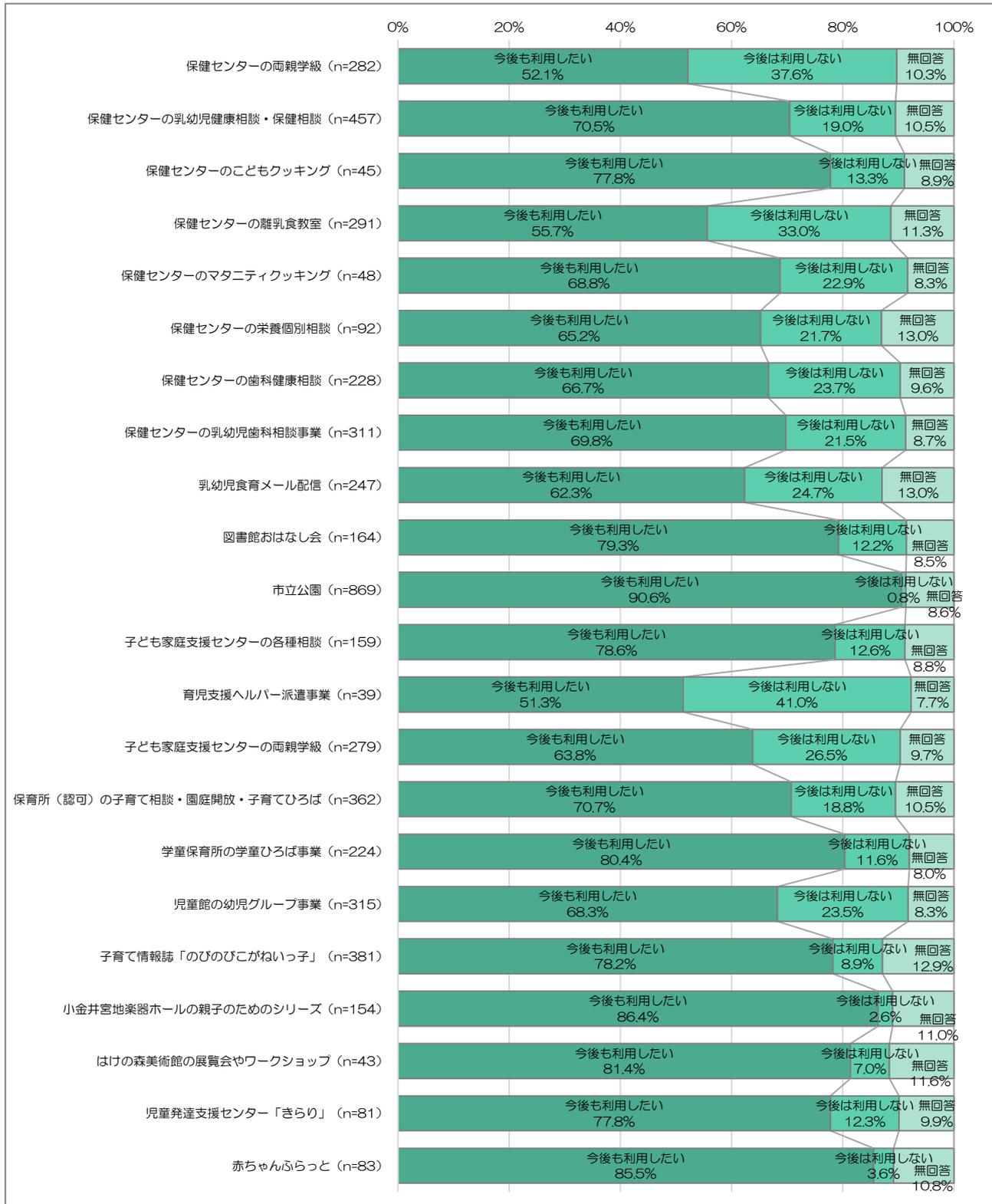
【利用したことがある場合、満足したか】



第2章 調査結果（Ⅰ. 就学前児童の保護者調査）

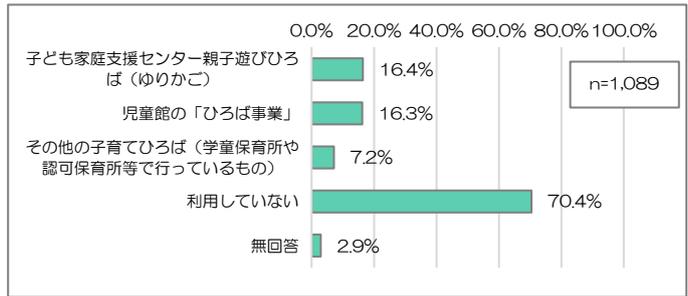
各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「市立公園」をはじめ、「小金井宮地楽器ホールの子育てのためのシリーズ」が86.4%、「赤ちゃんふらっと」が85.5%と再度の利用希望率が高くなっています。

【今後も利用したいか】

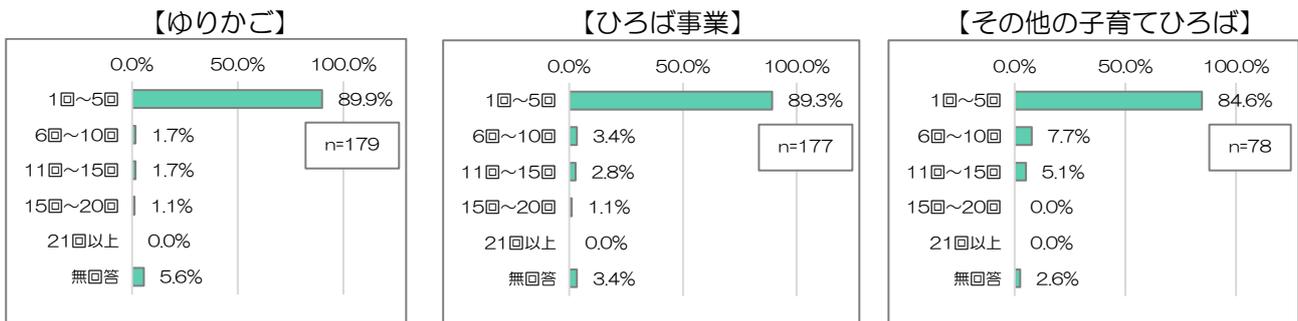


問39 お子さんは、現在、「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や、児童館の「ひろば事業」等を利用していますか。利用している事業についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や、児童館の「ひろば事業」等の利用状況について、「ゆりかご」では16.4%、「ひろば事業」では16.3%となっています。

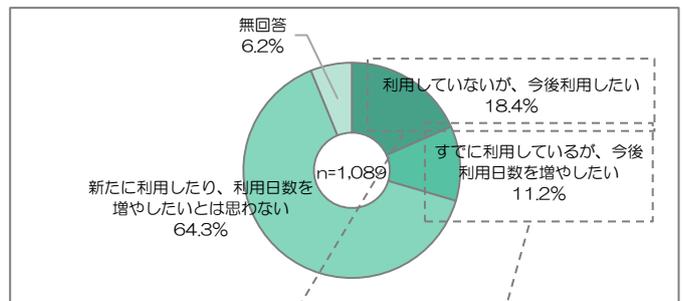


なお各事業のおおよその「ひと月あたり」の利用日数は以下のとおりとなっています。

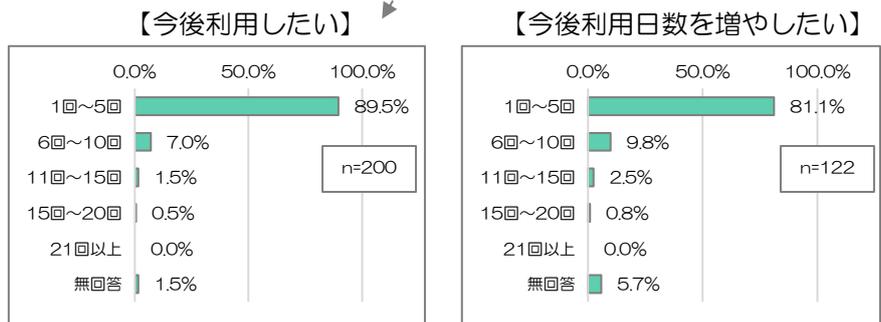


問40 「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や児童館の「ひろば事業」等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（1つに○）

「ゆりかご」や「ひろば事業」について、「今後利用したい」と回答した方が18.4%、「利用日数を増やしたい」と回答した方は11.2%となっています。



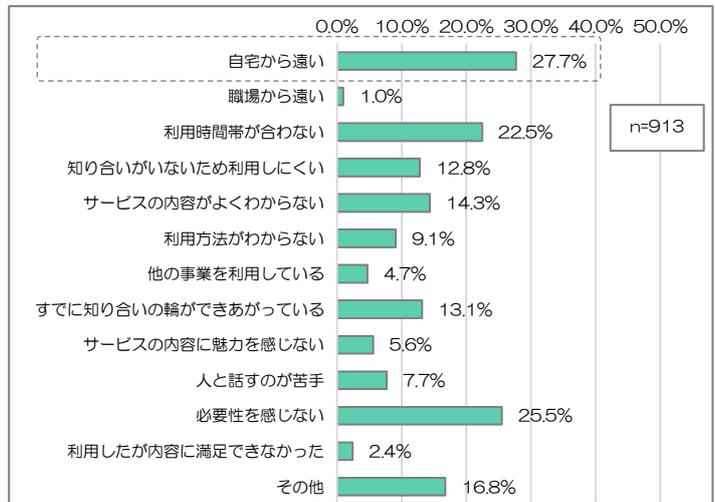
なお「今後利用したい」、「利用日数を増やしたい」と回答した方のおおよその「ひと月あたり」の利用日数は以下のとおりとなっています。



【「ゆりかご」や「ひろば事業」について、「利用していない」「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」方のみ回答】

問41 利用していない、新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由はなんですか。（あてはまる番号すべてに○）

「ゆりかご」や「ひろば事業」を「利用していない」、または「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」理由について、「自宅から遠い」と回答した方が最も多く27.7%となっています。また、その他の回答として、年齢が小さすぎる、年齢が大きくなったため利用が合わないなど、対象となる年齢を理由としている回答が多く見られています。

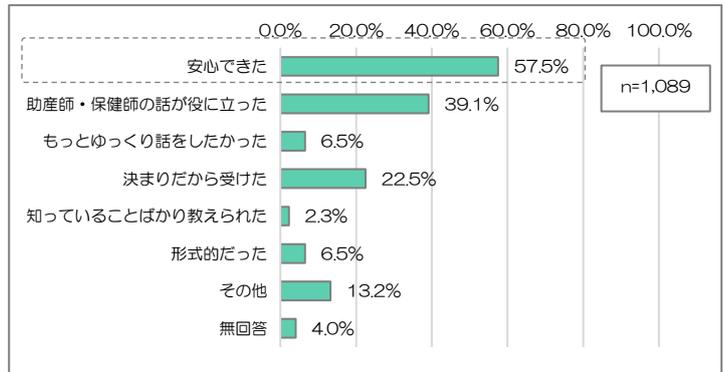


- その他・・・保育園に通っているため（23）
 子供が大きくなり利用が合わないため（21）
 上の子がいて行きづらいため（12）
 子供がまだ小さいため（10）
 幼稚園に通っているため（9）
 今の利用日数で満足しているため（8）
 狭いため（8）
 忙しくて行く暇がない（6）
 児童館が古くて汚いので（6）
 どこにあるかわからない（6）
 病気をもらいやすい（4）

9 子育て全般について

問42 新生児訪問を受けて、どう思われましたか。（あてはまるものすべてに○）

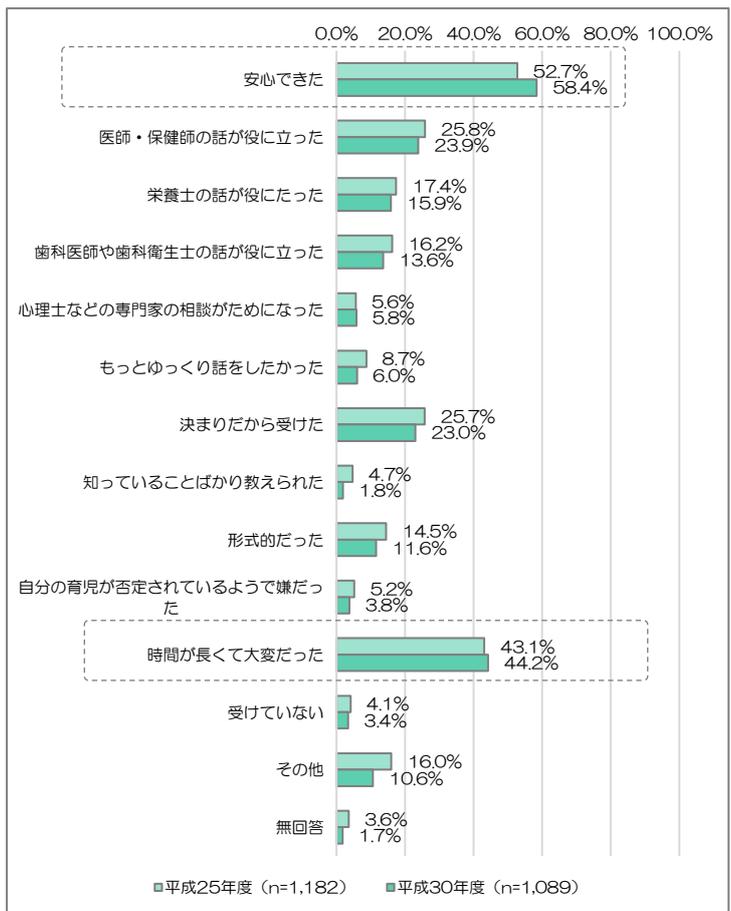
新生児訪問を受けた感想として「安心できた」と回答した方が最も多く57.5%となり、約6割の方が安心できたと回答しています。



その他・・・転入のため小金井市で受けていない（64）
 受けていない（15）
 相談にのっていただきありがたかった（9）
 悩んでいることが解決されなかった（4）

問43 乳幼児健康診査（3-4か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診）について、どう思われましたか。（あてはまるものすべてに○）

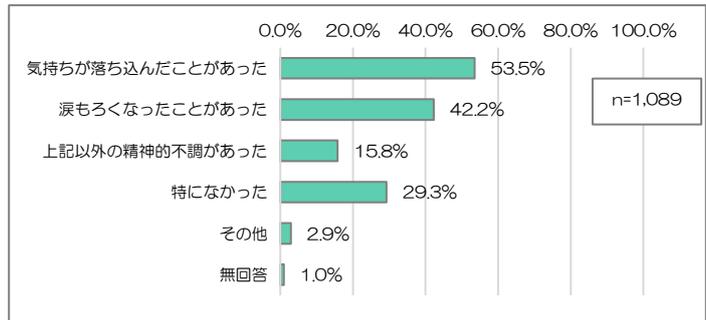
乳幼児健康診査（3-4か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診）を受けた感想として「安心できた」と回答した方が最も多く58.4%となる一方、「時間が長くて大変だった」と回答した方も44.2%と半数近くが「大変だった」と回答しています。平成25年度調査と比較すると、「安心できた」と回答した方について5.7%、増えています。



その他・・・検診の時間帯がお昼寝の時間帯で大変だった（26）
 場所が遠くて大変だった（24）
 待ち時間が長くて大変だった（7）
 平日で仕事を休まないといけないので非常に困った（5）

問44 母親の方にうかがいます。（ご回答者が父親・その他の方の場合は、母親の状況がどうであったかでお答えください）出産後の1年間で気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりなどしたことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）

出産後の1年間で「気持ちが落ち込んだ」と回答した方は53.5%、「涙もろくなった」と回答した方は42.2%と約半数の方が気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりしたと回答しています。

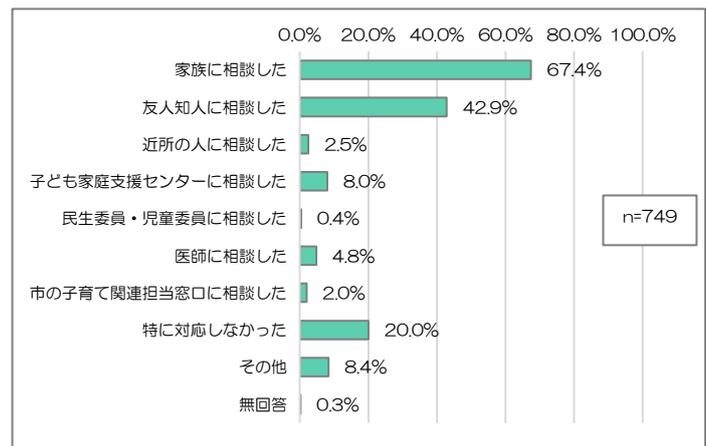


その他・・・イライラする事が多かった（8）
体調不良が続いた（6）

【出産後の1年間で「気持ちが落ち込んだことがあった」「涙もろくなったことがあった」「それ以外の精神的不調があった」方のみ回答】

問45 出産後の1年間で気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりなどした際、どのように対応しましたか。（あてはまるものすべてに○）

気持ちが落ち込んだり涙もろくなったりなどした際、「家族に相談した」方が最も多く、67.4%となっています。

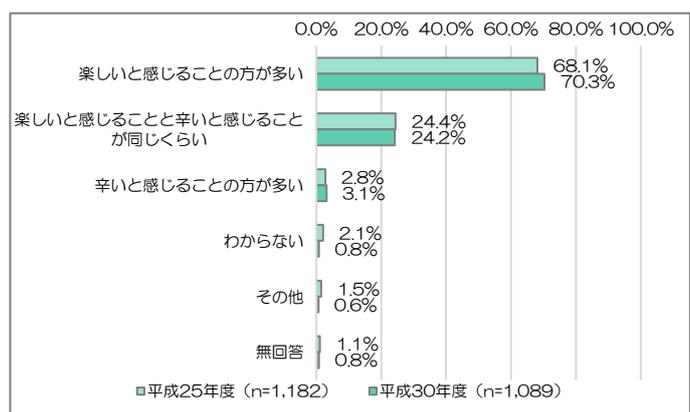


その他・・・助産師さんに相談した（9）
新生児訪問時に相談した（8）
インターネットで対応方法を検索した（8）

問46 子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しむと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。（1つに○）

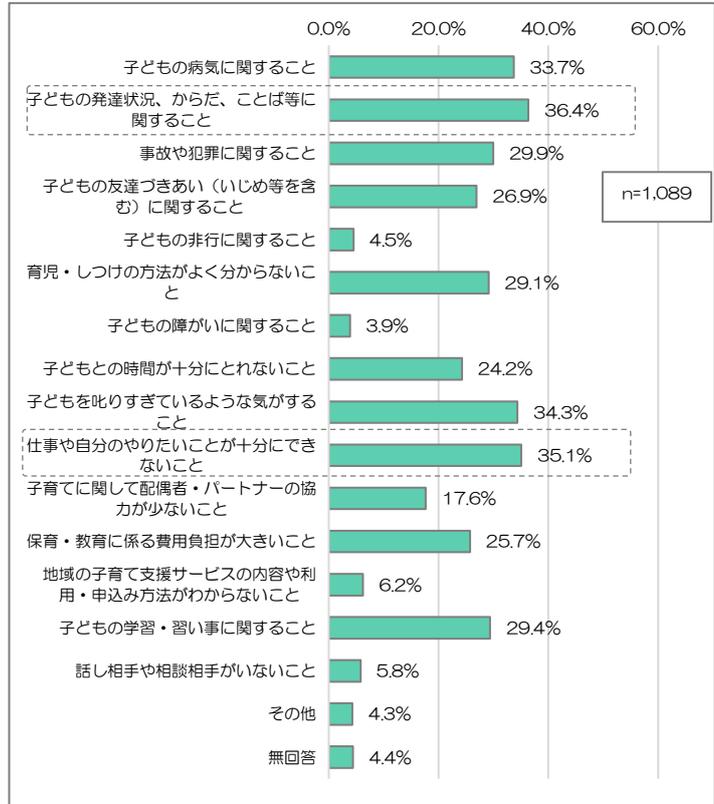
子育てを「楽しいと感じることが多い」と回答した方が最も多く70.3%となり、約7割の方が楽しいと感じています。

また、平成25年度調査と比較すると、子育てを楽しむと感じる、あるいは辛いと感じる割合について、大きな変化は見られていません。



問47 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

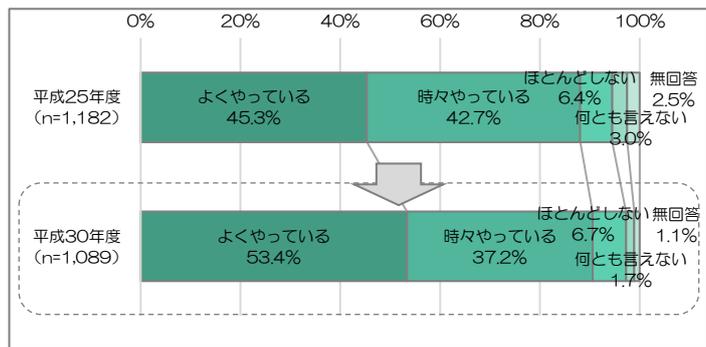
子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることとして、「子どもの発達状況、からだ、ことば等に関すること」が最も多く36.4%となるとともに、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が35.1%となり、子どものこととともに、自身に関する悩みも多くなっています。



その他・・・保育園に入れるか不安（10）
子育てと仕事の両立のこと（4）

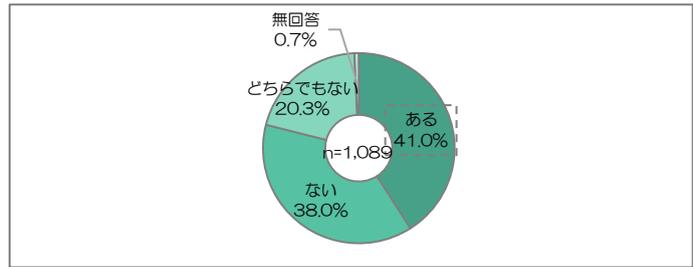
問48 母親の配偶者・パートナーは育児をしていますか。（1つに○）

母親の配偶者・パートナーの育児について「よくやっている」と回答した方は53.4%と半数を超えています。平成25年度調査と比較すると「よくやっている」と回答した方の割合は8.1%、増えています。



問49 お子さんの小学校就学に関する不安はありますか。（1つに○）

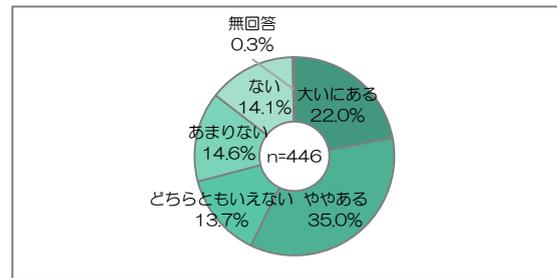
お子さんの小学校就学に関する不安について「ある」と回答した方は41.0%となっています。



【小学校就学に関する不安がある方のみ回答】

問50 お子さんの小学校就学に関する不安はありますか。（1つに○）

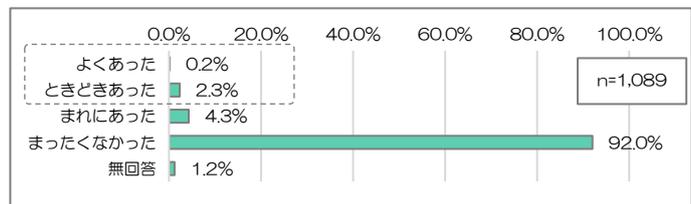
小学校就学に関する不安が「ある」と回答した方のうち、就学後の教育における金銭面での不安について「大いにある」と回答した方は22.0%、「ややある」と回答した方は35.0%となり、金銭面での「不安がある」方について57.0%となっています。



問51 お金が足りなくて以下の経験が、過去1年間にありましたか（それぞれ、1つに○）

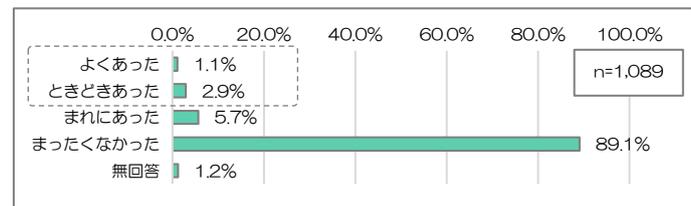
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は2.5%となっています。



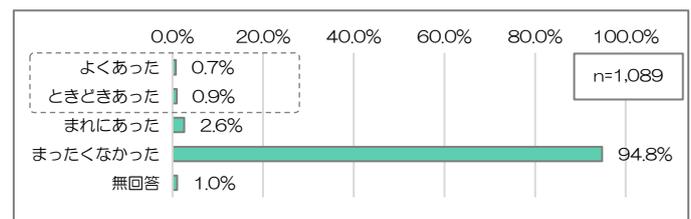
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は4.0%となっています。



【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

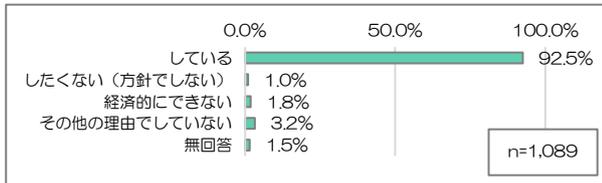
お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は1.6%となっています。



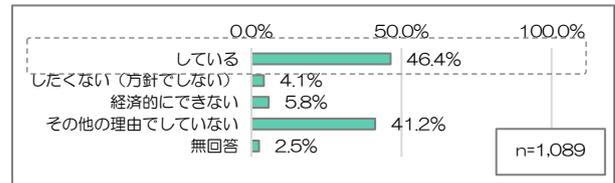
問52 下記のことについて、あなたの家庭では、お子さんに行っていますか。（それぞれ、1つに○）

お子さんに行っていることとして「誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする」については「している」と回答した方が94.0%と多くなっています。また、「習い事に通わせる」についても「している」と回答した方が46.4%となり、就学前より習い事に通わせている方が約半数となっています。

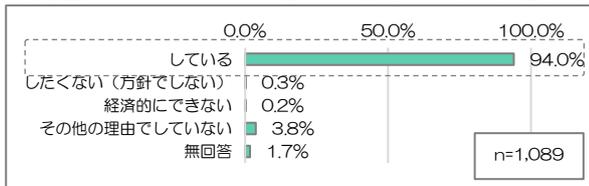
【毎年新しい洋服・靴を買う】



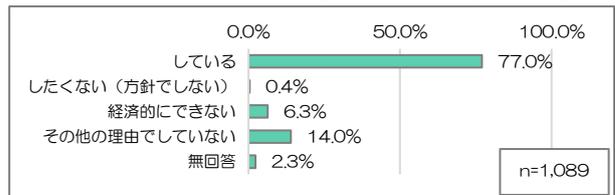
【習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる】



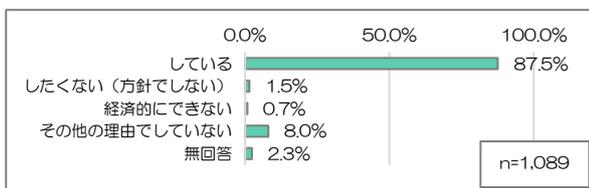
【誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする】



【1年に1回くらい1泊以上の家族旅行に行く】

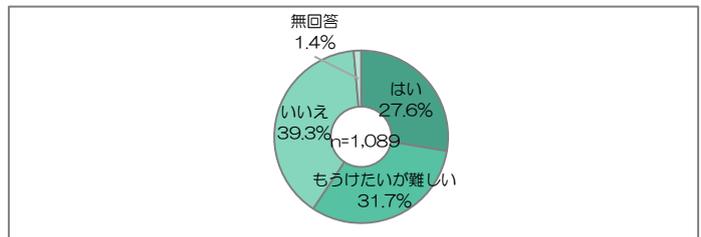


【クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】



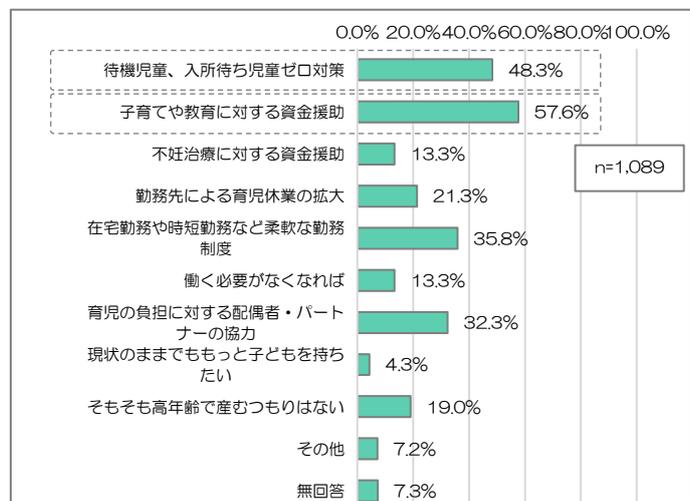
問53 今後新たに子どもをもうけたいと思いますか。（1つに○）

今後新たに子どもをもうけたいと思うかについて、「もうけない」と回答した方が最も多く39.3%となっています。一方「もうけたい」と回答した方は27.6%となっています。



問54 今後新たに子どもをもうけるとした場合に、必要な条件としてあてはまるものを選択してください。（あてはまるものすべてに○）

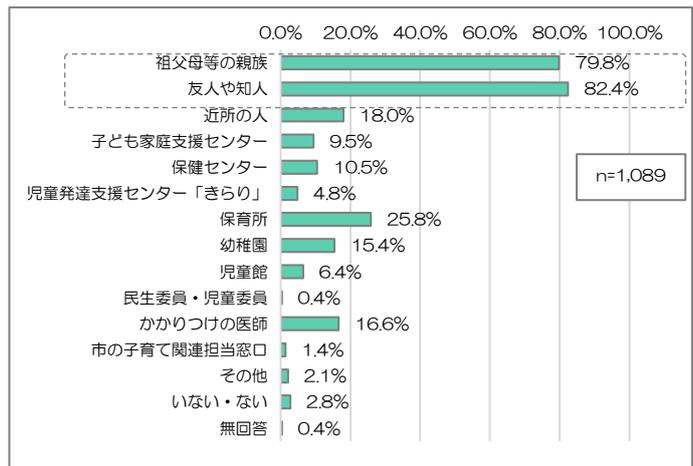
今後新たに子どもをもうけるとした場合に必要な条件として「子育てや教育に対する資金援助」と回答した方が最も多く57.6%、次いで「待機児童、入所待ち児童ゼロ対策」が48.3%となっています。



その他・・・現状の人数で満足（11）
収入増（8）

問55 子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所はありますか。（あてはまるものすべてに○）

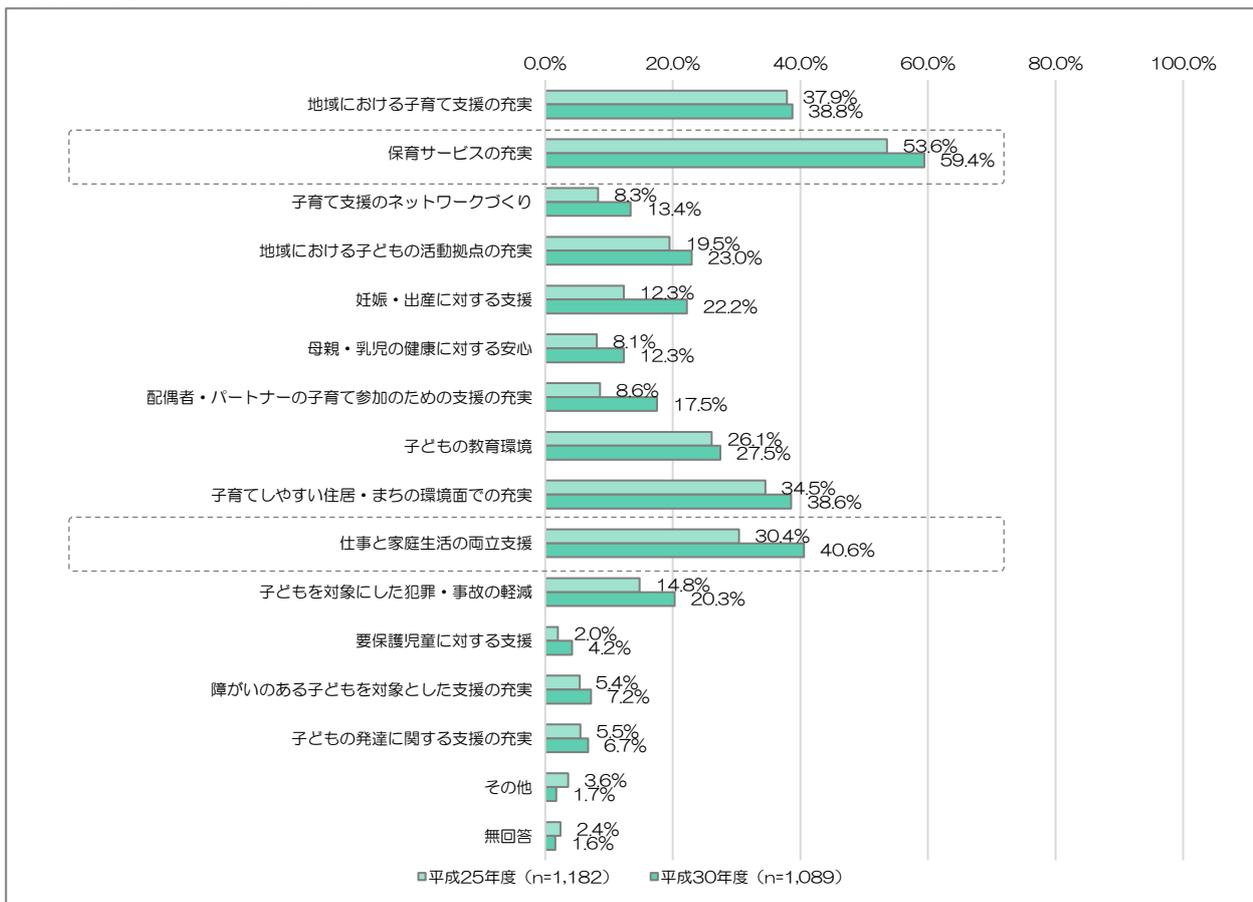
子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所として「友人や知人」が最も多く82.4%となり次いで「祖父母等の親族」が79.8%となっています。



その他・・・夫（6）
 保育園の先生（3）
 SNS（3）

問56 あなたは、子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。（3つまでに○）

子育てをする中で有効な支援・対策として「保育サービスの充実」が最も多く59.4%となり、次いで「仕事と家庭生活の両立支援」が40.6%となっています。平成25年度調査と比較すると、「保育サービスの充実」では5.8%、「仕事と家庭生活の両立支援」では10.2%高くなっており、共働き家庭への支援ニーズが非常に高まっています。



その他・・・経済的支援（3）
 保育費用負担軽減（3）

問57 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

サポートとして「一時預かりを充実してほしい」というご意見が多く、気軽に利用できるようにしてほしい、病気などの緊急の場合に利用できるようにしてほしい、またその体制を拡充してほしいとの意見が多く見られています。

また、「気軽に話ができる機会として、同じ境遇、同じ世代で交流し気軽に話ができる機会を作ってほしい」との意見も多く見られています。医療費補助を含めた金銭的サポートに関する要望も多く見られています。

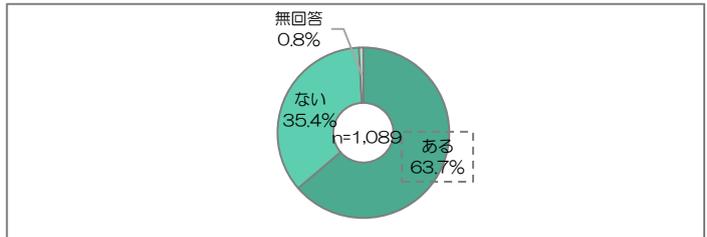
<p>一時預かりの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私用や少し1人になれる時間を作ることを目的に、いつでも気軽に一時預かりを利用できるようにしてほしい（40） ・ 病気など緊急の時に、子どもを預けられる所があるとよい（24） ・ 一時的に子どもを預かってもらえる場所や利用可能人数の枠を増やしてほしい（11） ・ 中々予約がとれず利用できない状況にあるので、月に1回でも確実にとれるようにしてほしい、予約をオンライン化してほしい（7） ・ 土曜、休日、夏休み、夜間に気軽に子どもを預けられる所があるとよい（6） ・ 一時預かりに関する費用の負担軽減を行ってほしい（3） 	92
<p>気軽に話ができる機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ境遇や同じ世代で交流し話ができる機会がほしい（21） ・ 気軽に声掛けするなど、話をするきっかけづくりをしてほしい（17） ・ 育児と仕事の両立サポート、育休復帰支援のセミナーやひとり親向けセミナーなどを開催して話をする機会をつくるとよい（7） ・ 子育て先輩の親が話をする、話を聞いてあげる活動があるとよい（2） ・ 地域ごとにいろいろな世代の方と交流がもてるような催しがあればよい（2） 	50
<p>支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認可保育園・こども園を増やしてほしい（7） ・ 支援サービス事業所、乳幼児健診、病院の小児科、役所等について土日の対応を行ってほしい（6） ・ 保育士さんたちの就労環境の改善、保育事業所への十分なサポート（3） ・ アレルギーがあっても受け入れ可能な体制づくり（2） ・ 母親が1人でリフレッシュできる環境づくり（2） 	34
<p>経済・金銭的サポートの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的な補助を拡充してほしい（17） ・ 児童手当の拡充（4） ・ マル子（医療費支援）の所得制限を廃止してほしい（2） 	29
<p>居場所・安全な遊び場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園などで安全に遊べる環境を増やしてほしい（10） ・ 天気を気にせず利用できる室内遊び場を作ってほしい（5） 	23
<p>情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援、子どもへの様々なプログラムやイベントについてもっと情報提供してほしい（12） ・ ホームページなどわかりやすくして情報提供してほしい（4） 	19

<p>相談しやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児のことなど気軽に相談できる環境がほしい（6） ・産前産後から相談できる、相談しやすい窓口を作してほしい（3） 	18
<p>学童の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小1の壁、学童問題を解消してほしい、学童の時間の拡充、長期休暇に対応してほしい（7） ・学童を利用できる年齢を引き上げてほしい。6年生まで（2） 	17
<p>病児、病後児保育施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育事業を充実させてほしい（14） 	14
<p>発達、育児に関する講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達、子育てに関する講座、学習会などを行ってほしい（7） ・父親の子育て講座・学習会などを行ってほしい（2） 	12
<p>子育てに関する地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内での声掛けを行う環境づくり（3） ・地域の見守り、防犯の体制づくり（2） ・日頃からの地域内のコミュニケーション（2） 	11
<p>医療費補助の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の所得制限を無制限にしてほしい（4） ・予防接種の無料化（3） ・中学卒業まで医療費無料（2） 	9
<p>家事支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に家事代行サービスを利用できるようにしてほしい（3） ・育児ヘルパーなどを気軽に使いたい、手続きを簡易化してほしい（3） 	8
<p>教育費用の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育に関する全ての助成金や補助金の所得制限をなくしてほしい（2） ・習い事に対する補助金がほしい（2） ・教育費の無償化（2） 	8
<p>障がい児・発達障がい児サポートの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいなどがある子どもへの理解を深めてほしい（3） ・障がい児や養育困難の子どもへの保育やサポート体制（3） 	7
<p>見守りの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通園、通学時の見守りの充実（5） 	6
<p>移動手段・送迎手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターまでのシャトルバス（3） ・平日の習い事の送迎など、気軽に送迎をお願いできる体制（2） 	6

10 保育所に入れるための活動について

問58 過去に子どもを保育所に入れるための活動を行ったことがありますか。（1つに○）

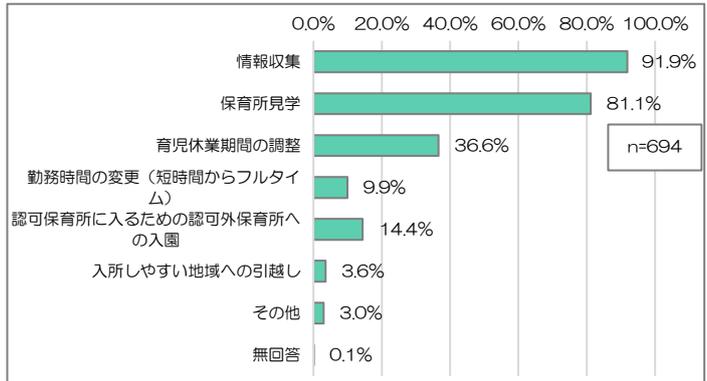
子どもを保育所に入れるための活動の経験について「ある」と回答した方は63.7%となっています。



【過去に子どもを保育所に入れるための活動を行ったことがある方のみ回答】

問59 子どもを保育所に入れるためにどのような活動を行いましたか。（あてはまるものすべてに○）

その活動の内容として「情報収集」が最も多く91.9%となり次いで「保育所見学」が81.1%となっています。保育所に関する情報提供が求められています。

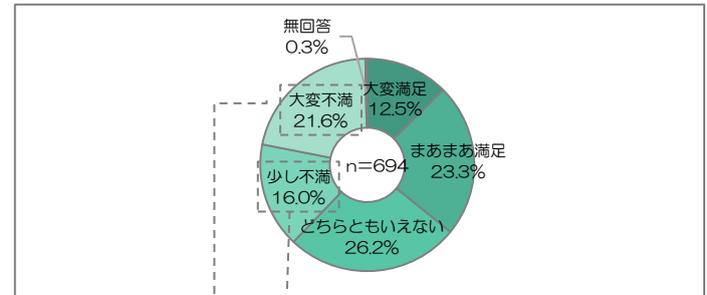


その他・・・認可外保育所への入園予約（3）
一時保育の利用（3）

【過去に子どもを保育所に入れるための活動を行ったことがある方のみ回答】

問60 子どもを保育所に入れるための活動及びその結果についてどのように思いますか（1つに○）

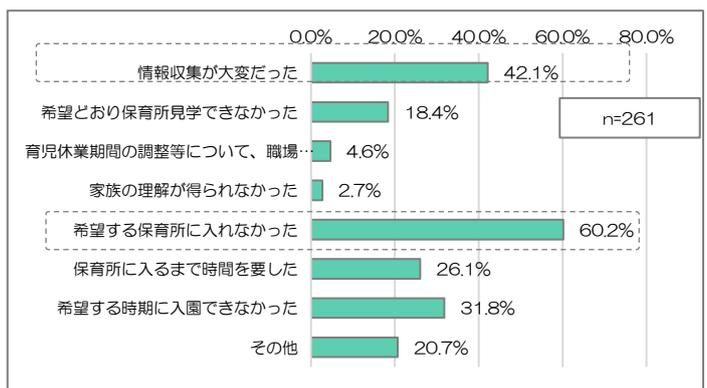
子どもを保育所に入れるための活動及びその結果について「大変不満」21.6%、「少し不満」が16.0%となり、不満に思っている方が37.6%となっています。一方「大変満足」「まあまあ満足」と満足に思っている方は35.8%となっていることから、保育所に入れるための活動及びその結果については不満のほうが多くなっています。



【子どもを保育所に入れるための活動及び結果について不満がある方のみ回答】

問61 不満だと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

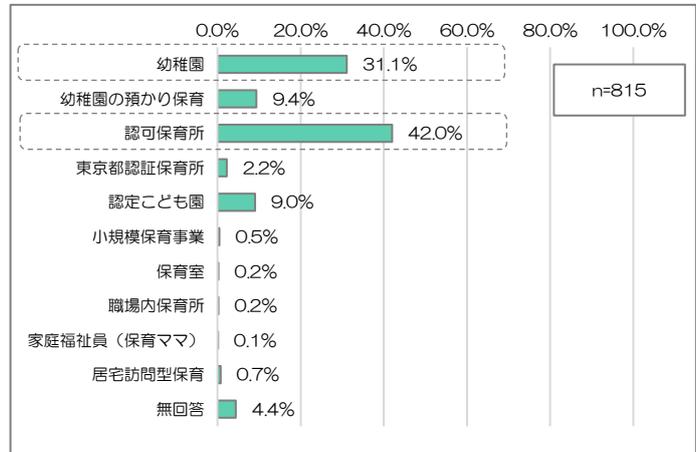
不満の理由として「希望する保育所に入れなかった」が最も多く60.2%となり、次いで「情報収集が大変だった」が42.1%となっています。



1.1 幼児教育・保育無償化について

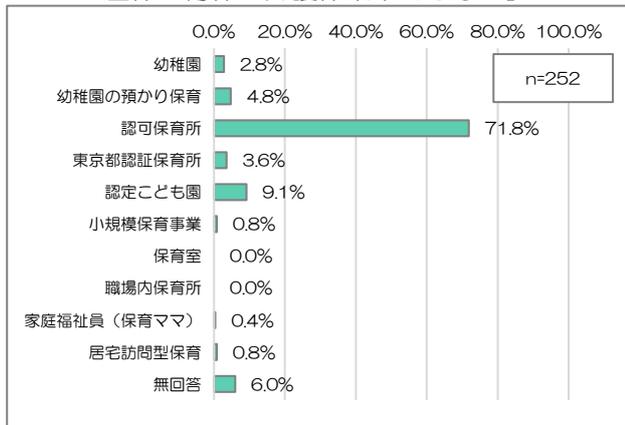
問6.2 幼児教育や保育が無償化となった場合、以下の事業において主に利用したいと思う事業はどれですか。（1つに〇）

幼児教育や保育が無償化となった場合に利用したいと思う事業として「認可保育所」が最も多く42.0%、次いで「幼稚園」が31.1%となっています。

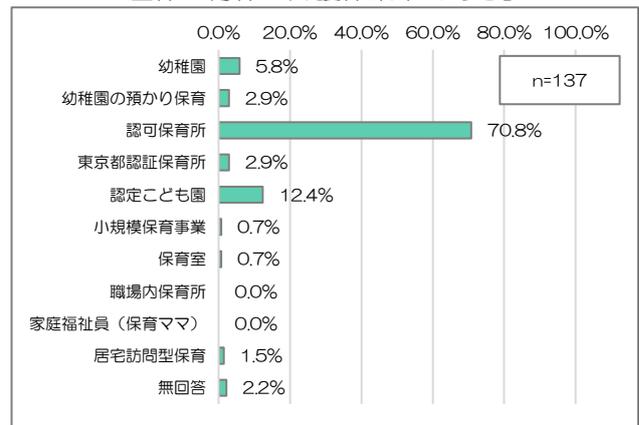


また、母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）別の幼児教育や保育が無償化となった場合に利用したいと思う事業の割合は以下のとおりとなっています。

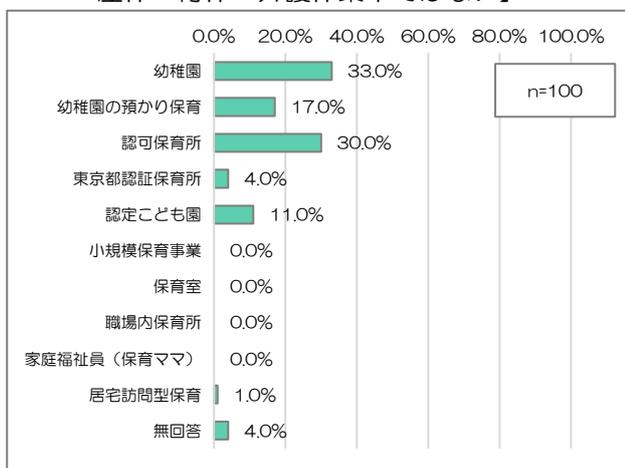
【フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない】



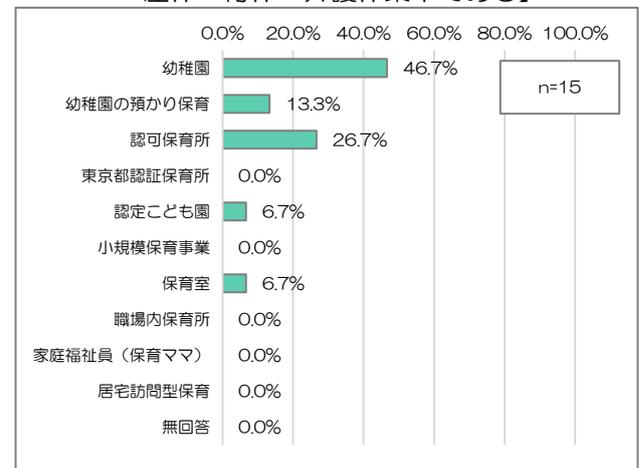
【フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である】



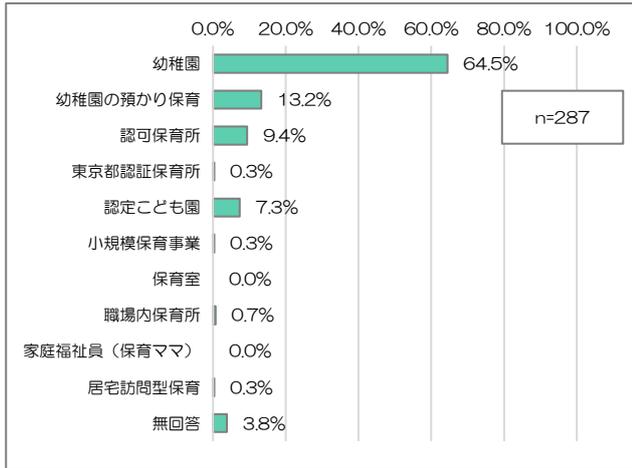
【パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない】



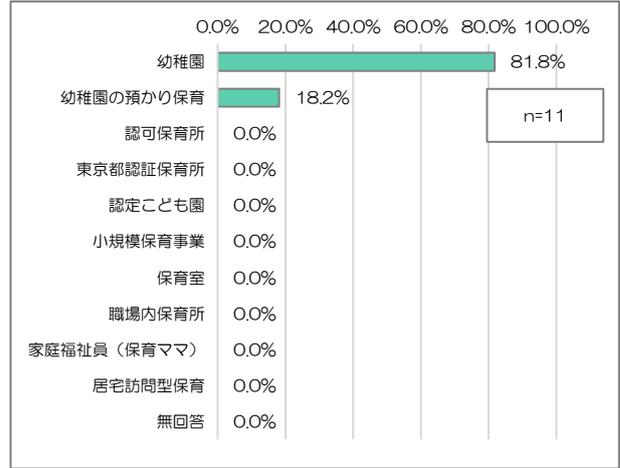
【パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である】



【以前は就労していたが、現在は就労していない】



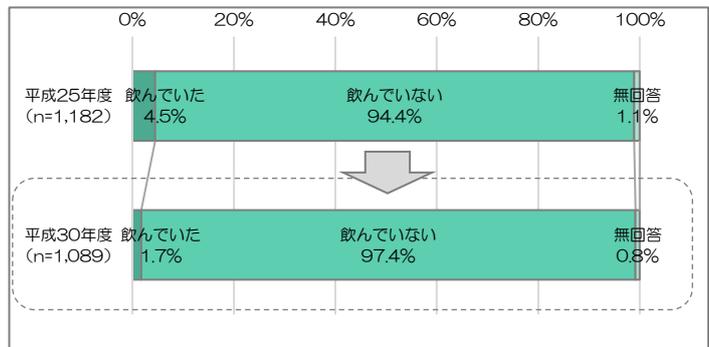
【これまで就労したことがない】



1.2 飲酒・喫煙について

問63 母親は妊娠中にお酒を飲んでいましたか。（1つに〇）

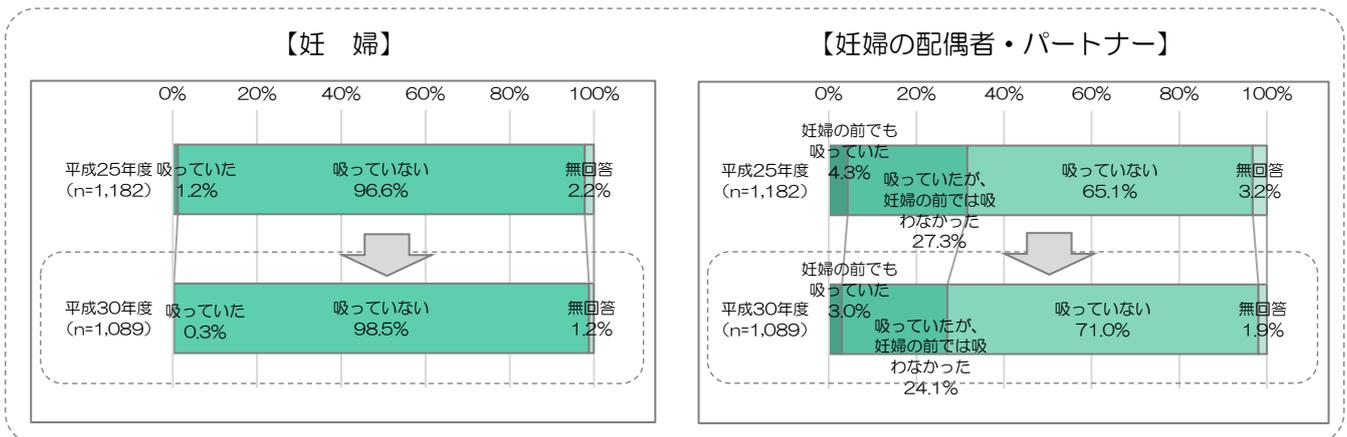
妊娠中にお酒を「飲んでいた」と回答した方は1.7%となっています。平成25年度調査と比較すると飲んでいと回答した方の割合が2.8%低下しています。



問64 妊婦、妊婦の配偶者・パートナーは妊娠中、また現在タバコを吸っていましたか。（それぞれ1つに〇）

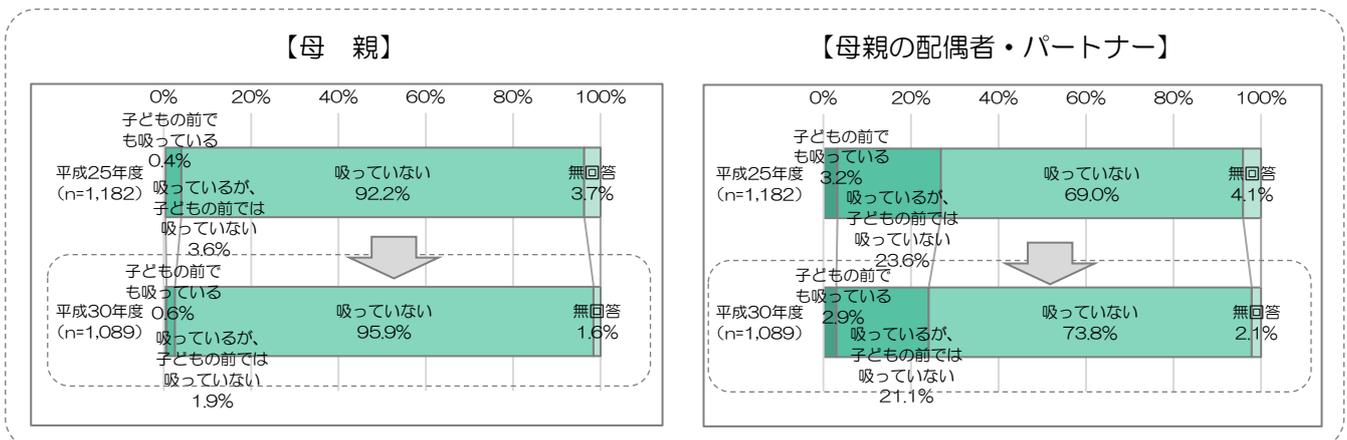
【妊娠中】

妊娠中、「タバコを吸っていたか」について、妊婦については吸っていたと回答した方が0.3%となり、平成25年度調査と比較すると0.9%減っています。パートナーについては妊婦の前で吸っていたと回答した方は3.0%となり、平成25年度調査と比較すると1.2%減っています。



【現在】

現在、母親について、「子どもの前で吸っている」と回答した方が0.6%、「吸っているが、子どもの前では吸っていない」と回答した方が1.9%となり、平成25年度調査と比較するとタバコを吸っている方が1.5%減っています。パートナーについては「子どもの前で吸っている」と回答した方が2.9%となり、平成25年度調査と比較するとタバコを吸っている方が2.8%減っています。

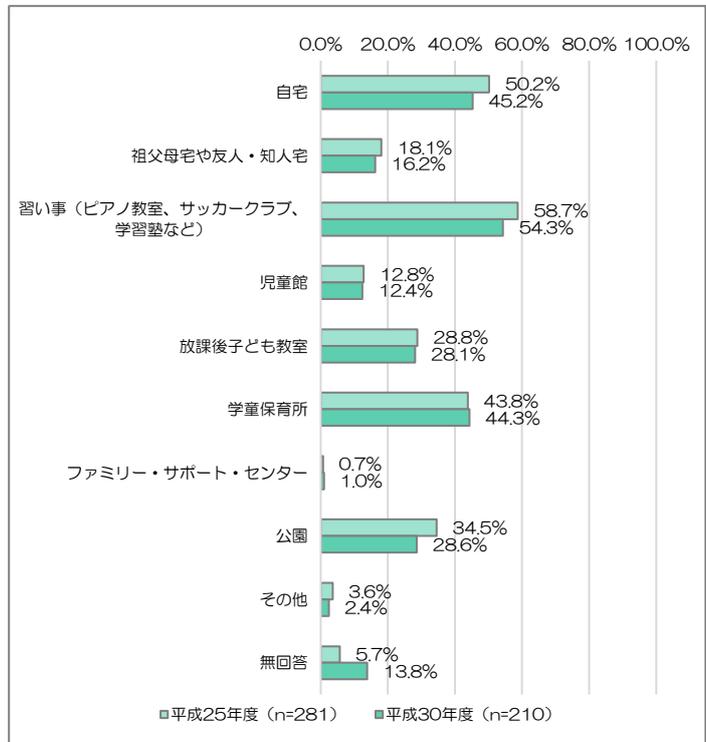


1.3 お子さんの小学校就学後における放課後の過ごし方について

【お子さんが5歳以上の方のみ回答】

問65 お子さんについて、小学校就学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

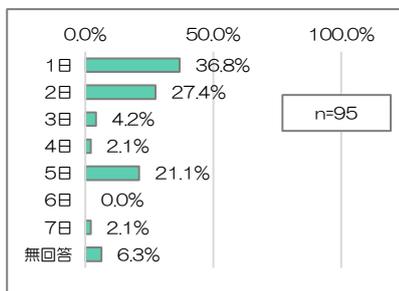
小学校就学後、放課後の時間で過ごしてもらいたい場所として「習い事」が最も多く54.3%となり、次いで「自宅」が45.2%、「学童保育所」が44.3%となっています。平成25年度調査と比較すると過ごさせたい場所として大きな変化は見られていません。



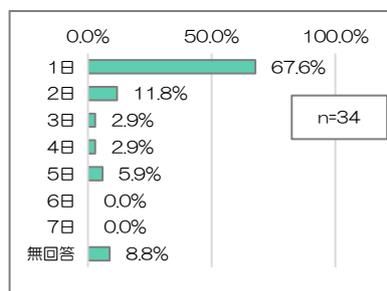
その他・・・放課後等デイサービス（3）
友達の家（2）

また、それぞれの場所における週当たり希望日数については以下のとおりとなっています。

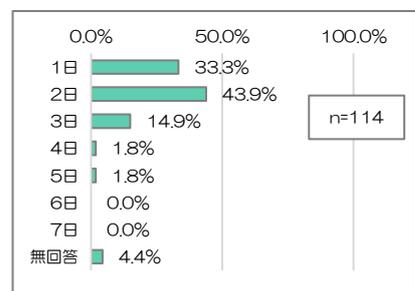
【自宅】



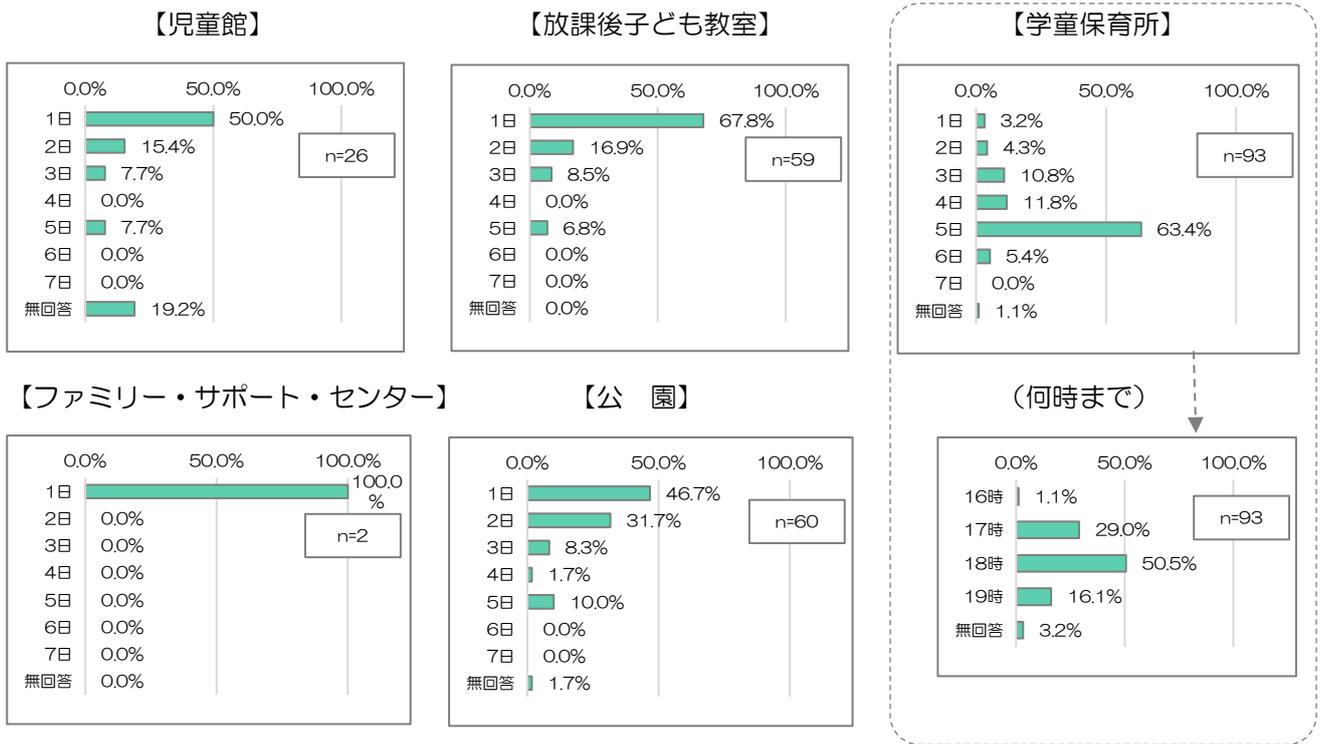
【祖父母宅や友人・知人宅】



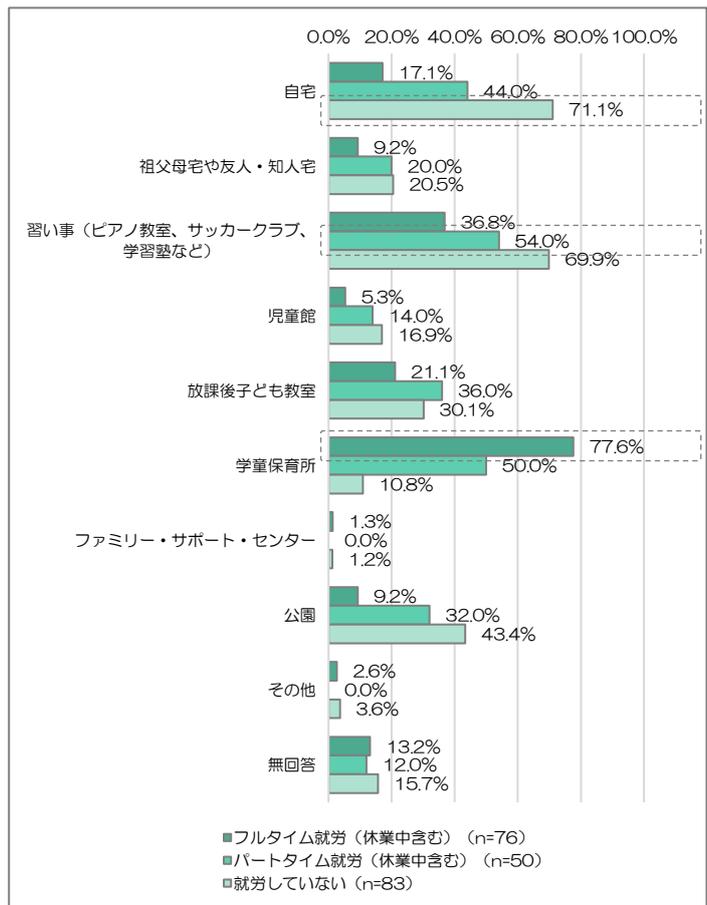
【習い事】



第2章 調査結果（I. 就学前児童の保護者調査）



母親の就労状況別による小学校就学後、放課後の時間で過ごしてもらいたい場所は右のとおりとなり、フルタイム就労（フルタイムで就労しているが、産休・育休介護休業中の方を含む）の方については「学童保育所」が最も多く77.6%、パートタイム就労（パートタイムで就労しているが、産休・育休介護休業中の方を含む）の方については「習い事」が最も多く54.0%、就労していない（就労したことがない方を含む）方については「自宅」が最も多く71.1%となっています。

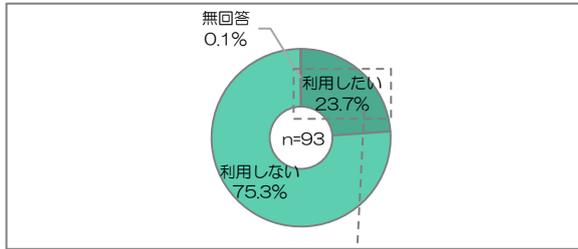


【学童保育所の利用を希望された方のみ回答】

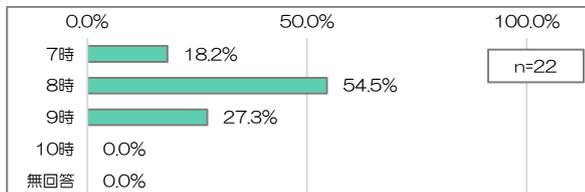
問66 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に学童保育所の利用希望はありますか。（それぞれ1つに○、数字を記入）

土曜日と日曜日・祝日の学童保育所の利用希望について、土曜日は23.7%、日曜日・祝日は7.5%の方が利用したいと回答しています。

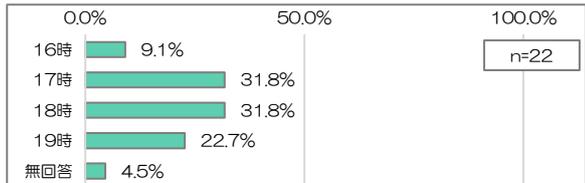
【土曜日】



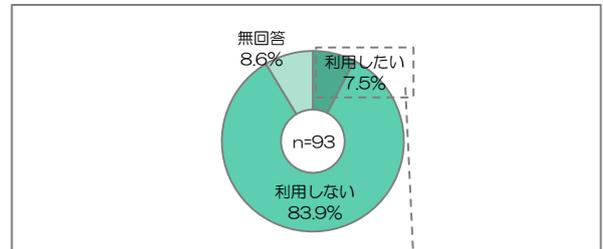
(開始時刻)



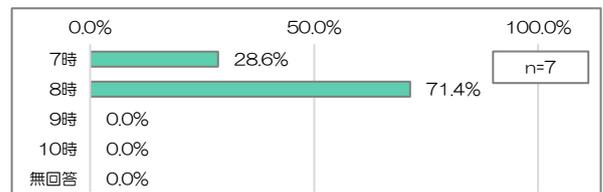
(終了時刻)



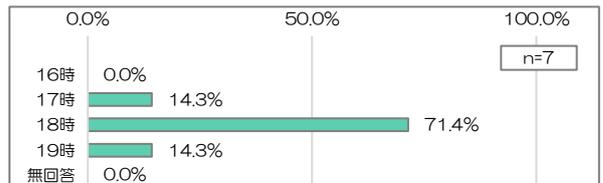
【日曜日・祝日】



(開始時刻)



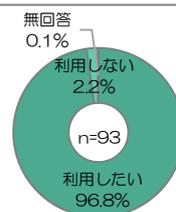
(終了時刻)



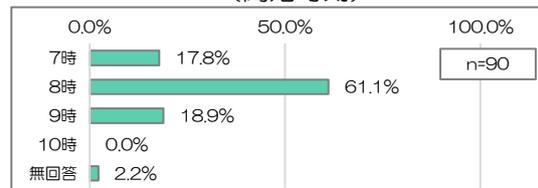
【学童保育所の利用を希望された方のみ回答】

問67 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み・春休みの長期休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。（1つに○）

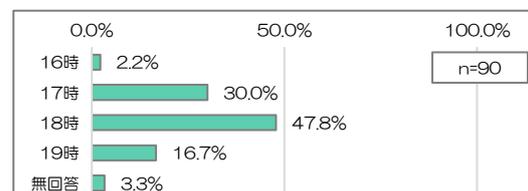
お子さんの夏休み・冬休み・春休みの長期休暇期間中の学童保育所の利用希望について利用したいと回答した方については96.8%と、高い利用希望となっています。



(開始時刻)



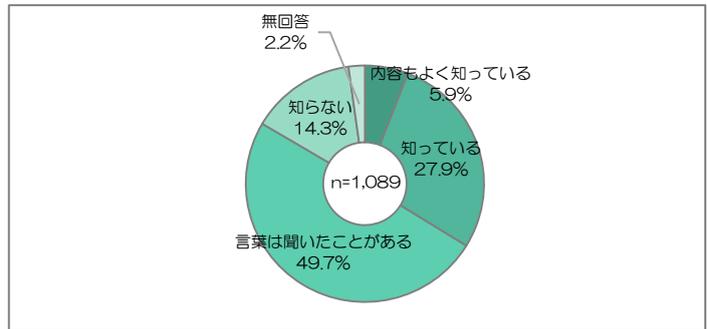
(終了時刻)



1.4 児童虐待に関することについて

問68 (1) 「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)を知っていますか。(1つに○)

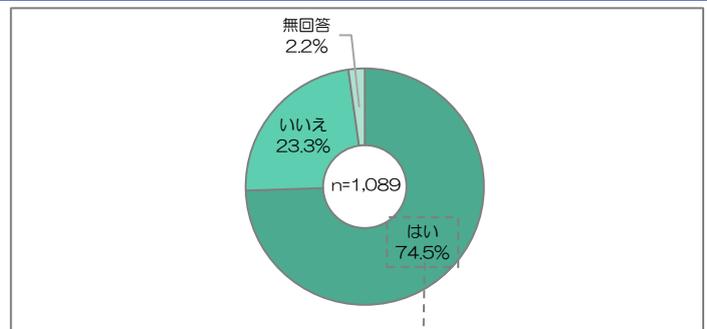
「児童虐待の防止等に関する法律」について「言葉は聞いたことがある」と回答した方が最も多く49.7%となっています。



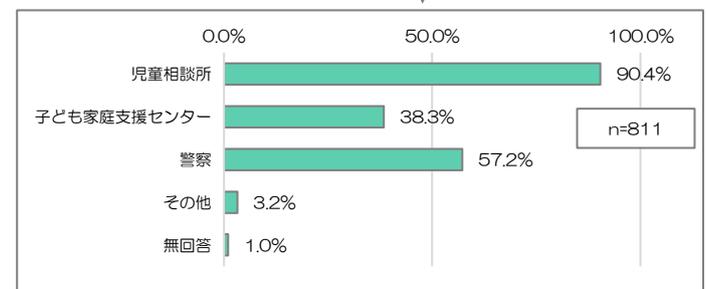
問68 (2) 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。(1つに○)

また、通報先を知っている場合、通報先と考える機関はどこですか(あてはまるものすべてに○)

児童虐待を発見した場合の通報先を知っていると回答した方の割合は74.5%となっています。



また、通報先として「児童相談所」と回答した方は90.4%となっています。



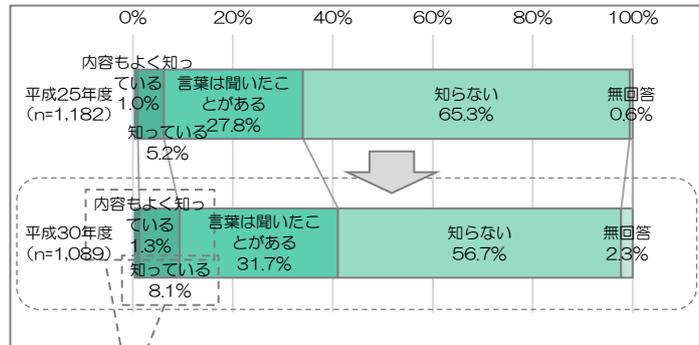
その他・・・189番(10)
市役所(5)
民生委員(3)

15 小金井市子どもの権利に関する条例について

問69 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。（1つに〇）

「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方は9.4%となっています。

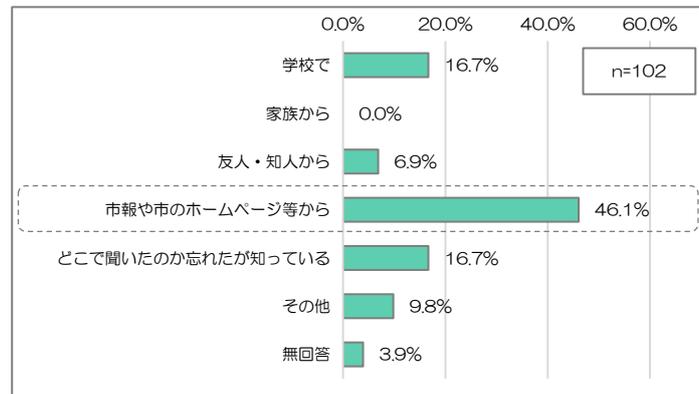
また、平成25年度調査と比較すると、「知らない」と回答した方の割合が8.6%減少しています。



【「小金井市子どもの権利に関する条例」について内容もよく知っている、または知っている方のみ回答】

問70 「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初にどこで知りましたか。（1つに〇）

「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「市報や市のホームページ等から」が最も多く、46.1%となっています。

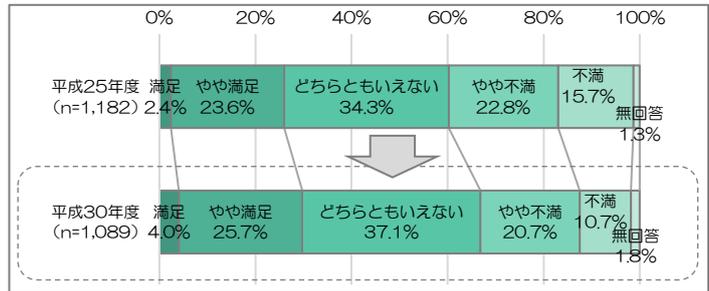


その他・・・保育園・幼稚園（4）
職場（3）

16 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について

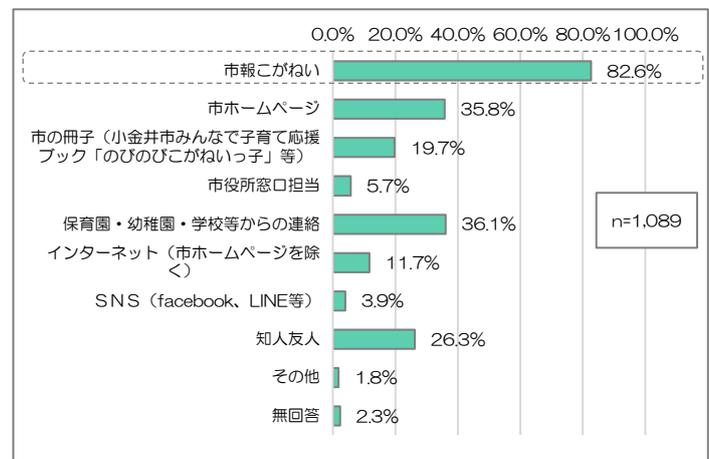
問71 小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください（1つに〇）

小金井市の子育ての環境や支援への満足度として「満足」「やや満足」と回答した方が29.7%となる一方、「不満」「やや不満」と回答した方が31.4%と、不満の方が満足より上回っています。また、平成25年度調査と比較すると、「満足」「やや満足」と回答した方の割合が3.7%増加しています。



問72 小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。（あてはまるものすべてに〇）

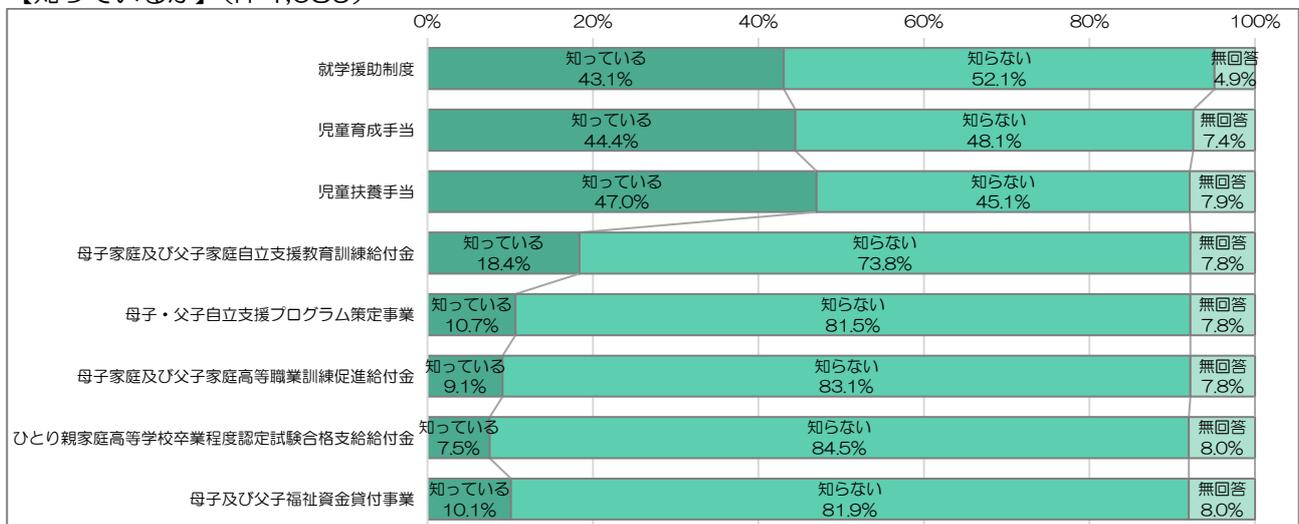
子育て支援策の情報入手先として、「市報こがねい」が最も多く82.6%となっています。



問73 下記の小金井市の施策について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがない場合は、今後利用したいかお答えください。（1つに〇）

各施策の認知度について以下のとおりとなっており、「児童扶養手当」を始め、「就学援助制度」「児童育成手当」については約半数の方が知っているとなっています。

【知っているか】(n=1,089)



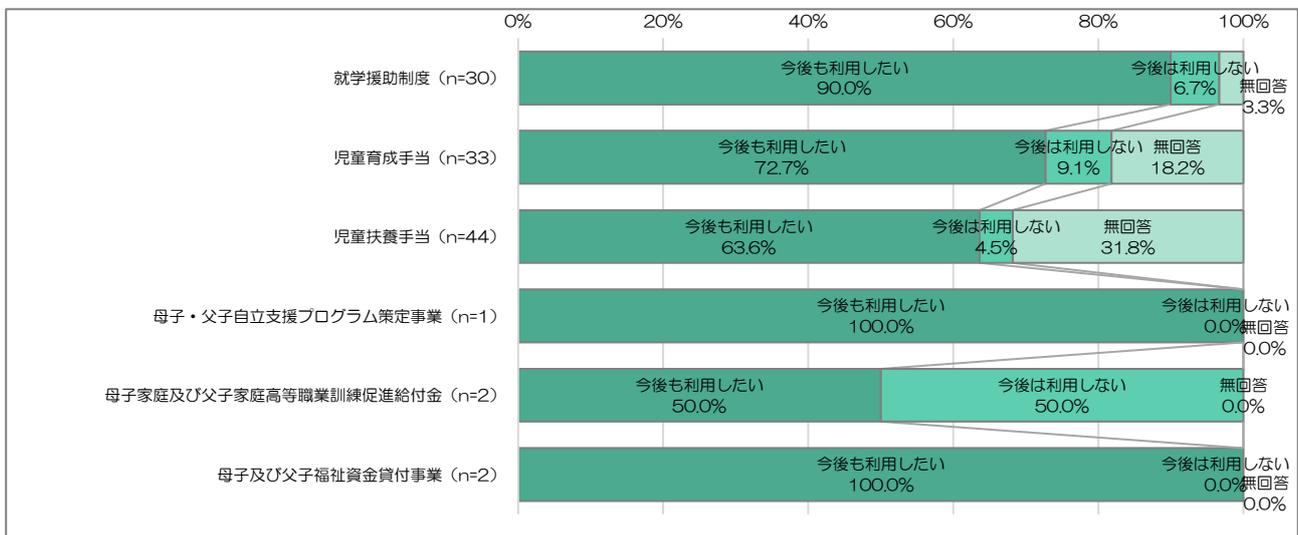
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「児童扶養手当」を始め、「就学援助制度」「児童育成手当」については6%から8%の方が利用しているとなっています。

【これまでに利用したことがあるか】



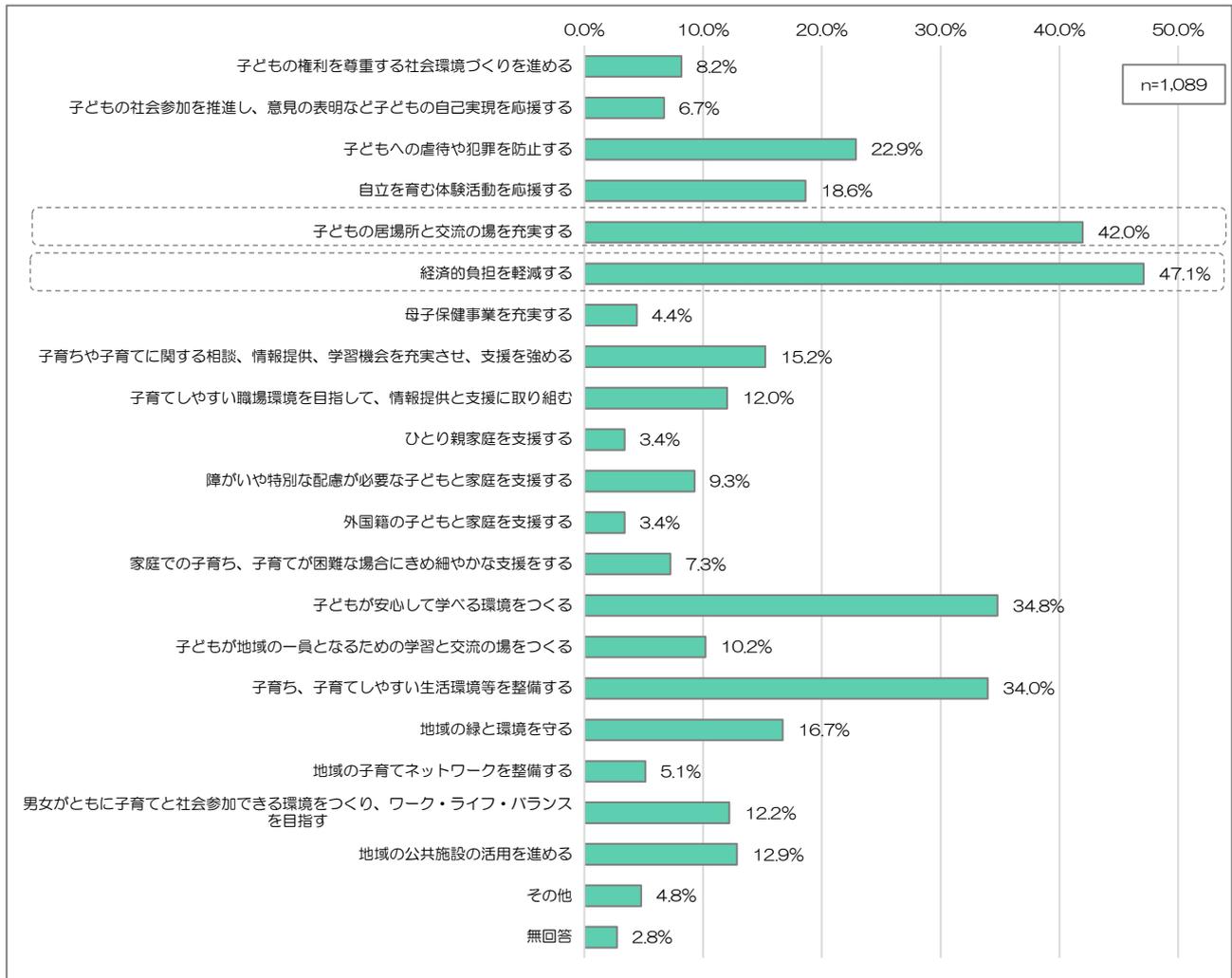
各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、各事業とも再度の利用希望率が高くなっています。

【今後も利用したいか】



問74 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。（3つまでに○）

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこととして、「経済的負担を軽減する」が最も多く47.1%、次いで「子どもの居場所と交流の場を充実する」となっています。



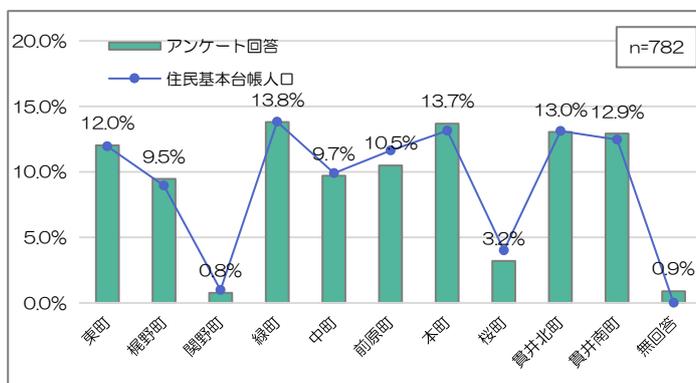
その他・・・認可保育園、保育園の拡充、充実（14）
 小さい子が遊べる公園の拡充（7）
 医療費の補助拡充（5）

Ⅱ. 就学児童の保護者調査

1 回答者属性

問1 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による6歳から12歳の地区別人口割合と同等割合となっています。



<参考>

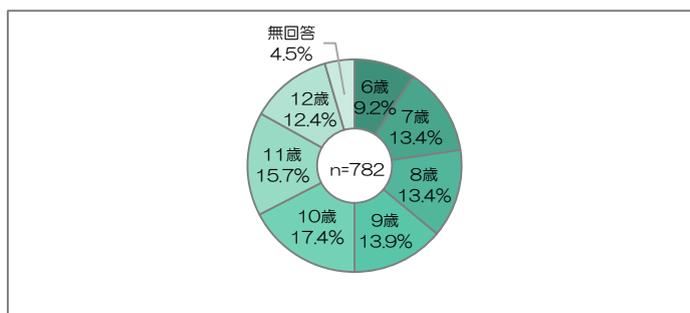
住民基本台帳による町別（6歳～12歳）人口（平成30年12月1日現在）

町名	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	合計
6～12歳人口(人)	783	587	65	906	649	763	862	262	859	816	6,552
割合(%)	12.0%	9.0%	1.0%	13.8%	9.9%	11.6%	13.2%	4.0%	13.1%	12.5%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町別年齢別人口より

問2 お子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）（平成30年12月1日現在）

アンケート回答者のお子さんの年齢割合は右のとおりとなっています。なお6歳児並びに12歳児については、本アンケート対象が就学児童を対象としている為、割合が少なくなっています。（6歳でかつ未就学児、12歳でかつ中学生は対象外）



<参考>

住民基本台帳による年齢別人口（平成30年12月1日現在）

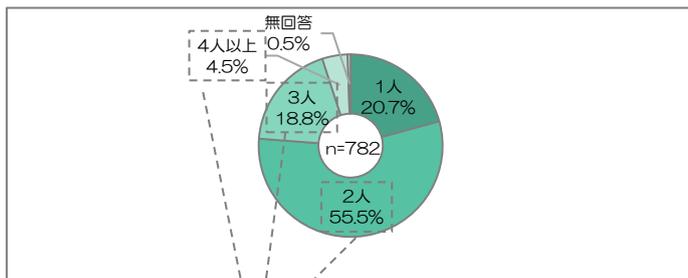
年齢	6歳※	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳※	合計
人口(人)	969	986	956	950	943	924	824	6,552
割合(%)	14.8%	15.0%	14.6%	14.5%	14.4%	14.1%	12.6%	100.0%

※6歳は就学前児童を、12歳は中学生を含む

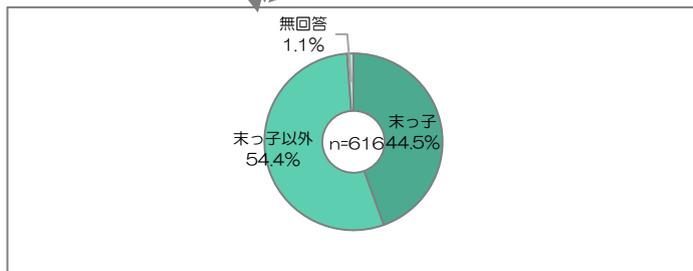
(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町別年齢別人口より

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。（数字を記入）

きょうだいの人数について「2人きょうだい」が最も多く、55.5%となっています。



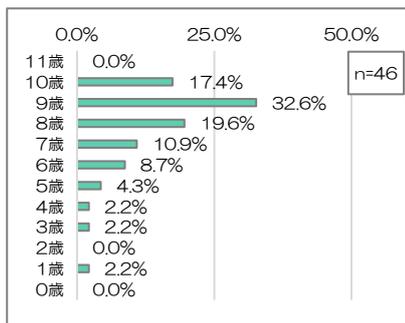
また、きょうだいが2人以上の場合、回答の対象となるお子さんが末っ子である割合は44.5%となっています。



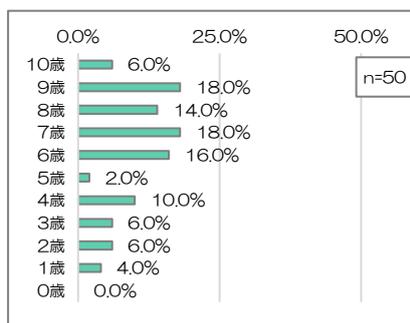
問4 お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月を記入してください。（数字を記入）

年齢毎の末子の年齢割合は以下のとおりとなっています。

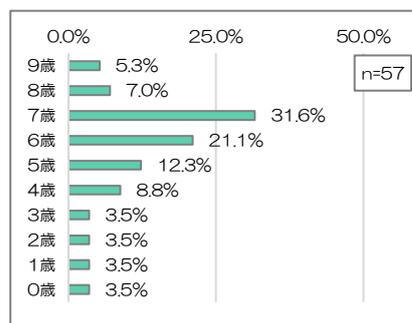
【12歳】



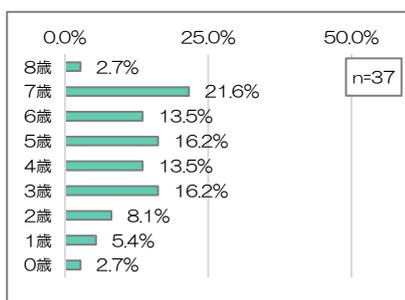
【11歳】



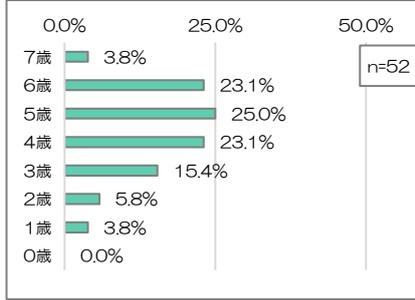
【10歳】



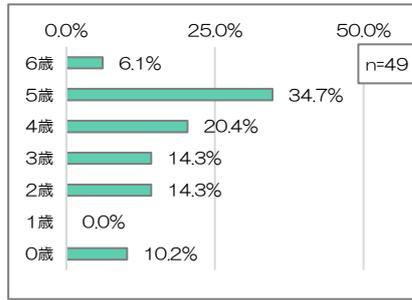
【9歳】



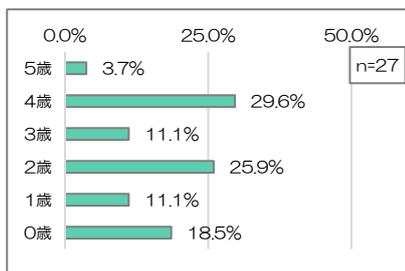
【8歳】



【7歳】

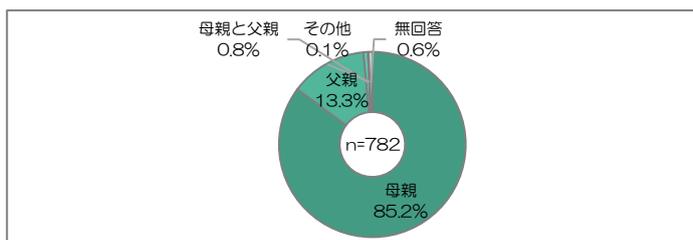


【6歳】



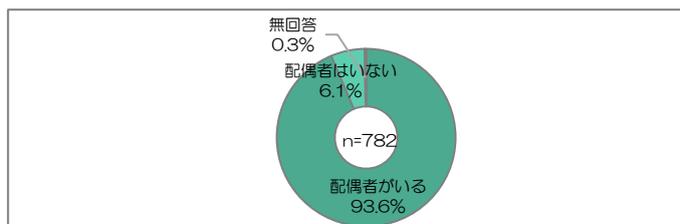
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

調査票の回答者について「母親」が最も多く85.2%となっています。また、「母親と父親」と回答した方は0.8%となっています。



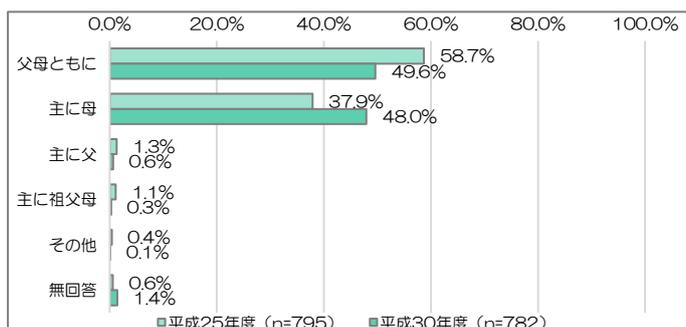
問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つに○）

調査票の回答者の配偶者の有無について「配偶者はいない」と回答した方は6.1%となっています。

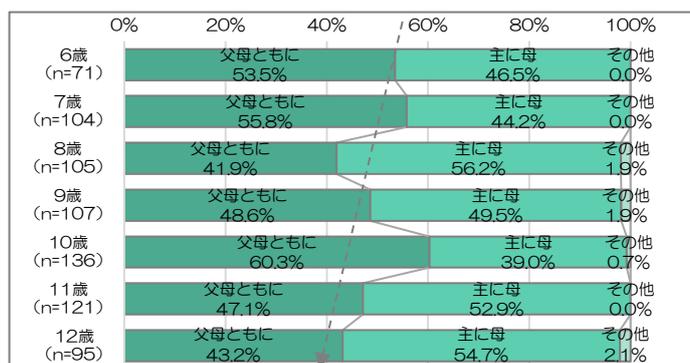


問7 お子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

お子さんの子育てについて、「父母ともに」が最も多く49.6%、「主に母」が48.0%となっています。

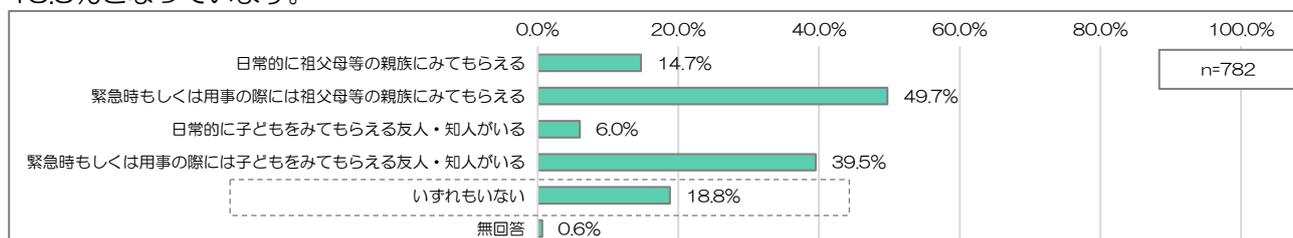


なお、お子さんの年齢別における子育ての主な方についての割合は、年齢が上がるごとに「父母ともに」と回答する方の割合が下がっていく傾向にあります。



問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

「緊急時や用事があるときにお子さんをみてもらえる祖父母等の親族がいる」と回答した方が最も多く49.7%となっています。一方「日常的」となると14.7%にとどまり、「いずれもない」と回答した方は18.8%となっています。

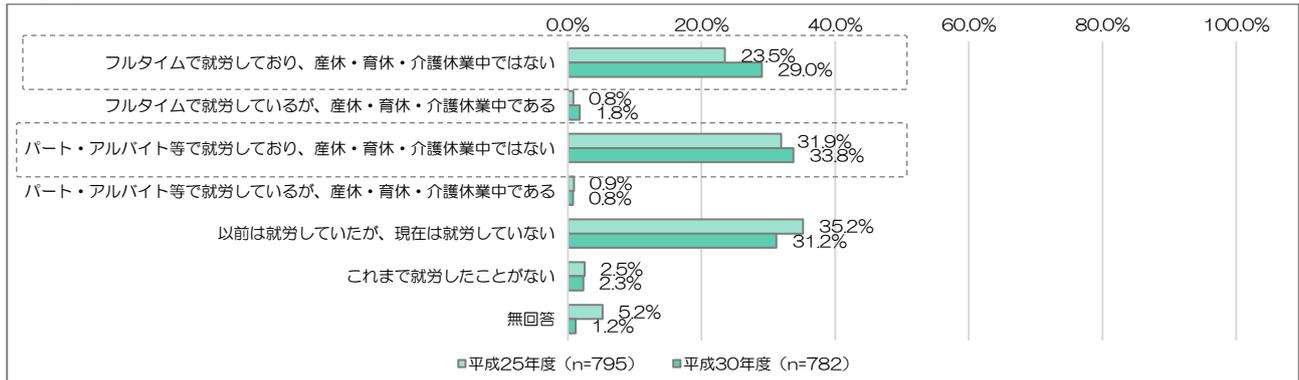


2 お子さんの保護者の就労状況について

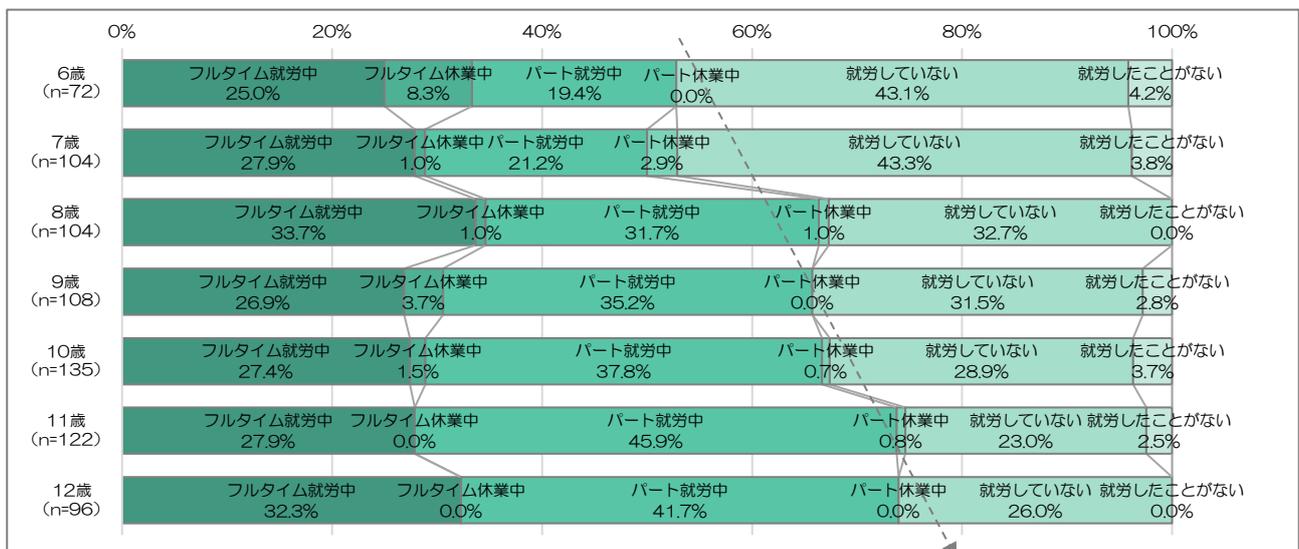
問9 お子さんの保護者の現在の就労状況をお答えください。（1つに〇）

【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」方が29.0%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」方が33.8%となり、休業せず就労している方の割合が62.8%と6割を超えています。また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイムでの就労」の方が5.5%、また「フルタイムで就労中であるが産休・育休中である」方が1.0%増えており、フルタイムでの就労率が6.5%増えています。

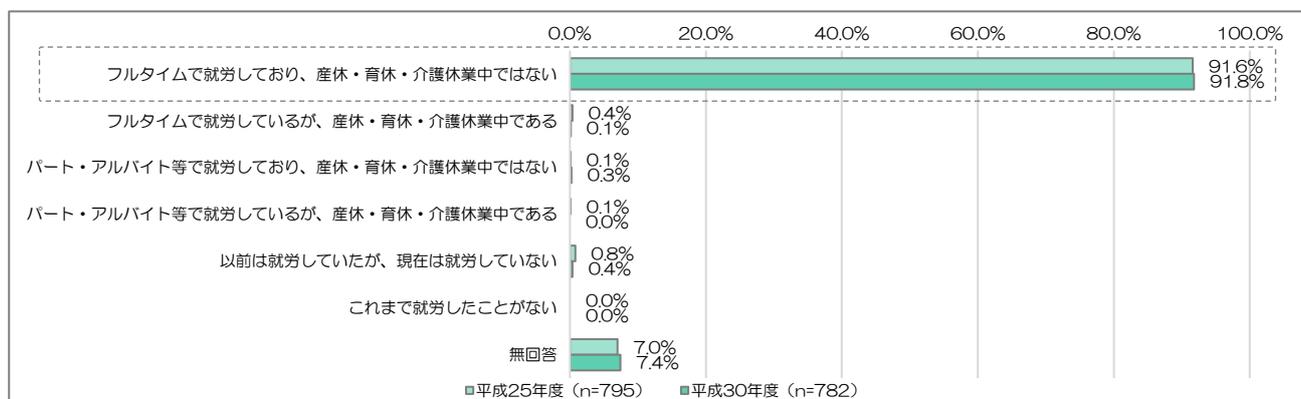


お子さんの年齢別（きょうだいがいる場合は末子の年齢）就労状況について、6歳児ではフルタイムまたはパートタイムで就労中の方は44.4%ですが、8歳児では65.4%と6割を超え、11歳児では73.8%と7割以上の方が就労しています。



【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」と回答したが91.8%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」と回答した方が0.3%となっています。平成25年度調査と比較すると、就労に関して大きな変化はありません。



【家族類型】

<フルタイム共働き>

父親・母親ともに「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」

<フルタイム・パートタイム共働き>

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

<パートタイム共働き>

父親・母親ともに「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

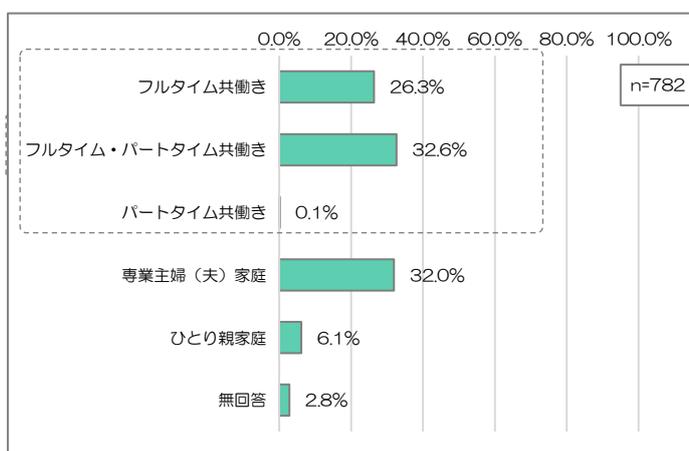
<専業主婦（夫）>

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」または「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「以前は就労していたが現在は就労していない」または「就労したことがない」

<ひとり親家庭>

「配偶者がいない」

上記のとおり家族類型とした際、「フルタイム・パートタイム共働き」が最も多く、32.6%となっています。「フルタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭は58.9%と、約6割となっています。

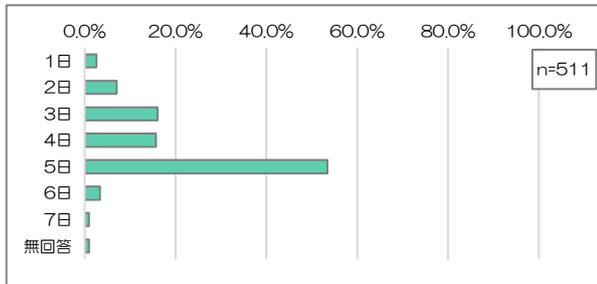


【「就労している」方のみ回答】

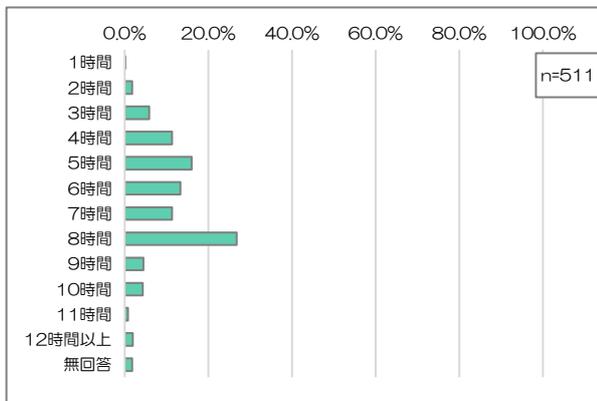
問10 1週当たりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。（数字を記入）

【母親 (n=511)】

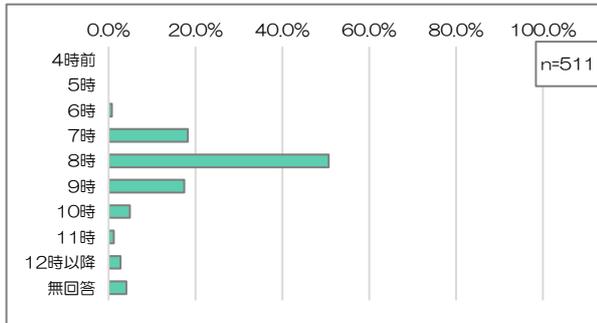
(1週間あたりの就労日数)



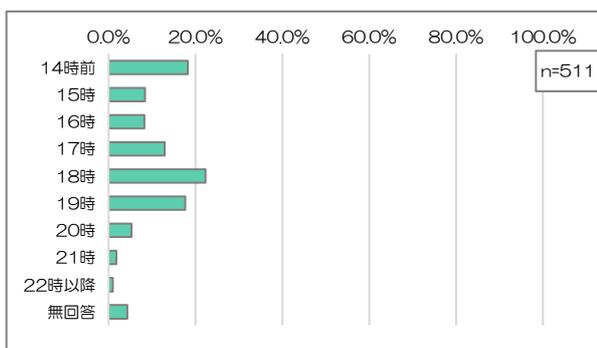
(1日あたりの就労時間)



(家を出る時刻)

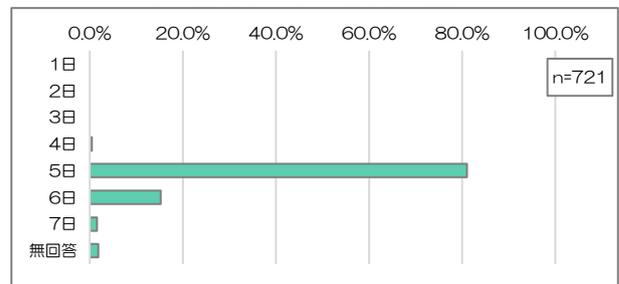


(帰宅時刻)

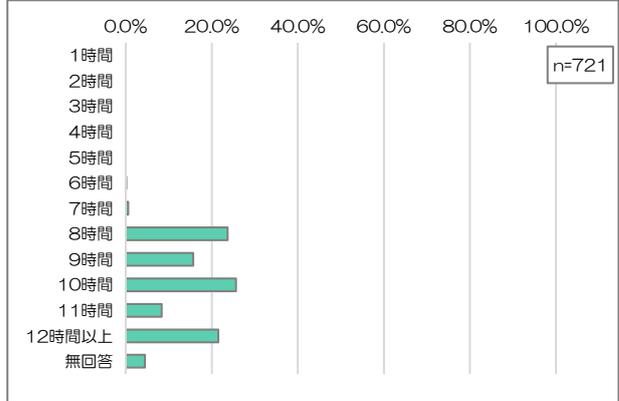


【父親 (n=721)】

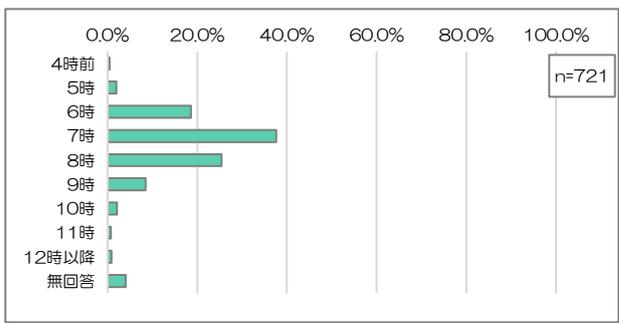
(1週間あたりの就労日数)



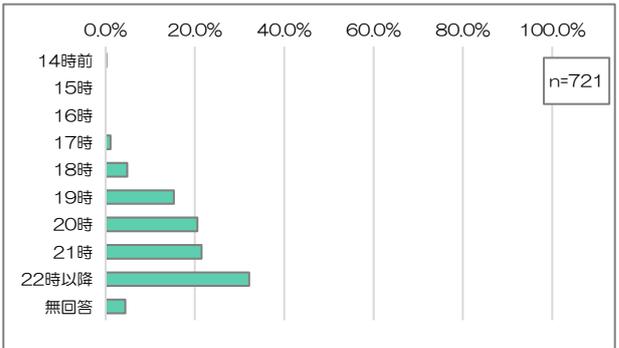
(1日あたりの就労時間)



(家を出る時刻)

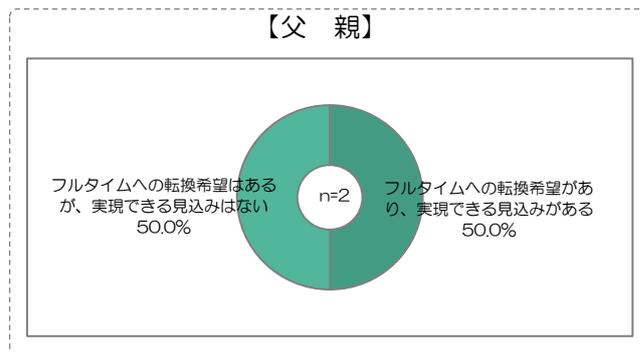
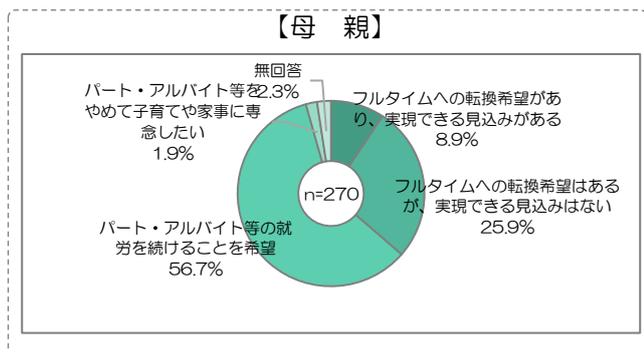


(帰宅時刻)



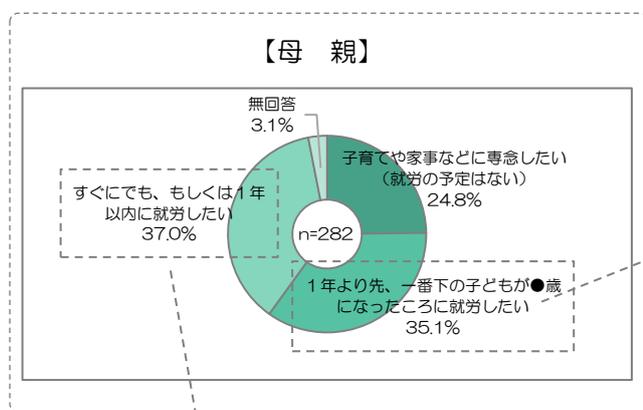
【「パート・アルバイト等で就労している」方のみ回答】

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに〇）

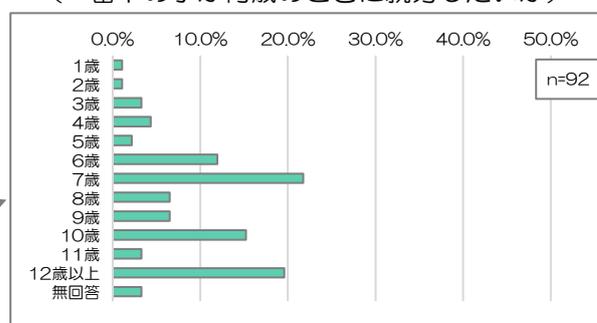


【「現在は就労していない」方のみ回答】

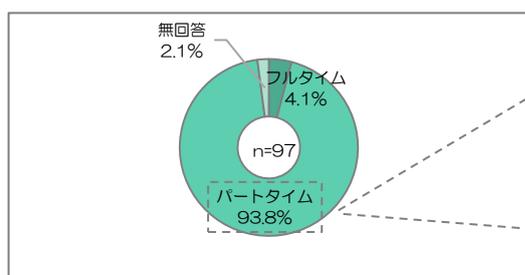
問12 就労したいという希望はありますか。（1つに〇）



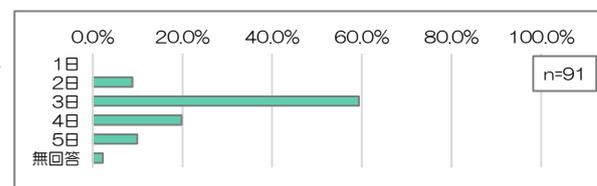
（一番下の子どもが何歳のときに就労したいか）



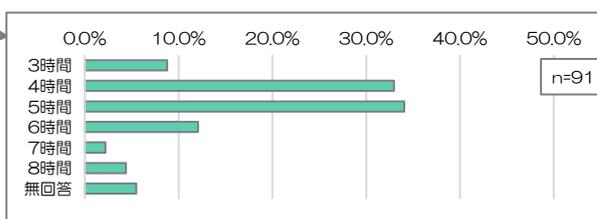
（すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態）



（パートタイムを希望する場合の1週あたり日数）

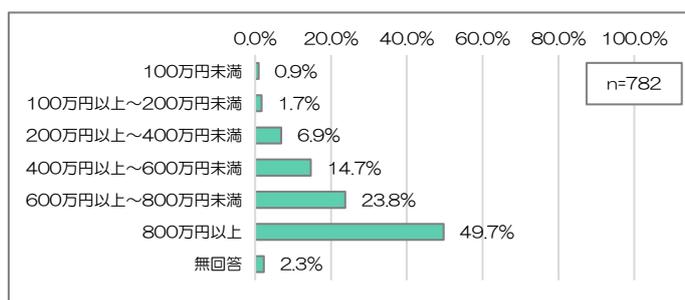


（パートタイムを希望する場合の1日あたり時間）



問13 現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。（1つに〇）

年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」と回答した方が最も多く、49.7%と、約半数となっています。

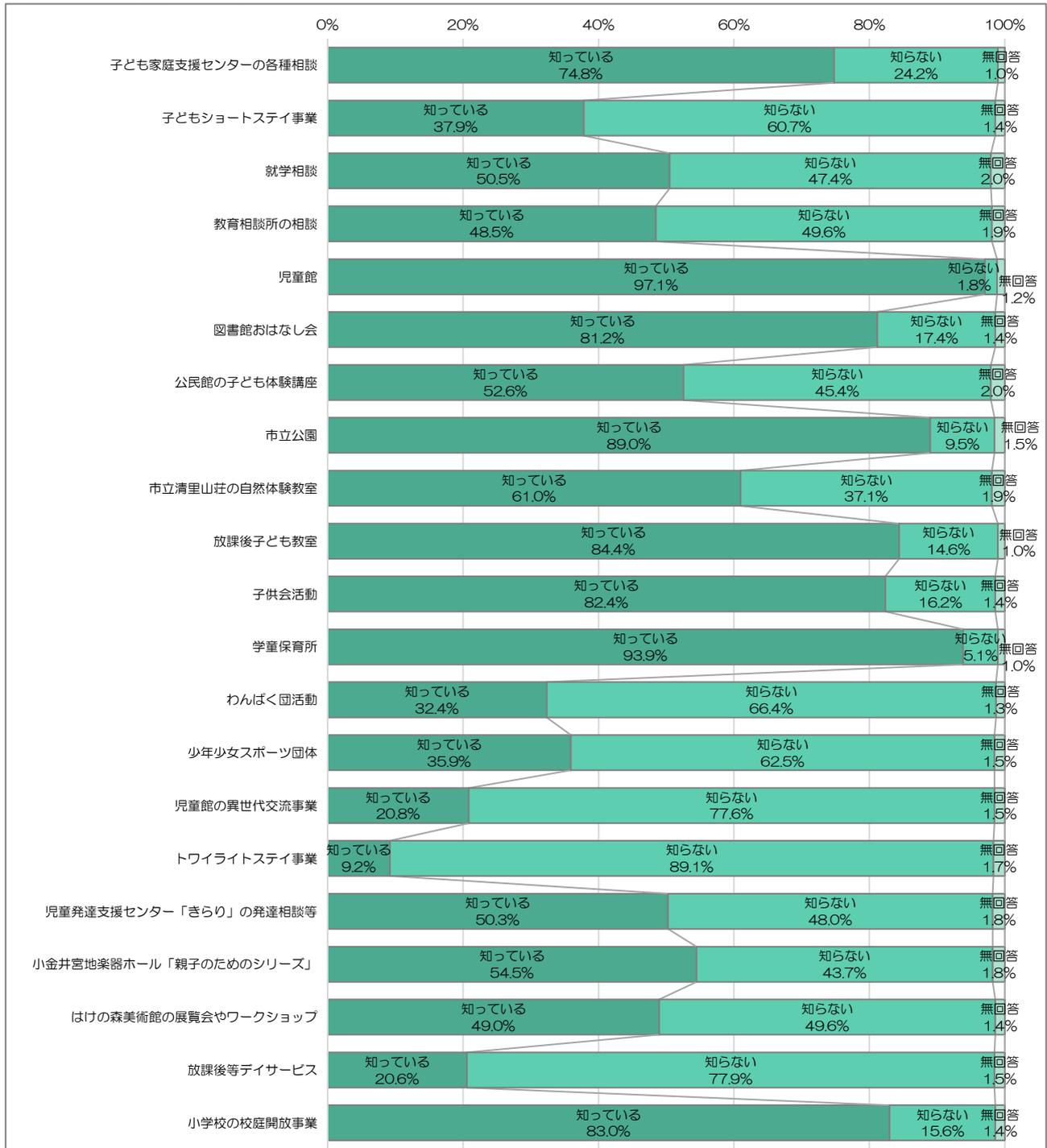


3 子育て全般に関して

問14 下記のサービスや事業について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は、満足したか、今後も利用したいかお答えください。（1つに○）

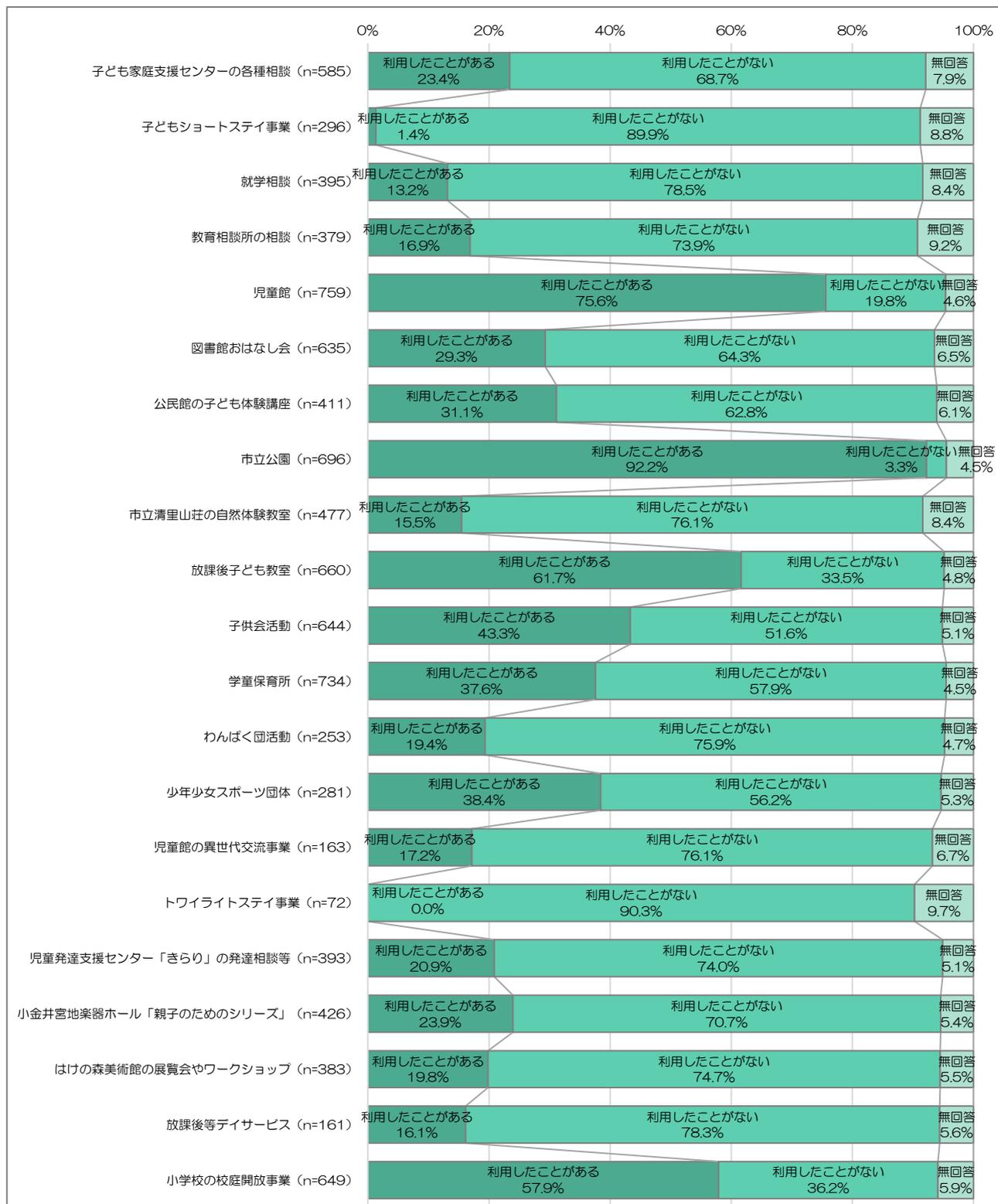
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「児童館」が97.1%と最も高く、次いで「学童保育所」が93.9%と高い認知度となっている一方、「トワイライトステイ事業」（小金井市では実施していない）が9.2%、「放課後等デイサービス」が20.6%、「児童館の異世代交流事業」が20.8%と認知度が低くなっています。特に異世代交流事業は認知度が高い「児童館」での実施に反した認知度の結果となっています。

【知っている】(n=782)



各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「市立公園」を始め、「児童館」が75.6%と高い利用率となっています。一方、「就学相談」が13.2%、「教育相談所の相談」が16.9%と、相談に関する利用率が低くなっています。

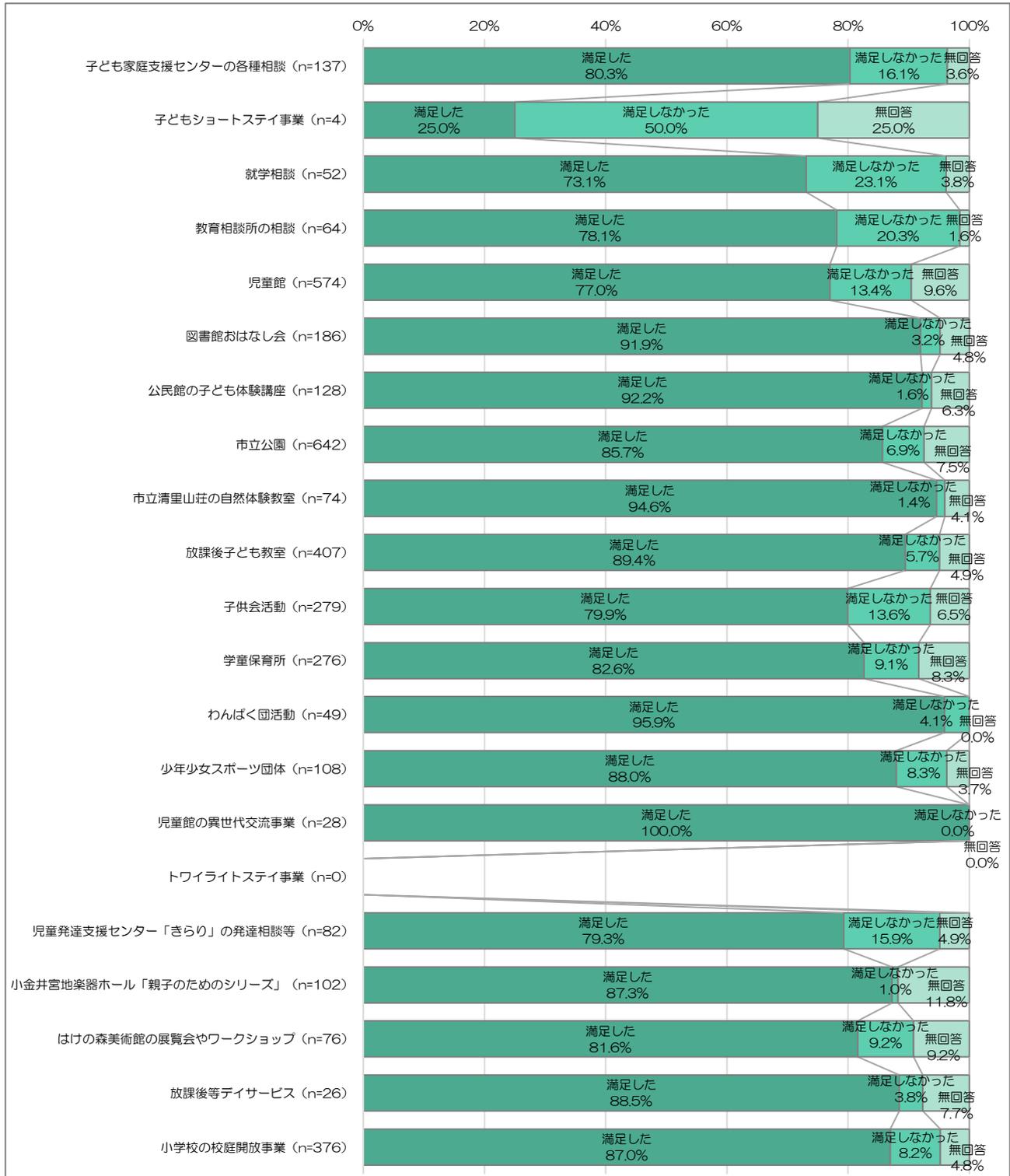
【これまでに利用したことがあるか】



第2章 調査結果（Ⅱ. 就学児童の保護者調査）

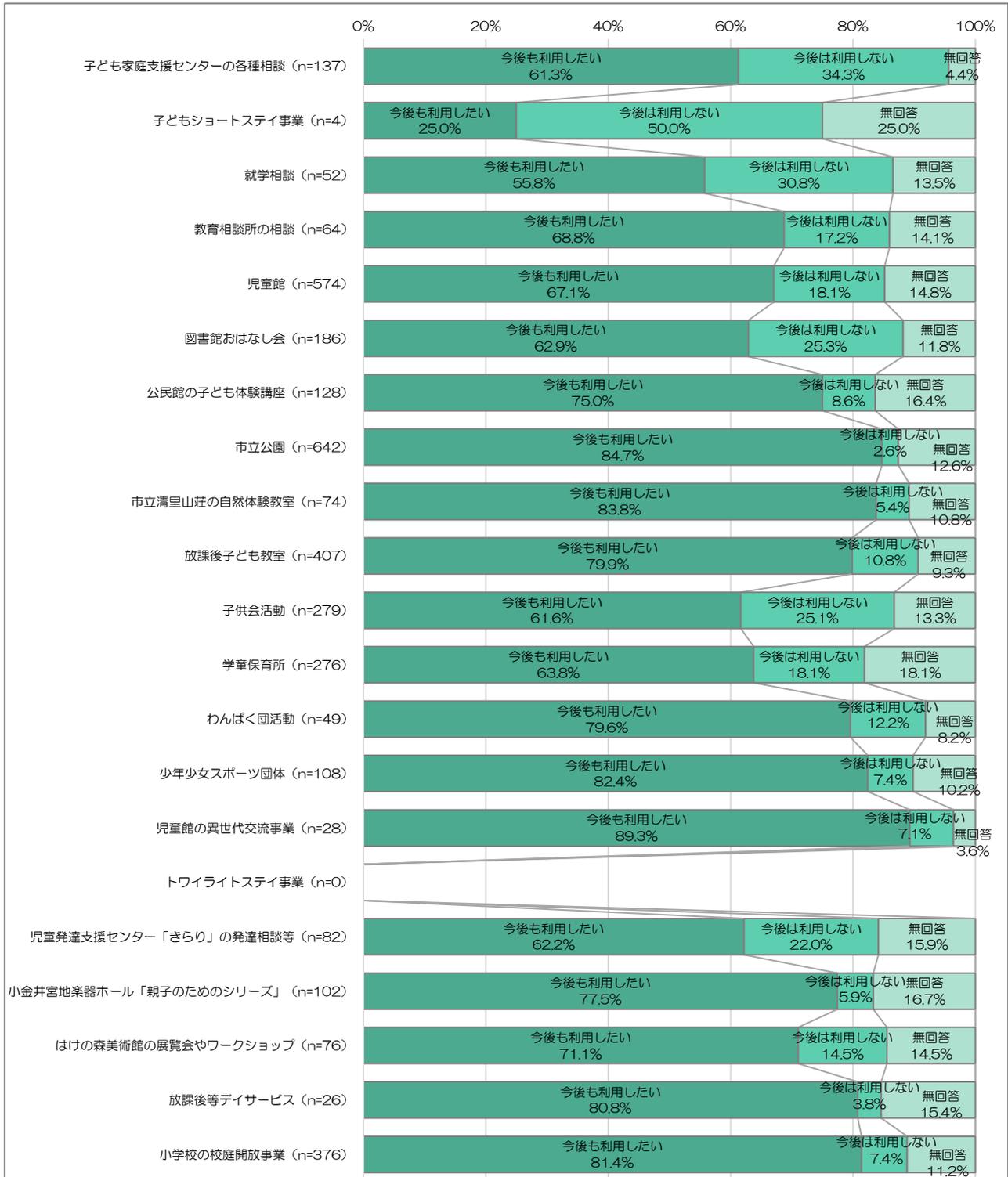
各事業の満足度について以下のとおりとなっており、「児童館の異世代交流事業」が100.0%、「わんぱく団活動」が95.9%、「市立清里山荘の自然体験教室」が94.6%と高い満足度となっています。これらの事業は、高い満足度に対して、認知度が低く、利用率も低いことから、認知度や利用率を高め、より多くの方々に利用していただくことが望まれます。

【利用したことがある場合、満足したか】



各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「児童館異世代交流事業」が89.3%、「市立清里山荘の自然体験教室」が83.8%と、満足度とともに再度の利用希望率も高くなっています。

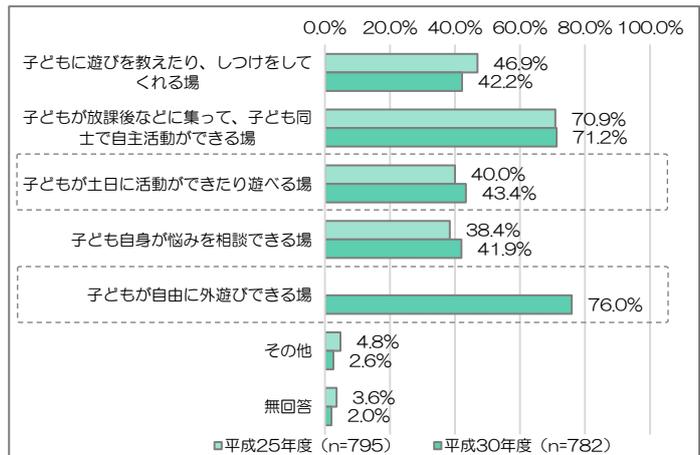
【今後も利用したいか】



問15 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

望ましいと思う子ども同士が交流等を行うことのできる場として「子どもが自由に外遊びできる場」（平成30年度調査より選択肢を追加）が最も多く76.0%となっています。

また、平成25年度調査と比較すると、「土日に活動ができたり遊べる場」が3.4%増えており、平日含めて日頃から外遊びできる場の提供が求められています。

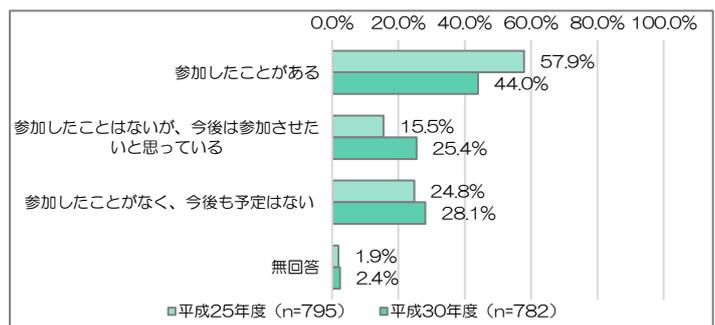


その他・・・ボール遊びできる場（7）
宿題ができる場（3）

問16 お子さんは地域活動や、学校や習い事以外でのグループ活動などに参加されたことがありますか。（1つに○）

地域活動やグループ活動などの参加状況について、「参加したことがある」と回答した方が44.0%と半数以下となっています。

なお、平成25年度調査と比較すると参加率が13.9%下がっている一方、今後参加させたいとの回答率は9.9%上昇しています。

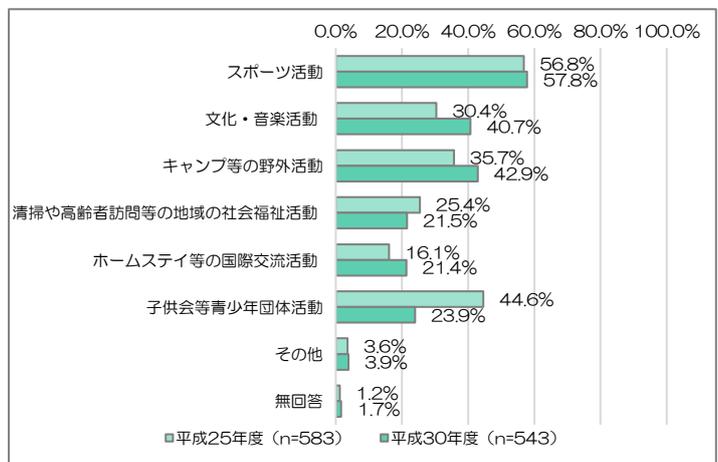


【地域活動やグループ活動などに参加したことがある、または今後参加させたいと思う方のみ回答】

問17 参加したことがある、もしくは参加させたい地域活動やグループ活動の種類はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

参加したことがある、あるいは参加させたい活動として「スポーツ活動」が最も多く57.8%となっています。

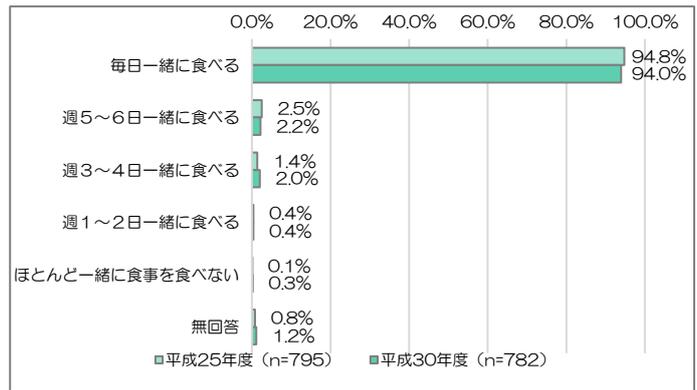
また平成25年度調査と比較すると「文化・音楽活動」が10.3%、「キャンプ等の野外活動」が7.2%伸びており、地域活動の参加率を高めることが求められています。



その他・・・阿波おどり（4）

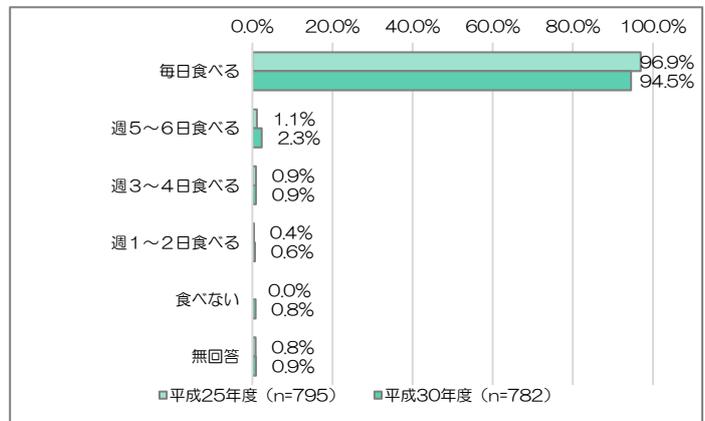
問18 お子さんは、家族の誰かと一緒に食事をとっていますか。（1つに○）

食事の際、家族の誰かと一緒にとっているかについて、「毎日一緒に食べる」と回答した方は94.0%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。



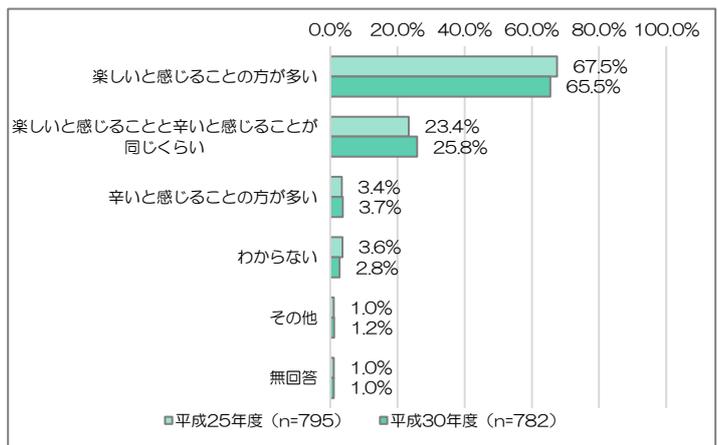
問19 お子さんは、毎日朝食をとっていますか。（1つに○）

朝食について「毎日食べる」と回答した方は94.5%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。



問20 子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。（1つに○）

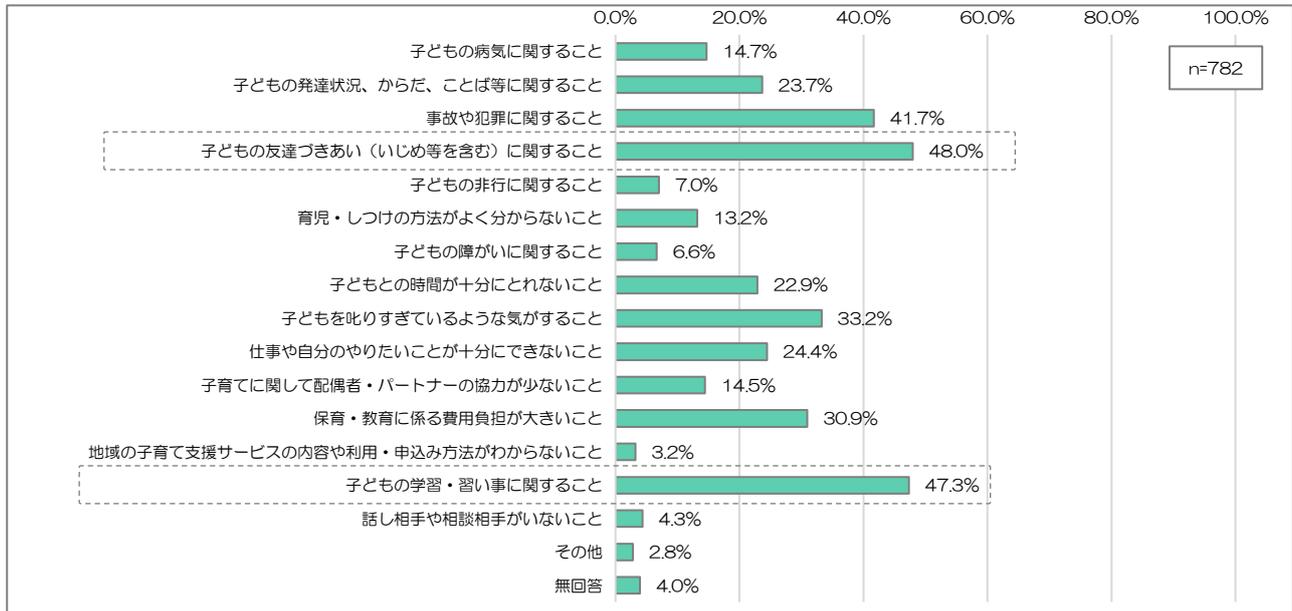
子育てを楽しんでいると感じるかについて、「楽しいと感じることが多い」と回答した方が最も多く65.5%となっています。平成25年度調査と比較してもその割合に大きな変化は見られていません。



第2章 調査結果（Ⅱ. 就学児童の保護者調査）

問21 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

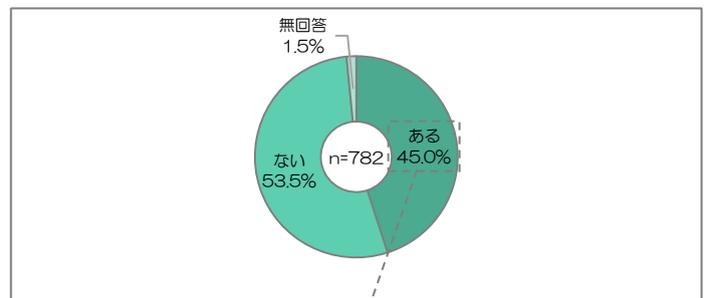
子育てに関して、日頃悩んでいること気になることとして「子どもの友達つきあいに関すること」が最も多く48.0%となっており、次いで「子どもの学習・習い事に対すること」が47.3%となっています。



その他・・・医療費に関すること（3）
 タブレット等の視聴やゲームに関すること（2）
 小児科に関すること（2）

問22 お子さんの中学校進学に関する不安はありますか。（1つに○）

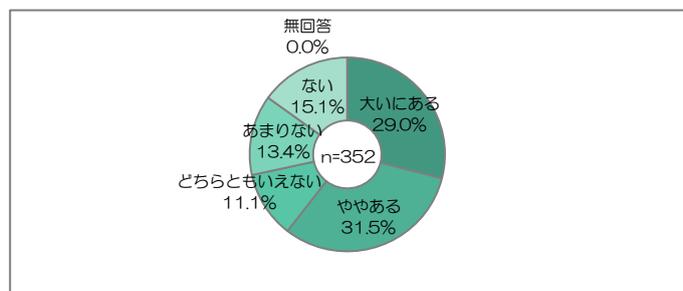
中学校進学に関する不安について「ある」と回答した方については45.0%となっています。



【中学進学に関する不安がある方のみ回答】

問23 進学における金銭面での不安はありますか（1つに○）

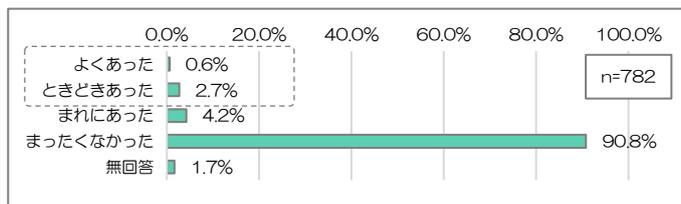
進学における金銭面での不安について、「大いにある」「ややある」と不安があると回答した方が60.5%とり、6割の方が金銭面について不安に思っています。



問24 お金が足りなくて以下の経験が、過去1年間にありましたか（それぞれ、1つに○）

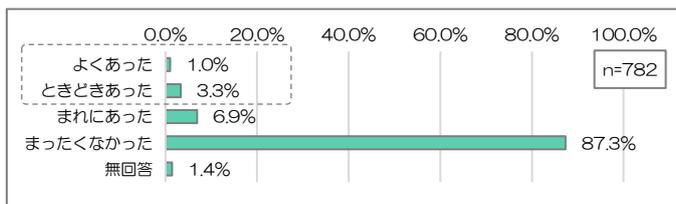
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は 3.3%となっています。



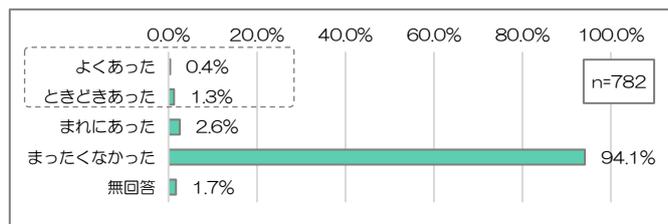
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は 4.3%となっています。



【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

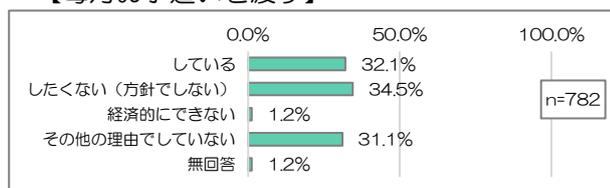
お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は 1.7%となっています。



問25 下記のことについて、あなたの家庭では、お子さんに行っていますか。（それぞれ、1つに○）

お子さんに行っていることとして「誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする」については「している」と回答した方が 98.0%と多くなっています。また、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」ことについても「している」と回答した方が 39.6%となり、約 4 割の方が学習塾に通わせている（または家庭教師に来てもらう）こととなっています。

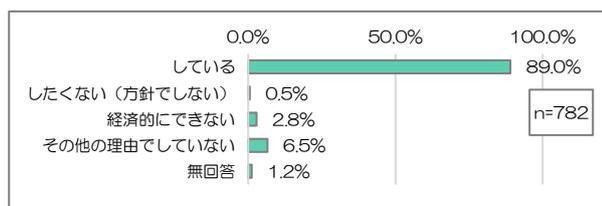
【毎月お小遣いを渡す】



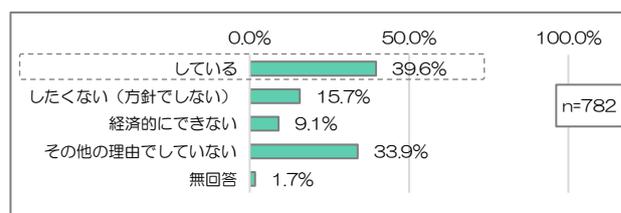
【毎年新しい洋服・靴を買う】



【習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる】

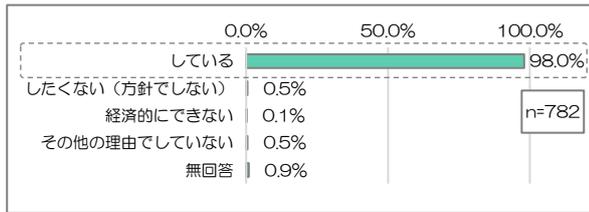


【学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）】

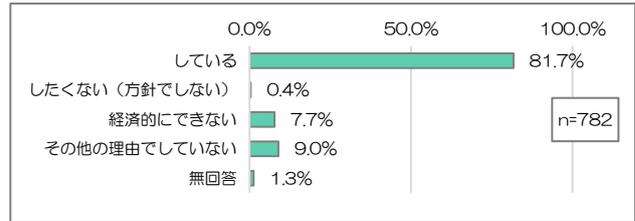


第2章 調査結果（Ⅱ. 就学児童の保護者調査）

【誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする】



【1年に1回くらい1泊以上の家族旅行に行く】

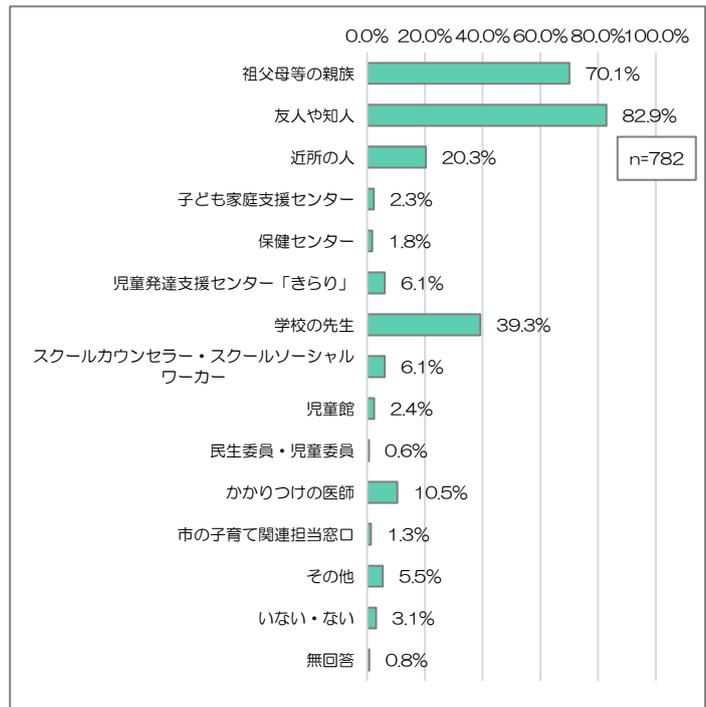


【クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】



問26 子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所はありますか。（あてはまるものすべてに○）

子育て（教育を含む）をする上での相談できる人や場所について「友人や知人」が最も多く82.9%となっています。



その他・・・学童の先生（13）
配偶者（8）
学習塾の先生（7）

問27 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

サポートとして「放課後等に勉強をサポートしてくれる場があるとよい」というご意見が多く、放課後の単なる居場所づくりではなく、教育の機会を増やしてほしいとの意向が強く見られています。

また一時預かりに関するサポートの要望も多く、特に病気などの緊急時における一時預かりについて充実してほしいとの意見が多く見られています。また放課後の居場所づくりとして、ボール遊びを含めた安全に利用できる場所や、また学童保育については4年生以降の利用、夏休みの間の利用について多くの利用意向が見られています。

勉強のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・放課後に勉強をサポートしてくれる場所・人、無料で学習を見てくれる場があるとよい（27） ・専門的知識のある人による教育サポートがあるとよい（3） ・楽器、陶芸や絵画など芸術系の学びの場があるとよい（3） 	36
一時預かりの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・病気など緊急の時に、子どもを預けられる所があるとよい（19） ・土曜、休日、夏休み、夜間に気軽に子どもを預けられる所があるとよい（6） ・一時預かりに関する費用の負担軽減を行ってほしい（3） 	30
放課後の居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・放課後から夕方まで子ども同士で遊べる安全な場所を提供してほしい（11） ・児童館を小学校区ごとに整備する等してほしい（4） ・子ども達が安心してボール遊びなど自由に遊べる場（公園）があったらよいと思う（4） 	26
学童の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・4年生以降小学生の間、学童を利用できるようにしてほしい（9） ・夏休み等の長期休みに学童を利用できるようにしてほしい（6） ・学童の要件、就労日数週4日を緩和してほしい（3） 	24
気軽に話ができる機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・同じ境遇や同じ世代で交流し話ができる機会がほしい（10） ・子育て先輩の親が話をする、話を聞いてあげる活動があるとよい（5） ・地域ごとにいろいろな世代の方と交流がもてるような催しがあればよい（2） 	20
相談しやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・教育、進学のことなど気軽に相談できる環境がほしい（13） 	18
情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援、子どもへの様々なプログラムやイベントについてもっと情報提供してほしい（6） ・塾や習い事の情報が多く得られるとよいと思う（2） ・よくある相談を公開したらいいのではと思う（2） 	17
見守り・安全環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時のパトロール・見守りを強化してほしい（8） ・防犯対策、セキュリティを強化してほしい（3） 	12
医療費補助 <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の補助を中学卒業（高校）までにしてほしい（6） 	9

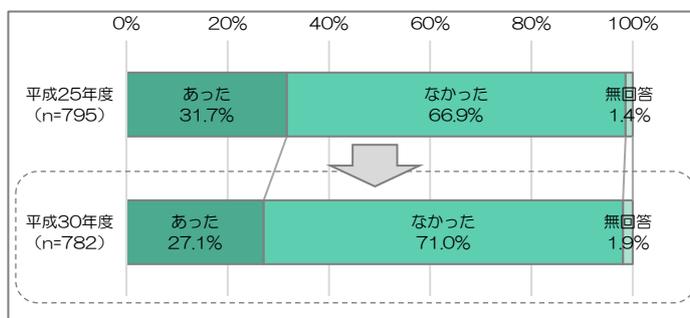
第2章 調査結果（Ⅱ. 就学児童の保護者調査）

教育負担金補助 <ul style="list-style-type: none">・教育にかかる金額負担（塾代等）を補助してほしい（3）・所得制限を緩和してほしい（3）	9
障がい児・発達障がい児サポートの充実 <ul style="list-style-type: none">・障がい児サポートサービスを充実してほしい（3）・発達障がいに関する相談支援の充実とサポートサービスの充実（2）	6

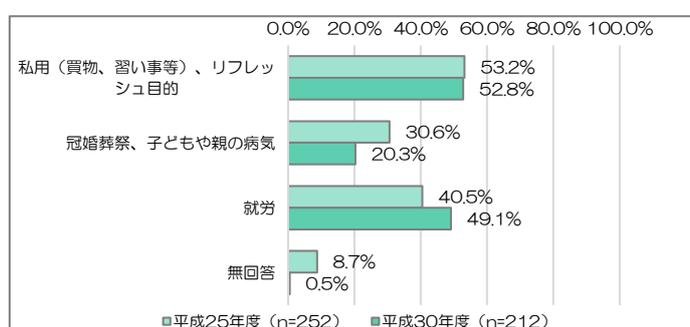
4 お子さんの一時預かりのことについて

問28 お子さんについて、この1年間で私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（1つに〇）

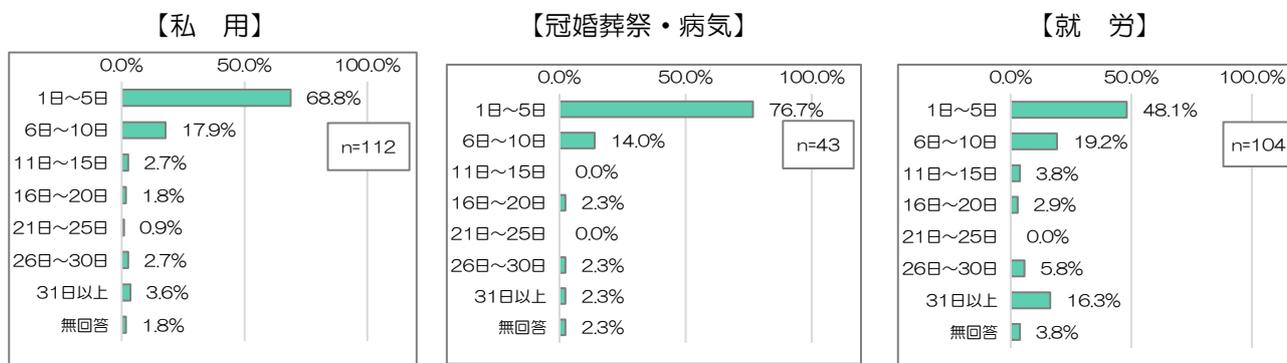
お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがあったかについて、27.1%の方が「あった」と回答しています。平成25年度調査と比較すると、一時的に預けたことがあったと回答した方について4.6%減少しています。



また、その目的として「私用」が最も多く52.8%となる一方、「就労のため」も49.1%と多くなっています。平成25年度調査と比較すると、「就労のため」が8.6%増加しています。

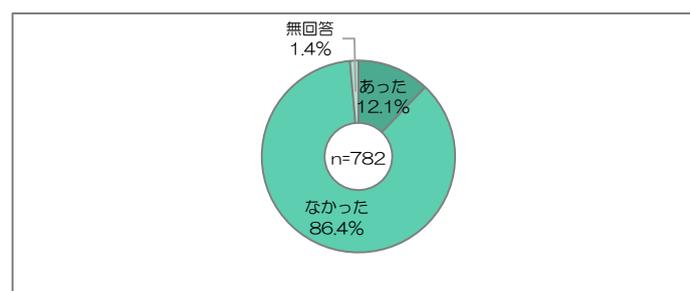


またそれぞれの目的ごとの1年間の一時的に預けた日数については以下のとおりとなっています。



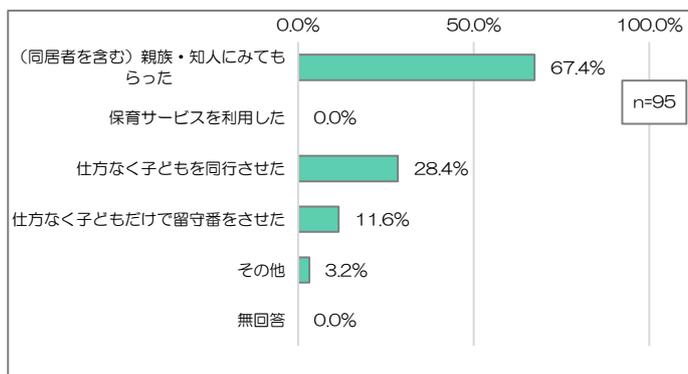
問29 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先がみつからなかった場合も含まれます）。（1つに〇）

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについて、12.1%の方が「あった」と回答しています。

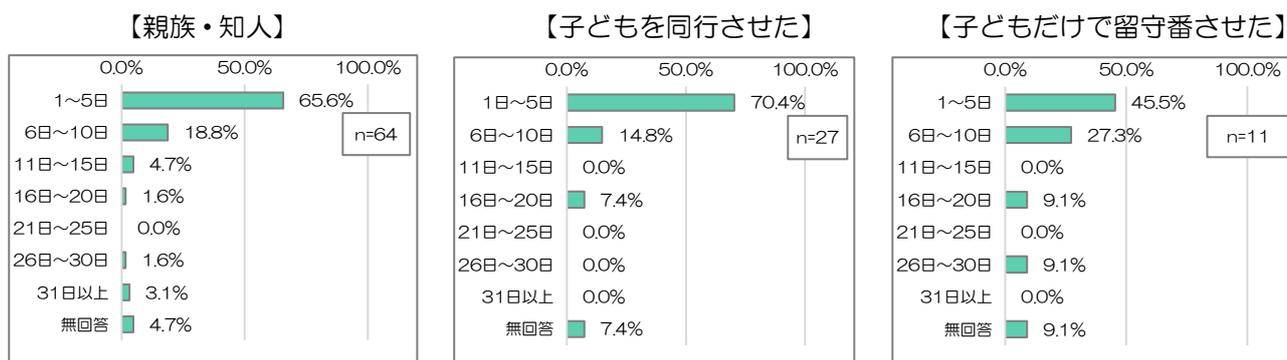


第2章 調査結果（Ⅱ. 就学児童の保護者調査）

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法として、「親族・知人に見てもらった」が一番多く67.4%、一方で「仕方なく子どもを同行させた」が28.4%となっています。また「保育サービス」については利用がなかったとなっています。



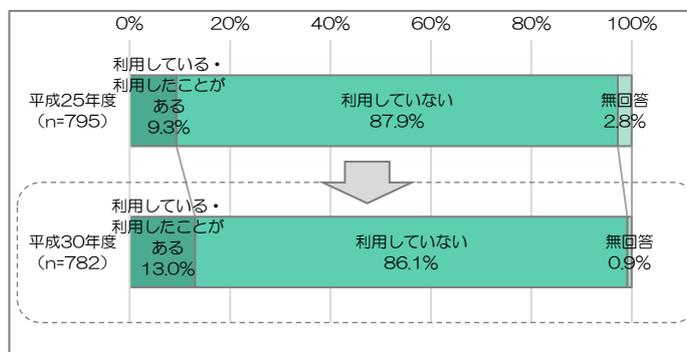
またそれぞれの対処方法ごとの1年間の日数については以下のとおりとなっています。



5 ファミリー・サポート・センターの利用について

問30 ファミリー・サポート・センターを利用していますか、または、過去に利用したことがありますか。（1つに○）

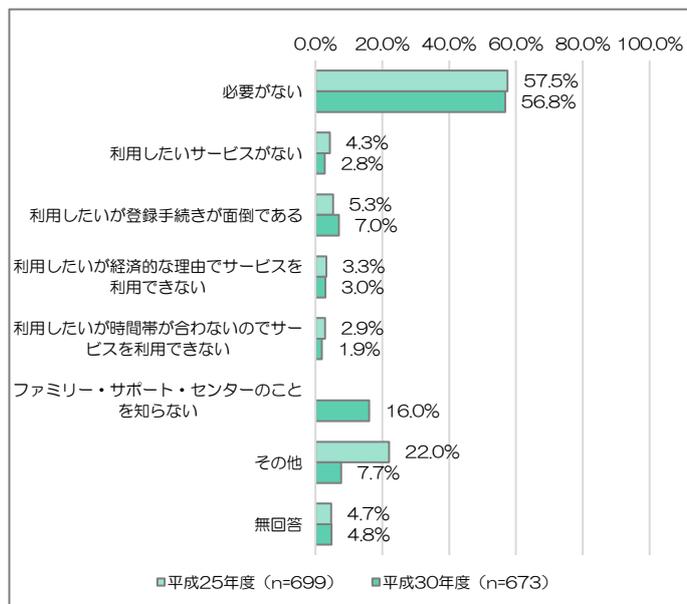
ファミリー・サポート・センターについて「利用している・利用したことがある」と回答した方は13.0%となっています。また、平成25年度調査と比較すると3.7%利用率が高まっています。



【ファミリー・サポート・センターを利用していない・利用したことが無い方のみ回答】

問31 ファミリー・サポート・センターを利用していない理由は何ですか。（1つに○）

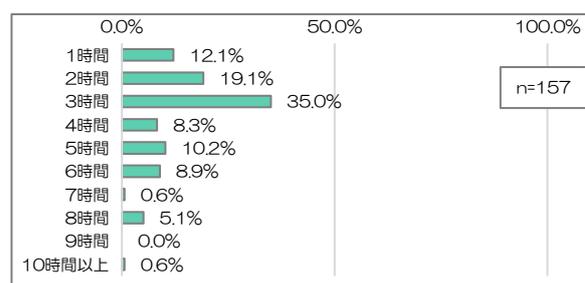
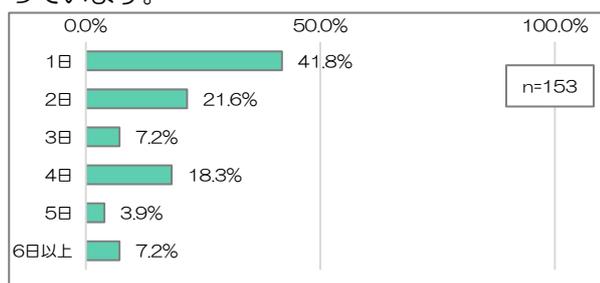
ファミリー・サポート・センターを利用していない理由として「必要がない」が最も多く56.8%となる一方、「ファミリー・サポート・センターのことを知らないから」（平成30年度調査より選択肢を追加）が16.0%となっています。



その他・・・他人に子どもをお願いする等に抵抗がある（4）
人見知りがあり不安（4）
急な時に利用できない（3）

問32 今は利用していないが、できれば利用したい場合、日数（おおよそ）と1回あたりの時間についてお答えください（数字を記入）

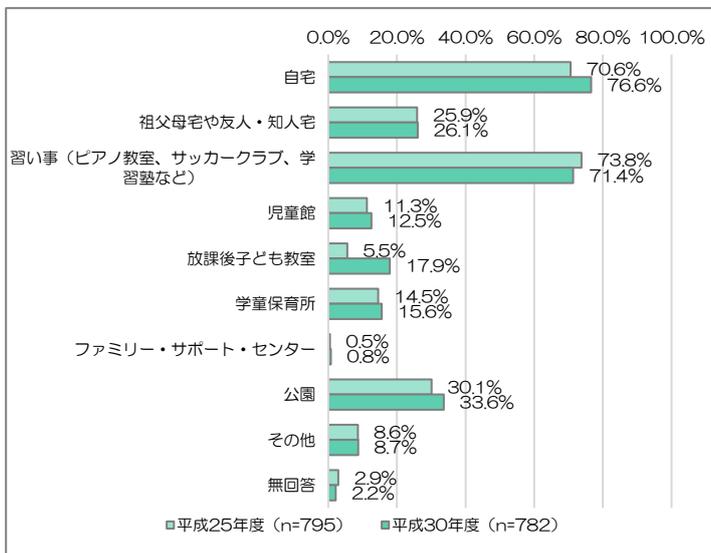
今は利用していないが、できれば利用したい場合の日数と1回あたりの時間については以下のとおりとなっています。



6 お子さんの放課後の過ごし方について

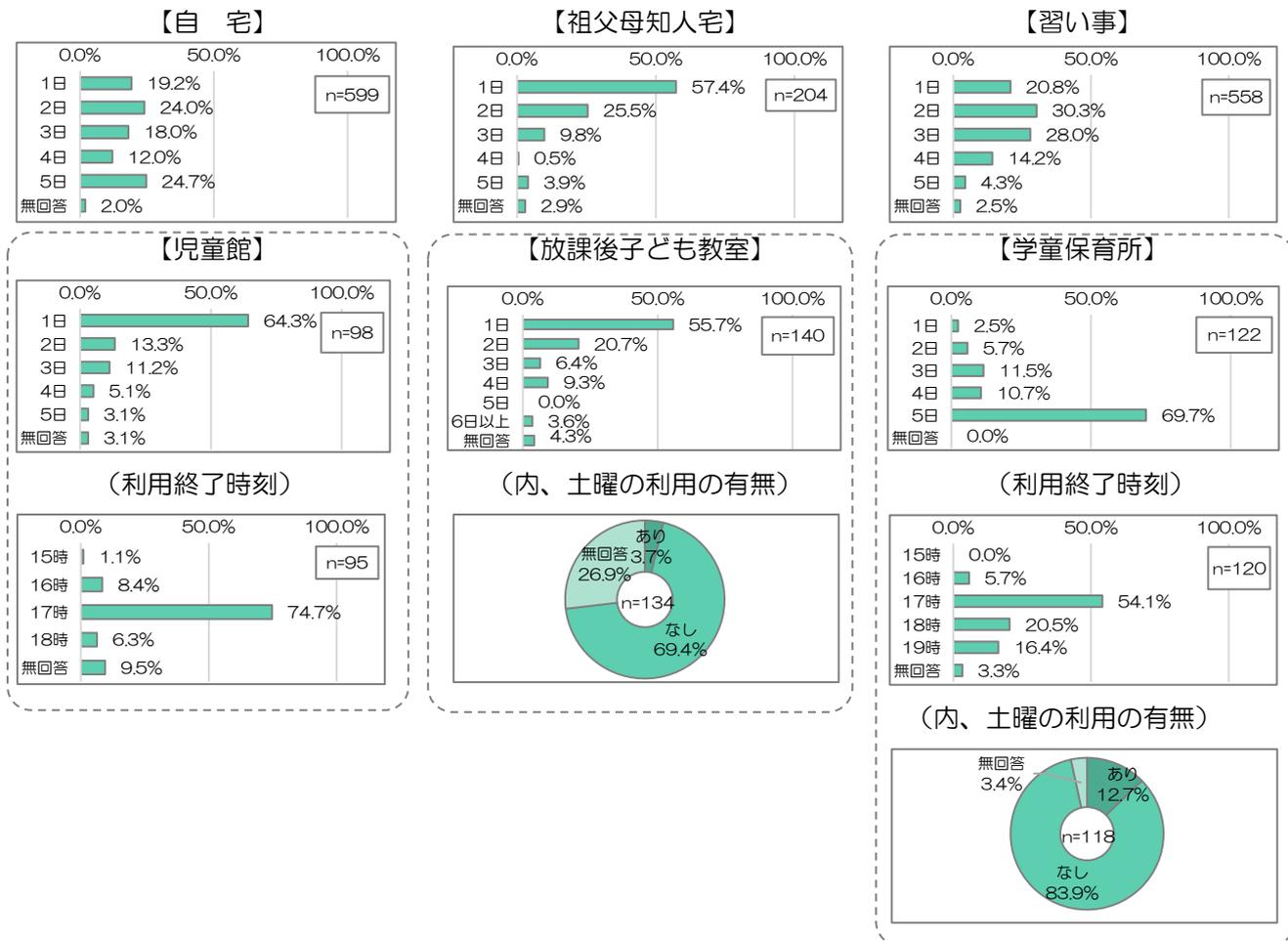
問33 お子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

放課後（平日の小学校終了後）の時間で過ごす場所として「自宅」が最も多く76.6%となっており、次いで「習い事」が71.4%となっています。7割以上の児童が習い事で放課後の時間を過ごしています。また、平成25年度調査と比較すると「放課後子ども教室」で過ごす割合が12.4%伸びており、放課後を過ごす場所として利用割合が高まっています。



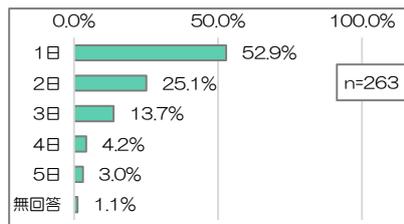
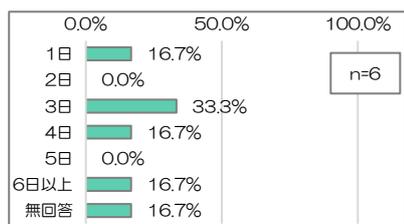
その他・・・放課後等デイサービス (9)
 プレーパーク (8)
 友人宅 (8)

また、それぞれの一週間当たりの日数については以下のとおりとなっています。

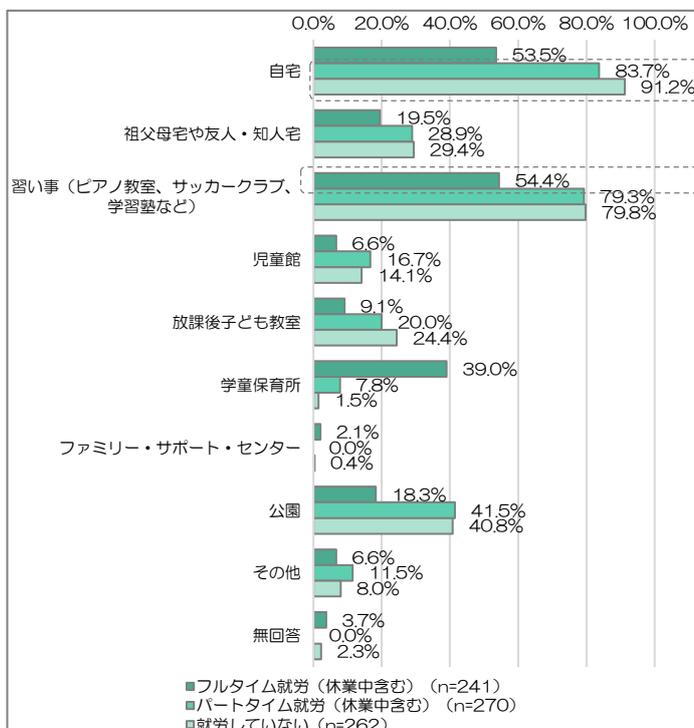


【ファミリー・サポート・センター】

【公園】



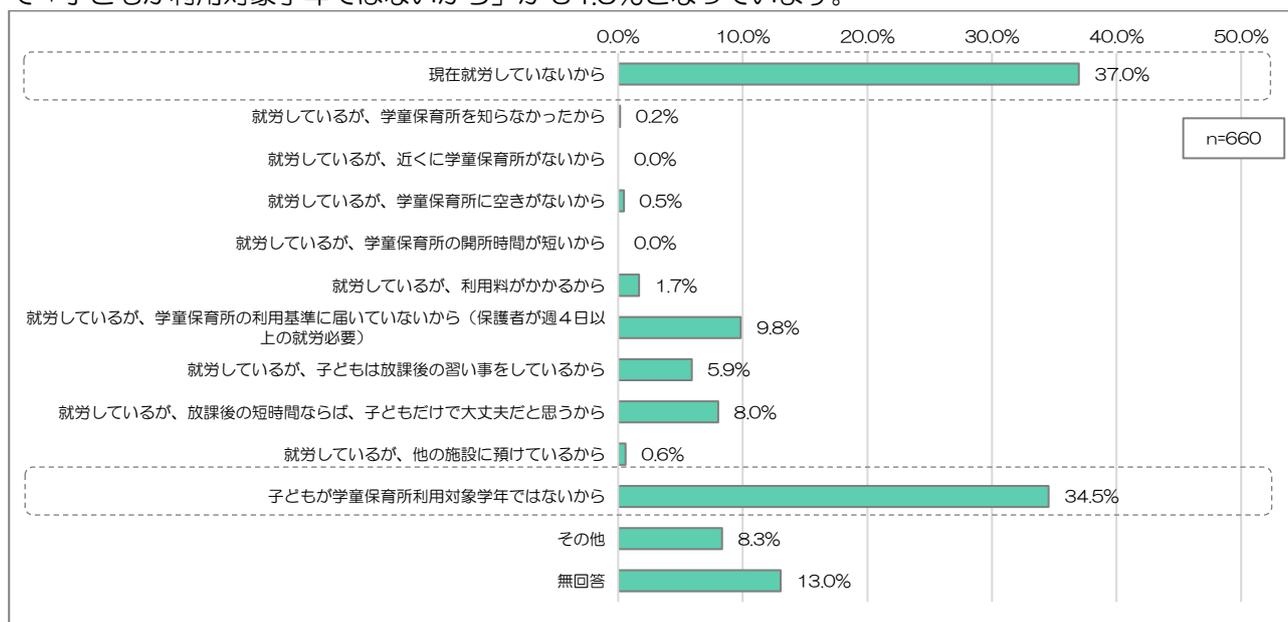
母親の就労状況別による放課後（平日の小学校終了後）の時間で過ごす場所は右のとおりとなり、フルタイム就労（フルタイムで就労しているが、産休・育休介護休業中の方を含む）の方については「習い事」が最も多く 54.4%、パートタイム就労（パートタイムで就労しているが、産休・育休介護休業中の方を含む）の方については「自宅」が最も多く 83.7%、就労していない（就労したことがない方を含む）方についても「自宅」が最も多く 91.2%となっています。



【学童保育所を利用されていない方のみ回答】

問34 学童保育を利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

学童保育を利用していない理由として「現在就労していないから」が最も多く 37.0%となっており、次いで「子どもが利用対象学年ではないから」が 34.5%となっています。

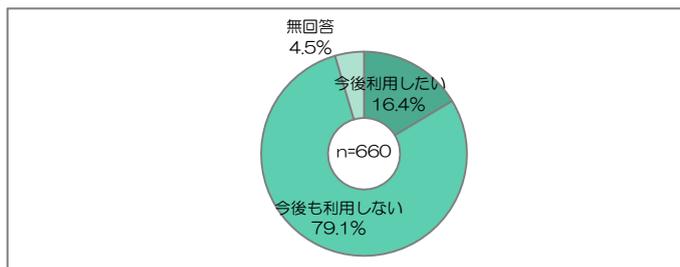


その他・・・就労しているが、下校時間までには帰ってくるため (20)
親族に見てもらっているため (3)

【学童保育所を利用されていない方のみ回答】

問35 お子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか。（1つに○）

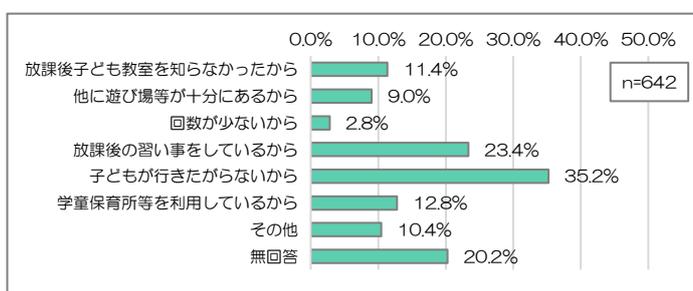
学童保育所を利用されていない方における、今後の学童保育所の利用意向について、16.4%の方が「今後利用したい」と回答しています。



【放課後子ども教室を利用されていない方のみ回答】

問36 放課後子ども教室を利用していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

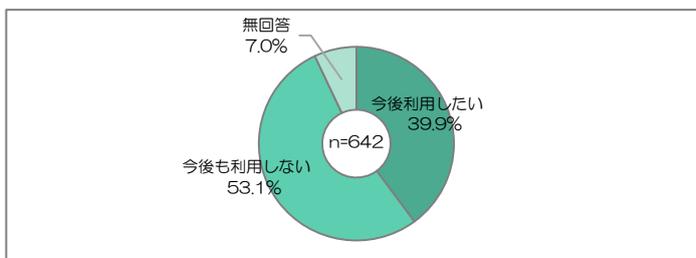
放課後子ども教室を利用していない理由として「子どもが行きたがらないから」が最も多く35.2%となっています。



その他・・・私立小学校に通っているため（4）
障がいがあり利用しにくい（4）
送迎ができないため（2）

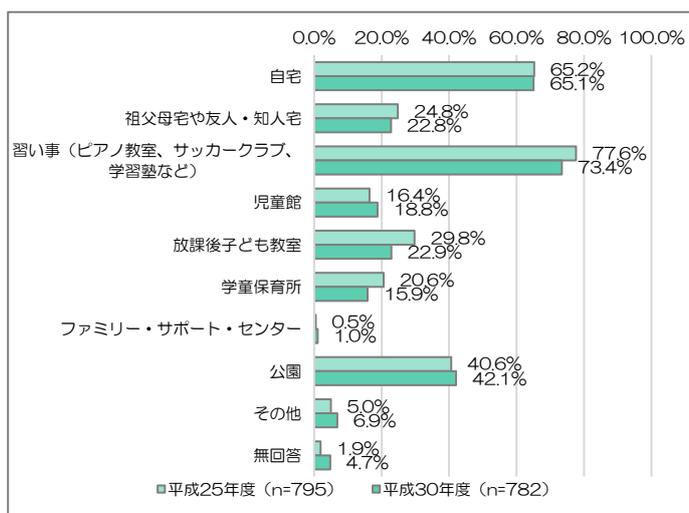
問37 お子さんについて、今後、放課後子ども教室を利用したいとお考えですか。（1つに○）

放課後子ども教室を利用されていない方における、放課後子ども教室の利用意向について、39.9%の方が「今後利用したい」と回答しています。



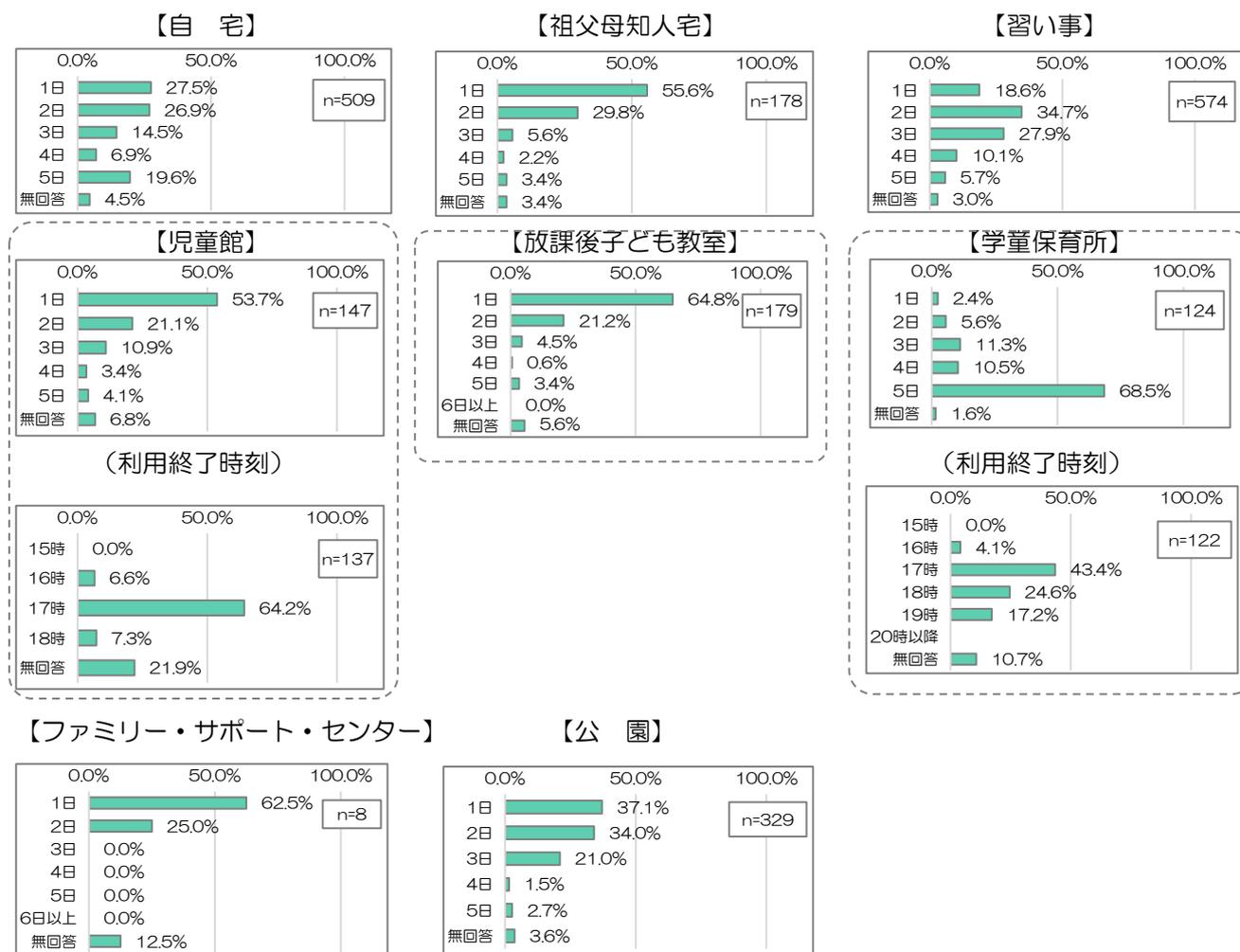
問38 お子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、「習い事」と回答した方が最も多く73.4%となっています。現状としては自宅で過ごしているお子さんが、今後はできるだけ習い事で放課後を過ごしてほしいという希望が多いことが垣間見えます。



その他・・・校庭開放 (10)
放課後等デイサービス (10)
プレーパーク (7)
東センター (4)

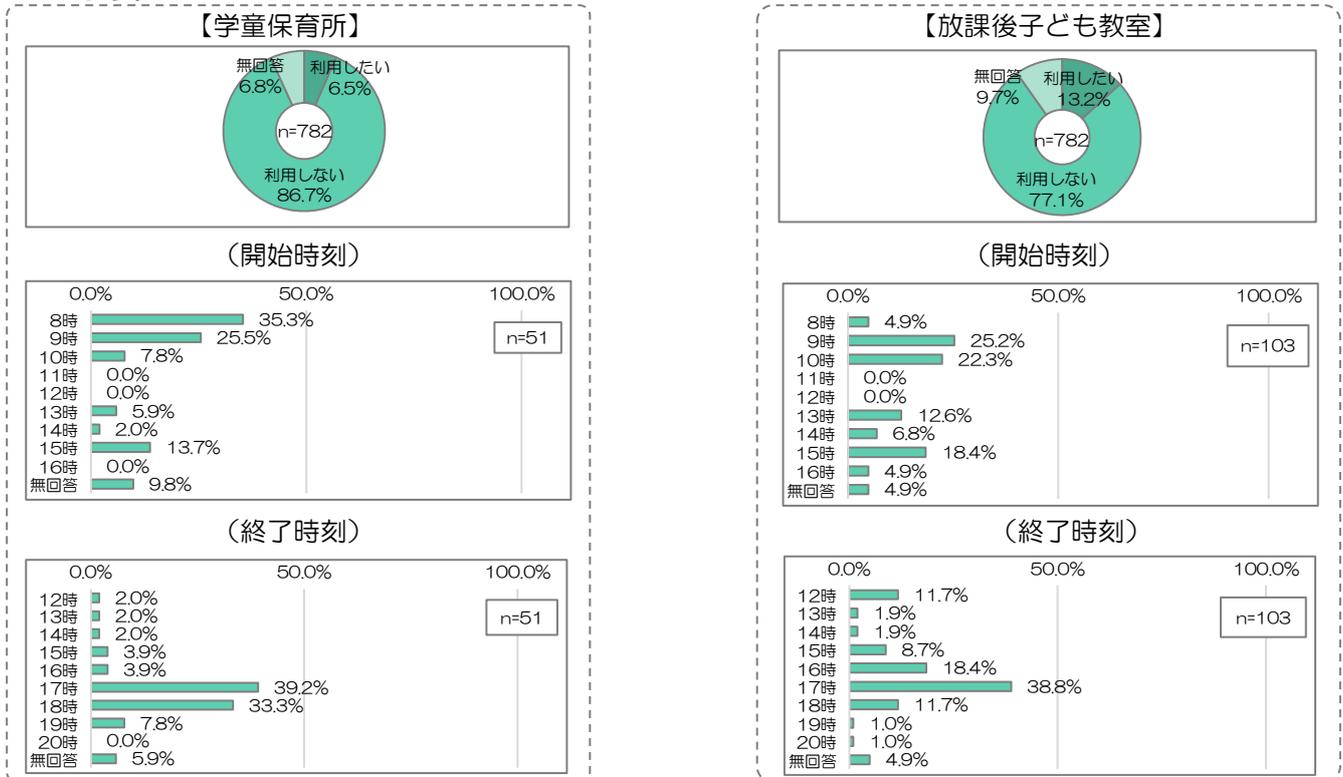
また、それぞれの一週間あたりの日数については以下のとおりとなっています。



第2章 調査結果（Ⅱ. 就学児童の保護者調査）

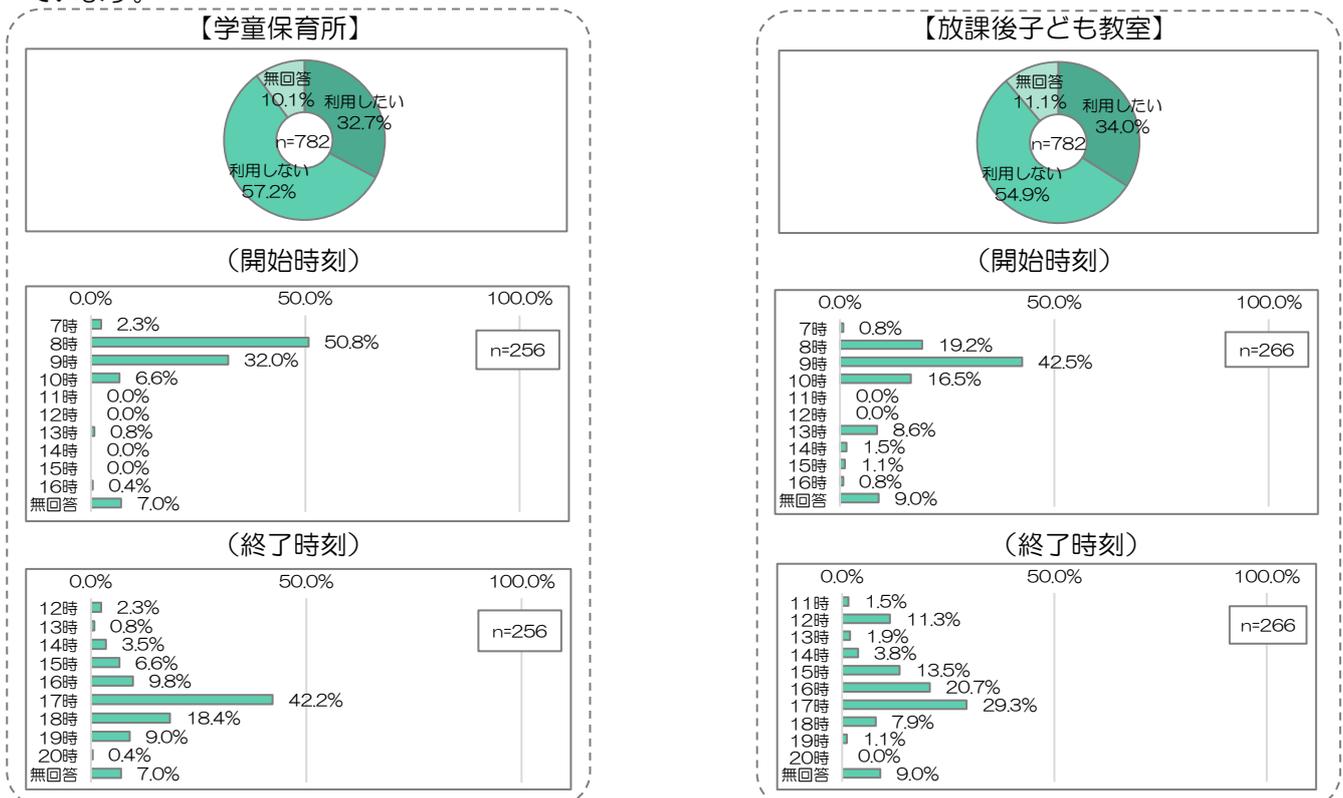
問39 お子さんについて、日曜日・祝日に、「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望はありますか。（1つに〇）

日曜日・祝日での「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望については以下のとおりとなっています。



問40 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望はありますか。（1つに〇）

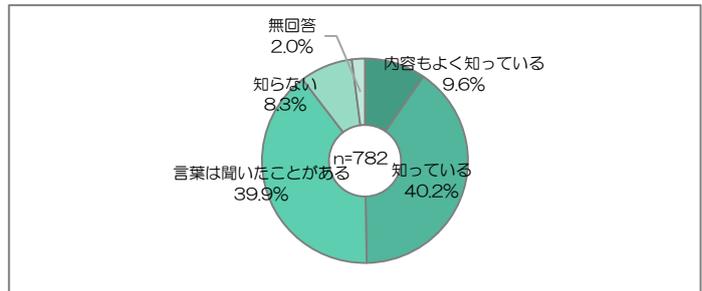
長期休暇期間中の「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望については以下のとおりとなっています。



7 児童虐待に関することについて

問41（1） 「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）を知っていますか。（1つに○）

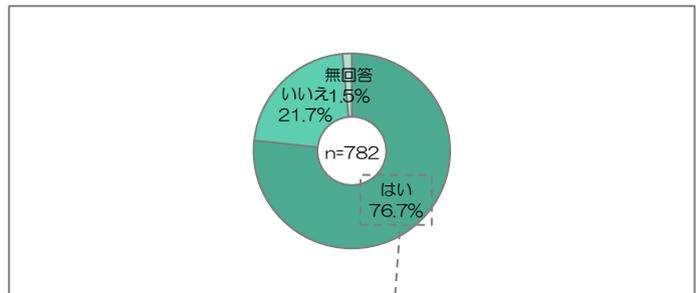
「児童虐待の防止等に関する法律」について、「内容も知っている」「知っている」と回答した方が49.8%となり約5割の方が知っていると回答しています。



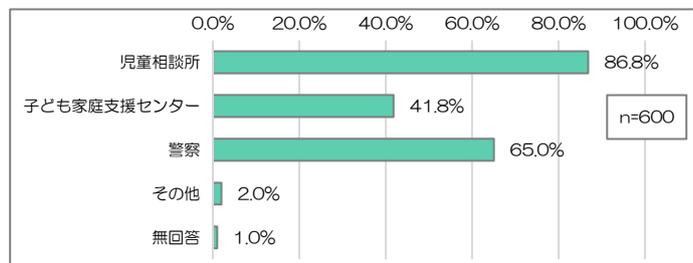
問41（2） 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（1つに○）

また、通報先を知っている場合、通報先と考える機関はどこですか（あてはまるものすべてに○）

児童虐待を発見した場合の通報先について「知っている」と回答した方の割合は76.7%となっています。一方、「知らない」と回答した方は21.7%と2割以上となっています。



また、通報先として考えられる場所として「児童相談所」が最も多く86.8%となっています。一方、「子ども家庭支援センター」は41.8%となっています。

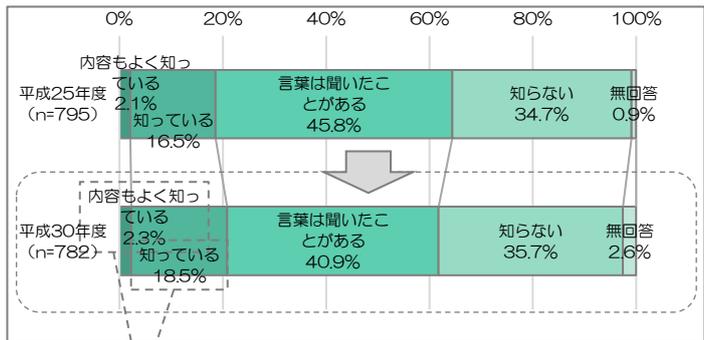


その他・・・学校（9）
市役所（3）
福祉事務所（2）

8 小金井市子どもの権利に関する条例について

問42 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。（1つに○）

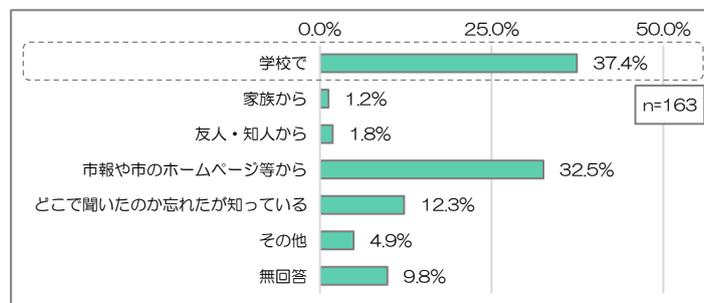
「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方が20.8%となり、認知率については約2割となっています。また平成25年度調査と比較しても、認知率についてはあまり高まってはいません。



【「小金井市子どもの権利に関する条例」について内容もよく知っている、または知っている方のみ回答】

問43 「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初にどこで知りましたか。（1つに○）

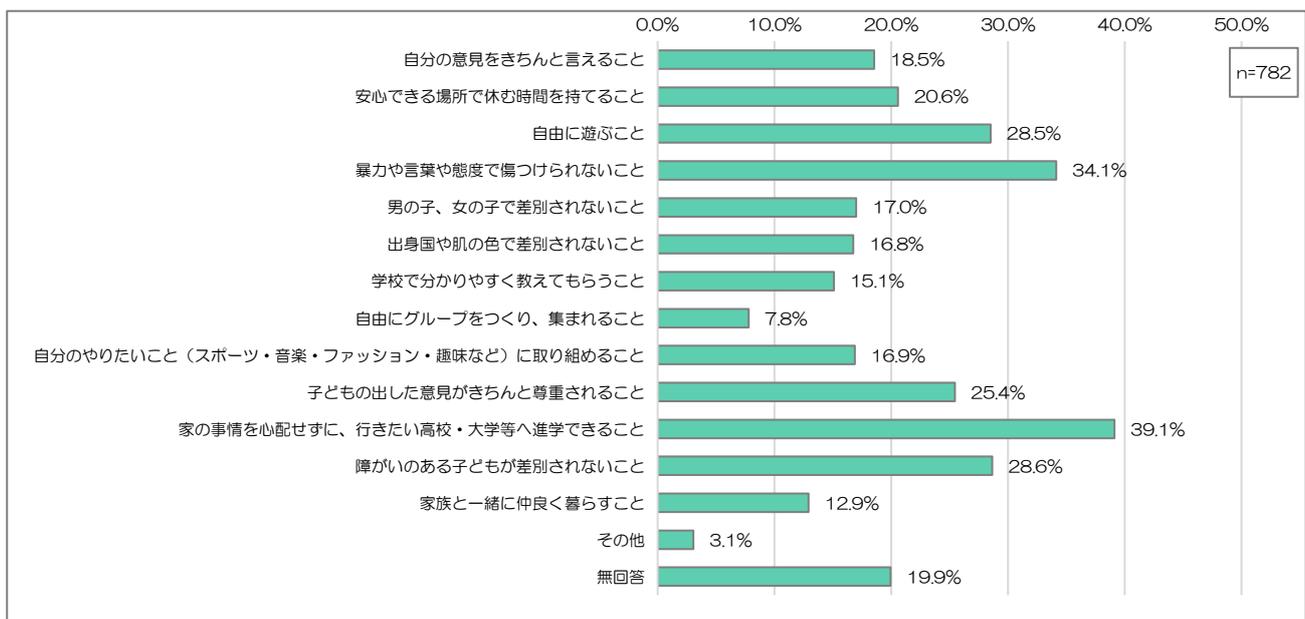
「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「学校」が最も多く37.4%となっており、次いで「市報や市のホームページ」が32.5%となっています。



その他・・・パンフレット・チラシ（3）

問44 ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」と思う子どもの権利について、「家の事情を心配せずに、行きたい高校・大学等へ進学できること」が最も多く39.1%となっています。

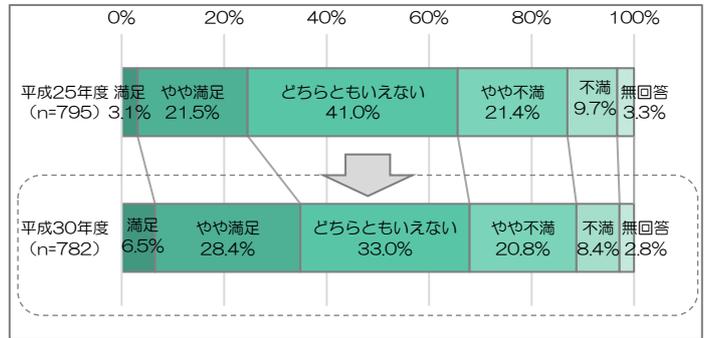


その他・・・特になし（8）

9 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について

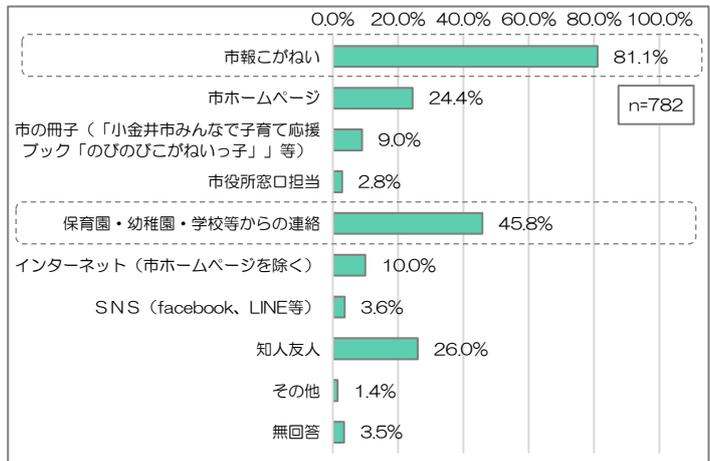
問45 小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください。（1つに○）

小金井市の子育ての環境や支援について「満足」「やや満足」と回答した方について34.9%となっています。また平成25年度調査と比較すると満足度については10.3%向上しています。



問46 小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。（あてはまるものすべてに○）

子育て支援策に関する情報の入手先として「市報こがねい」が最も多く81.1%となり、次いで「保育園・幼稚園・学校等からの連絡」が45.8%となっています。



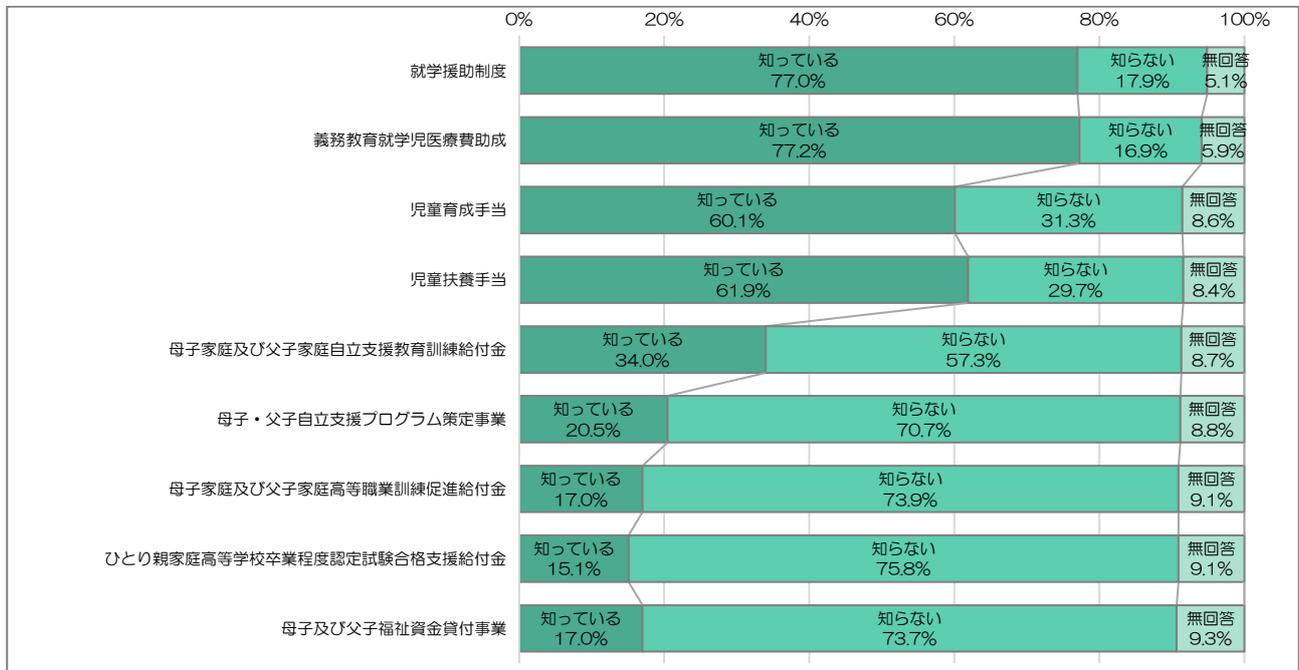
その他・・・きりり（2）

第2章 調査結果（Ⅱ. 就学児童の保護者調査）

問47 下記の小金井市の施策について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがない場合は、今後利用したいかお答えください。（1つに○）

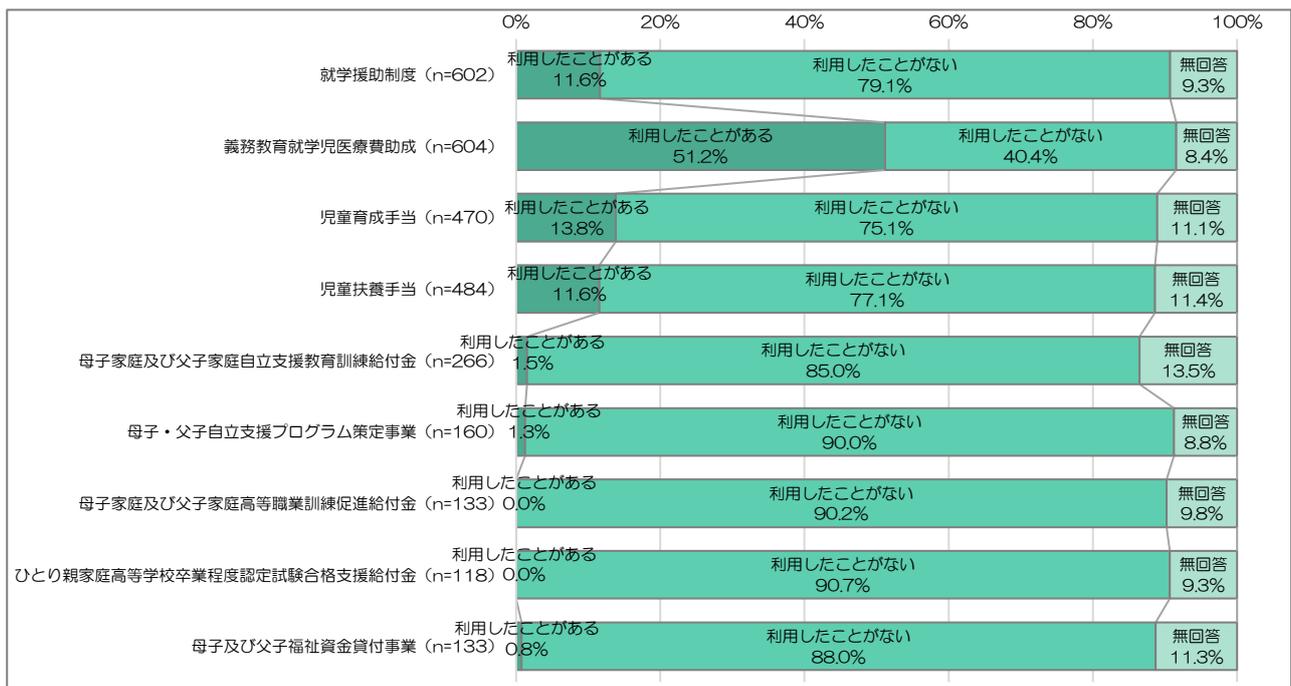
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が77.2%、「就学援助制度」が77.0%と高くなっています。

【知っている】(n=782)



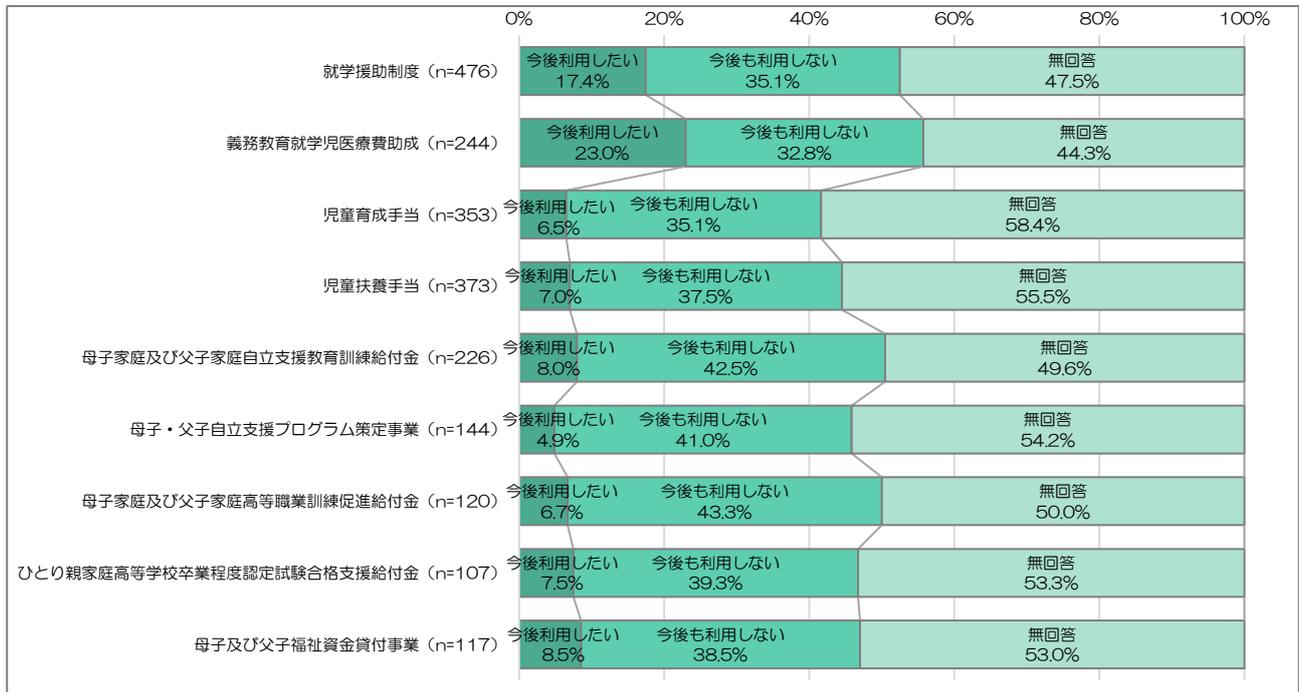
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が51.2%と高い利用率となっています。

【これまでに利用したことがあるか】



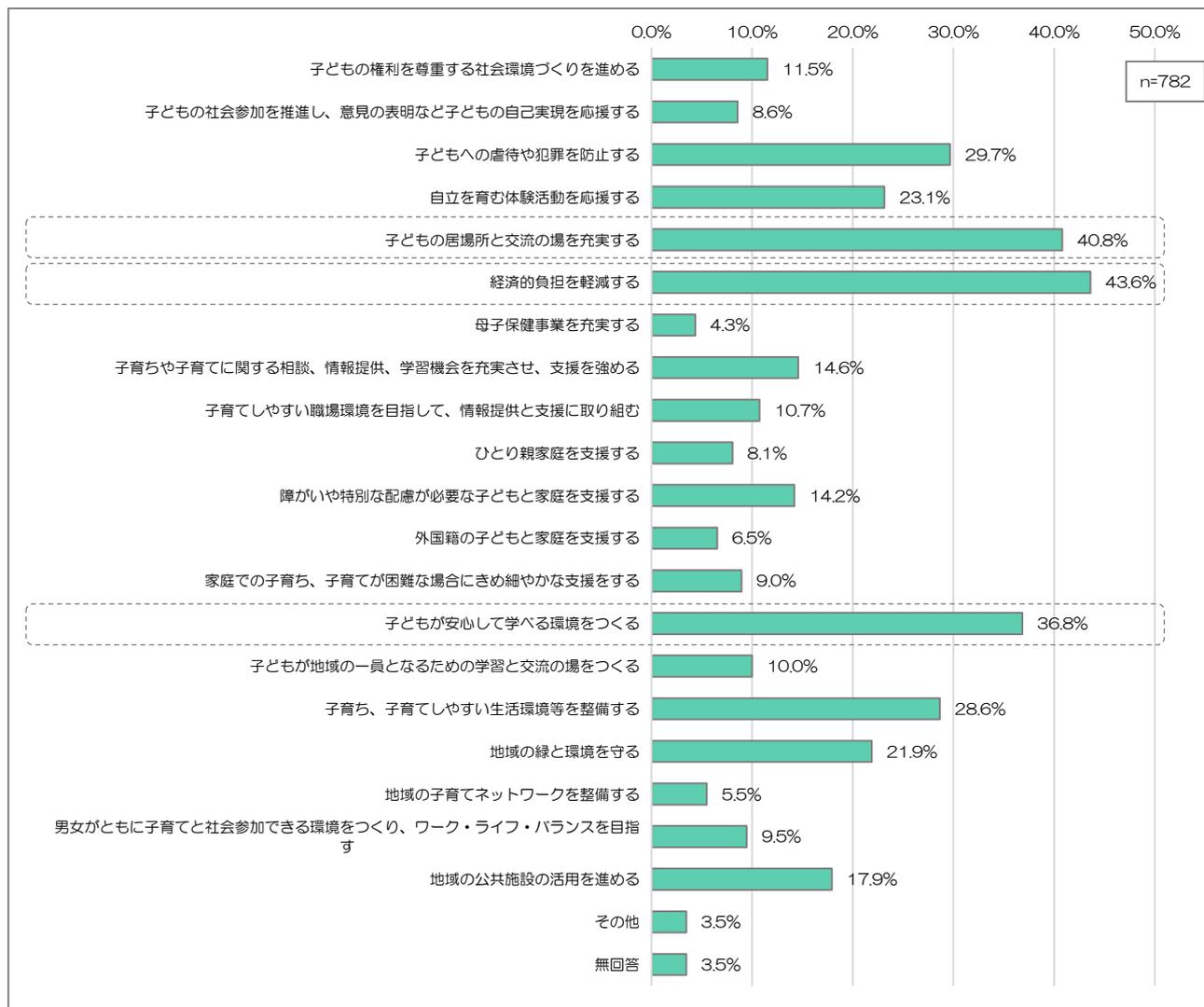
今は利用していないが、今後利用したいかについては「義務教育就学児医療費助成」が23.0%、「就学援助制度」が17.4%となっています。

【今後利用したいか】



問48 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。（3つまでに○）

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこととして「経済的負担を軽減する」が最も多く 43.6%となっています。次いで「子どもの居場所と交流の場を充実する」が 40.8%、「子どもが安心して学べる環境をつくる」が 36.8%となっており、子どもの居場所や学ぶ場所の確保が望まれています。



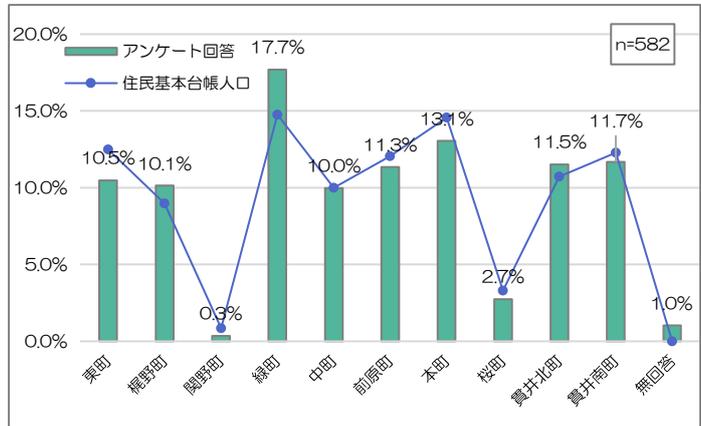
その他・・・医療費補助の拡充（3）
 図書館の充実や学級文庫・学校図書の実施（3）
 公園の環境整備（3）

Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者調査

1 回答者属性

問1 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による13歳から18歳の地区別人口割合と比較すると、緑町からの回答割合が他地区と比較して高くなっています。



<参考>

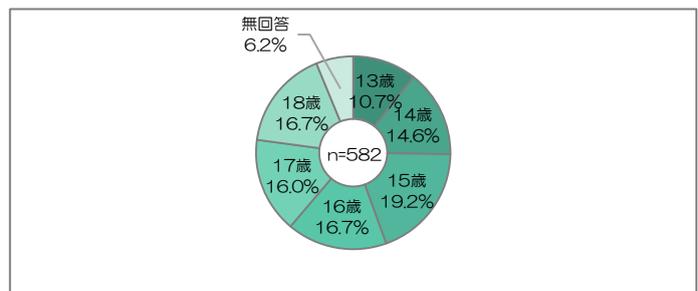
住民基本台帳による町別（13歳～18歳）人口（平成30年12月1日現在）

町名	栗町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	眞井北町	眞井南町	合計
13～18歳人口(人)	744	535	51	879	595	718	867	196	638	731	5,954
割合(%)	12.5%	9.0%	0.9%	14.8%	10.0%	12.1%	14.6%	3.3%	10.7%	12.3%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より

問2 お子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）（平成30年12月1日現在）

アンケート回答者のお子さんの年齢割合は右のとおりとなっています。



<参考>

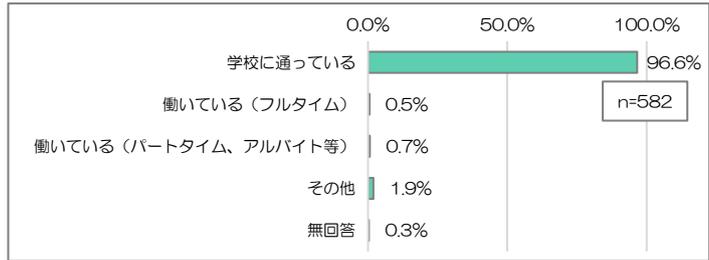
住民基本台帳による年齢別人口（平成30年12月1日現在）

年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	合計
人口(人)	913	916	991	1,006	1,012	1,116	5,954
割合(%)	15.3%	15.4%	16.6%	16.9%	17.0%	18.7%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より

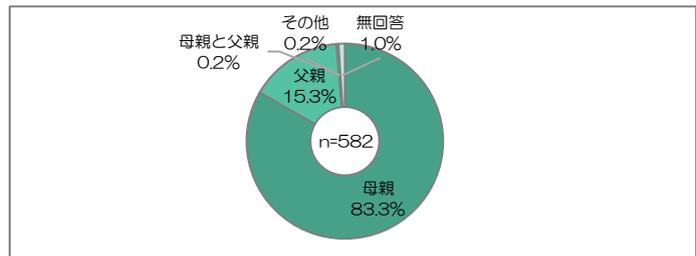
問3 お子さんは、学校に通っていますか。働いていますか。（1つに○）

アンケート回答者のお子さんについて、「学校に通っている」が96.6%、「働いている（フルタイム+パートタイム）」方が1.2%となっています。



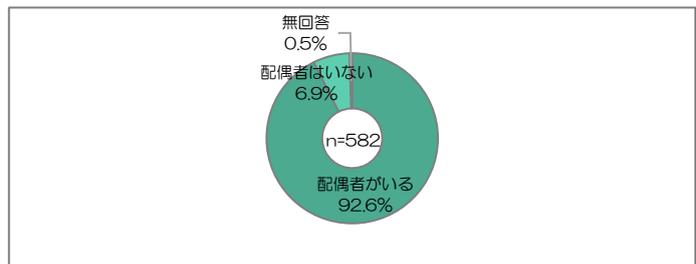
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

調査票の回答者について「母親」が最も多く83.3%となっています。また、「母親と父親」と回答した方は0.2%となっています。



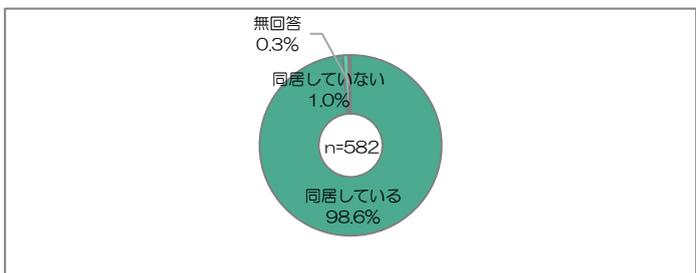
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つに○）

調査票の回答者の配偶者の有無について「配偶者はいない」と回答した方は6.9%となっています。



問6 お子さんと同居していますか。（1つに○）

お子さんとの同居割合について「同居している」と回答した方は98.6%となっています。

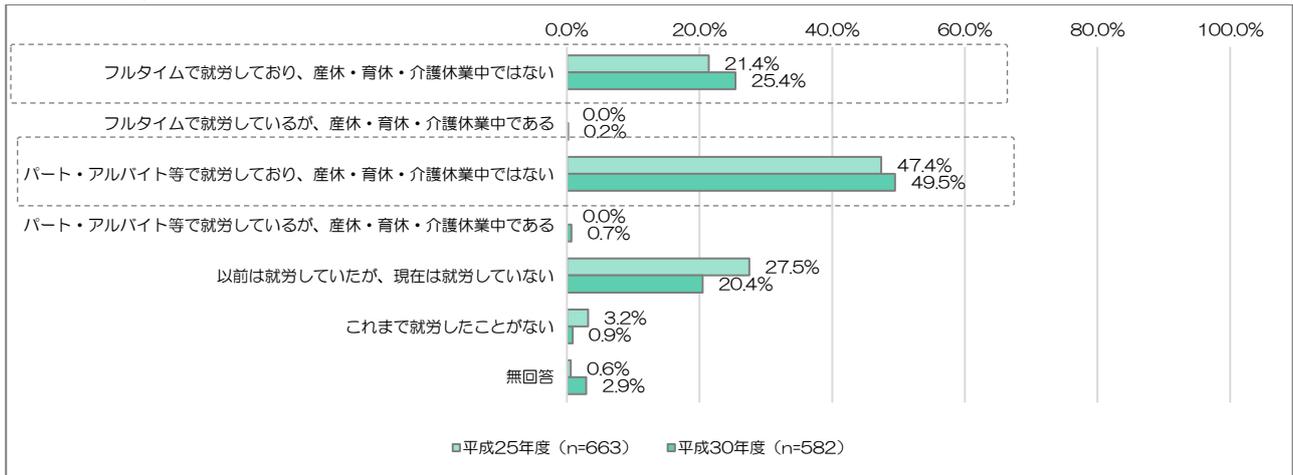


2 お子さんの保護者の就労状況について

問7 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を母親・父親それぞれについてお答えください。（ひとり親の方はご自身に関する設問のみお答えください）（1つに○）

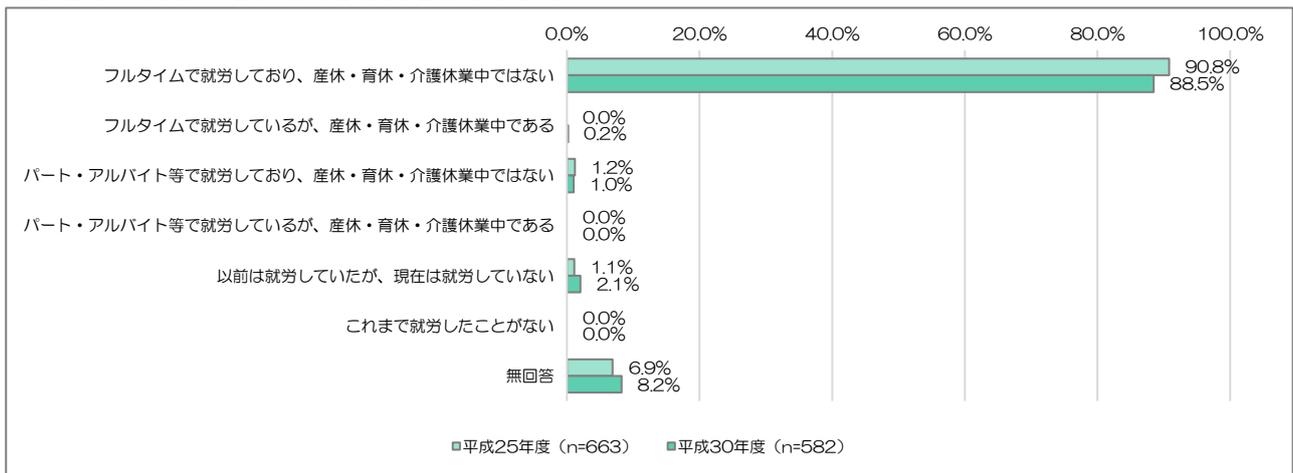
【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」方が25.4%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」方が49.5%となり、休業せず就労している方の割合が74.9%と7割を超えています。また、平成25年度調査と比較すると、「フルタイムでの就労」の方が4.0%、また「フルタイムで就労中であるが産休・育休中である」方が0.2%増えており、フルタイムでの就労率が4.2%増えています。



【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労中であり休業中ではない」と回答したが88.5%、「パート・アルバイトで就労中であり休業中ではない」と回答した方が1.0%となっています。平成25年度調査と比較すると、就労に関して大きな変化はありません。



【家族類型】

＜フルタイム共働き＞

父親・母親ともに「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」

＜フルタイム・パートタイム共働き＞

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

＜パートタイム共働き＞

父親・母親ともに「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」

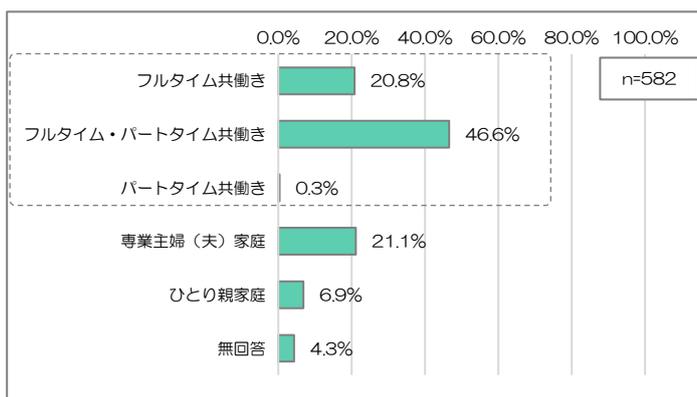
＜専業主婦（夫）＞

父親または母親のどちらかが「フルタイムで就労中である」または「フルタイムで就労中であるが休業中である」または「パートタイムで就労中である」または「パートタイムで就労中であるが休業中である」であり、一方が「以前は就労していたが現在は就労していない」または「就労したことがない」

＜ひとり親家庭＞

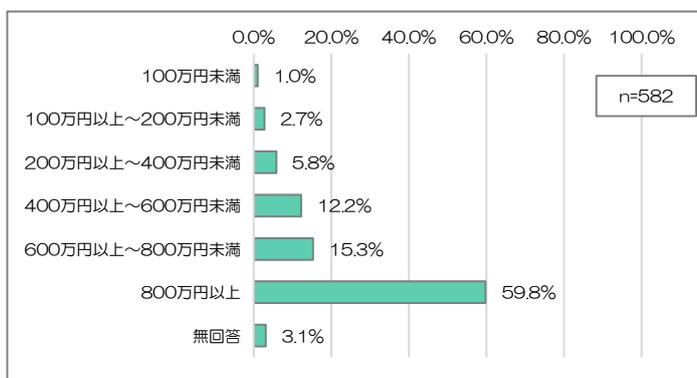
「配偶者がいない」

上記のとおり家族類型とした際、「フルタイム・パートタイム共働き」が最も多く、46.6%となっています。「フルタイム・パートタイム共働き」、「パートタイム共働き」を含めた共働き家庭は67.4%と、7割近くとなっています。



問8 現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。（1つに〇）

年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」と回答した方が最も多く、59.8%と、約6割近くとなっています。

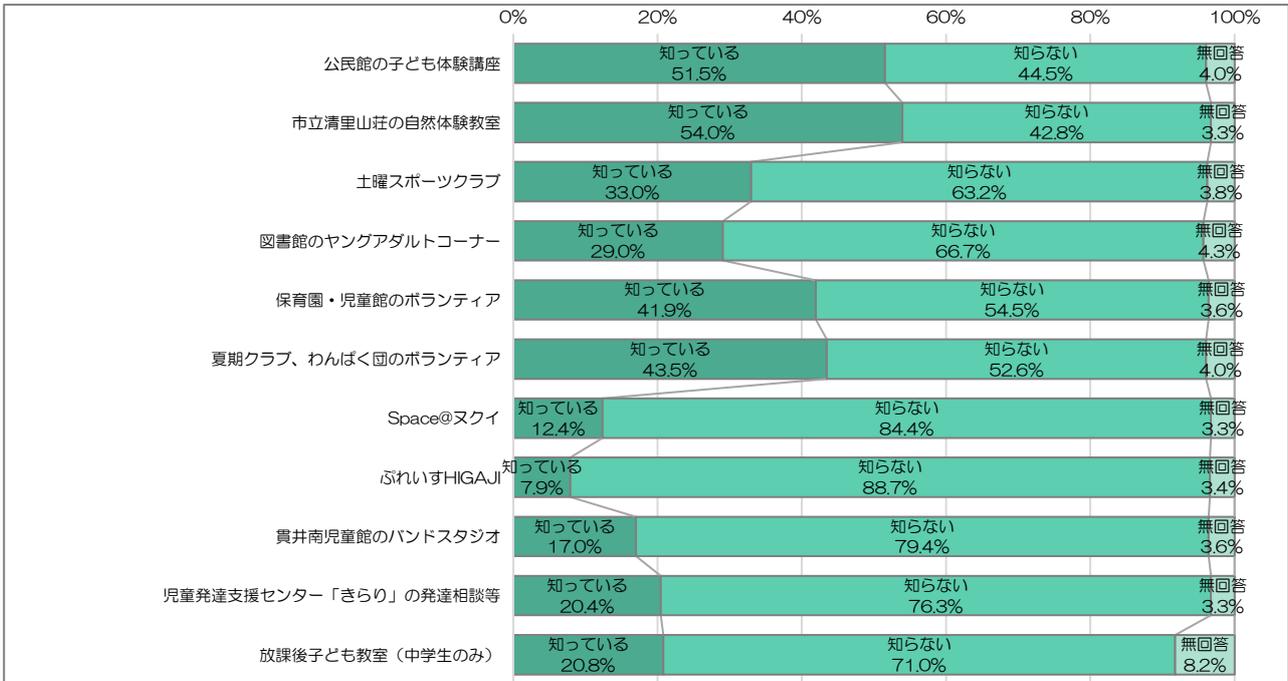


3 子育て全般について

問9 下記のサービスや事業について知っているか、これまでに利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は今後も利用させたいかお答えください。（1つに○）

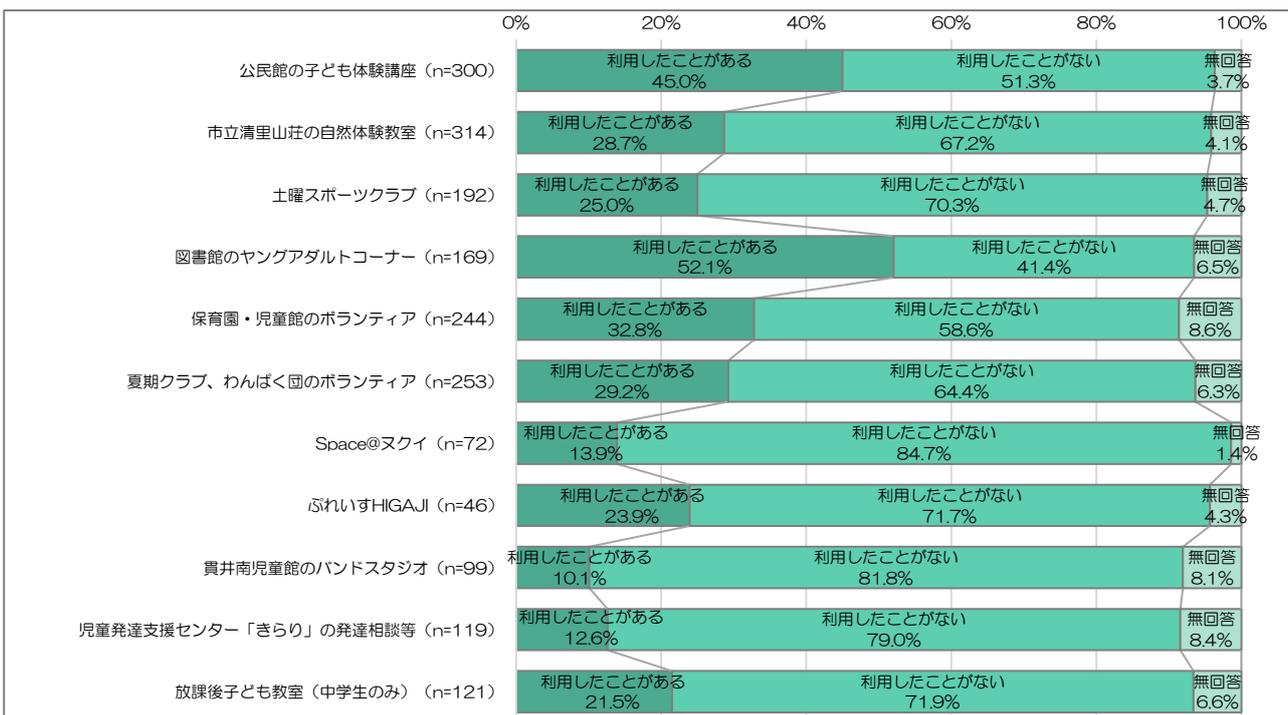
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「市立清里山荘の自然体験教室」が54.0%と最も高く、次いで「公民館の子ども体験講座」が51.5%となっています。一方、「ふれいす HIGAJI」が7.9%、「Space@ヌクイ」が12.4%と認知度が低くなっています。

【知っている】(n=582)



各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「図書館のヤングアダルトコーナー」が52.1%と高い利用率となっています。一方、「貫井南児童館のバンドスタジオ」が10.1%と利用率が低くなっています。

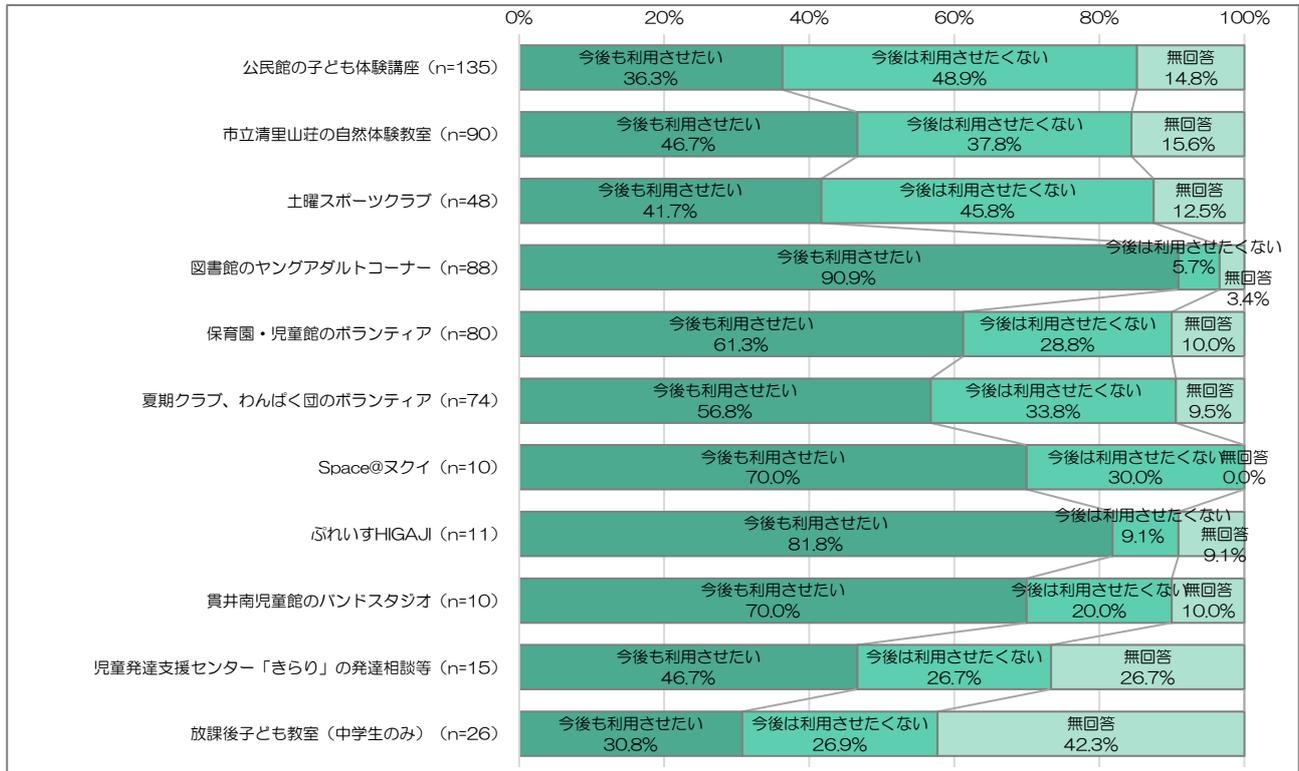
【これまでに利用したことがあるか】



第2章 調査結果（Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者調査）

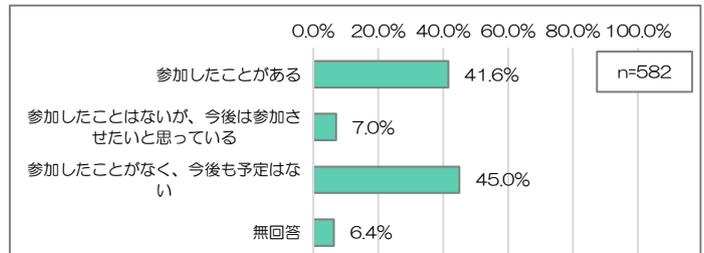
各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「図書館のヤングアダルトコーナー」が90.9%、「ぷれいす HIGAJI」が81.8%と、再度の利用希望率が高くなっています。

【今後も利用したいか】



問10 お子さんは地域活動や、学校や習い事以外でのグループ活動などに参加されたことがありますか。（1つに○）

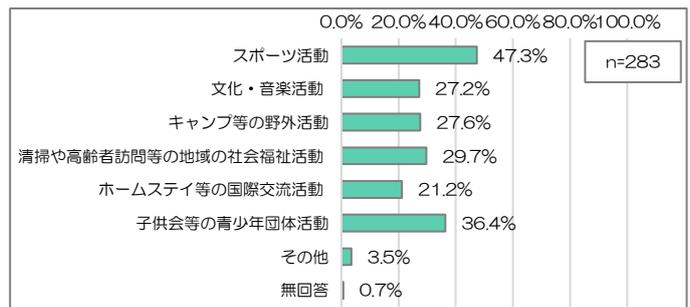
地域活動やグループ活動などの参加状況について、「参加したことがある」と回答した方が41.6%と半数以下となっています。



【地域活動やグループ活動などに参加したことがあるまたは今後参加させたいと思う方のみ回答】

問11 参加したことがある、もしくは参加させたい地域活動やグループ活動の種類はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

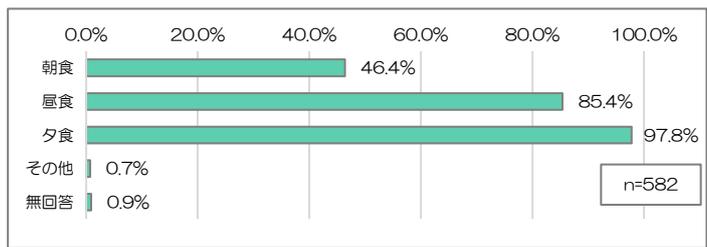
参加したことがある、あるいは参加させたい活動として「スポーツ活動」が最も多く47.3%となっています。



その他・・・地域のボランティア (3)

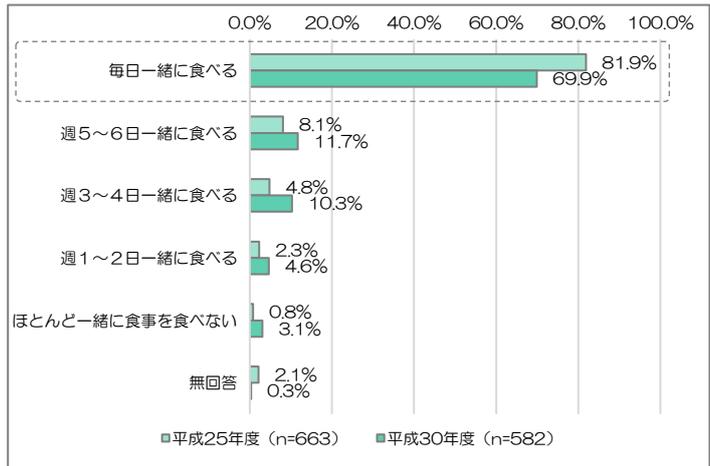
問12(1) お子さんは平日に、1日のうちで主食と主菜と副菜のそろった食事をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1日のうちで主食と主菜と副菜のそろった食事をとっているかについて、夕食でとっていると回答した方は97.8%となっています。



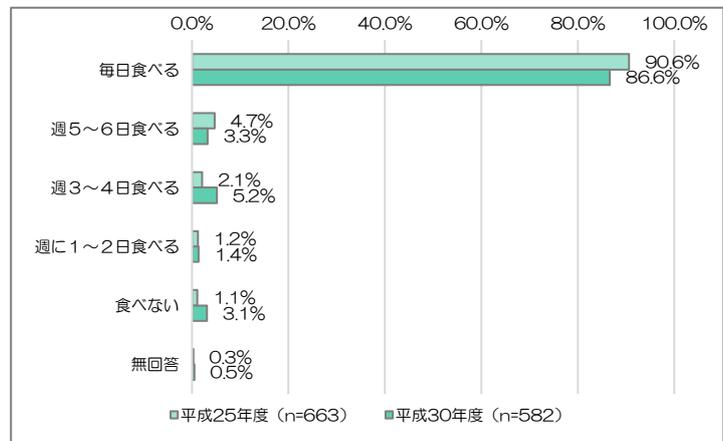
問12(2) お子さんは、家族の誰かと一緒に食事をとっていますか。(1つに○)

食事の際、家族の誰かと一緒にとっているかについて、「毎日一緒に食べる」と回答した方は69.9%となっており、平成25年度調査と比較するとその割合が減っています。



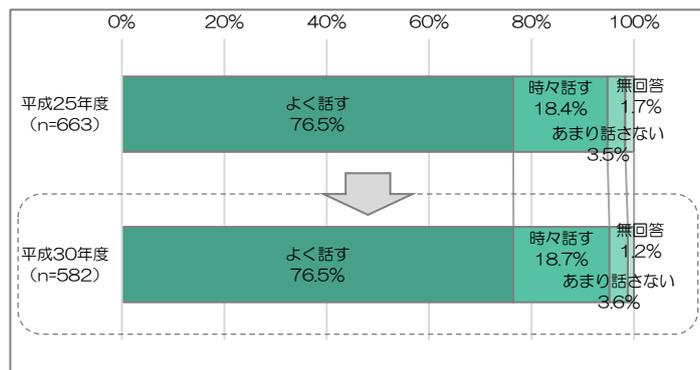
問12(3) お子さんは、毎日朝食をとっていますか。(1つに○)

朝食について「毎日食べる」と回答した方は86.6%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。



問13 お子さんとはよく話をしますか。(1つに○)

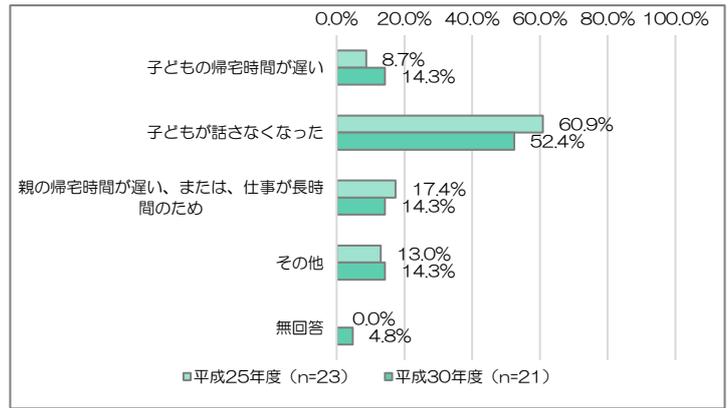
お子さんとの話について「よく話す」と回答した方は76.5%となっており、平成25年度調査と比較しても大きな変化は見られていません。



【お子さんとあまり話さない方のみ回答】

問14 あまり話さない理由はなんですか。（1つに○）

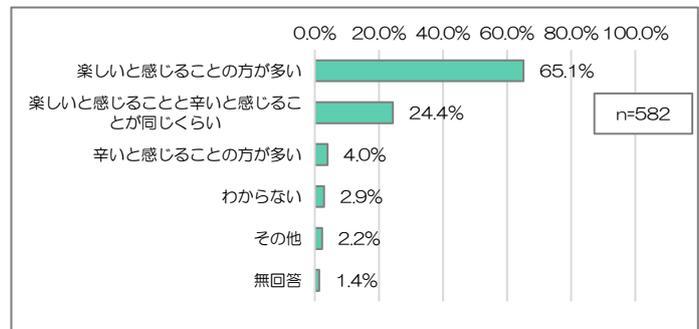
あまり話さない理由として「子どもが話さなくなった」が最も多く、52.4%となっています。平成25年度調査と比較すると「子どもの帰宅時間が遅い」を理由としている方の割合が5.6%多くなっています。



その他・・・家族と話すことを嫌がる（2）

問15 子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。（1つに○）

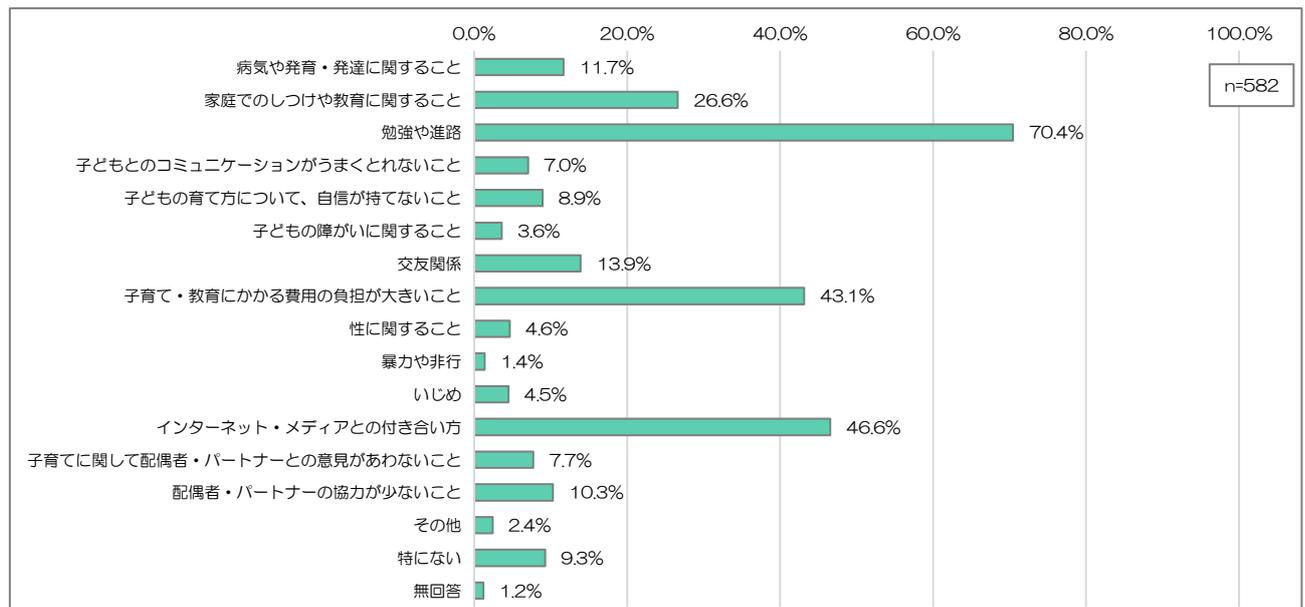
子育てを楽しんでいると感じるかについて、「楽しいと感じることの方が多い」と回答した方が最も多く65.1%となっています。



その他・・・辛いというより大変（6）

問16 現在、お子さんの教育や子育てのことでどのようなことに悩んだり、困ったりしていますか。（あてはまるものすべてに○）

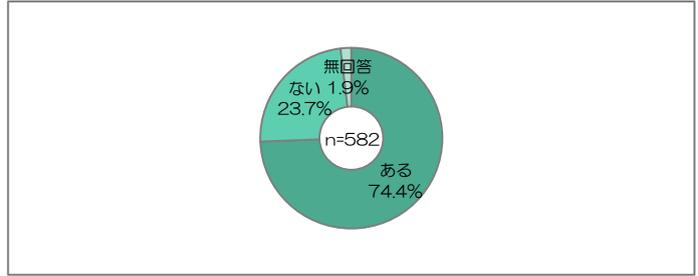
子育てに関して、日頃悩んでいること気になることとして「勉強や進路」が最も多く70.4%となっており、次いで「インターネット・メディアとの付き合い方」が46.6%となっています。



その他・・・子どもの将来のこと（4）

問17 お子さんの高校・大学等への進学に関する不安はありますか。（1つに〇）

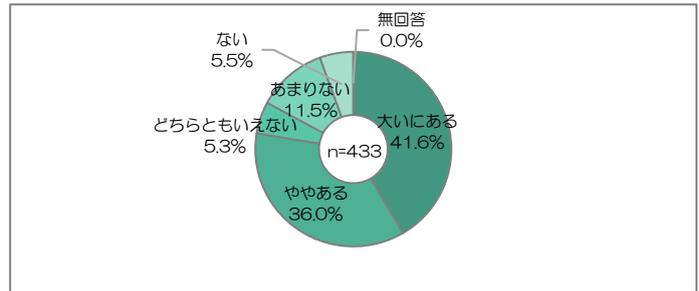
高校・大学等への進学に関する不安について「ある」と回答した方については74.4%となっています。



【高校・大学等への進学に関する不安がある方のみ回答】

問18 進学における金銭面での不安はありますか。（1つに〇）

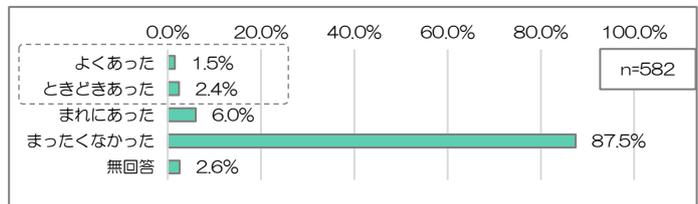
進学における金銭面での不安について、「大いにある」「ややある」と不安があると回答した方が77.6%となり、約8割の方が金銭面について不安に思っています。



問19 お金が足りなくて以下の経験が、過去1年間にありましたか（それぞれ、1つに〇）

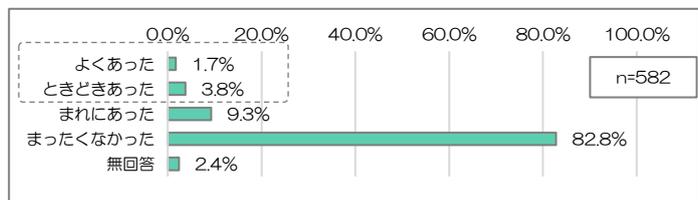
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は3.9%となっています。



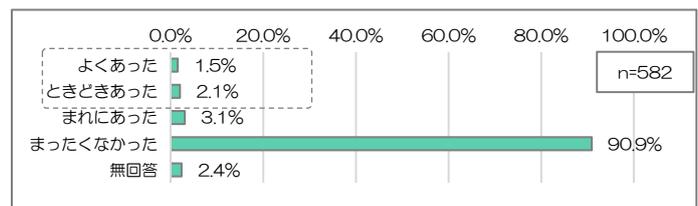
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は5.5%となっています。



【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

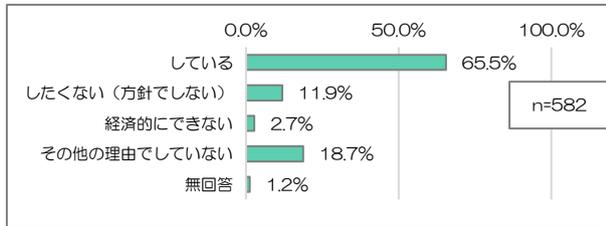
お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「よくあった」「ときどきあった」と回答した方は3.6%となっています。



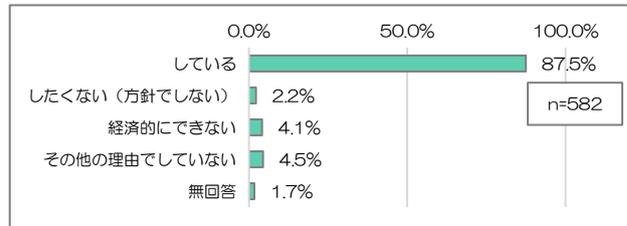
問20 下記のことについて、あなたの家庭では、お子さんに行っていますか。（それぞれ1つに○）

お子さんに行っていることとして「誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする」については「している」と回答した方が92.4%と多くなっています。また、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」ことについても「している」と回答した方が57.6%となり、約6割の方が学習塾に通わせている（または家庭教師に来てもらう）こととなっています。

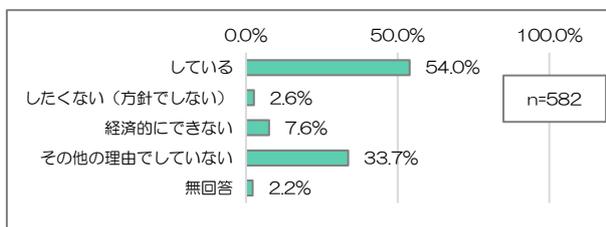
【毎月お小遣いを渡す】



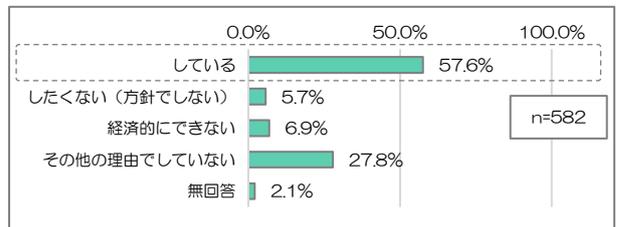
【毎年新しい洋服・靴を買う】



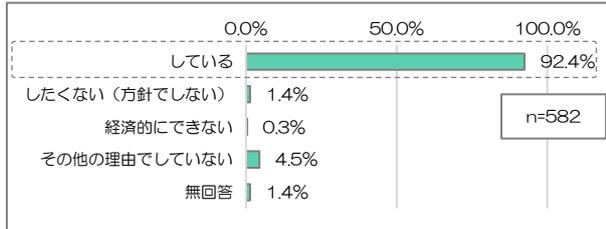
【習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる】



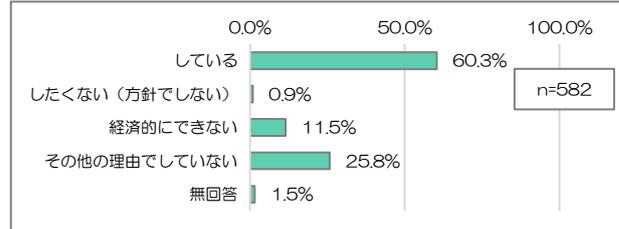
【学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）】



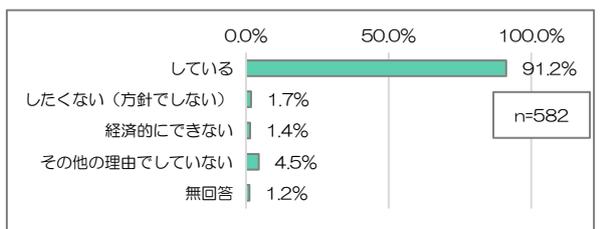
【誕生日にプレゼントをあげる等の祝い事をする】



【1年に1回くらい1泊以上の家族旅行に行く】



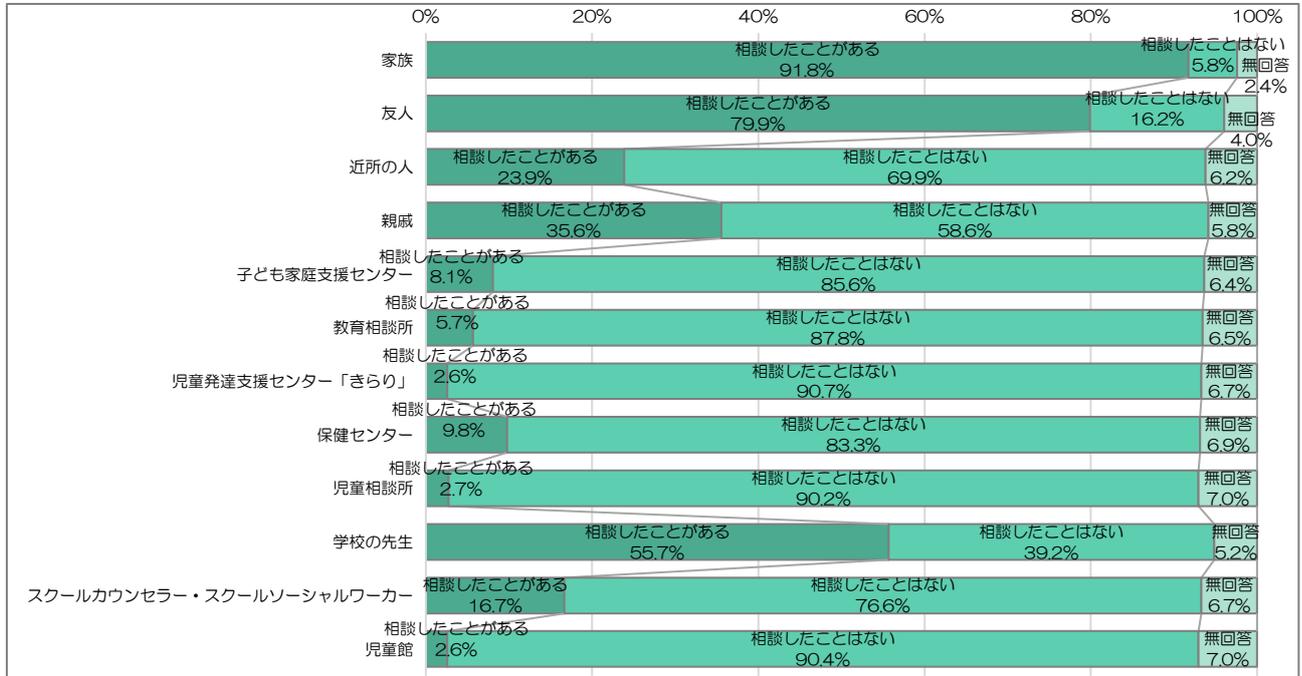
【クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】



問21 下記の相談先について、悩んだ時や困った時に相談したことがあるか、相談先として考えられるかお答えください。相談したことがある場合は相談結果についてお答えください。（それぞれ1つに〇）

悩んだ時や困った時に相談した先として「家族」が最も多く91.8%、次いで「友人」の79.9%となっています。

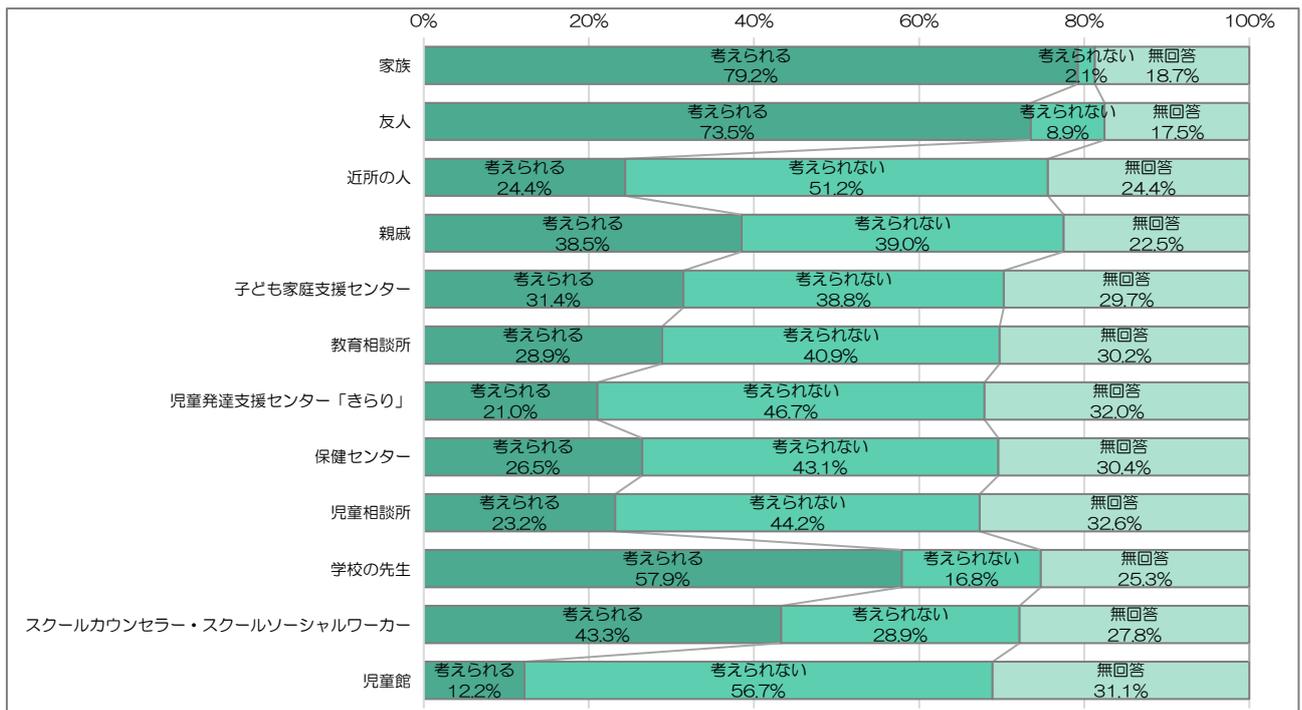
【相談したことがある】(n=582)



その他・・・カウンセラー (3)
主治医 (3)

また、相談先として考えられるかについては以下のとおりとなっており、「家族」「友人」とともに「学校の先生」も相談先として57.9%の方が「考えられる」と回答しています。

【相談先として考えられるか】(n=582)

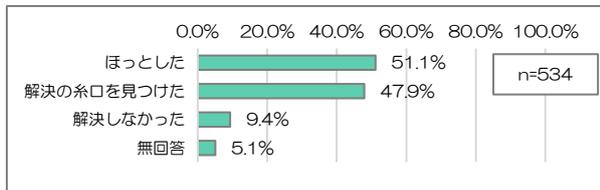


第2章 調査結果（Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者調査）

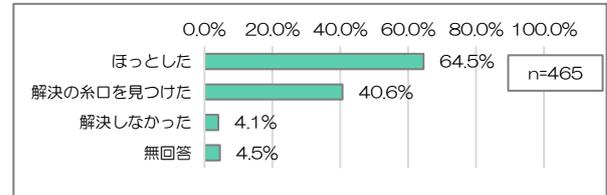
また、相談結果については以下のとおりとなっており、「ほっとした」と回答した方の割合が「児童館」で高くなっています。

【相談結果】

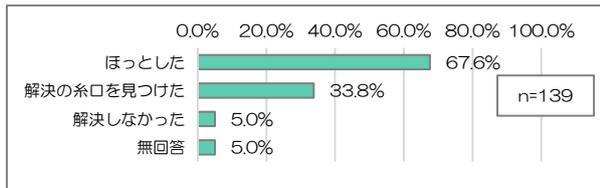
【家族】



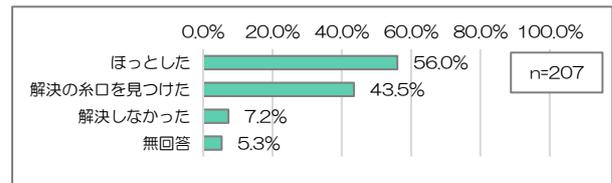
【友人】



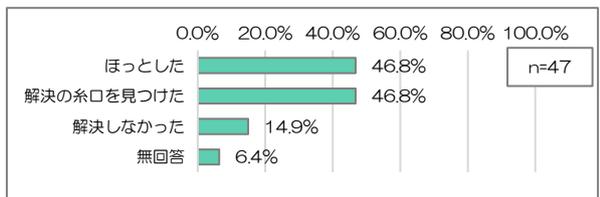
【近所の人】



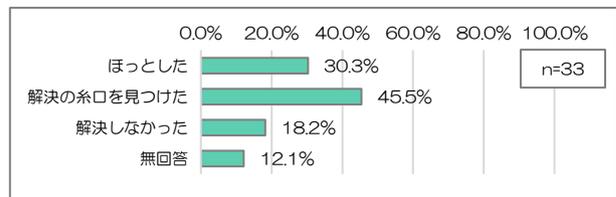
【親戚】



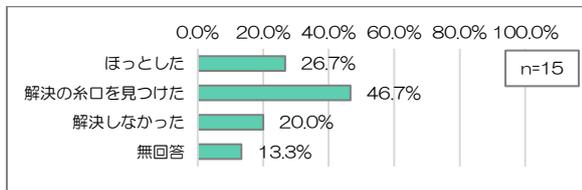
【子ども家庭支援センター】



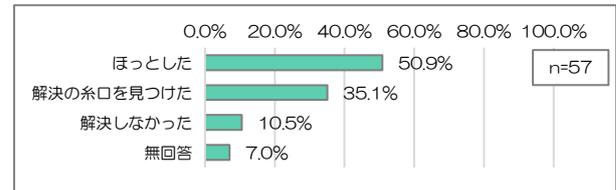
【教育相談所】



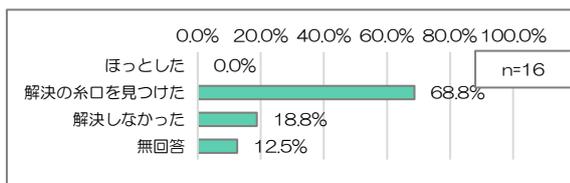
【児童発達支援センター「きらり」】



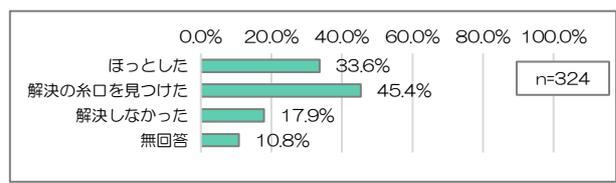
【保健センター】



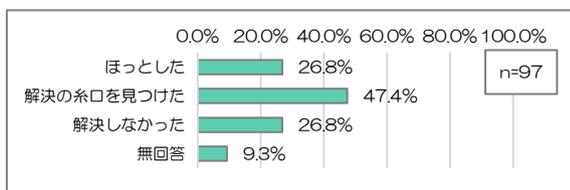
【児童相談所】



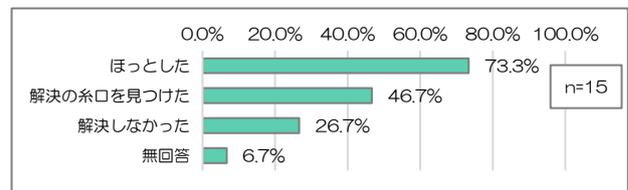
【学校の先生】



【スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー】



【児童館】



問22 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

サポートとして「気軽に話ができる機会があるとよい」というご意見が多く、同じ世代や境遇の方、近所の方同士で気軽に話ができ、そこから情報を得るなどができればよいという意見が多く見られています。

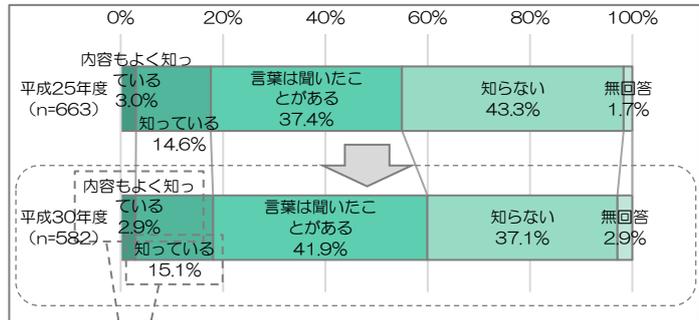
また相談の環境として気軽に相談できる、メールやSNSなどを活用して相談できるような環境作りが求められています。またこれらの相談や支援について情報を確実に伝えてほしいといったことも意見として多くなっています。

気軽に話ができる機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・話をしっかり聞いてもらえる場がほしい（10） ・同じ境遇や同じ世代で交流し話ができる機会がほしい（8） ・近所の人で気軽に話せる人がいるとよい（6） ・別の観点から、気軽に話ができる場がほしい（2） ・定期的に家に来てもらい、話す時間を作ってほしい（2） 	28
相談しやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し気軽に学習面や友人関係の悩みを相談できる場（メール、SNSなどの活用）がほしい（12） ・実際にあった相談例や解決した事例や、ささいな悩みの具体例を示してほしい（3） ・スクールカウンセラーが毎日1名は居るべき（3） ・市報などの隅に相談コーナーなど投書できるように、定期的にアンケートを行う（2） ・病気（起立性調節障がい）に対して理解ある相談先がほしい（1） 	25
情報の提供・情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口や子育て支援に関する情報をもっと提供してほしい（4） ・補助金の情報などお金に関する情報をもっと提供してほしい（3） ・進路についての情報、塾に関する情報をもっと提供してほしい（3） 	15
教育に関する費用の援助 <ul style="list-style-type: none"> ・教育にかかる費用の負担を減らしてほしい（13） ・教育費用の無償化を行ってほしい（2） 	15
勉強のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・大学生や若い方達からの勉強のサポートを行ってほしい（3） ・子ども達が気軽に行ける勉強をサポートして貰える場所があるとよい（2） 	6
自習スペースなど子供の居場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に利用できるような、安全で快適な自習スペースがあるとよい（3） ・屋内で自由に遊んだり勉強できるところがあったらよい（3） 	6
預かり、見守り、家事支援 <ul style="list-style-type: none"> ・共働きのため、夏休みなど長期休暇時などに食事を提供してくれる場あればと思う（3） ・家事のサポートや子ども送り迎えをしてほしいとよい（2） 	6
医療費の補助 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手当や医療費の負担など、18才までに引き上げていただけるとありがたい（4） ・医療費の無償化（1） 	5

4 小金井市子どもの権利に関する条例について

問23 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。（1つに○）

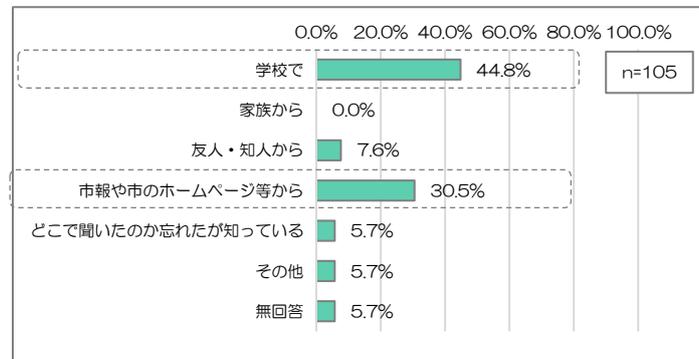
「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方が18.0%となり、認知率については約2割となっています。また平成25年度調査と比較すると、「知らない」と回答した方の割合が6.2%減少しています。



【「小金井市子どもの権利に関する条例」について内容もよく知っている、または知っている方のみ回答】

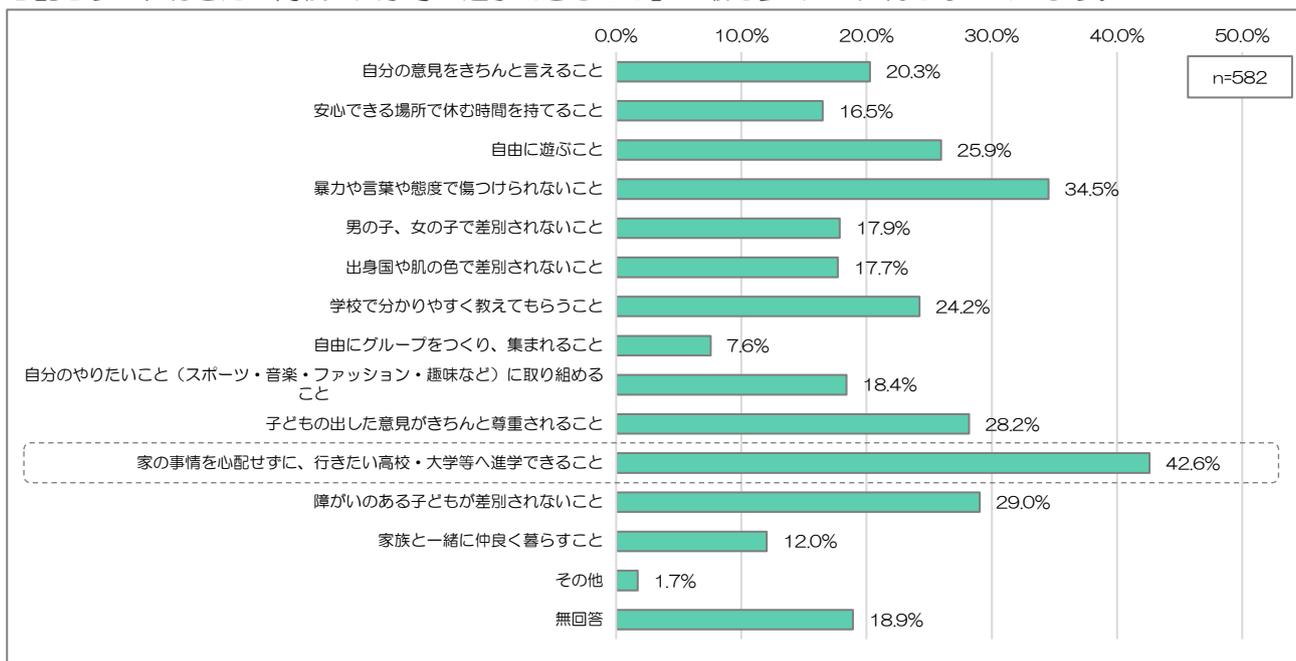
問24 「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初にどこで知りましたか。（1つに○）

「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「学校」が最も多く44.8%となっており、次いで「市報や市のホームページ」が30.5%となっています。



問25 ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」と思う子どもの権利について、「家の事情を心配せずに、行きたい高校・大学等へ進学できること」が最も多く42.6%となっています。



その他・・・特になし（8）

5 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般について

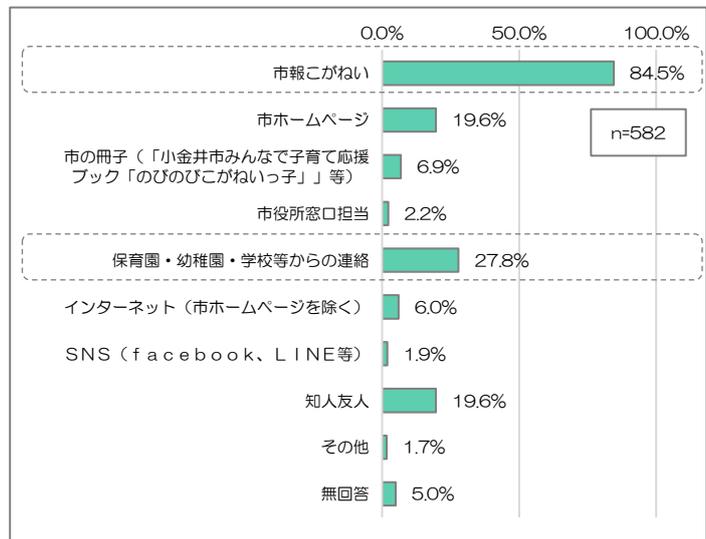
問26 小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください。（1つに〇）

小金井市の子育ての環境や支援について「満足」「やや満足」と回答した方について28.3%となっています。



問27 小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。（あてはまるものすべてに〇）

子育て支援策に関する情報の入手先として「市報こがねい」が最も多く84.5%となり、次いで「保育園・幼稚園・学校等からの連絡」が27.8%となっています。



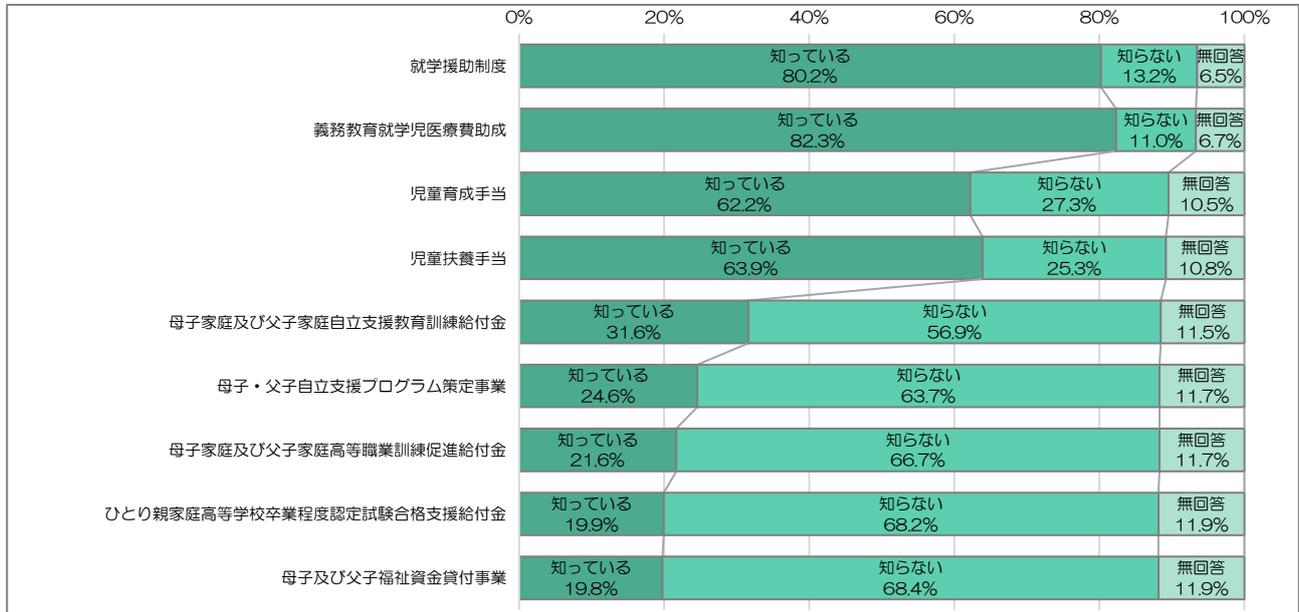
その他・・・情報収集していない(10)

第2章 調査結果（Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者調査）

問28 下記の小金井市の施策について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがない場合は、今後利用したいかお答えください。（1つに○）

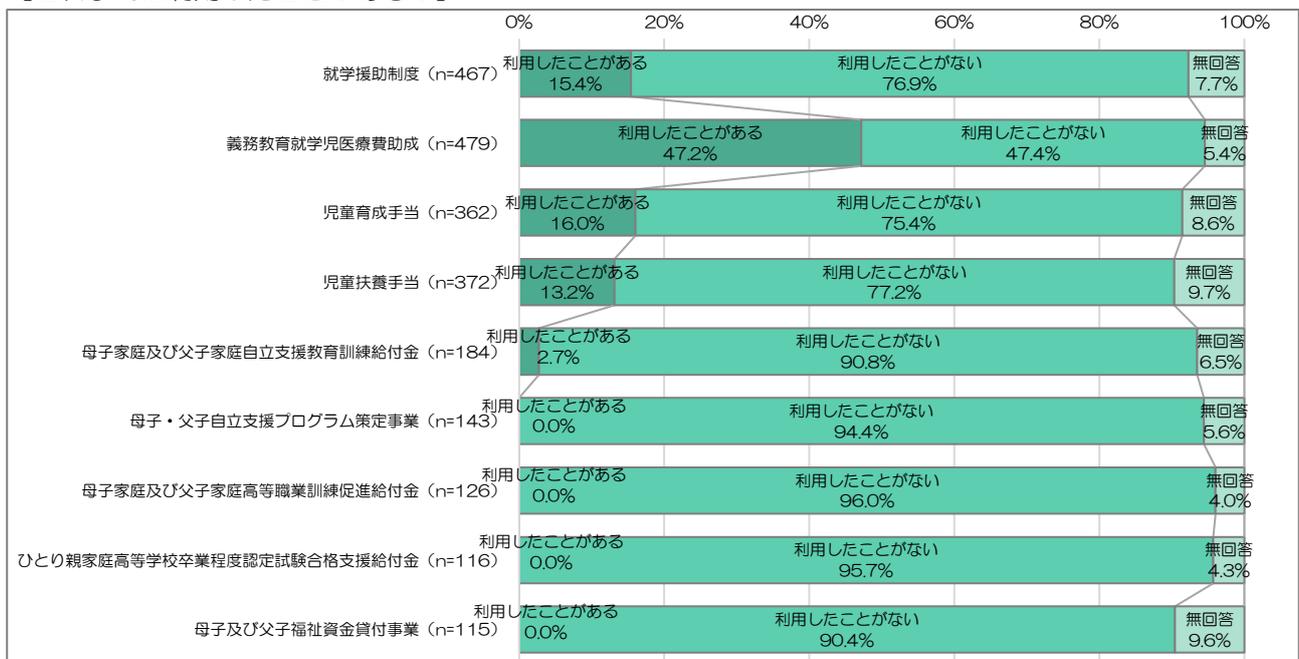
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が82.3%、「就学援助制度」が80.2%と高くなっています。

【知っている】(n=582)



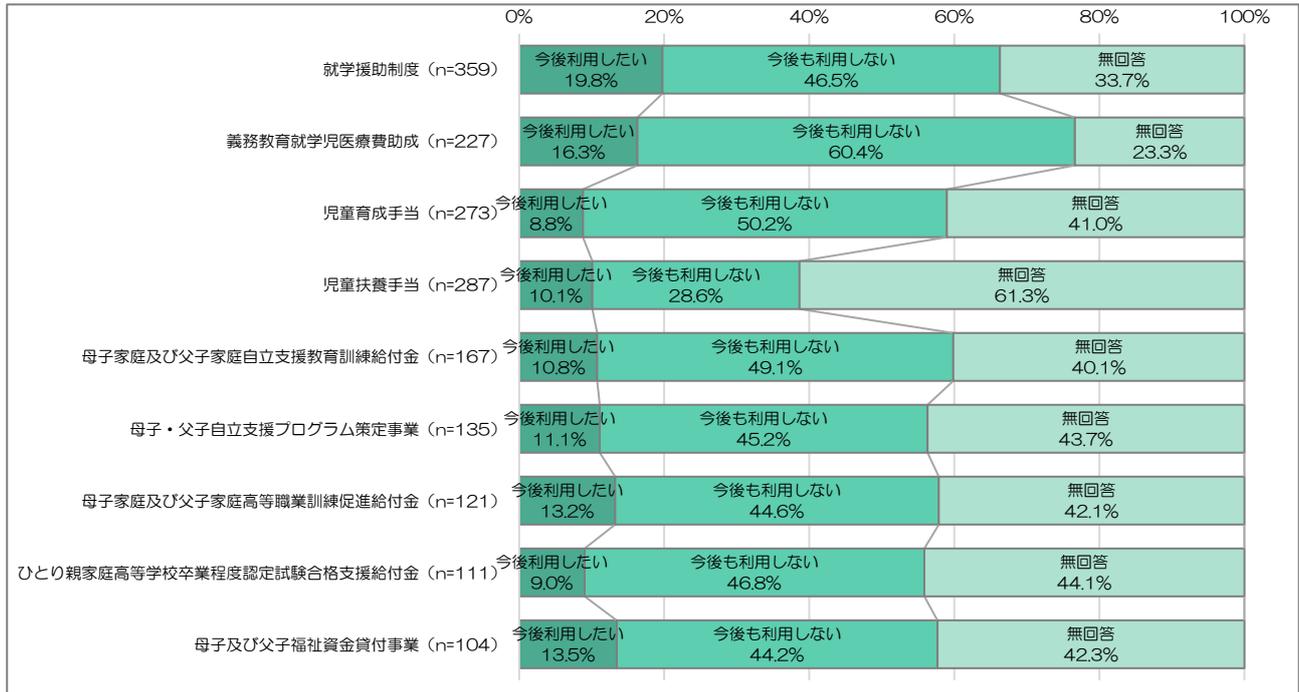
各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「義務教育就学児医療費助成」が47.2%と高い利用率となっています。

【これまでに利用したことがあるか】



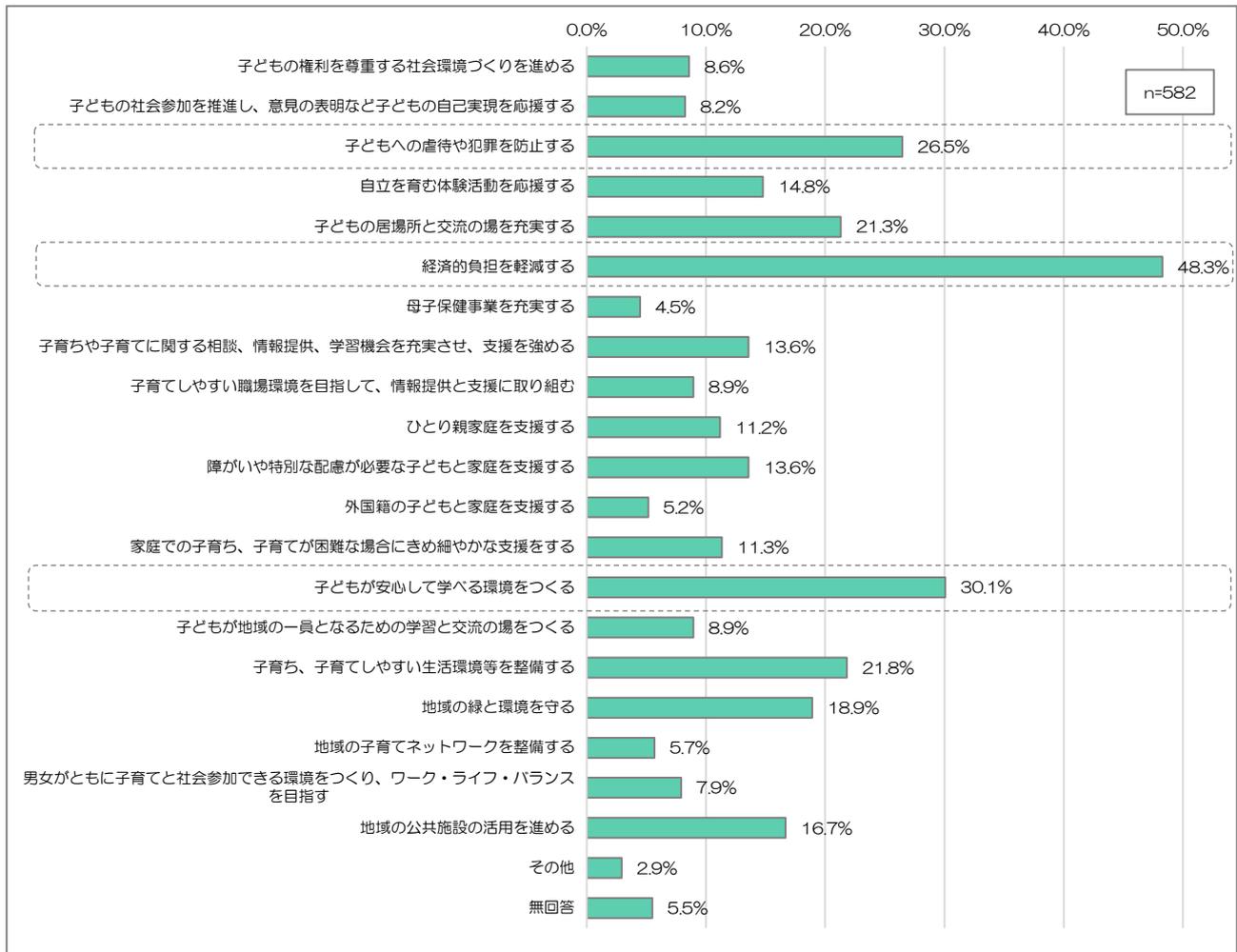
今は利用していないが、今後利用したいかについては「就学援助制度」が19.8%、「義務教育就学児医療費助成」が16.3%となっています。

【今後利用したいか】



問29 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。（3つまでに○）

子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこととして「経済的負担を軽減する」が最も多く 48.3%となっています。次いで「子どもが安心して学べる環境をつくる」が 30.1%、「子どもへの虐待や犯罪を防止する」が 26.5%となっています。



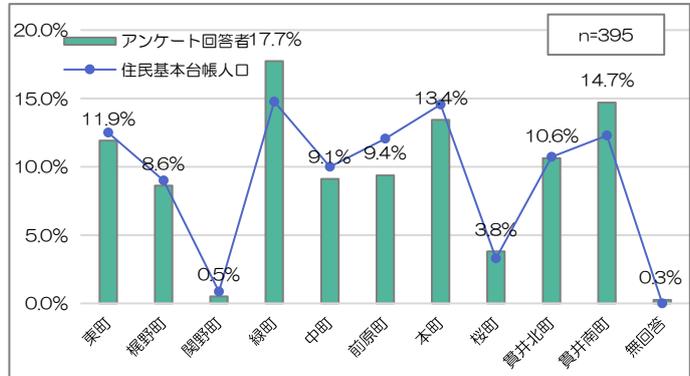
その他・・・図書館の充実（7）

Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査

1 回答者属性

問1 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

アンケート回答者のお住まいの地区割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による13歳から18歳の地区別人口割合と比較すると、「緑町」並びに「貴井南町」からの回答割合が他地区と比較して高くなっています。



<参考>

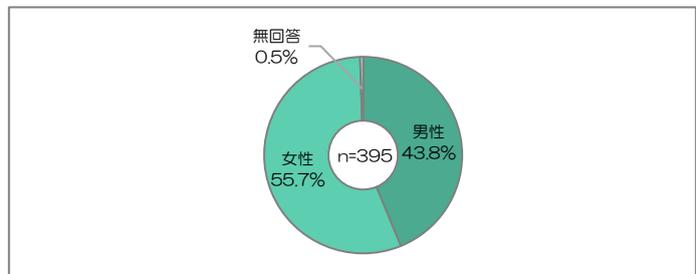
住民基本台帳による町別（13歳～18歳）人口（平成30年12月1日現在）

町名	東町	梶野町	関野町	緑町	中町	前原町	本町	桜町	貴井北町	貴井南町	合計
13～18歳人口(人)	744	535	51	879	595	718	867	196	638	731	5,954
割合(%)	12.5%	9.0%	0.9%	14.8%	10.0%	12.1%	14.6%	3.3%	10.7%	12.3%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町別年齢別人口より

問2 性別を教えてください。（1つに○）

アンケート回答者の性別割合は右のとおりとなり、平成30年12月1日現在の住民基本台帳による13歳から18歳の性別人口割合と比較すると「女性」からの回答割合が高くなっています。



<参考>

住民基本台帳による性別（13歳～18歳）人口（平成30年12月1日現在）

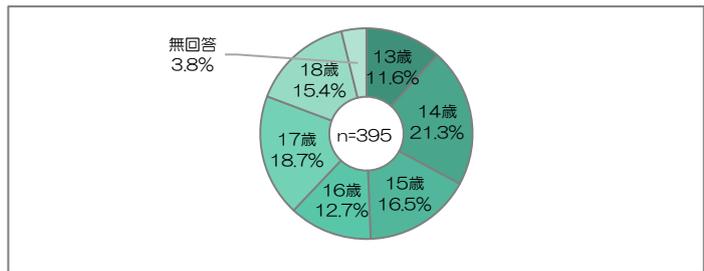
性別	男性	女性	合計
13～18歳人口(人)	3,079	2,875	5,954
割合(%)	51.7%	48.3%	100.0%

(出典) 小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町別年齢別人口より

第2章 調査結果（Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査）

問3 生年月を記入してください。（数字を記入）（平成30年12月1日現在）

アンケート回答者の年齢割合は右のとおりとなっています。



<参考>

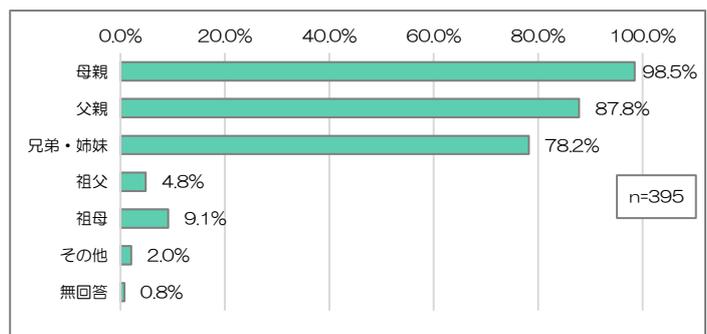
住民基本台帳による年齢別人口（平成30年12月1日現在）

年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	合計
人口 (人)	913	916	991	1,006	1,012	1,116	5,954
割合 (%)	15.3%	15.4%	16.6%	16.9%	17.0%	18.7%	100.0%

（出典）小金井市ホームページ 市勢データ世帯と人口 平成30年12月1日現在 町丁別年齢別人口より

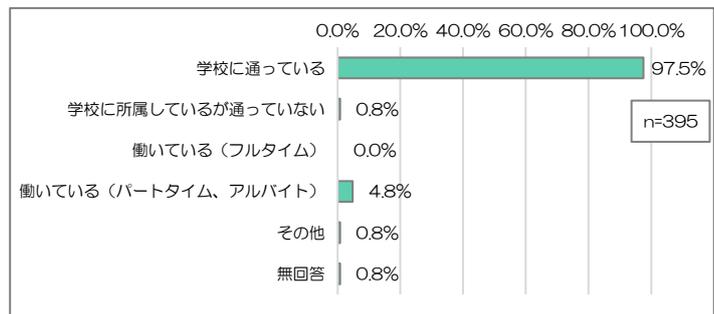
問4 どなたと同居していますか。（あてはまるものすべてに○）

同居している方について「母親」が98.5%、「父親」が87.8%となっています。



問5 学校に通っていますか。働いていますか。（あてはまるものすべてに○）

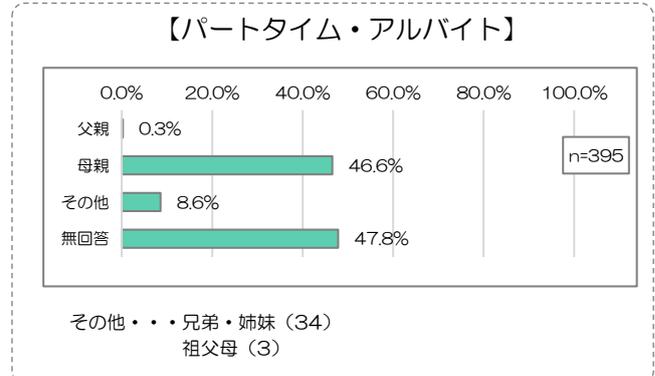
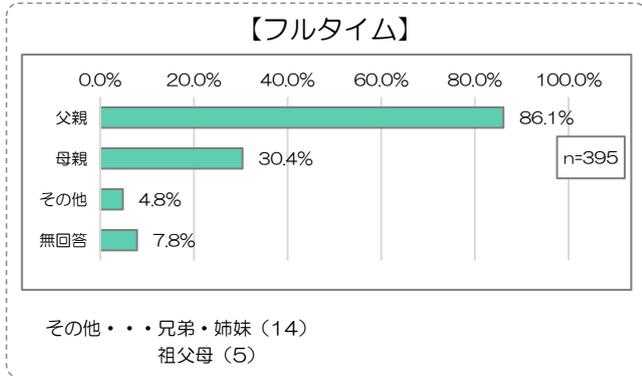
アンケート回答者の就学・就労状況について、「学校に通っている」方の割合は97.5%、「働いている」方の割合は4.8%となっています。



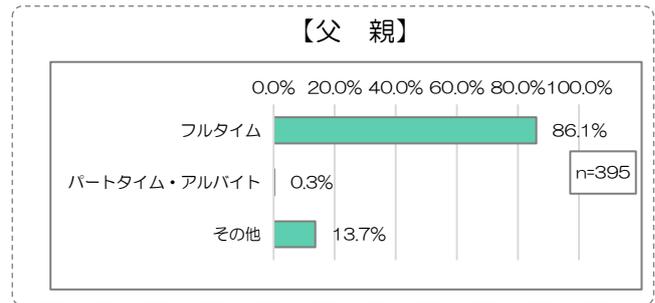
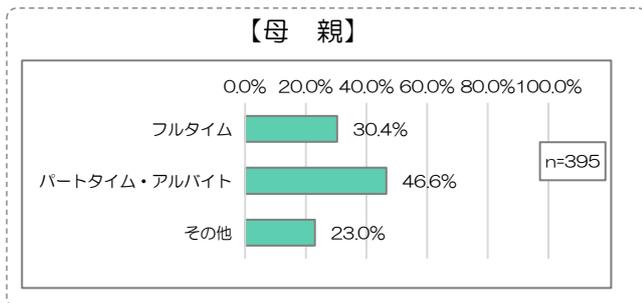
2 同居している家族の就労状況について

問6 同居している家族のうち、フルタイムまたはパートタイム・アルバイトで働いている方はどなたですか。（それぞれ1つに○）

フルタイムまたはパートタイム・アルバイトで働いている同居している家族について、「父親」が86.1%、「母親」が30.4%の方についてフルタイムで働いており、「母親」は46.6%の方がパートタイムで働いています。



なお、母親・父親別での就労状況に置き換えると以下のとおりとなります。



3 放課後や休日の過ごし方について

問7 ふだん、放課後や休日をどのように過ごしていますか。過ごし方で一番多いものについて、下の枠内に「どこで」「どのように」に分けて具体的に記入してください。

放課後では学校で過ごしていることが最も多く、内容は部活となっています。次いで家で過ごすことが多く、内容は勉強となっています。また塾で勉強している方も多く見られています。

また、休日においては家で過ごしていることが最も多く、内容は勉強となっています。次いで学校での部活、塾での勉強となっています。

【放課後】

どこで	どのように過ごしている	数
学校		220
	部活をしている	183
	勉強している	20
	友だちと遊んでいる・話している	5
家		87
	勉強している	38
	ゲームをしている	12
	寝ている	8
	のんびりしている	6
	スマホを見ている	5
	テレビを見ている	4
塾		48
	勉強している	48
バイト先		5
	働いている	5
グラウンド		5
	サッカーしている	5

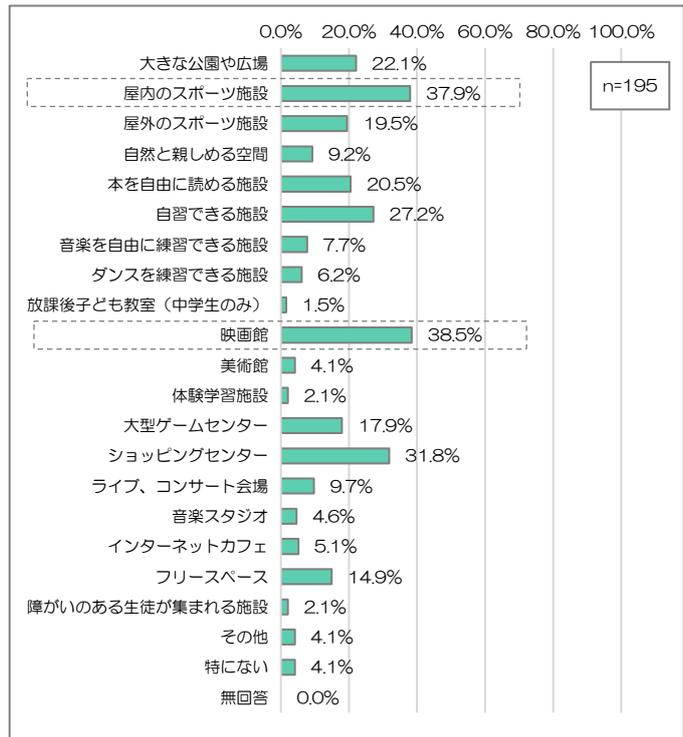
【休日】

どこで	どのように過ごしている	数
家		217
	勉強している	88
	ゲームをしている	25
	のんびりしている	24
	テレビを見ている	21
	寝ている	15
	スマホを見ている	10
	遊んでいる	7
学校		60
	部活をしている	60
塾		28
	勉強している	28
グラウンド		12
	サッカーしている	7
	野球をしている	5
図書館		10
	勉強している	8
	読書をしている	2
バイト先		8
	働いている	8

問8 放課後や休日を過ごすのに、どのような施設や遊び場が家の近所にあるとうれしいですか。（3つまでに○）

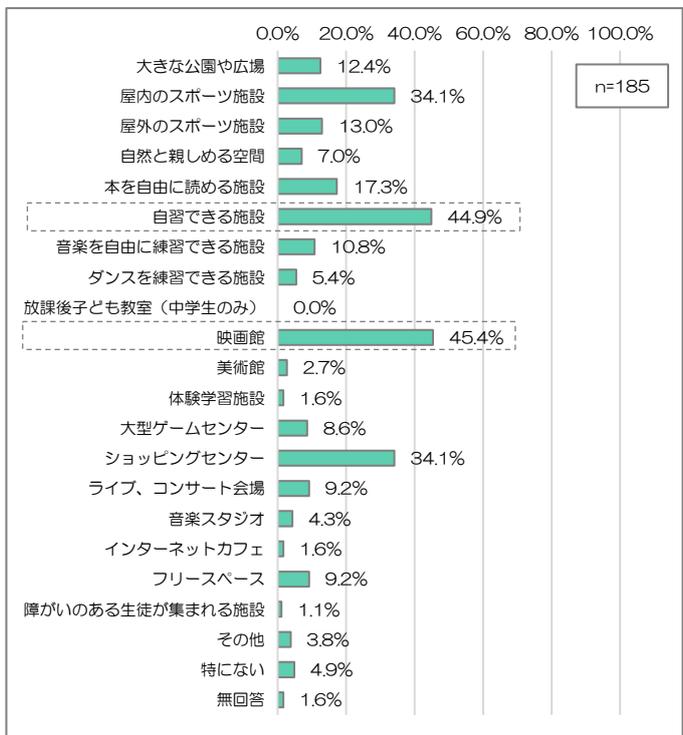
【13歳～15歳（中学生年代）】

放課後や休日を過ごす施設や遊び場について、「映画館」と回答した方が最も多く38.5%となり、次いで「屋内のスポーツ施設」となっています。雨の日など天気が悪いときでも過ごせる屋内の施設が求められています。



【16歳～18歳（高校生年代）】

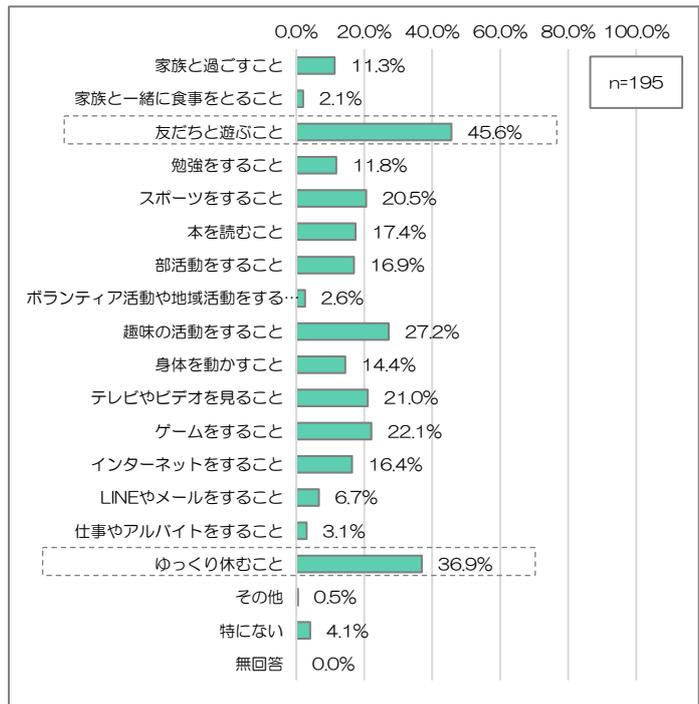
放課後や休日を過ごす施設や遊び場について、「映画館」と回答した方が最も多く45.4%となっています。また、「自習できる施設」と回答した方も44.9%となっており、放課後や休日を過ごす場として遊び場だけでなく、学習する場についても求められています。



問9 あなたが日ごろ、もっとしたいと思っていることは何ですか。（3つまでに○）

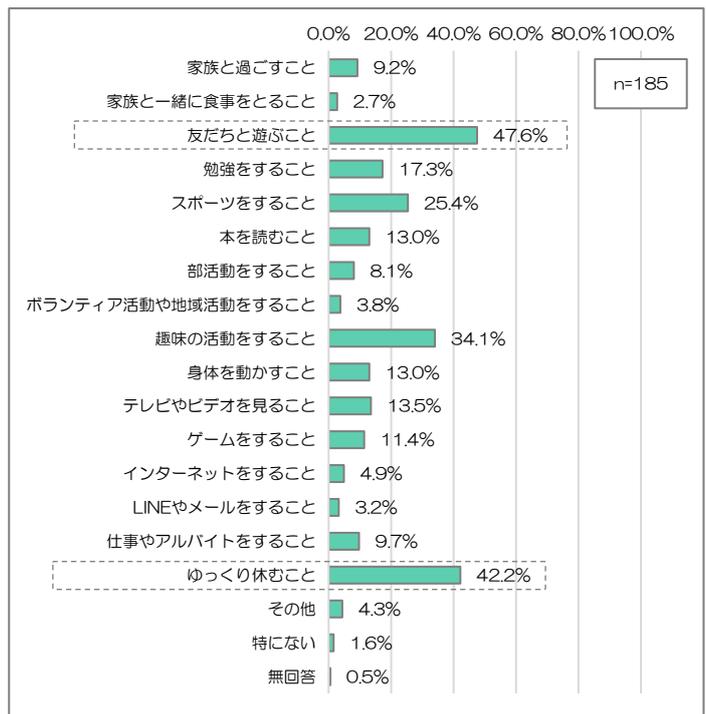
【13歳～15歳（中学生年代）】

日ごろ、もっとしたいと思っていることとして、「友だちと遊ぶこと」が最も多く45.6%となっており、次いで「ゆっくり休むこと」が36.9%となっています。



【16歳～18歳（高校生年代）】

日ごろ、もっとしたいと思っていることとして、「友だちと遊ぶこと」が最も多く47.6%となっており、次いで「ゆっくり休むこと」が42.2%と高くなっています。

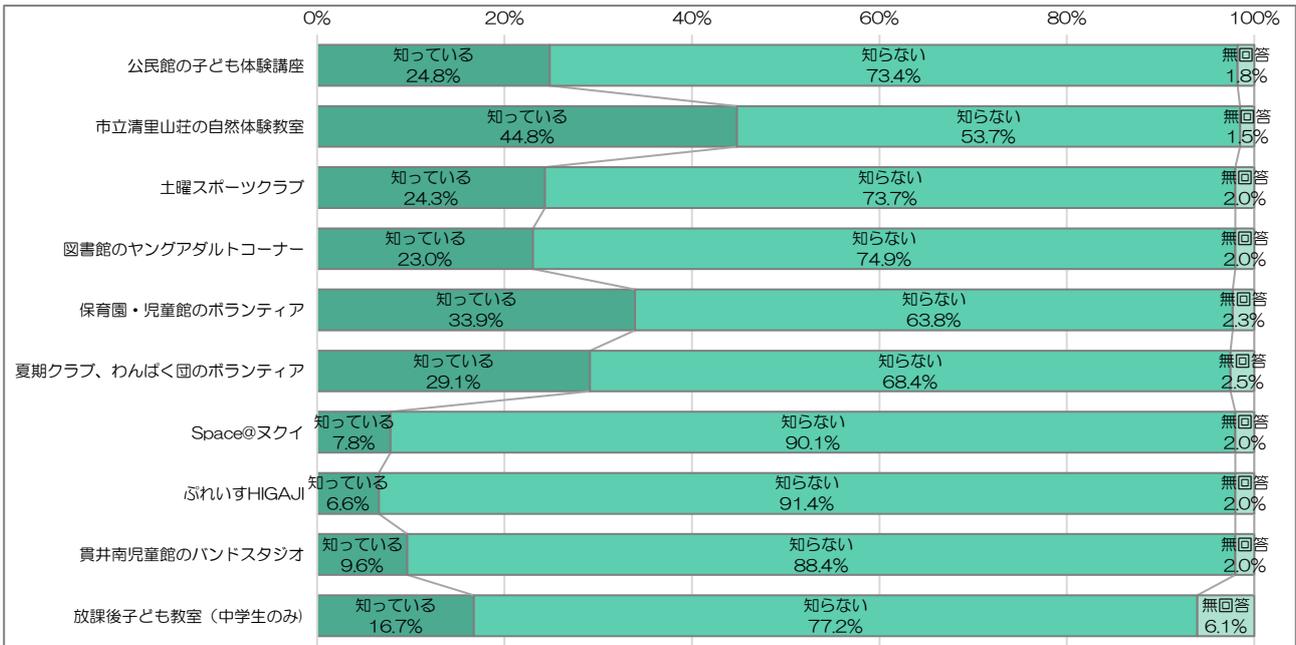


4 小金井市の事業や施設について

問10 下記のサービスや事業について、知っているか、これまでに利用したことがあるか教えてください。また、利用したことがある場合は今後も利用したいか教えてください。（1つに〇）

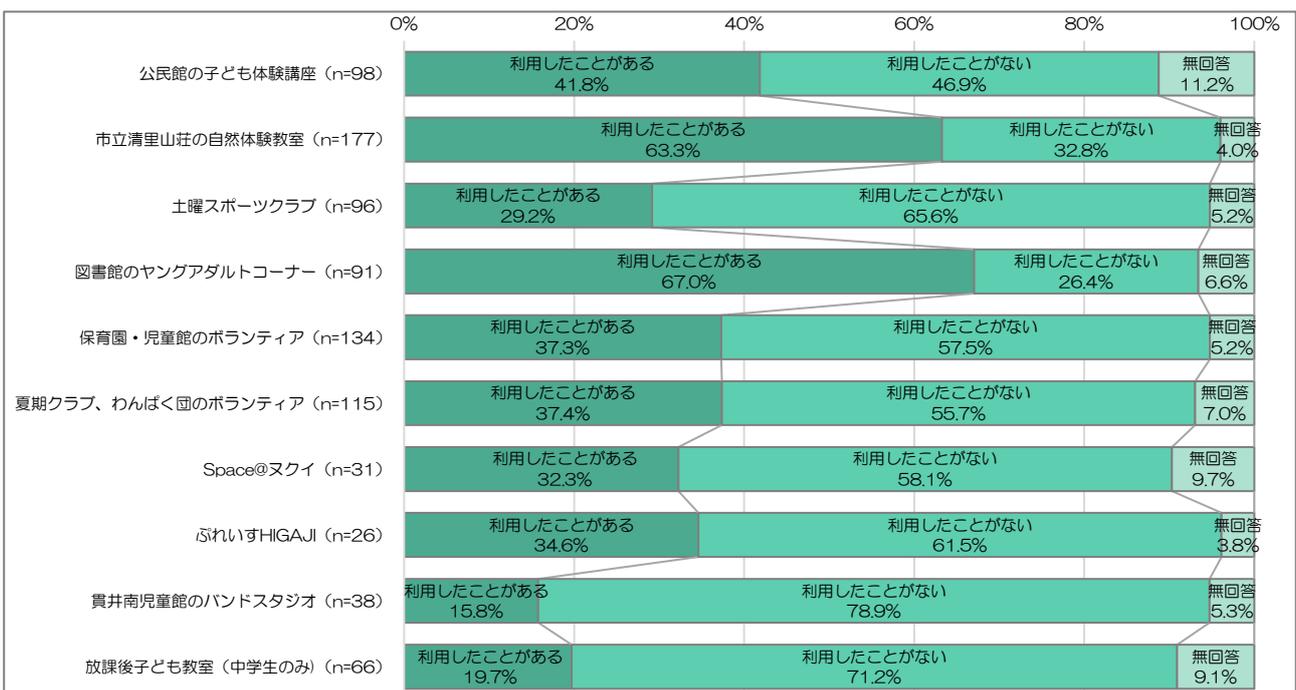
各事業の認知度について以下のとおりとなっており、「市立清里山荘の自然体験教室」が44.8%と最も高く、次いで「保育園・児童館のボランティア」が33.9%となっている一方、「ぶれいず HIGAJI」が6.6%、「Space@ヌクイ」が7.8%と認知度が低くなっています。

【知っている】(n=395)



各事業の利用率について以下のとおりとなっており、「図書館のヤングアダルトコーナー」が67.0%と高い利用率となっている一方、「貫井南児童館のバンドスタジオ」が15.8%と利用率が低くなっています。

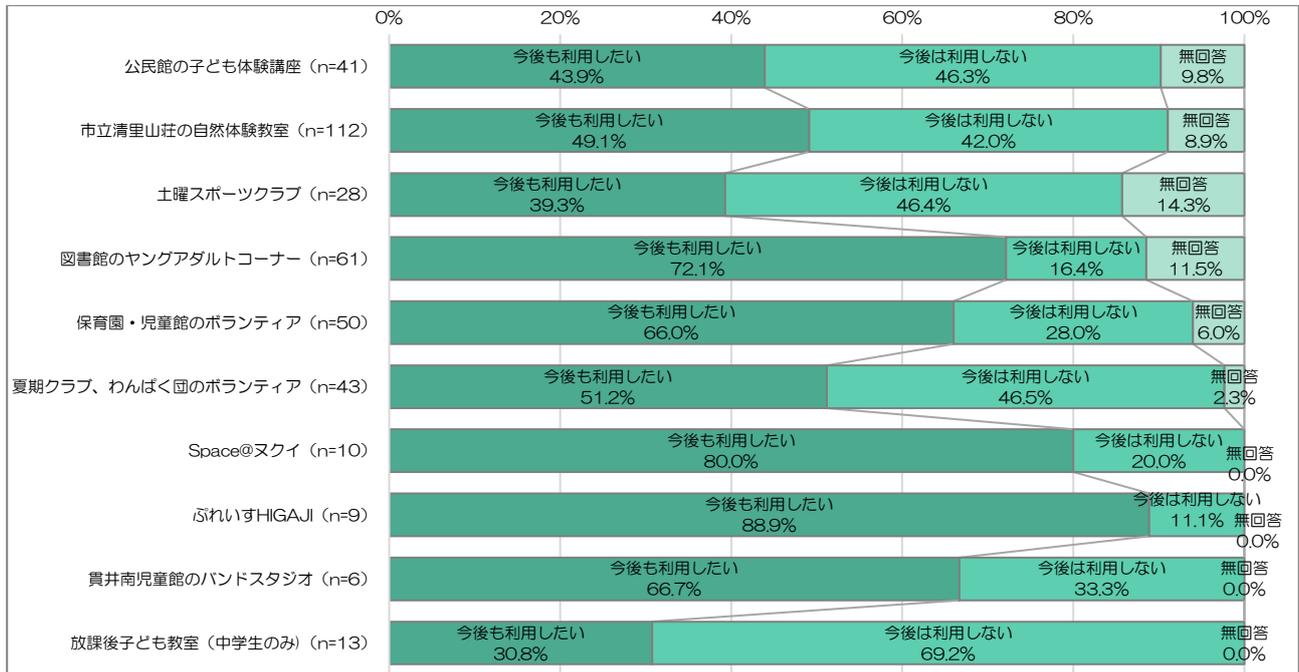
【これまでに利用したことがあるか】



第2章 調査結果（Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査）

各事業の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「ぶれいす HIGAJI」が88.9%、「Space@ヌクイ」が80.0%と、再度の利用希望率が高くなっています。

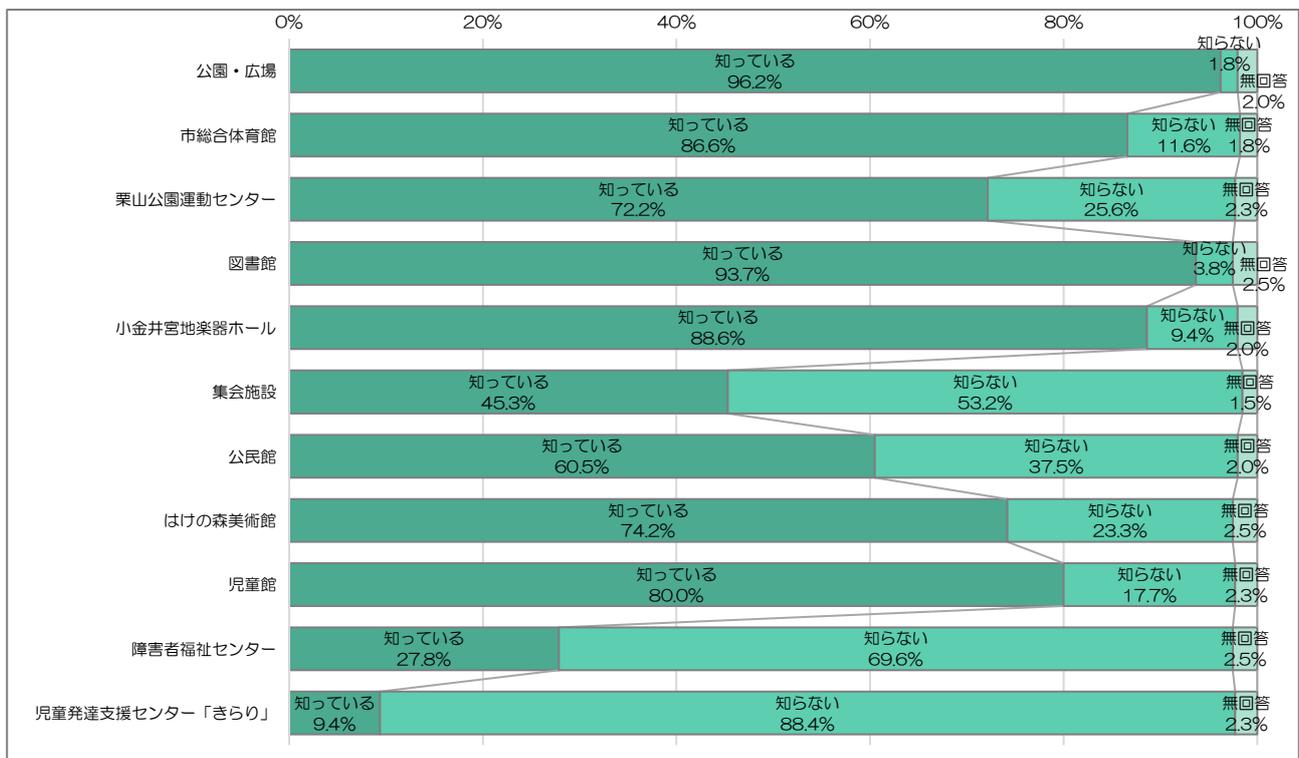
【今後も利用したいか】



問11 下記の施設について、知っているか、これまでに利用したことがあるか教えてください。また利用したことがある場合は満足したか、今後も利用したいか教えてください。（1つに○）

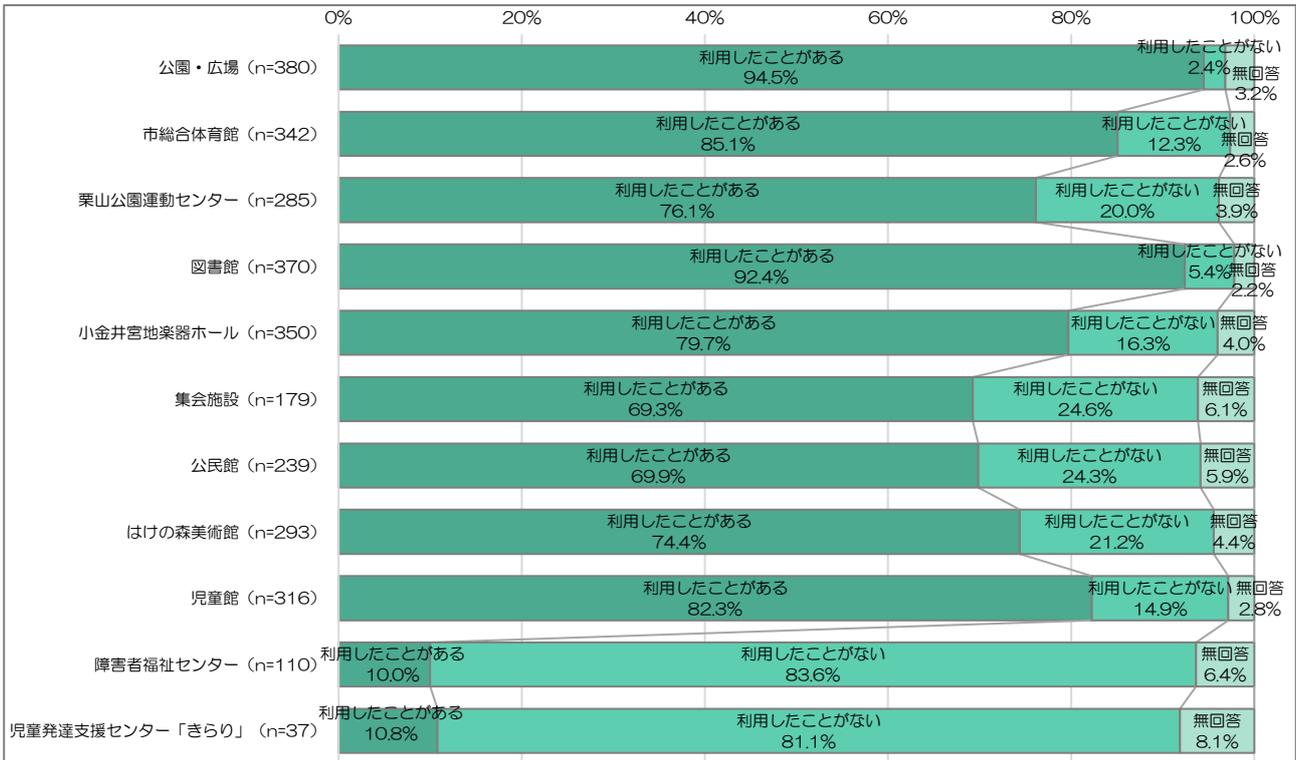
各施設の認知度について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い認知度と同等に「小金井宮地楽器ホール」の認知度が88.6%、約9割と高くなっています。

【知っている】(n=395)



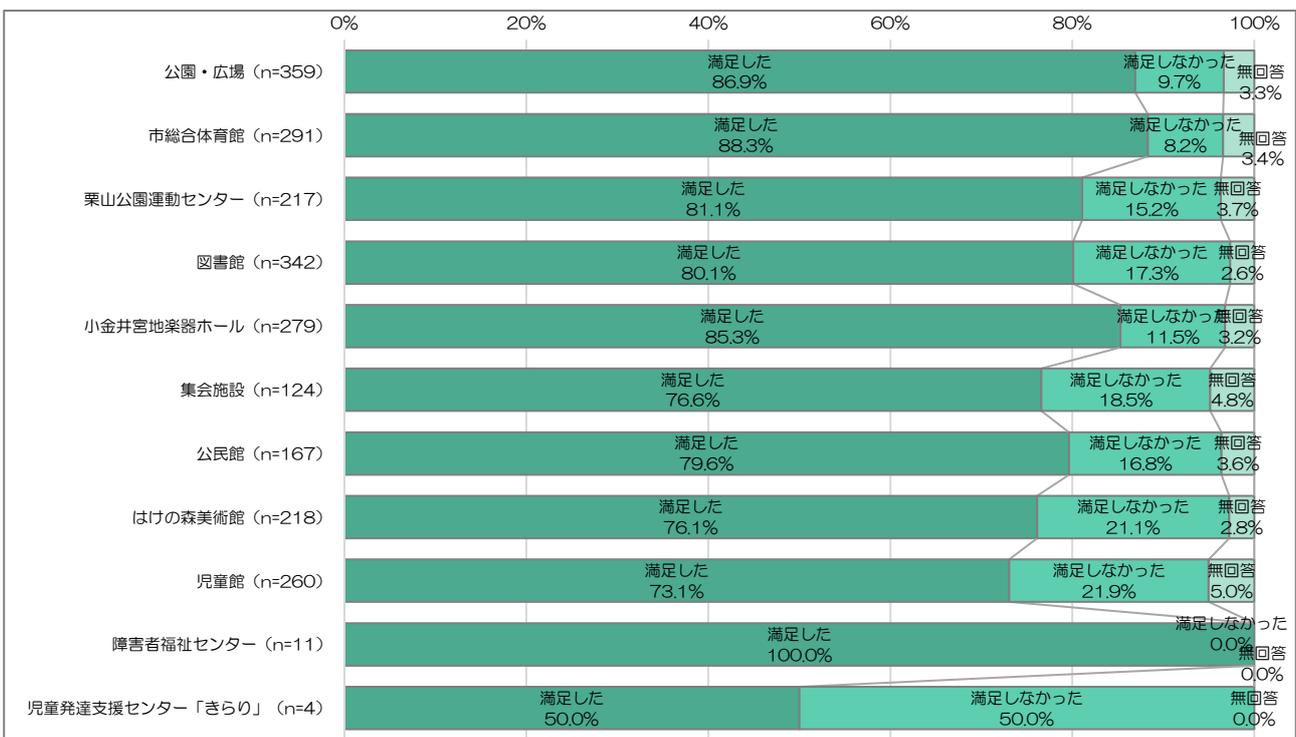
各施設の利用率について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い利用率と同等に「児童館」が82.3%、「小金井宮地楽器ホール」が79.7%と約8割の利用率となっています。

【これまでに利用したことがあるか】



各施設の利用満足度について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い満足度と同等に「小金井宮地楽器ホール」が85.3%、「障害者福祉センター」が100.0%と、満足度が高くなっています。

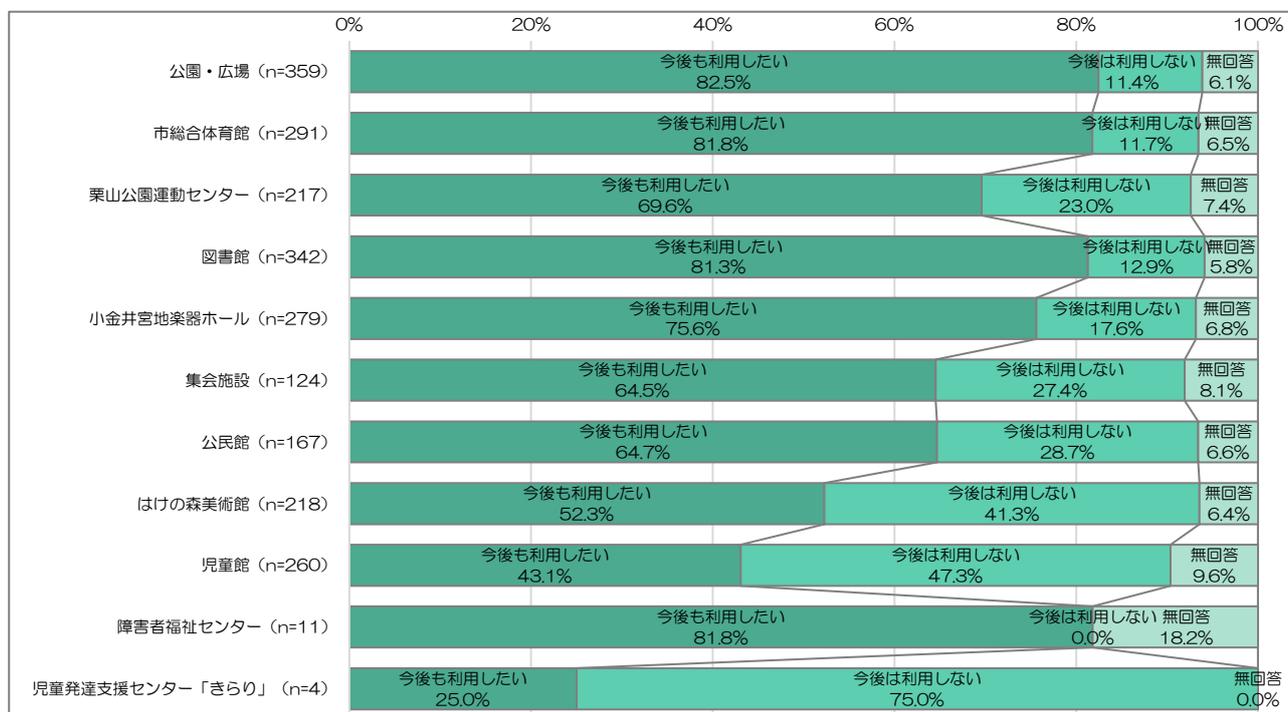
【満足したか】



第2章 調査結果（Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査）

各施設の今後の利用意向について以下のとおりとなっており、「公園・広場」「図書館」「総合体育館」の高い再度の利用意向と同等に「小金井宮地楽器ホール」が75.6%、「障害者福祉センター」が81.8%と、利用意向が高くなっています。

【今後も利用したいか】



問12 どの施設の内容を充実してほしいですか。下の枠内に具体的に記入してください。

施設で充実してほしいこととして、図書館の自習スペースを増やしてほしいが最も多くなっています。また、小金井宮地楽器ホール、公民館についても自習スペースを増やしてほしいとの要望が多くなっています。また図書館では本の数や種類も増やしてほしいということも多くなっています。公園、市総合体育館、スポーツ施設ではいろいろなスポーツができるようにしてほしい、特に公園においてはサッカーや野球、バスケットなど球技ができるようにしてほしいとの要望が見られています。

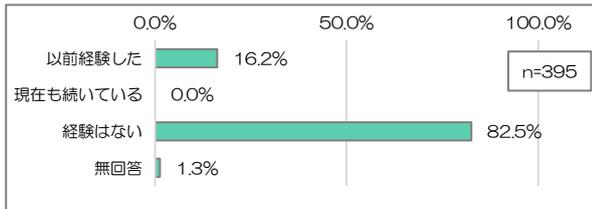
施設名	充実してほしいこと	数	施設名	充実してほしいこと	数
図書館	自習スペースを増やしてほしい	48	スポーツ施設	色んなスポーツができるようにしてほしい	5
	本の数・種類を増やしてほしい	32		小金井宮地楽器ホール	自習スペースを増やしてほしい
	席を増やしてほしい	3	児童館		大きくしてほしい
	開館時間を延ばしてほしい	3		公民館	自習スペースを増やしてほしい
公園	色んなスポーツ（球技）ができるようにしてほしい	7	学校		トイレをきれいにしてほしい
	球技の設備（ゴール）を設置してほしい	5		施設をキレイにしてほしい	4
	プールを拡充してほしい	4			
	プールをきれいにしてほしい	3			
	施設をきれいにしてほしい	3			
	トイレをキレイにしてほしい	3			
市総合体育館	色んなスポーツができるようにしてほしい	5			
	施設をキレイにしてほしい	3			
	バドミントンのスペースを広げてほしい	3			

5 日々の生活の問題などについて

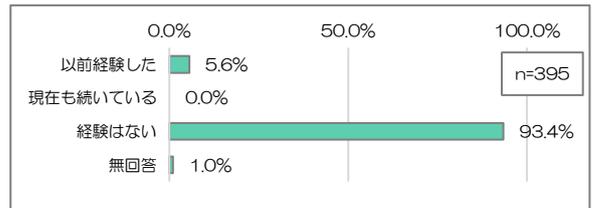
問13 いじめや虐待、非行、不登校の経験はありますか。（それぞれ、1つに〇）

いじめについて、16.2%の方が受けたことがあると回答し、5.6%の方がしたことがあると回答しています。また、虐待については2.5%の方が経験したことがあると回答し、0.3%の方（1人）が虐待が今も続いていると回答しています。不登校については5.6%の方が経験したと回答し、1.0%（4人）は現在も不登校中であると回答しています。

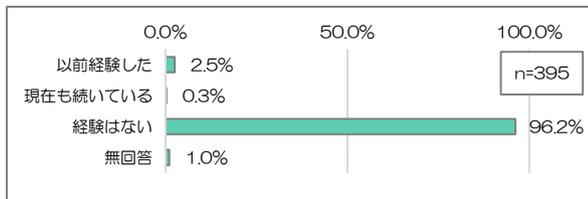
【いじめを受けたこと】



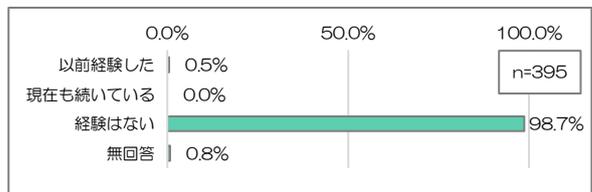
【いじめをしたこと】



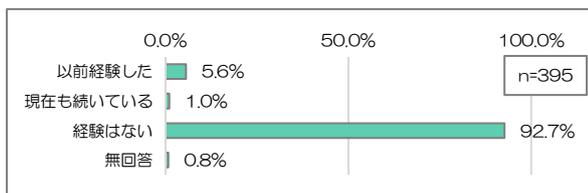
【虐待を受けたこと】



【非行】



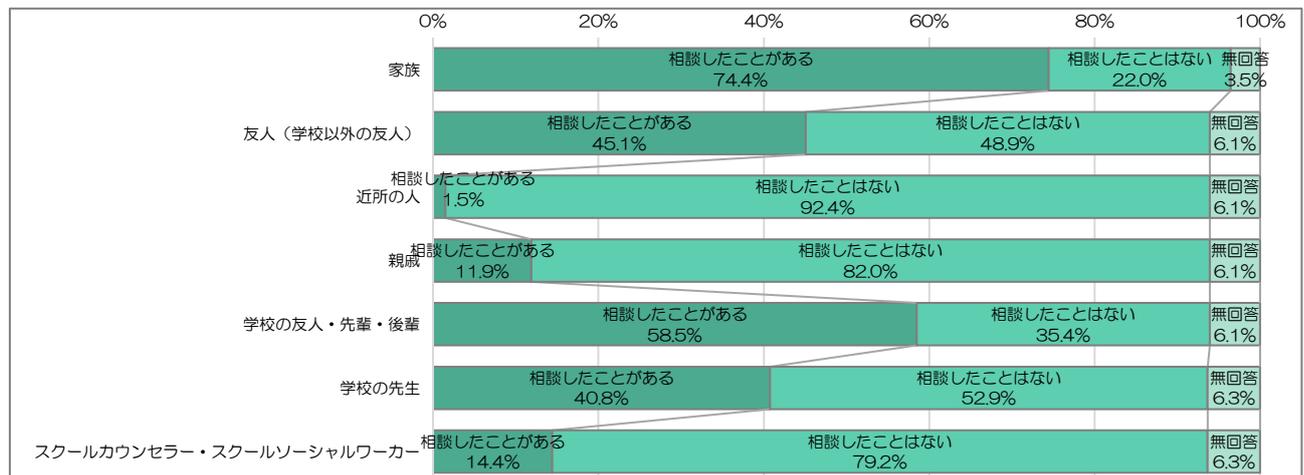
【不登校】



問14 下記の相談先について、悩んだ時や困った時に相談したことがあるか、相談先として考えられるか教えてください。また、相談したことがある場合は相談結果について教えてください。（1つに〇）

相談先ごとの相談の経験について以下のとおりとなっており、「家族」とともに「学校の友人・先輩・後輩」が相談先として多くなっています。

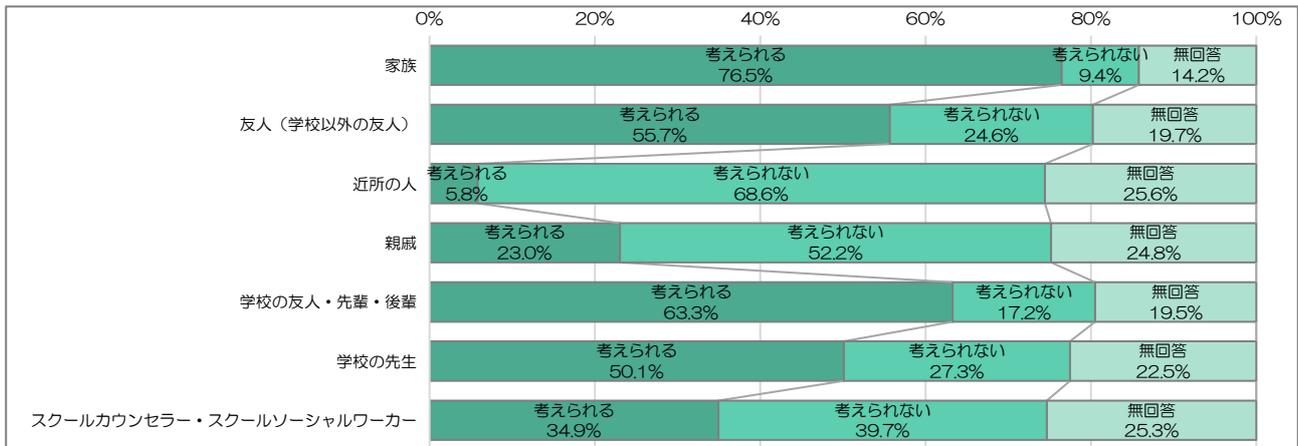
【相談したことがある】（n=395）



第2章 調査結果（Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査）

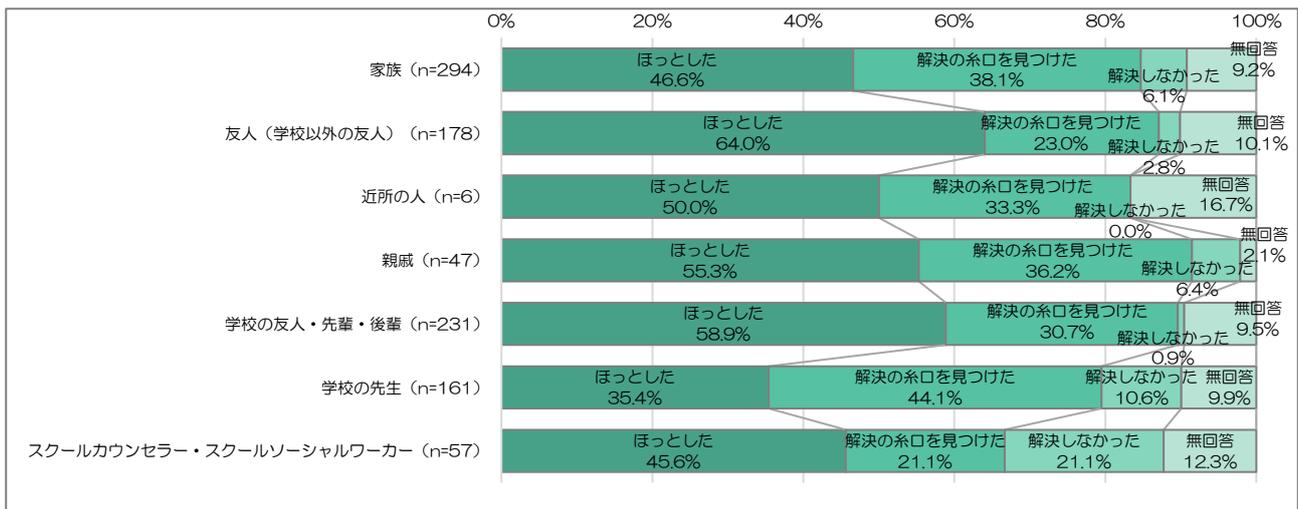
また、相談先として考えられるかについては以下のとおりとなっており、相談の経験同様に「家族」「学校の友人・先輩・後輩」が相談先として考えられるとした回答が多くなっています。

【相談先として考えられるか】（n=395）



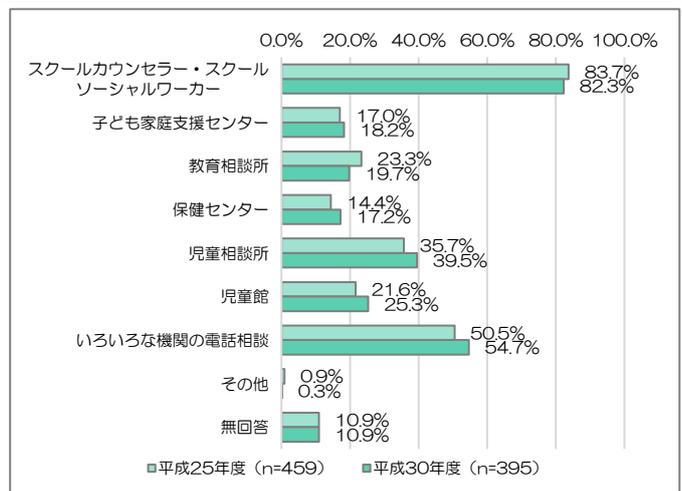
また、相談先ごとの相談結果については以下のとおりとなっており、「解決の糸口を見つけた」としては「学校の先生」が最も多く 44.1% となっています。

【相談結果】



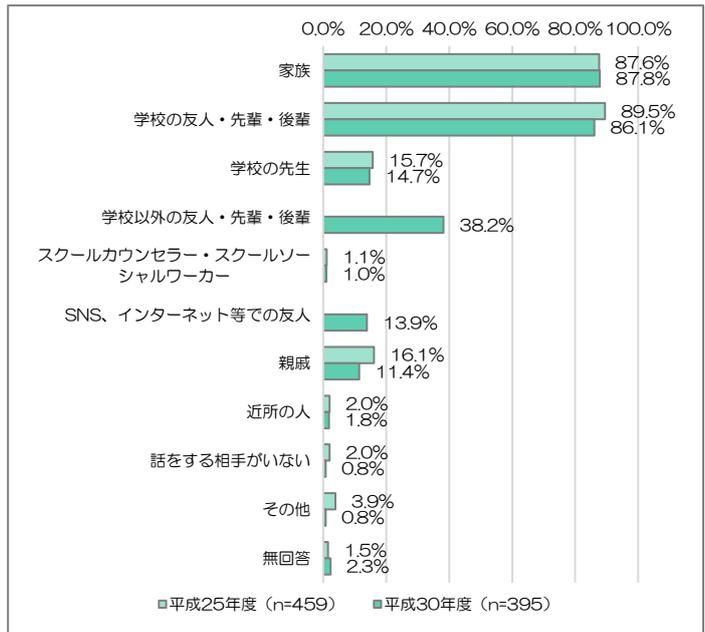
問15 悩みごとや困ったことがある場合、次のような相談する場所があることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

相談する場所の認知度について、「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー」の認知度は高く 82.3% となっています。また、平成25年度調査と比較しても相談場所の認知度に大きな変化は見られていません。



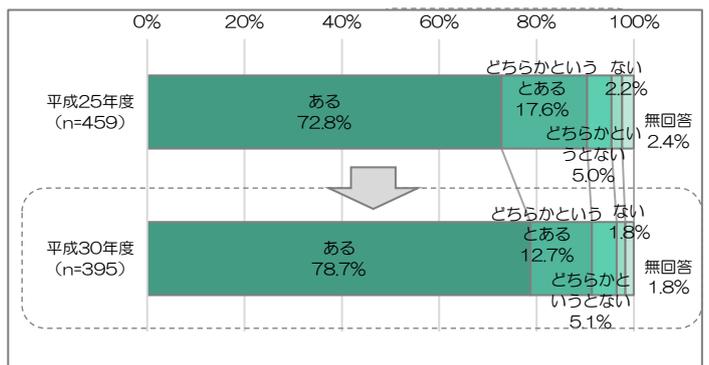
問16 うれしいことがあった時、誰に話をしますか。（あてはまるものすべてに○）

うれしいことがあった時の話先について、「家族」が一番多く87.8%となり、次いで「学校の友人・先輩・後輩」となっています。また平成25年度調査と比較しても話し相手としての割合に大きな変化は見られていません。



問17 自分がほっとする居場所がありますか。（1つに○）

ほっとする居場所について「ある」「どちらかというところ」と回答した方は91.4%となり9割以上の方があると回答しています。また平成25年度調査と比較すると、「ある」「どちらかというところ」と回答した方の合計割合に大きな変化は見られていません。



問18 ほっとする居場所を具体的に記入してください。

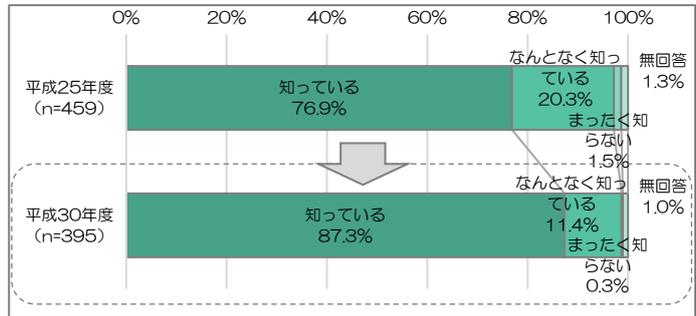
ほっとする居場所については「自宅」が最も多く、次いで「自分の部屋」となっています。

居場所	数
自宅	226
自分の部屋	45
学校	19
布団の中	14
友人	6
家のトイレ	6
図書館	5
部活	5
お風呂	3

6 あなたの健康について

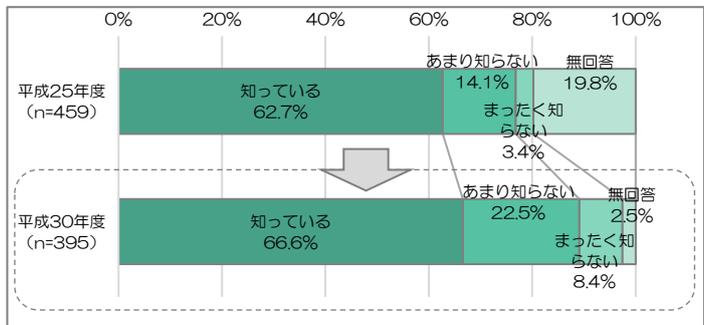
問19（1） 薬物乱用の有害性について知っていますか。（1つに〇）

薬物乱用の有害性について「知っている」と回答した方は87.3%となっています。また、平成25年度調査と比較すると、「知っている」と回答した方の割合が10.4%増えており、その有害性についての認知度が高まっていると考えられます。



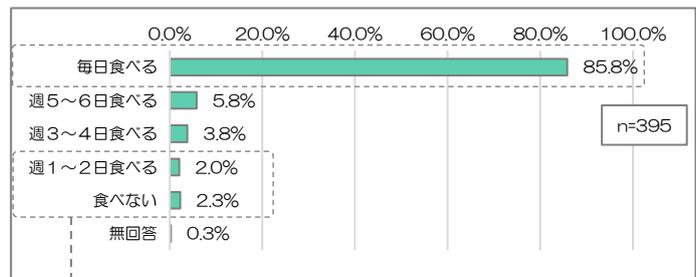
問19（2） 性感染症が体に及ぼす影響について知っていますか。（1つに〇）

性感染症が体に及ぼす影響について「知っている」と回答した方は66.6%となっています。また、平成25年度調査と比較すると、「知っている」と回答した方の割合が3.9%増えており、その影響についての認知度が高まっていると考えられます。



問20 毎日朝食をとっていますか。（1つに〇）

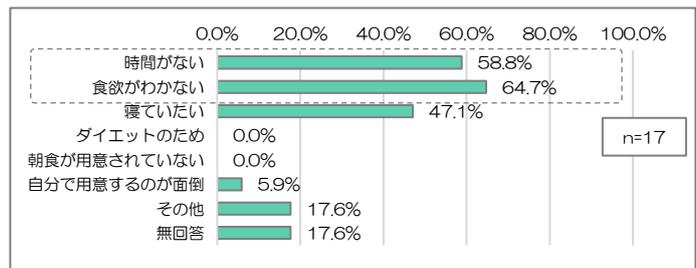
朝食について「毎日食べている」と回答した方は85.8%となっています。一方、「食べない」と回答した方は2.3%となっています。



【朝食を週1～2日食べる、または食べない方のみ回答】

問21 朝食をあまり食べない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

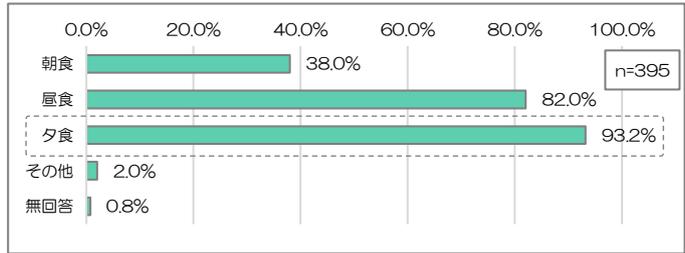
朝食を「食べない」「週に1～2日食べる」と回答した方について、朝食をあまり食べない理由としては、「食欲がわからないから」が最も多く64.7%、次いで「時間がないから」が58.8%となっています。



その他・・・食べると体調が悪くなる（5）

問22 平日に1日で主食と主菜と副菜のそろった食事をとっていますか。主食と主菜と副菜をとっている食事に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

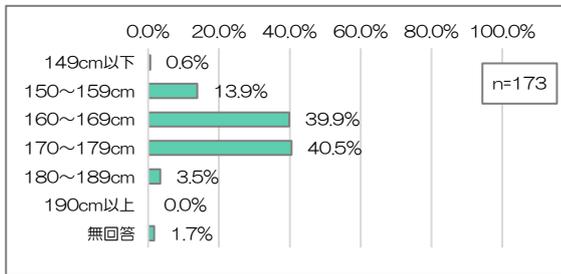
主食と主菜と副菜がそろった食事をする機会として、「夕食」が最も多く93.2%となっています。



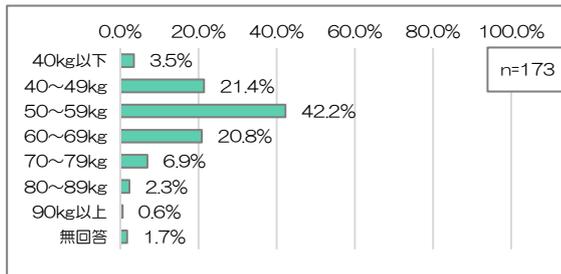
問23（1） 「あなたの身長・体重を教えてください。（数字を記入）

【男性】

（身長）

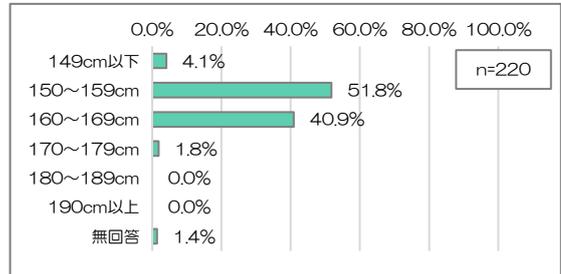


（体重）

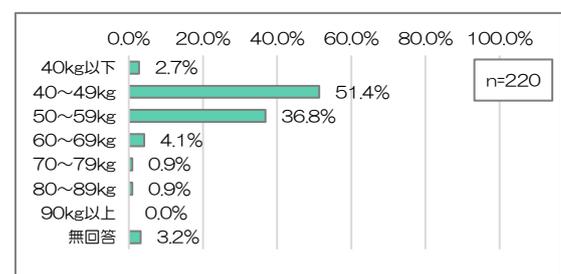


【女性】

（身長）

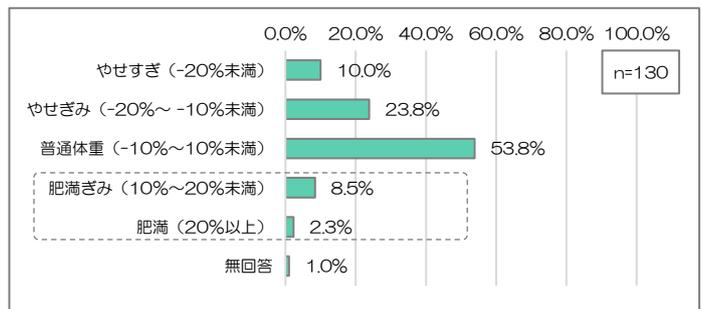


（体重）



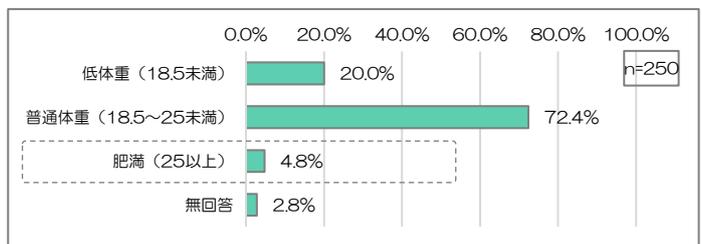
【13歳～14歳】

13歳～14歳の方について、日比式肥満度＝（実測体重(kg)－標準体重(kg)）÷標準体重(kg)×100による、それぞれの肥満程度分類に該当する方の割合は右のとおりとなり、「肥満ざみ」「肥満」となっている方については10.8%となっています。



【15歳～18歳】

15歳～18歳の方について、BMI値＝体重(kg)÷(身長m)²による、それぞれの肥満程度分類に該当する方の割合は右のとおりとなり、「肥満」となっている方については4.8%となっています。

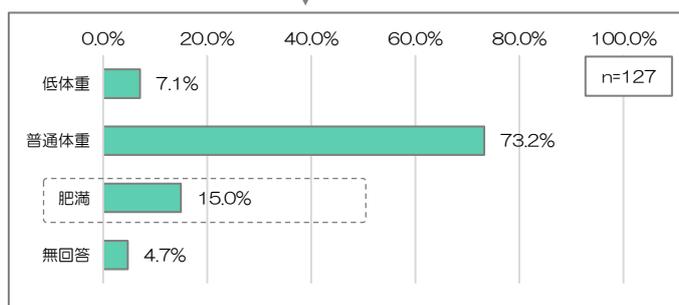


問23（2） 自身の体型をどう思いますか（1つに○）

自身の体型について、「少しやせている」「やせている」と思うと回答した方の割合は 22.3%、「少し太っている」「太っている」と思うと回答した方の割合は 32.2%となっています。

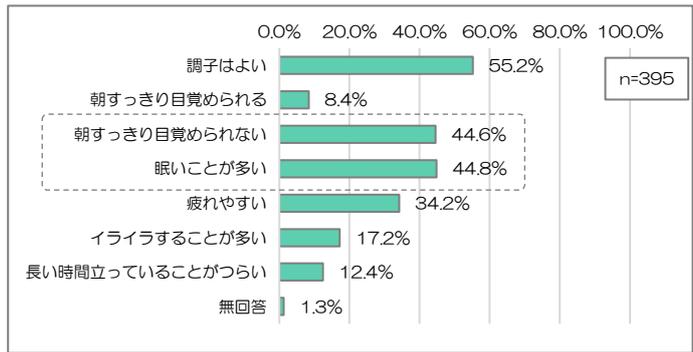


なお、「少し太っていると思う」「太っていると思う」と回答した方について、日比式肥満度あるいはBMIの値による実際の肥満度について見てみると、「太っている」と思っているにもかかわらず実際に肥満である方については 15.0%となっています。



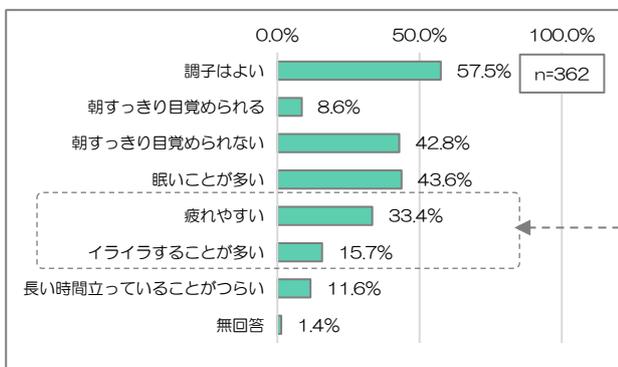
問24 ふだんの体の調子はどうですか。（あてはまるものすべてに○）

ふだんの体の調子について「調子はいい」と回答した方の割合は 55.2%にとどまっており、「朝すっきり目覚められない」「眠いことが多い」と回答した方の割合が約 45%となっています。

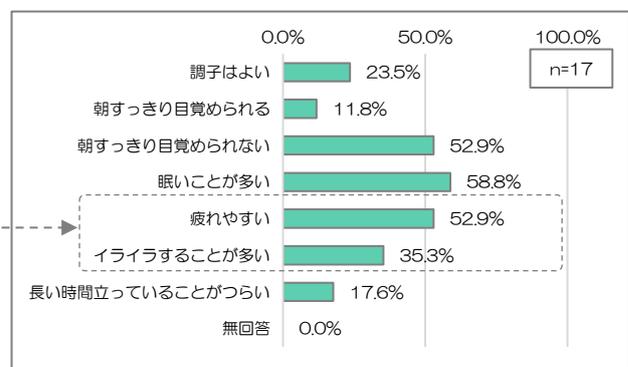


なお、朝食を「毎日食べている」「週5～6日食べる」方と「週1～2日食べる」「食べない」方について、体の調子に関する回答は以下のとおりとなり、朝食を食べない方について「疲れやすい」「イライラすることが多い」と回答した方の割合が高くなっています。

【朝食を「毎日食べている」「週5～6日食べる」】

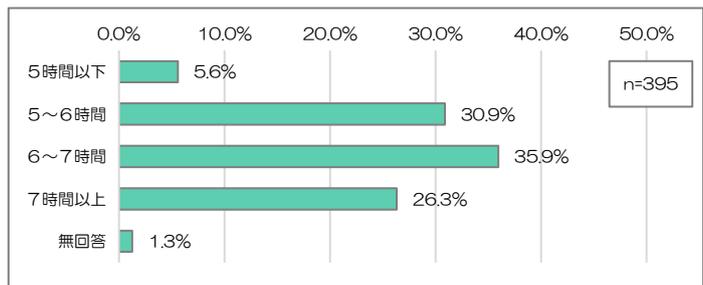


【朝食を「週1～2日食べる」「食べない」】



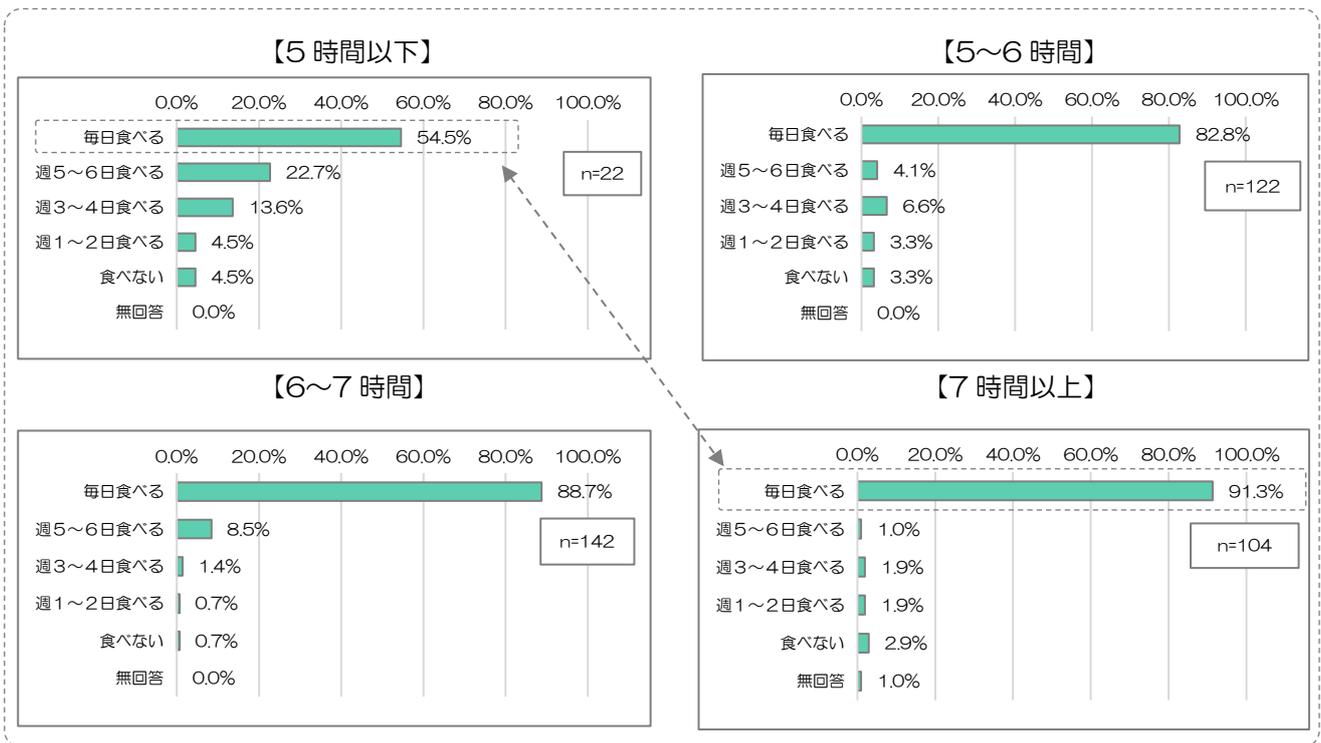
問25 睡眠時間はどのくらいですか。（1つに○）

睡眠時間について「6～7 時間」が最も多く 35.9%となっています。

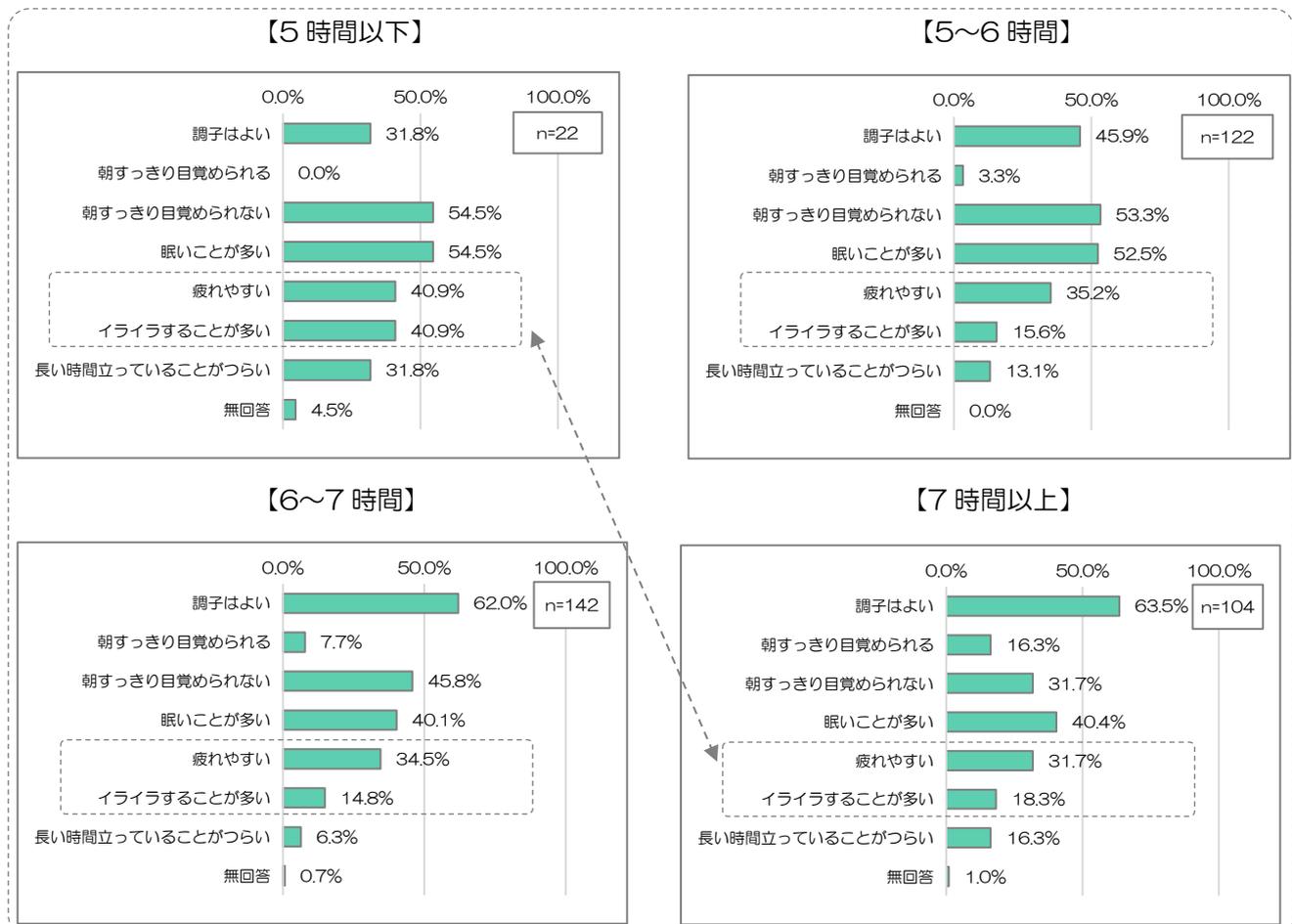


第2章 調査結果（Ⅳ. 中学校・高校年代の青少年調査）

なお、睡眠時間ごとの朝食を食べる頻度は以下のとおりとなり、睡眠時間が短い方について朝食を「毎日食べる」と回答した方の割合が低くなっています。



また、睡眠時間別の体の調子に関する回答は以下のとおりとなり、睡眠時間が「5時間以下」の方について「疲れやすい」「イライラすることが多い」と回答した方の割合が高くなっています。

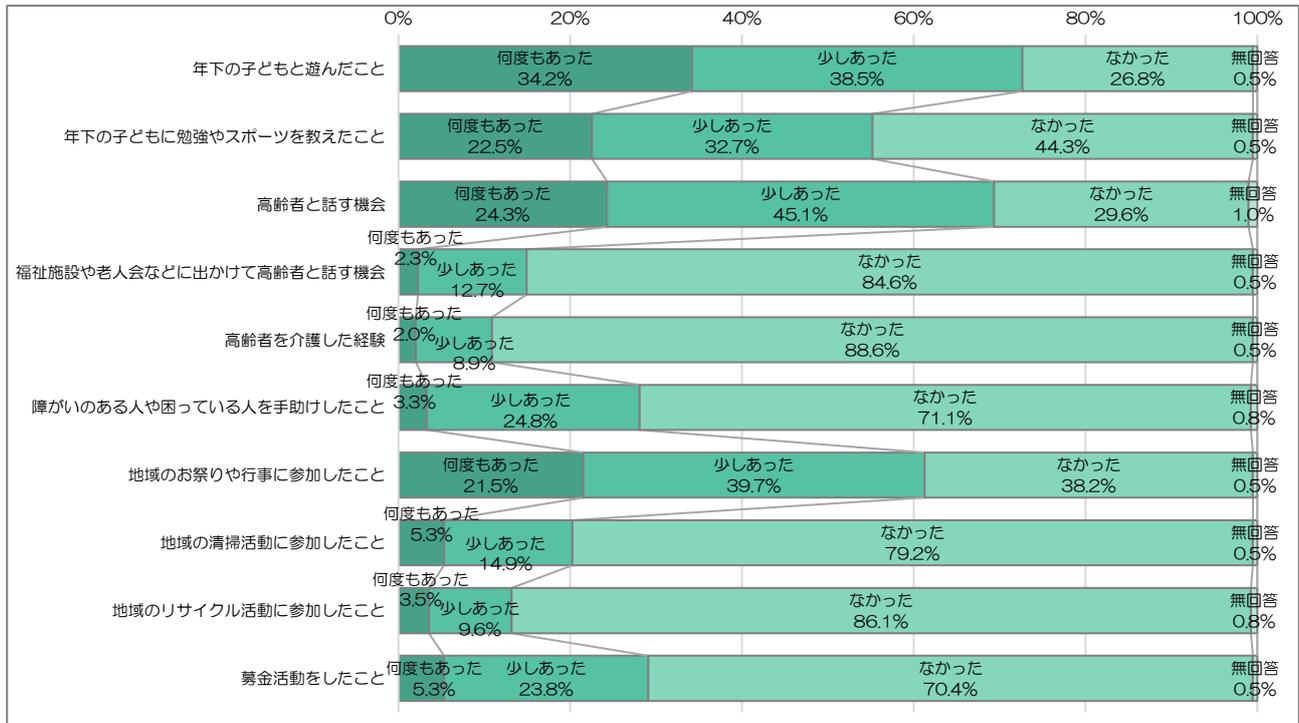


7 異世代交流について

問26 下記の異世代交流のことについて、最近1年間、どのくらいありましたか。（それぞれ1つに〇）

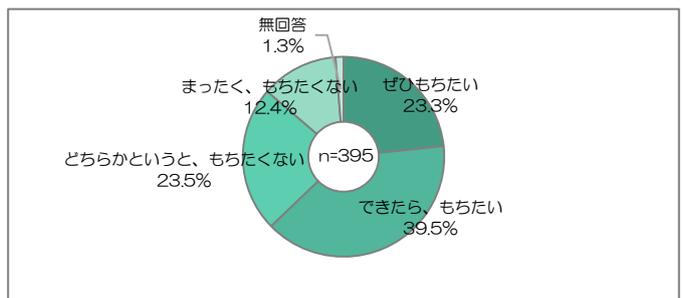
異世代交流に関して「年下の子どもと遊んだこと」については「何度もあった」「少しあった」と回答した方が72.7%と7割以上となっており、「高齢者と話す機会」についても69.4%となっています。また、「地域のお祭りや行事に参加したこと」についても61.3%となっています。

【異世代交流の機会】（n=395）



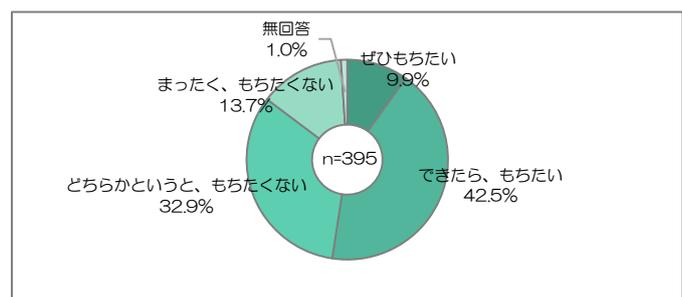
問27 乳幼児と関わる機会をもちたいと思いますか（1つに〇）

乳幼児と関わる機会について「ぜひもちたい」「できれば、もちたい」と回答した方の割合は62.8%となっており、6割以上の方が関わる機会を持ちたいと回答しています。



問28 高齢者と関わる機会をもちたいと思いますか。（1つに〇）

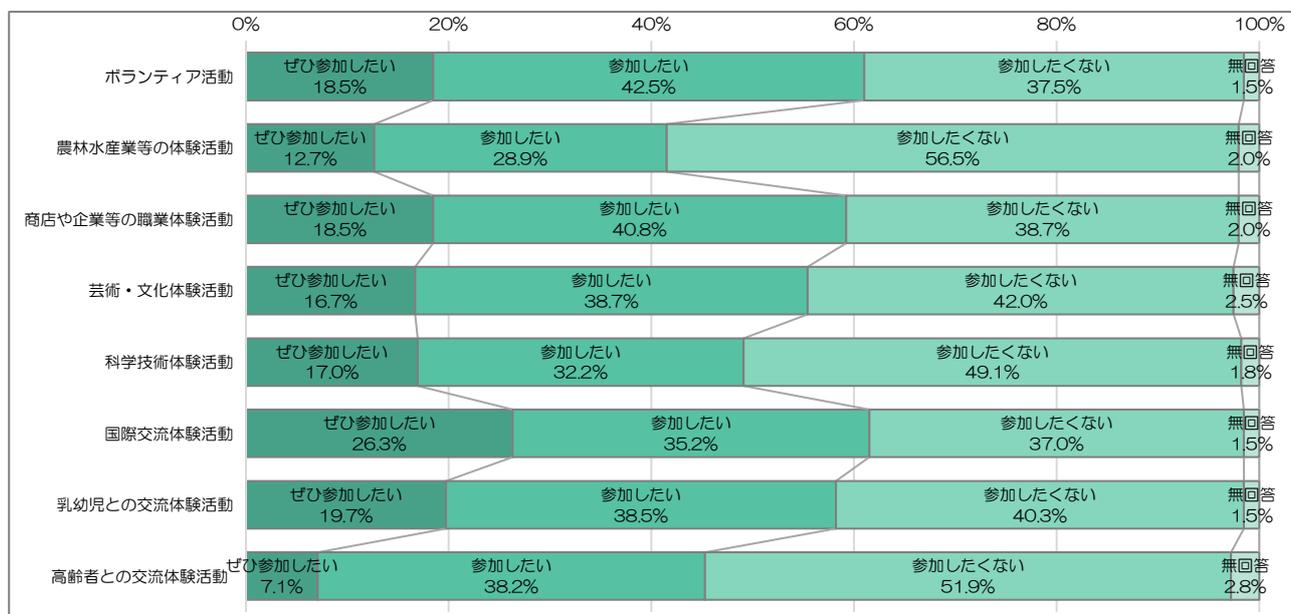
高齢者と関わる機会について「ぜひもちたい」「できれば、もちたい」と回答した方の割合は52.4%となっており、5割以上の方が関わる機会を持ちたいと回答しています。



問29 あなたは次のような活動に対する体験の機会があれば、参加したいですか。（それぞれ1つに○）

活動に対する体験の機会について「国際交流体験活動」では「ぜひ参加したい」「参加したい」と回答した方の割合が61.5%と6割を超えています。また、「ボランティア活動」についても参加意欲が高く61.0%と6割を超えています。

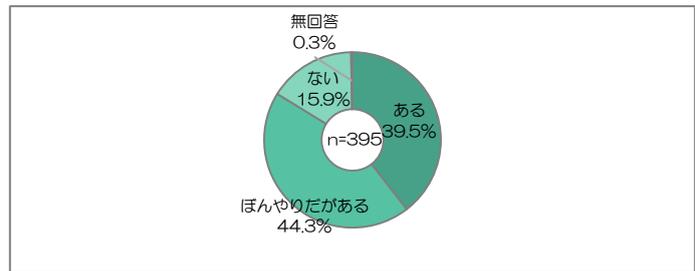
【活動に対する体験の機会への参加】（n=395）



8 将来のことについて

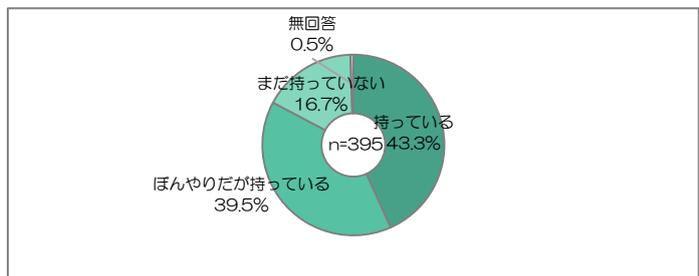
問30 将来、つきたい職業はありますか。（1つに○）

将来、つきたい職業が「ある」「ぼんやりだがある」と回答した方については83.8%となり、将来つきたい職業について8割以上の方が思い描いています。



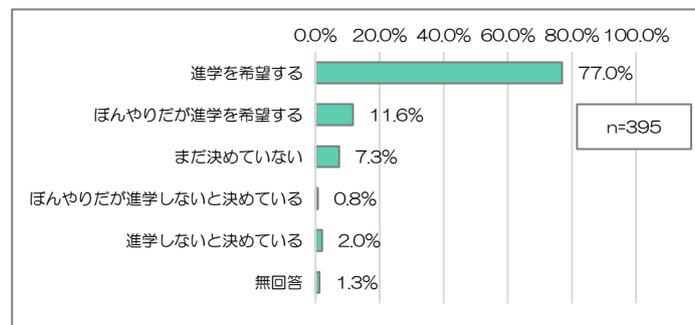
問31 夢を持っていますか。（1つに○）

夢を持っているかについて「持っている」「ぼんやりだが持っている」と回答した方については82.8%となり、夢については8割以上の方が持っています。



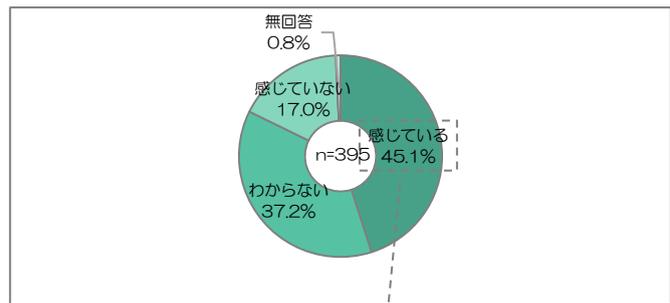
問32 進学について決めていますか。（1つに○）

進学について「進学を希望する」「ぼんやりだが進学を希望する」と回答した方の割合は88.6%と約9割の方が進学を希望しています。



問33 将来に不安を感じていますか(1つに○)。

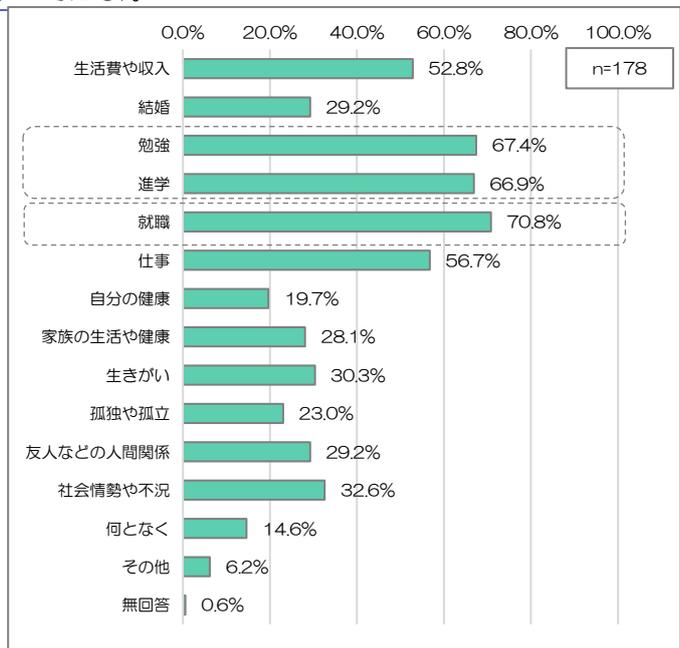
将来に不安を感じている方については45.1%となっています。



【将来に不安を感じている方のみ回答】

問34 将来の不安は何ですか(あてはまるものすべてに○)。

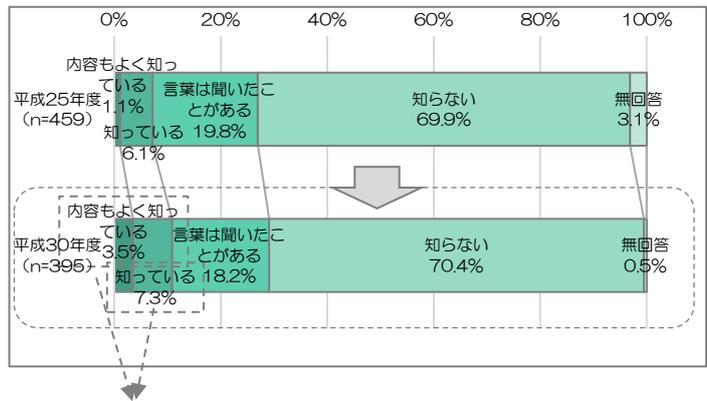
将来に不安を感じている内容としては「就職」が最も多く70.8%となり、次いで「勉強」「進学」となっています。



9 小金井市子どもの権利に関する条例について

問35 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。（1つに〇）

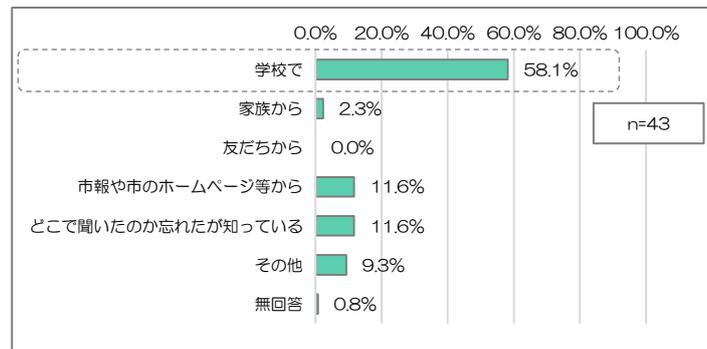
「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「内容もよく知っている」「知っている」と回答した方が10.8%と、認知率については約1割にとどまっています。また平成25年度調査と比較しても、認知率についてはあまり高まっていません。



【「小金井市子どもの権利に関する条例」について内容もよく知っている、または知っている方のみ回答】

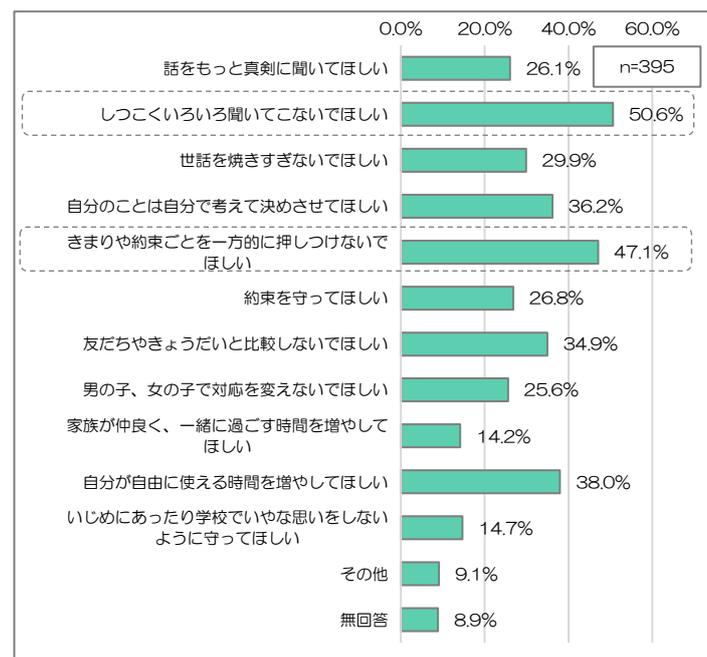
問36 「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初にどこで知りましたか。（1つに〇）

「小金井市子どもの権利に関する条例」を最初に知った場所として、「学校」が最も多く58.1%となっています。



問37 あなたが大人に心がけてほしいことはなんですか。（あてはまるものすべてに〇）

大人に心がけてほしいこととして「しつこくいろいろ聞いてこないでほしい」が最も多く50.6%と半数を超えています。また、「きまりや約束ごとを一方向的に押しつけないでほしい」についても多くなっており47.1%となっています。



資料編

子どもの環境や子育て環境、子育て支援に関するご意見

資料編 子どもの環境や子育て環境、子育て支援に関するご意見

Ⅰ．就学前児童の保護者

子育て環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

（ ）内は同様意見の数

◆保育園について・・・113件

（保育園の入園について）

- ・許可の保育園に入るときに点数が客観性に欠け、保育を必要とする人に平等にサービスを提供できていないと感じます。
- ・保育園の入園に大変苦労し、3園目にしてやっと兄妹同園になりました。その要因の一つは当市では育児休業中の方が育休を早く繰り上げ認可外に預け復帰したひとより優先。
- ・仕事をしたいのですが、現在仕事を辞めており、ポイントが足らずに認可保育園への入園は難しく、また認可外も数が少ないので難しそうです。
- ・子供が2人います。上の子が2才、下の子が10ヶ月の時に、仕事を始めたいと思い保育園と仕事探しを同時にしました。仕事が決まっても、産休明けではないので、まず認可保育園には入れないという現状に愕然としました。産休明けでも、そうではなくても、仕事をしたいという状況には変わりないのに、産休明けだけ加算されるのは不公平だと思う。保育士だけが加算されるのもとてもおかしい。
- ・保育園はとてもしいけれど、また保活をすることがどれほど苦通か。不合格通知をもらって育休延長したい人と分けてほしい。不合格になるために倍率の高いところをねらうらしいが迷惑だ。本来の希望園に入りたい。小規模からは確実にあげてもらわないと復帰しているのにどうしろというのか。良い保育園がたくさんできれば、そして幼稚園と保育園が提携する（日中は幼稚園で前後保育園）など、他県、他市の色々な形をとれば良いと思う。
- ・申請の時点で認可保育所にはまず入れないと言われ絶望的な気分になりました。所得関係なく復帰しなければならぬ状況下でよりよい関係に安心して預けたいと願うのは望みすぎなのではないでしょうか。認可外も認可になってきて預け先の確保ができず不安な日々を送っており、結果として子育てに集中できません。
- ・第1子の保育園入園の際は、認可保育園に入ることができず、正社員の仕事を退職することも考えたが、復帰ぎりぎりでも府中市の認可外保育園に入園することができ、仕事に戻ることができた。認可保育園に入れなかった場合の支援が、認可外保育園の施設の紹介のみで大変困った。小金井市は、より保育園に入りやすい環境を整えてほしい。認可外保育園の保育料も高額であったため、認可保育園に入ることができなかった家庭への助成と支援を強化してほしいと強く考えた。
- ・点数が足りず小金井市の認可保育園に入れませんでした。市外の認可外に通わせています。小金井市は武蔵小金井には保育園が充実していると思いますが、東小金井や新小金井には認可保育園は新設されていますが、認証保育園が少なすぎます。市外に出るしかありません。認可に入れなかったママ達のためにも認証保育園を増やしてほしい。新小金井周辺は特に保育園が少ない。
- ・認可保育所に入るための条件が厳しすぎる。収入が少なく、働かなければならないが、保育園が決まらなくて仕事も決まらない。自宅で仕事を始めたが、子供いながらにやれる時間はなく子供が寝た後やっているが、その時間だと短すぎる為点数がつかないと言われた。子供がいて仕事をしていて、昼間に時間が取れるわけがないのに。育児を含めて朝6時から夜12時まで子育てと仕事両方ががんばっても保育園に入れることができない状態に嫌気がさしています。育児休暇を取っての方が優先的に入れる仕組み、しょうがないとは思いますが、収入が少ない世帯はどうやって暮らしていけばいいんでしょうか。収入によって、選考方法を変えるなど対策しないと今後産まれてくる子ども達が心配です。
- ・保育園が足りない状況は困る。今は保育園に入っているけれど、下の子が入れないと退園になってしまうのが困る。しかも同じ園じゃないと困る。点数で入園の審査をしているけれど、点数高い人が子供1人で、希望園（第一）に入るより、兄弟居る人をもっと優先してほしい。
- ・保育園に入れる優先順位が所得順というのはいかがなものかと思う。
- ・保育園申し込みの際、第1～第8すべてをならしてポイントの高い順に保育児童を決定しているが、高所得者やわざわざ人気のない遠方の園などを希望した人が入園できないので、各園の第1希望群の中からそれぞれポイント順で決定してほしい。今年から第8希望まで記入できるようになったことで、現行制度では高所得者はますます入園が難しくなったと思う。
- ・保育園の点数のつけかたなど、もっとこちらの意見を取り入れてほしい。復帰するしかなくて、ともかく預けられるところに預けて復帰した人には復帰済なので育休明けのプラスポイントがつかなくなる。育休明けのプラスポイントは不要。小規模保育も卒園後プラス20点ではなく、確実にどこかに入れるとしなくては意味がない。復帰する時期を選べない人たちのことなど考えてほしい。
- ・保育園に入る為の得点の基準を見直してほしい。両親の就労が（フルタイムでの）一番高い得点だが、持病もちの親の場合も考慮して得点を高くしてほしい。持病があるから、働きたくてもフルタイムで働けないこと、そういう場合は保育園を利用できた可能性が高い。個別性をもって、保育園入園の審査をしてほしい。
- ・保育所の次年度の指数が大きく変わるのであれば、早めに広報してほしい。育休を明けて復帰してしまったため、育休加点（10点）がない状態で申請しなければならなかった。もっと早く広報があれば、育休を続けるか、復帰するかの判断ができたと思う。
- ・私の娘も希望する認可保育園に入らず、2018年3月中旬ようやく、認証保育園で拾ってもらうことができました。点数が同じであれば、所得が低い方が優先されると思いますが、我が家のように妻の収入が多い場合、保育園に入らず働けない場合、夫の収入だけでは生活が難しくなることもあります。このようなことが起こらないよう、例えば、育休を取得していない親の所得が低い順に優先順位をつける等、考慮して頂きたいものです。

（待機児童について）

- ・27年8月生まれの上の子の時よりも保育園が増え待機児童が減っていることなどから、子育て支援に関わっている方たちの努力が伝わります。ありがとうございます。
- ・子どもがまだ2才なので、今現在の意見ですが、パートを始める際、保育園に入園できませんでした。勤務先の保育所を利用して、仕事を始めることができましたが、その後も保育園へは入園できていません。待機児童問題が解決できたら嬉しいです。
- ・子供の産んだ時、一番の不安は保育園に入れるかという事です。待機児童への対策はしっかりしてほしい。
- ・小金井市の問題というよりは、国の問題でもある待機児童。画期的な施策はないものか。専門チームなどを立ち上げ、空き家などを使って保育所にリノベーションしたり、保育士への支援を大々的に行ったりなど、ぜひやってほしいです。
- ・小金井市は待機児童が多いと思い、焦って職場復帰しましたが、保育所での保護者の方の様子を見ると、それほど点数が高くなくても入れているのではと思ってしまう。新設園をどんどん増やしていますが、定員の0歳児で入園させた立場からすると、年齢のバランスが悪いだけなのは、保育園はいつそ1歳からという制度になれば、待機となることに驚えることなく、しっかり育休をとれたのと思う。
- ・待機児童解消のために保育所をたくさん新設して頂いたことはありがたく思う一方で、途中年齢（3～5才）の空きや、保育士さんの待遇に問題が

資料編（Ⅰ. 就学前児童の保護者）

あると聞きます。また庭園のない保育所も多くこのあたりも検討していただきたい。JRと共同で駅構内にキッズスペースなどを作っていただけると雨の日などもとっても助かるし、人の流れもかわるのではないかと。

- ・ 保育園1才の待機児童対策何とかならないですか。0才の方がまだ倍率低いので、0才2カ月で預けましたが次も倍率的に1才～では不安なので0才（仮申請）出しています。しかもその0才も（けやき）定員減らされて保活がなおさらきついです。
- ・ 保育園に関して。待機児童解消対策とした新規園を増設していく事は大切だが新規増設ばかりに力を入れて既存園のフォローができていないと思う。園に通っていて、よくこんな状況で他に新規園増設していくと思う事が多々有り、認可を出している市にもそのフォローをする責任があるのでは。
- ・ 保育園を増やしてほしい。0～2才までの入所が難しく、待機が多い現状を改善してほしい。
- ・ 保育園待機児童問題を解消してほしい。
- ・ 保育所の拡充。待機児童数を減らすための取組みを行なってほしい。

（保育園民営化について）

- ・ 子育てに関するサービスや事業は平日開催が多く、共働き世帯では利用できない。就学前検診や学童保育所の申し込みも平日が基本なので休みを取得する必要がある。保育所の待機児童、学童の民営化など、安心して子育て出来る環境とは言い難い。保育所も民営化となると、ますます不安を覚える。
- ・ 民営化の全てを否定しないが、公立認可保育園のすばらしい点をどんどん失くしていくのは子どもを育てにくい社会へ導くことになっているのではないかと。
- ・ 充実した保育を築きあげている小金井市の市立園は、市の財産だと思います。現在ではどの市町村も財政改善を理由に公立保育園を民営化するのが主流ですが、特色ある市政の一環としてあえて公立園を増やしていくという選択肢はないのでしょうか。それか質の高い保育の伝統を守り続けていくことができるような、何か新しい形の市と民間会社の協同運営など、できないのでしょうか。育てられる立場の子供たちの視点を持った改革をお願いしたい。
- ・ 現在登園している保育園が民営化の話がでています。個人的には民営化に反対です。もう確定ということなのであれば、今の保育の質を保ったまま、どのように引継していくのか、その後のフォロー、保育科、子どもの心のケアなど、市としてバックアップをお願いしたい。
- ・ 公立保育の民営化について気になります。良い先生を辞めさせないでほしい。
- ・ 公立保育園のサービスは保育士さんの対応を含め素晴らしいので、財政的な難しさ等あるかもしれませんが、可能な限り民営化せず運営していただきたい。
- ・ 公立保育園の民営化には絶対反対です。子どもの権利条例に則り、使命を果たすべく、公立保育園を通して市として積極的にモデル的保育、子どもの育成を行うことを求めます。
- ・ 公立保育園の民営化に対する市の進め方には、疑問を感じています。民営化にするのは、市民にメリットのあることだと、保育の質、保育環境がよりよくなるから、市は民営化するとメリットを示せば、市民は納得すると思います。反発がある時点で、一度きちんと考えるべきだと思う。
- ・ 小金井の公立保育園のしている保育内容はレベルが高いと言われていたにも関わらず、待機児童もまだ沢山いるのに財政面のみで民営化を進める事はおかしいと思う。市民、利用者が納得のいく説明をしてほしい。
- ・ 保育園（公立）の民営化が進められようとしています。小金井の公立保育園の保育は伝統があり、とても良い保育をしていると感じます。子どものすこやかな育ちを守るために無くさないでほしい。また公立保育園という、保育士さんたちが安心して働くことのできる場所を減らさないでほしい。
- ・ 安易に民営化を進めず、公立保育園が培ってきた保育の質をしっかりと担保した状態で整備してほしい。
- ・ 子供2人とも保育園に0歳から通わせており、保育園なしでは子育て出来なかったかもと思う位、お世話になっています。下の子は生後半年で入園させ、その後色々なアレルギーが発覚し、親子ともに大変な時期がありましたが、栄養士、看護師の先生はじめとても親切に親身になってご対応いただきました。民営化の話が出た時、アレルギー配慮のある子供はどうなるのかと大変心配になりました。引き継ぎ期間等もしっかり余裕をもって行ってほしい。また、民営化に伴って転園の必要があったりすると親子共に負担が大きいかと感じます。今の公立保育園の対応に大変満足していますので、今後もその保育の良さをこれから入園されるお子さんと親御さんにもと思う。

（その他保育園に関することについて）

- ・ 0歳クラスがない保育園をもっとオープンしてほしい。本当は1歳まで家で育てたいのに、0歳でないと保育園に入るのがとても厳しいので0歳から保育園に入れた人が何人もいます。1才から入りやすければこの状況は変わる。
- ・ 1歳での保育園入園が叶うように保育施設を設けてほしい（1歳では入れないので仕方なく0歳で申請しています）
- ・ ここ数年で、保育園に入りやすくなったように感じます。
- ・ この数年、小金井市でも新設の保育所が開園しているが、坂下エリア（豊井南町や前原町辺り）にはほとんどできていないので、検討していただきたい。
- ・ まだ子どもは一人ですが、第二子を作るにしても、保育園の心配がありなかなか子作りに前向きになれません。もし保育園に入れなければ上の子が退園させられるし、入れても別の保育園だった場合は負担が増える為。
- ・ 園庭のない保育園の子も未就学児もとにかくのびのびあそべる場所をもっと作ってほしい。武蔵小金井周辺の保育園はお散歩に出る場所が本当に少ない。
- ・ リフレッシュや親の通院などでもっと気軽に、保育園など利用できると良いと思う。
- ・ 安心して子育てと仕事の両立ができるしくみがあれば嬉しいです。保育園に入れるか入れないかなどの不安があり、また家庭での子どもと向き合う時間が減っているように感じる。
- ・ 何よりも、安心して産休、育休がとれるように保育園に入りたい年に入れるようになったらありがたい。
- ・ 第1子の時に保育園をあきらめ、就労をあきらめ（それまでの仕事は転居により退職）、幼稚園に入れました。無認可保育園が増えていますが、ひどい保育をしている所もよく聞きます。（市内でも。）先生の数、部屋広さ、園庭、給食の質など、親が安心して預けられる基準を満たした保育園の増設を望みます。
- ・ 該当の子供は現在0歳で保育園申請中ですが、上の子（現在年長）を認可保育園に入れてフルタイムで働いている際、感染症などにかかったとき、看病できる人間が私しかおらず、1週間仕事を休むということもよくありました。
- ・ 小金井市は兄弟がバラバラの保育園に通っているご家庭がかなり多いように感じます。バラバラになると送迎が大変なのはもちろん、お迎えに間に合わせるために勤務時間を少し早くあがれるように調整したり、延長保育を頼んだりといった経済的な負担も増し、運動会などの行事が重なったり、両親そろって参加できなかったり、祖父母も見に来きれなかったりします。保育所の数は年々増えてきてありがたいと思っておりますので、次は兄弟が同じ保育所に入りやすくなるよう考えていただけたら有難い。
- ・ 兄弟別々の園に登園40分かけて通っています。負担が大きすぎます。何故兄弟が園に加点がないのか疑問です。又荷物も多すぎて自転車に2人乗せて荷物を持ちフラフラです。
- ・ 現在認証保育所に通っており、保育内容に関しては非常に満足しているが、保育料の負担が大きく、もう少し助成があるといい。認可や幼稚園と同等の額になるといい。

- ・ 公立保育園のオムツ持ち帰りなし、延長スポット保育を希望します。
- ・ 高収入世帯でも認可保育園に入れるようにしてほしい。数が不足していると感じます。
- ・ 今は認可保育園に2人も入ることができ、いいバランスで両立できています。しかし2人目は入所の為3か月で復帰しました。仕事を子供のために失う心配のない市政を希望します。
- ・ 坂下にも新しい保育園を作ってほしい。（ひまわりのような）坂下に住んでいると第二子の妊娠を考えていても、産休に入るまで第一子を自転車に乗せて先を上る生活をするのは不可能だと思い、ちゅう躇してしまう。対策としてバスがあると自転車にのせられない0才でも安心。育児明けの復帰時期の緩和。5月1日復帰の縛りを無くしてほしい。会社との都合で復帰は3か月後まで調整ができるようにしてほしい。
- ・ 子どもの通っている小金井保育園は先生の人数もギリギリ、建物もかなり古いです。子どもの安全とその環境を守るために市としてどのように関わっていくのかしっかり考えてほしい。
- ・ 子育てをしながら、様々な保育園に連絡し、自分の子どもの病歴等を話さなくてはいけないのが、正直辛い時があり、その時に役所の方が理解していただき手伝っていただけたりするとありがたい。保育園に「この病歴があるのですが」と言うと、役所に聞いてくれと言われ、役所には、個々の保育園に聞いてくれと言われ、実際、誰に聞けばいいのかわかりません。保育園の入園も厳しいのかと今は、あきらめもあり、病歴があっても、問題なく預けられる子育て環境支援ができてくれると嬉しい。
- ・ 保育園の先生方には、大変お世話になっております。人手不足の中、先生方の苦勞は大変だと思います。新たな施設に投資するのであれば、その前に保育士の方への待遇を充実させ、より良い保育運営を期待します。
- ・ 子育て中の再就職を考えたときに、保育園の空きがないことが一番ネックになっている。それ以外に保育園の空きができるまで利用料の高い保育サービスを活用せざるを得ないため、保育料を支払うために仕事をするような気持ちになり、なかなか再就職に踏み出そうというモチベーションにならない。保育園の空きが出るまでの一定期間の長期利用に対しては、所得制限付きで利用料の補助があれば良いと思う。
- ・ 保育園見学をさせていただいて感じたのですが、市立園は、自然の中でひのびと過ごすことを大切にしている企業園が増えているのは何故でしょうか。小金井市の豊かな自然の中でひのびと遊ぶことを大切にしている保育園が増える事を願っています。
- ・ 大規模マンションの造業が進む中で、保育施設がさらに不足するのではないかと懸念しています。諸課題があるかと思いますが、是非、優先度を上げて、子育て世代と子どもたちのために行政が主導していただければと思う。
- ・ 親が他界していると本当にどうしようもなく、今年子供が骨折して長期間仕事を休みましたが休み辛かった。1人目を保育園に預けられないかぎり、2人目はムリだと思ってしまうまでできてしまいました。
- ・ 今後再開がすすむにつれ、保育園がさらに足りなくなるのには目に見えています。既に取りくんで頂いていると思うし簡単でないのは分かっていますが、これから住む人のためにぜひ園をふやしてほしい。
- ・ 認可保育園は利用不可、認証の数は少なく毎年応募しても入れません。そして認証はどんどん認可にされていきます。うちは時間をかけて姉弟を府中の認証まで送迎しています。今年、上の子の幼稚園を探しましたが、小金井の幼稚園は条件が悪く、来年からは上の子→小平の幼稚園、下の子→府中の保育園です。特に働いている母親にはとても厳しい市だと感じている。
- ・ 小金井市は最近マンション、家などがどんどん建ち、人口が増えているにもかかわらず、圧倒的に保育園などの施設が少なく子供を預けて母親が働くという事がとても困難です。私自身子供が3人いて子供たちの今後の教育費などを考えると共働きが理想ですが、現状は子供が3歳以上にならないと幼稚園に預けられず、幼稚園に預けたとしても預かりが短い、少ない、夏冬の長期休暇の預かりはなしという状況で母親が働く事はとても厳しいです。保育園、こども園などが増えると良い。
- ・ 世の中が保育園を増やすことに肯定的に動いていますが、個人的には子供は両親で育てるべきだと考えておりますので、これ以上増えなくてもいいのではないかと思います。ただ、以前に私（母）が入院したことがあり、その時に保育園に入れて助かりましたので、ある程度の数の保育園は必要だと思っている。
- ・ 世間一般に保育園を増やさねばという事ばかりが話題になってしまったように感じています。保育園に通わせることが目的になってしまっている風潮が、残念です。子どもの預け先のことはかなり一生懸命考えるのではなく、預けずとも、子育てを楽しんで、せめて幼児期だけでも、気持ちと経済的に余裕を持てる環境になることを願う。
- ・ 認可園が増えるのは良いが、園庭がないなど、質の低下も気になります。広くなくても、最低限子供達がのびのび遊べる土地を確保して園をつくってほしい。
- ・ 認可保育（公立）の衛生状態、職員の質が気になる。保育園の募集人数枠をもうすこし増やすべき。利用料が高くなったとしても、枠をふやせるよう、職員の人数給与を増やし改善してほしい。
- ・ 認可保育も無償化してほしい、あるいは援助額を上げてほしい。
- ・ 認可保育園に通っているが、働く親の見方という気がしない。フルタイムで働いていることがダメなことのような扱いを受けることがある。「0歳児を長い間あずけるのはかわいそう」など。
- ・ 認可保育園の増設をもっと進めていただければと思います。保育方針や環境、アクセスで通う園を選ぶことができるようになるとう良い。現状では本当に納得する園ではなく、入れてもらえるところとなっているのが悲しい。
- ・ 認証と認可の保育所の教育の量と差。もう少し、別料金でも教育の時間を増やしたり、お遊戯会や運動会などの充実を希望したりしたかった。
- ・ 年度途中で希望する時期に保育所に入れることができるよう保育所を増設し、年度途中の受入れも行ってほしい。（特に0才～2才児）
- ・ 認可保育園の指導改善要求をちゃんと対応してほしい。保育園なのに働く親やシングル等個別の事情も全く考慮してもらえず、不快な思いをしている親が多い気がします。親は子どものために働いているので、園も市も、その前提を十分に理解してほしい。
- ・ 平日の多くの時間を子どもたちは保育園で過ごしています。保育園での教育や食事が良いものになるように、先生、保護者地域、市、みんなで働きかけていければ良いと思う。
- ・ 保育園の説明会は各施設のスケジュールで行われており、申込をそれぞれの施設とコンタクトする必要があった。また、どの施設に入れるかも分からないので8ヶ所くらい訪問し、そのスケジュール管理が大変でした。結局すべて落選した後では、あの時間は本当に無駄だったと感じています。市のほうである程度まとめて合同説明会の場を設けていただくことをご検討いただければと思う。
- ・ 保育園が増えているのはいいことだと思います。ただ、保育士が不足しているのを感じます。給与を増やして待遇をよくする必要があるのでは。
- ・ 保育園の場所がかたまってるので、前原町にも新設してください。
- ・ 保育園にすぐには入れなかったが、市役所の担当の方が相談ののってくれたのでとても助かった。今年の暑さで、保育園で対策に苦心していたので、市役所からも何かサポートできる事があったらお願いしたい。
- ・ 保育園にとってもお世話になっています。そこで働く保育士さんたちの待遇を良くしてほしい。
- ・ 保育園に関しては、兄（小3）のとときと比べて5才の娘の現状はだいぶ改善され、市の努力を感じる。
- ・ 保育園に仕事じゃないとあずけないで下さいという雰囲気があり体調の悪いときなど、たまにはリフレッシュするときをお願いしたいと思う。
- ・ 第3子の保育料無償化は平等にしてもらいたい。保育園や幼稚園の第3者評価などありますが、市も保育園についてそれらの評価に加えて保護者の声をきいてほしい。今回も1才より入れやすいという理由で0才のうちに復帰する。この現状を何とかしてほしい。不合格通知をもらって育児延長したい人と分けてほしい。
- ・ 保育園に入所できるかどうか結果が出るのが遅く、職場で新年度の人事を決める際に困っているようです。どの自治体もそうだと思いますが、早め

資料編（Ⅰ. 就学前児童の保護者）

に結果が分かるような仕組みに変えていただけると嬉しい。

- ・ 保育園の一時保育を使用したかったが、電話が繋がりがつらかったり、いっぱいになったり、しまいには、連絡するの面倒になり利用しなかった。もう少し、取りやすくならないものかと思う。
- ・ 保育園の先生には本当に良くお世話になっておりますので、給料を上げてあげてほしいと思う。他の市や区は子供が産まれたら祝い金がある所もあるみたいで、オムツ何枚かとか気持ち程度で祝ってくれる感じがあると嬉しいなと感じます。でも、いつも不透明で小金井市の保育課に問い合わせると皆様、どなたも親切丁寧に教えてくれるので、安心して聞いてとても感謝します。
- ・ 保育園の保育内容が充実する、高められるように調査を継続してほしい。保育園の数は増えてきたが、保育士不足と言われている中で子供を安心して預けられる園なのかどうか、見学だけでは不透明なことが多い。園の倍率や、年度途中の空き具合から、何か問題のある園ではないのか、割りだせると思う。
- ・ 保育園やこども園など新しくできる園に対する支援は手厚いと思いますが、幼稚園への支援もお願いしたい。エアコンありませんし非常用食糧3日分の備蓄もありません。
- ・ 保育園入園の決定が3月下旬だったり、認可に入れなかったり、職場に迷惑かけていろいろと不満もあったが、子育て支援課の方々には本当に一生懸命説明してくれたり親身になってくれてありがたかった。
- ・ 保育園入所の申し込み方法をネットから行えるようにしてほしい。市役所での待ち時間も、職員の集計等にかかる時間も無駄に感じます。小さい子供と長時間待つのは結構厳しいです。
- ・ 保育園不足について原則2歳になるまで母親や父親がお世話できるような環境になるとよいと思います。早くから入園させないと入園できないようになってきている。0～3歳までが子供にとってとても大切な時期なので、長く家族がお世話する期間があるとよい。
- ・ 保育園無償にしないで良いので、保育士さん方への手当や保育所の増設などに当てていただければいいと思う。
- ・ 保育士さん方には、日々本当に感謝しております。未来を担う大切な子供達を育む彼らの所得を少しでも上げるように支援してほしい。
- ・ 保育所の数は増えてくるものの、保育の質は下がっているのではと思うふしがあります。保育の質も維持向上できるように園への補助支援拡大を要望します。
- ・ 保育料が毎年あがっています。1年間でみると家庭の負担が大きいです。所得があったとしても子供が多いとそれなりにお金もかかります。高所得でも色々な家庭スタイルがあると思います。もう少し子育て支援を考えて頂きたい。
- ・ 未だに日本は長時間労働前提の職場が多く、働く母親は職場で戦いとみなされず、また、パートナーの帰宅が遅く、家事育児を一手に引き受けるなど、多くの苦勞を抱えています。また、保育園も小規模保育が増えているため、せっかく入園してもまた2年後には保活。もう一人子供がほしいとは思っても、こうした状況ではなかなか難しいのが実情です。保育所の整備はもちろん、男性も女性も子育てと仕事をバランスよく両立できる社会の実現のための施策をお願いしたい。
- ・ きちんと将来を推計した上で必要となる公立保育園の数を決めなかった事が不思議ではない。今からでも軌道修正して本当に必要となる公立保育園の数を算出すべき。保育オプスマンが機能していない。
- ・ 来年度から、保育料が上がるということを見直してほしい。保育の無償化の話が出ている中、十分な中身の話し合いがされず、保育料を上げるのは納得できない。

◆生活支援について・・・34件

- ・ 医療費助成制度について所得制限を設けないでほしい。(10)。
- ・ 医療費の無償化は小学校卒業までとしてほしい。(3)
- ・ お金を出すだけでなく、お金を得る方法を教えるべき。一時的なものではなく、恒久対策を。
- ・ 幼稚園保育料の補助が少なく経済的な負担になっている。
- ・ ひとり親だけではなく、両親の場合の支援等もっと手厚くしてほしい。
- ・ 医療費が無料なのはとても助かるし、ありがたいと思うが、少しのことで病院へ行き、薬をもらうだけもらうなど、無駄だと思うことをする人が多くて残念です。上限を決めるべき。
- ・ 医療費の負担軽減（例えば所得に関係なく中学生まで無料、とか。インフルエンザの予防接種の割引など）。
- ・ 共働きにも様々あり、フルタイムで働く事が出来ず、仕方なくパートでしか働けない様な、経済的に厳しい方の方が、保育所に入りづらいのはおかしいと思う。もっと細かく所得を区切って、世帯収入毎の支援の仕方に見直した方が良いと思う。
- ・ 保育園は産まれ月で入れなかった。(早産まれ不利)
- ・ 経済的に困っている家庭は少なくないと思います。個人情報を守り行政で調査を行い、現実的な支援が必要。
- ・ 経済的に問題のない世帯（普通の会社員など）への支援よりも一人親などへの支援を進めて下さい。
- ・ 経済的負担をなくしてほしい。小金井市は学力が高いとの話をよく耳にするが、高い学力を維持する為には、塾にも通わせないといけなく、学力だけでなく運動、品格、好奇心等を育む為には、さらに何かしらの習い事もしなければならない。
- ・ 子育て応援券のようなものがあったら嬉しい。保育園、幼稚園などの利用料金や、保険金を増やしてほしい。
- ・ 子供の習い事に対して何か支援があったら嬉しい（市が運営するスクール、経済的支援）双子育児に対するサポートが増えたら嬉しい。
- ・ 子供を育てるにあたり、一番ネックになるのは教育費だと思います。保育無償化よりも、高校、大学でかかる費用が少なくなると、「もう一人、産もうかな」と思います。高校や大学の教育費の無償化は難しいと思いますが、少しでも負担が少なくなれば嬉しい。
- ・ 双子などの多胎児のいる家庭への支援が少ないように感じます。多胎児はお金も倍以上かかるので、経済的負担も大きいですし、親の精神的な負担も大きいです。それに対する支援などあったら少し楽になるのかなと思う。
- ・ 児童手当、保育所利用申請など、同じような申請書を都度出す必要があり、手続きが煩雑。早産まれ（1月以降）で産んだ場合、1歳からの入所が困難。産まれたタイミングで入所の不利/有利が異なるのはおかしい。同じ学年で入所を希望するなら、早産まれであっても、申請可能として0歳から入れられるよう整備してほしい。
- ・ 弱視レベルのメガネ補助に平等性を感じない。弱視のレベルにより、使えるレンズが決まっている。弱視が強ければ、高いレンズしか使えない。そうすると必然的に高い値段になる。だけど、補助額は誰でも一緒。経済的に苦しいのに補助額一緒は納得いかないと思う。
- ・ 小金井市の周り、府中市や三鷹市、武蔵野市は私立幼稚園の助成金が多かったり、入園金の補助があったりと聞いたので、少し見直してほしいと思う。また高校、大学の無償化にも努めてほしい。
- ・ 双子なので多胎児のサービスをもう少し充実して頂けると助かる。
- ・ 他区が行っている、産前産後に使えるチケット（母乳外来やストレッチ、マッサージ等）の配布があると嬉しい。
- ・ 乳幼児医療費の全額助成をやめて、100円でも200円でもとるべきだと思う。無料だと医者にかかる、薬をもらおうとする親。又、薬を出そうとする医者が増える。多少なりとも自己負担をさせ、その代わりに年齢制限（小学生や中学生まで助成範囲を広げる）所得制限をやめて、平等、公平にしてほしい。

- ・予防接種（公費）が小金井市外でも（例えば23区内など）受けられると非常に助かる。今年度インフルワクチンの不足で市内で受けられず23区内で受けたが、その際公費の予防接種も同時に受けたかったが、越境のため不可といわれてしまい受けられなかった。ワクチンスケジュールも変更しなければならぬし、ワクチン確保のため遠方に出かけなくてはならないという大変さがあった。

◆遊ぶ場所について・・・31件

- ・1歳～3歳が遊べる公園などの遊具がない。鉄棒がある公園が少ない。
- ・のびのび遊べる場所がないのでわざわざ車で昭島や立川など大型の遊べるところがある所へ行く。
- ・すべり台と砂場くらいのお小さな公園に水道（手を洗うところ）がない場所が多く、遊びづらいので改善してほしい。
- ・ボール、球技活動を可能とする広場がほしい。ボールはあふない、とかで外遊びが出来にくい世の中になっている。
- ・一小学校区に住んでいます。自由に遊べる場所が今は暫定広場くらいしかありません。児童館も近くになく、安心して遊ばせられる場所がありません。
- ・雨の日でも遊べる屋内施設があったら良い。（4）
- ・夏休み中、上の子（小学生）と下の子（幼稚園、未就園児）を同時に連れていける遊び場がない。公園は猛暑で危険、児童館は遠い。（南小学校校区）「ゆりかご」は小学生では入れない。せび、公民館、集会所、はけの森美術館等の公共施設も開放してほしい。
- ・我が家は、車も自転車もないため、外遊びが出来ない時の室内遊び場を充実させてほしいです。特に今年の夏は暑くて外で遊べなかったため、毎日何をするか困りました。最近行っていないので、変わっててもかまいませんが、小金井公園の体育館の地下の遊び場ももう少し充実させてほしい。
- ・現在、7才、5才、1才の子供を育てております。小金井での子育ての中で1番に良い所は、大きな公園が沢山ある事だと思います。週末になれば、小金井公園、武蔵の公園と趣きの異なる公園で存分に楽しむ事ができ、本当に幸せな事だと感じております。ただ、上の子が小学生となり、平日に学校が終わった後に遊べる場所が非常に限られている事に気付かされました。子供同士で遊びに行ける範囲にのびのびと遊べる公園が少ない。そして、学校の校庭も、とてもきれいな芝生なのですが、傷めてしまうという理由で、放課後に遊ぶ事ができないそうです。小さな子から小学生まで色々な年齢の子が利用できる場所に活用頂きたい。
- ・公園に子供を連れて行くと、団体のどこかの保育園児が遊んでいます。そのこと自体は良いのですが、小さな公園で20名～30名の子供たちが遊んでいると、アスレチックも含め、完全に貸し切り状態になっています。こちらもやっとの思いで子供を連れてその公園に行っている時などは困ります。公園は皆の遊び所、最近庭の無い保育園もあり、公園に行かなくてはならないのも分かりますが、もう少しルールを作ったりして、例えば同じ公園に1つの園名までとか、園同士でも時間をずらしたりとか。
- ・公園に石けんなどがあると嬉しい。
- ・公園の整備、草刈り。
- ・公園の木がうっそうとしていて、見通しが良くないと思います。小さい子供などはさらわれる可能性があると思います。
- ・再開している南口のエリアに八王子にあるポーネルドキドキドのような室内の遊び場ができると嬉しいです。中央線沿いにそのような大きい室内遊び場が無いので、ニースはあると思う。
- ・子どもが安心して遊べる場所がもっとあればいいなと思います。大きな公園（上の原公園くらいの）や遊具のある公園が少なく感じます。
- ・蛇の目跡地は子供がおもいきりボールあそびやおいかげっこができるのでそのままであってほしい。
- ・車で行ける児童館等の遊び場がほしい
- ・公園等でのボールあそびが、もう少し自由にできると嬉しいです。（公園によっては、いろいろ制限があり、自由にあそべないところもあるので）
- ・小金井公園など、大きな公園はいくつかあり、きちんと整備もされているのですが、普段子供をちょっと遊ばせたい時に行ける近所の公園が少なく困っています。歩いていける距離に1つあるのですが、そこしかないのだからみんなの子供が集まり、混んでいて遊ばせにくい。また、整備がきちんとされておらず、ゴミが散乱していることもあります。子供を安心して遊ばせられる公園を近所にもっと作ってほしい。
- ・小金井市で子育てをしていると、他の地域に住んでいる保護者からうらやましがられます。川があり、広大な原っぱがあり、草、木、花、虫の四季折々の美しさや尊さを学び、田植えもできる。何より、そういう環境で育つと、狭い広園や遊具しかない広園で遊んでいる子より、独創力、仲間と協力して遊ぶ力、より深い友情が築けると。実際、都心の子が遊びに来ると、最初は遊具がないのでポーツとしていますが、小金井っ子達が何も無いように見える自然の中で、長時間走り回り、遊び回り、いろんな遊び方をしているのを見て、カルチャーショックを受けつつも、段々それに影響され、最後には帰りたくないと泣く子が多いです。
- ・子供が遊べる施設（児童館など）を改善してほしい。1歳くらいの子供が遊べる施設はあるが、2歳～幼稚園入園前くらいの子供が遊べる施設がない。どの施設も古く狭い。そして数も少ないように感じる。
- ・自然は多く緑も多く、公園が多いのはとても良いです。しかし、赤ちゃん期にあそべる場所、雨の日あそべる場所、少なすぎます。ゆりかごは最西端にしかない、もっと支援センターを増やしてほしい。
- ・先日、近くの公園で遊んでいる際、ボール禁止なのに親子でサッカーをしている場面にあいました。ただ、ボールを転がして足で止めている程度だったのにいきなり隣の方が大声で出てきて、「何ボール使ってるんだー」とその親子をすごい勢いで怒っていました。親子があやまって、これでもか、という位怒っていました。そもそもボールのいけない公園なんて思ったのと同時に、やはり市民全体が子どもを歓迎する雰囲気がないと、安心安全に子育てできないと思いました。
- ・小金井市の子どものあそび場はどこも古く、汚く、とても子どもをあそばせたいと思えるような施設ではありません。武蔵野市の0123や府中市の「たっち」はとてもキレイで、広くて、おもちゃや遊具もとても考えてられており、とにかく充実しています。
- ・東小金井駅北口公園をはやく造ってほしい。
- ・平日午前中の公園の利用について大勢の保育園児が遊びに来ると帰らざるを得ない。子供が人見知りなので遊びたがらなくなった。
- ・有料でもかまわないので土日祝日も利用できる室内遊び場（キドキドやアソボノみないな感じ）とカフェスペースレンタルパーティールームがあったらうれしい。
- ・小さな子が楽しむ公園は多いのですが小学生がのびのび走ったり球技をしたりする公園や広場が少なく感じます。また秘密基地を作っても、鬼ごっこをしていても大人の目が厳しく注意を受ける事が多いように思います。創造力をより増せるようなプレーパークのような場所がもう少しほしいです。せび、ジャンメ跡地はあのまま保存して頂き、新しい市役所は高架下のフリースペース（武蔵小金井～東小金井間）に作ってほしい。

◆保健センターについて・・・24件

- ・保健センターのアクセスが悪いこと。健診時の負担が大きかったことが問題に感じます。（9）
- ・保健センターが遠いので、何か所かがあると利用しやすい。
- ・保健センターに行くのがとても大変なので、せめて健診のときは直通バスなどがほしい。
- ・健診などで保健センターに行く際の交通手段が不便。自宅のある梶野町からは遠すぎる。ココバスが東小金井駅から出ていたりすると助かる。
- ・東町から保健センターに行くのが遠く、負担に感じてしまいます。武蔵小金井駅周辺や新庁舎でできるようになってくれたらもっと利用しやすくなる。

資料編（Ⅰ. 就学前児童の保護者）

- ・保健センター、子ども家庭支援センターの場所が市の端（西）にあり、自宅のある梶野町から遠くて不便。
- ・保健センターの場所を駅前に移転してほしい。子供をつれていくのが大変。BCGは医療機関で受けられるようにしてほしい。
- ・保健センターの場所を小金井市の中心にしてほしい。せめて、武蔵小金井駅から徒歩で行ける場所。
- ・妊婦面談はわざわざ電話で予約を取らせて上、保健センターまで行かなければ受けられないというのうはどうかと思う。ただでさえ悪阻や体調不良で辛い人もいるというのに。私はたまたま妊娠届を出しに行った日に、市役所で出張面談をしていたので受けたが、そうでなければ体調不良と仕事の合間にわざわざ受けようとは思わなかった。
- ・以前、保健センターにて子育てについて相談したことがありました。それから半年後くらいの1歳半健診の時、親子がたくさん集まっているロビーで大声にて「どうなりましたか」と聞かれ恥ずかしい思いをしました。こちらは悩んでいたのに、大声で言われると、今後は市には相談したくないと思いました。もし今後、他の方が相談されその後の経過を知りたいのならそばまで行って小声で呼んで個室へ連れていくとか、健診後に聞くとか対応してほしい。
- ・子供は現在5才、保健センターでの教室へ参加できたのは、育休中のみでした。復職後はほとんど行っていません。
- ・保健センターで様々なサービスを行っている様ですが、（梶野町在中の為）東小金井の周辺でも同じような施設があってくれと嬉しいです。
- ・里帰り出産した時の費用の手続きもわざわざ保健センターまで行かねばならず、産後の体にはとてもきつかった。なぜ駅近の市役所で受け付けてくれないのか。子供の健診時間にかかる時間が長すぎる。
- ・保健センターでの健診で、保健師さんから言われたことに答えられないとやり直しで後日改めて健診、というのがストレスで正直健診には行きたくないです。もう少し母親をほめますようなものにしてほしい。
- ・保健センターに車でいけないのはどうかと思う。新生児連れて雨だったら大変すぎる。
- ・保健センターの近くに住んでいます。以前は保健センターの裏庭にすべり台などの遊具があったのですが撤去され今は砂場のみになっています。上の子の時はほぼ毎日行っていました。今は近くに公園もないので不便。

◆施設・環境整備について・・・23件

- ・0～2才を連れて出かけられる飲食店などが小金井には少なすぎる。「オムツを替えられる、座敷がある（テーブル、椅子ではなくゴロゴロできる）、おもちゃがある」所が少ない。産直後はなかなか外に出られず、家にいて子供と2人きり（または3人きり）でうつうつとしてしまう。「もっと外に出よう」と声かけできるよう、0～2才児を連れていける施設、飲食店を市で応援してほしい。
- ・市内で気軽に支援できるスペース、施設などがもっと増え、（例えば商店などの休憩室を利用してもし良い所があれば、授乳おむつ替えwellcomeステッカーなどを配布し、入り口に貼ってもらうなど）地域で気軽に育児できる環境になれば素敵だなと思う。
- ・お湯を完備した授乳室をもっと増やしてほしい。
- ・じゃぶじゃぶ池を夏季に利用したい。
- ・ベビーカーで外出、移動することがあるのですが、買いモノ先の建物や敷地内、駅付近にベビーカー置き場があると便利です。とくに駅付近について、自転車置き場はありますが、ベビーカー置き場はないため、混雑する電車やバスにベビーカーを持ちこまなければならない、申し訳ない気持ちになる。
- ・ベビーカー利用中や子連れで入りやすいお店が極端に少ない印象があります。行政でどうにかできるのか分からないのですが。
- ・駐輪場の子乗せ3人乗自転車スペースの拡大と、市民割引の導入をしてほしい。
- ・夏～秋、散歩していると蚊が多くて困る。公園だけでなく生活道路にも多い。蚊に対する対策もお願いしたい。
- ・駐輪場に市民割引引きをしてほしいです。保育園のおむつを市にて無料で回収してほしいです。保育園や公園の砂場の猫よけなどをしてほしいです。保育園のプールを充実させてほしいです。
- ・図書館が古く汚ない、又はきれいで蔵書が少なすぎるのは、子どもをはじめとした市民の民度を上げようとは思っていないのだなと感じる。
- ・貫井トンネルを歩くときホコリと砂がひどいです。（線路の下の方）子供つれて図書館に行きたいのですが、貫井トンネルを通らねばならないので、自転車はパンパン通るのでホコリや砂が目に入ったとき非常に危険な状態になります。小学生が歩いているのもよくみかけます。トンネル上を通れる様にならないのでしょうか。
- ・昨年、他地域から引越してきて驚いたのですが、未就園児が利用できる施設が少ないと感じました。それまでは毎日児童館に足を運んでいました。1つの所ではなく3つの児童館のうち今日はどこに行こうか、と選べた程充実していました。
- ・子どもが利用する施設のトイレに子ども用のトイレがないことに不便を感じています。子どもが過ごす施設が古いように感じ、耐震など災害時のことを考えると不安です。
- ・支援センターの場所がいずれも遠く、バス利用が必要となっている。駅近に施設を作ってもらえると利用しやすい。一番近い公園がはげの森緑地ですが、11月に入っても蚊が多く、近くを通るだけでも刺されてしまいます。子どもを安心して歩かせられるように、伐採だけでなく、害虫の対策も行なってほしい。
- ・施設が古い。公園についても整備が行き届いてないので、きたない。小金井市内の幼稚園のクオリティーの低さ、子供を通園させたいと思える環境ではない。民間が運営する教育施設を増やす。
- ・私が住んでいる前原町4丁目、市の子育て支援を受けるのに、行きづらい場所が多いと感じます。保健センターは自転車で20分、一番近い貫井南児童館は自転車で15分、どちらも徒歩では大変です。
- ・小金井の支援センターや学校など古い建物が多いので、衛生面を含め、キレイな建物を増やしてほしい。
- ・小金井市では自転車ありきの所が多く、下の子が小さいと特に大変不便です。もっと車で行けたり交通機関が充実したりすることで行きやすくなってほしいと思うことが多い。
- ・小金井市の子育て支援施設は古いところが多いが、職員の方や保健師さんが皆さん優しく、顔を覚えてくれてあいさつしていただいたり、話しかけていただいたりするものでいつもとても気持ちが良いです。職員の数も多く、きめ細やかに見ていただけて安心できます。ぜひこの素敵な環境をこれからも維持していただきたい。
- ・やっと出掛けられても道がせまく通れない所があり、出産してから不便と感じることが多い。市役所でも、スロープの所に自転車とがまっけてベビーカーが通れない事もあった。又、扉にぶつかってスムーズに入れない事も。市役所にもきちんとした授乳室（ミルクを作ってあげられる場所、オムツ台が男性も入れるようにしてほしい。）を作してほしい。
- ・乳幼児を連れた「移動手段」が少ないことです。「ゆりかご」や児童館、学童の子そだて広場も、本当はもっと利用したいのですが、施設が遠い為、天候の良い日など、限られた時しか出掛けられないというのが現状です。例えば東小金井駅や武蔵小金井駅を経由して、子ども家庭支援センターに向かう専用のバスを運行したり、タクシーでも来やすいように、割り引きやポイント制のチケットを配布したりしても、助かるのではないかなと思う。
- ・野川公園武蔵野公園の近辺に、飲食品が購入できる店があると便利だなと思います。（コンビニ、売店、スーパーなど）武蔵小金井駅の南（はげの道あたり）から北（小金井公園）まで、縦断する（coco）バスがあると助かります。

- ・ 武蔵小金井、東小金井辺りは道なども整備されキレイになりつつ、ベビーカーも押しやすかったりしますが、新小金井辺りは、まだまだひどいです。東センターにおいては、エレベーターもないので、ベビーカーでは2階にも行けず、図書館から遠のいてしまいます。境のプレイスまで行っています。東センターでは、お年寄りの方も大勢利用されているので、エレベーター導入を強く希望致します。

◆児童館について・・・23件

- ・ 児童館でのイベントを増やしてほしいです。(2)
- ・ 児童館の赤ちゃんのイベントが増えたら、うれしいです。
- ・ 児童館を充実させてほしい。(2)
- ・ 児童館の「ひろば」を利用しているが、1才半をすぎるとやや手狭で利用しにくい。かといって公園では危険すぎる時もあり、丁度いい居場所がなく困っている。公園はジャノメ公園がなくなったら近隣にまともな公園がなくなり困る。栗山公園はカラスに持ちものをとられて怖くなった。東児童館は歴史があり職員の方々の熱心な支援体制でよく利用させて頂いているがハードが老朽化しすぎていてかわいそうになる。
- ・ 児童館のおもちゃ管理をもっと整えてほしい。プラレールの電車は、部品がこわれたものばかり。
- ・ 児童館の子育てひろばの開始時間をもっと早くしてほしい、おもちゃも電池切れが多く遊べない。
- ・ 児童館の子育てひろばをよく利用させて頂いてますが、どの児童館も古すぎて、おもちゃも年期的に入ったものが多いです。もう少し予算を回して頂き整備してほしい
- ・ 児童館の充実をお願いしたい。埼玉の実家近くの児童館のように月曜から土曜まで時間帯等も考えてほしい。例えば 10:30~11:00 は毎日、リズム体操をする等。
- ・ 東児童館にはとてもお世話になっています。行事もとても充実していて、子どもの自主性にも重点をおいて活動に参加でき、小学生の兄弟もよく通っています。職員のみなさんもアットホームでとてもよくしてくださります。これからも、児童館の運営等がよりよく継続されることを願っております。
- ・ 児童館があまり遊び道具が少なくつまらなかった。
- ・ 児童館が学童もかねているので、午後は小学生がメインになってしまい、幼稚園入園前は利用しづらかった。
- ・ 児童館が少なく、立地も悪い。子ども（10才）が遊びに行けず困っている。学童卒後後の子供が遊べる場（集まって勉強する場）（図書館や児童館）が数多くある方が良いと思います。
- ・ 児童館の利用をやめたのは、他者との交流がほぼなく、子の遊びはできてママの気分転換にならないからです。カフェという形でなくとも小規模イベントで、手軽に他のママと会話しやすい仕組みがあればいいなあと思う。
- ・ 小金井の児童館は、他の市などに比べて、つまらない。低年齢向けなので、2~3歳も楽しめるような、トランポリンなどがあると嬉しい。
- ・ 小金井市は児童館や保健センターが遠い場所に点在しているので、各々の児童館のサービスももっと充実していればと思う。
- ・ 上の子児童館の幼児グループに通わせている時に下の子を妊娠しました。ちょうど自宅が一小のあたりで児童館が近くなかったのでCOCOバスに乗って東児童館に行っていました。今度、ジャノメ跡地に市役所と福祉会館が建ち、保育センターや子ども家庭支援センターファミリーサポートセンターなど移ってくるようですが、児童館とかはこのあたりには新たに作れないのでしょうか。
- ・ 南小学区から利用しやすい児童館がないような気がします。
- ・ 平日に仕事をしている保護者のために、日曜日児童館をあけてほしい。
- ・ 平日は、児童館や学童の子育てひろばを利用していますが、どちらも利用できずに行き先がない日があります。保健センターのゆりかごは少し遠いので、児童館と学童の開所日（児童館の「0歳のつどい」も含めて）をずらして、毎日遊びに行ける所を作ってほしい。
- ・ 保育園入園前に児童館、乳幼児保健相談などお世話になりました。非常にありがたかったです。施設を新しくすることも検討して頂きたい。
- ・ 保護者が仕事や私用で不在の際に、直接、児童館に行って過ごせる制度を作る、もしくは、学校に認めてほしい。今は、児童館で遊ぶ際は、一度帰宅してランドセルを置いてからでは行けず家が遠い子どもは往復すると40分位かかってしまう。夏の暑い日、雨の日などはかわいそうで、結果一人で、留守番をさせなければならない。低学年のうちは、心配なので、何とか安心して待てる居場所がほしい。

◆一時預かりについて・・・21件

- ・ 一時預りを利用したくても本当に予約をとることが大変です。とれないことも多く、緊急の場合も認められず未就園児の預け先で困ることが多い。(4)
- ・ 下に0歳児がいて、自分の時間やリフレッシュのため幼稚園の一時預かりを申し込みたいが、近くの保育園はいつもいっぱい予約がとれない。
- ・ 現在、一時保育の枠が少なすぎて、希望するとおりに予約が取れません。子供が保育園に入園する前は大変苦労しました。もっと一時保育を受け入れてくれる施設が増えれば良いと思う。
- ・ 過去に一時保育を親のリフレッシュの為に時々利用していました。とにかく一人になりたくて、預かってほしいのに、枠が少なく競争戦になり、一回も預けられない月もあってがっかりしながらストレスをためていました。もっと枠が多くて預けやすければ良いと思う。
- ・ もっと一時保育の予約がとれるように保育園を作るか保育士を増やすかしてほしい。
- ・ アレルギー（小麦、乳製品、砂糖、アミノ酸の排除をしています）の子の一時預かりサービスを増やしてもらえたらありがたい。
- ・ 預け先があるという安心がないと働くという選択が出来ないので、育休中じゃなく、求職中の人も保育所がある、保育所の質を上げるという事に取り組んでいただけたら助かる。
- ・ 駅すぐの所にトワイライトステイのできる施設があると助かります。駅近くに24時間やっていることもや親の食堂相談所などがあると虐待が少し減るでしょうか。
- ・ 学童よりも気軽に子供を預けられる場所がほしい。
- ・ 現在、幼稚園に通っているが、月曜日が休みなで、通院等の為、月曜日に保育園の一時保育を利用しようとしたが、利用できないと言われた。理由は通っている幼稚園が基準に合っていないとの事だった。一時保育は、保護者が困っていて、子どもを預かってもらえない環境の時に利用できる様にしてほしい。
- ・ 今は高倍率ながらも、保育園の一次預かりを利用できますが、小学校に入学後低学年のうちどうしたらよいかアイデアがありません。
- ・ 私は出産前、演奏家として活動していました。日々の練習や不定期の仕事のために保育園を利用したりすることは難しいので、短時間でも定期的に利用（保育）できる場があればと思う。
- ・ 一時保育利用券が年に1枚でもあったら気持ち明るくなり、心に余裕ができそう。
- ・ 以前に一時保育を利用した際に、申し込みは月初に園に並ぶか、FAXでの受け付けと、子供のいる身には負担&アナログな方式に驚きました。園毎に空き状況などもオンラインで確認、申し込みができたりすると利便性も増すのではと思う。
- ・ 日中は一時保育等利用していますがお金もかかるため数回が限度です。一番手が足りないのは夕方から夜にかけてなのでその時間シッターや家事代行など月1回でもいいので利用できるサービスがほしい。

資料編（Ⅰ. 就学前児童の保護者）

- ・他の市町村から転入してきましたが、以前の地域に比べ、働きながら子育てする家庭に厳しいです。保育園の一時保育は、リフレッシュなどの為と就労の為と分けてほしいです。枠も増やしてほしい。
- ・働く母親（父親）を応援していただけるのであれば、就労を目的とする保育園の一時保育（定期利用※就労目的）の抽選（3ヶ月に一度）というシステムは廃止もしくは改善すべきだと思います。たとえ一度抽選に当たっても3ヶ月で終了、仕事を辞めるという選択が常に付きまといまいます。先着にしたほうがダメだった時の対策をと思っています。未来の方々の為に是非改善してほしい。（当方保育園の選出にもれ待機児童です。待機児童であることは仕方ないと思っていますが、それでも働かなくてはなりません。定期利用制度の見直しをお願い致します。）
- ・幼稚園に入るまでの期間、自らの病気、通院の理由でない限り子供を預けられずとても辛かった。一時保育も手続きしたが、登録することも煩雑で、いつでも受け入れしてくれる訳でもなく、預り先もうなぎの寝床の様な所もあった。いつでも、どんな理由でも預ってくれる施設があればもっと子育てを楽しめたと思う。

◆安全について・・・18件

- ・路上喫煙をもっととりしましてほしい。梶野町の交差点（華屋与兵衛）は赤信号でも車が走ってます。小学校が近いのに危険です。
- ・東町にて路上喫煙が多いです。子どもの目線にタバコがくるので対策を検討してほしい。ベビーカーがスムーズに進めるように道路の整備をしてほしいです。歩道のない狭い道路で車がスピードを上げて向かってくることが多いです。道自体が狭いこともありますが歩道の整備を進めてほしい。
- ・駅周辺の道路整備がいつまでたっても終わらないのは、問題だと思います。車を運転する側からしても、子供を連れて歩く側からしても危険なので、早く対応して頂きたい。
- ・駅前（特に北側）の道路に歩道を作ってほしい。子供が安心して歩けるよう整備してほしい。
- ・駅前周辺は整備されはじめていますが、自宅周辺は歩道がなく不安。車もスピードが出ていることが多いし、それを避けて自転車も歩道を走っていたりする。通学路にもなっているようなのでなんとかならないかと思う。
- ・街灯が駅から離れる程少なくなるので増やしてほしいです。
- ・細い道路が多く子供が歩くと危ないところが多い。自転車に乗っている人も多いため、道路整備に力を入れてほしい。
- ・子どもの安全を守るために、防犯カメラの設置等していただきたい。武蔵野公園にトイレを作る際に防犯カメラの設置を反対される方がいると聞いたことがあります。それが本当なら残念です。安全に安心して暮らせることが一番大事だと思う。
- ・子ども達が安心して遊べる場所はかわらず維持してほしい。
- ・子供がひとりでも出掛けられるような歩道をもっと建設してほしい。
- ・小さい公園にたばこの吸い殻がよく落ちています。子供がさわってしまう為ポイ捨てしないよう注意喚起の看板を立ててほしい。犬のフンも同様。子供の通学路は車の交通量が多いので、見守りの人を立ててほしい。（桜町病院に行く道）
- ・小さな子供でも安心して歩ける様に、道路を何とかしてほしい。緑で色分けされていても、車が止まっていたり、当たり前の様に、走行されたりするので、正直怖い。自転車に乗っている、年配の女性に「危ないからそこ歩くな」と注意された事もあります。歩行者のみの道を、設けてはいただけませんか。
- ・環境面の課題は道路や交通の事情であろう。中央線の高架化により改善が進んだとはいえ、狭い道も多く、ベビーカーにはつらいことも多い。特に最近では自転車や歩道と車道を好き勝手に走っていることがあり、とても危険である。ココバスも混雑が目立つ。
- ・通学路が暗いと思います。もっと街頭を明るくしてほしい。（LEDにするとか、数を増やすとか）街頭カメラの増設。
- ・道が狭い。農工大通りを一方通行、またはスクールゾーンで制限してほしい。
- ・道を早く均一安定させてほしい。何年も工事中のバリケードを張ったままの所も多い。
- ・歩道が狭く、自転車での歩行等が困難なので北大通りや武蔵小金井駅周辺の整備していただきたい。通学路のまち外灯街をふやしてほしい。
- ・歩道の整備をしてほしいです。子供と歩くのに危ないです。JR武蔵小金井駅からメカロスまでの道は、歩行者通行量が多いのにもかかわらず、歩道が狭く、スピードを出す事とすれ違うのが怖いです。JRの高架下を歩道にしてくれるれば安心するのにもいつも思っています。またJR東小金井からメカロスまでのJR高架下は整備されないのでしょうか。夏場は日陰を求める人が多数おり、高架下脇（道路）を歩いている人が多く、運転している人、歩いている人両方危ないと感じます。道を広げて、子供が歩いても危なくない環境作りをお願いしたい。

◆医療支援について・・・14件

- ・市報でまずチェックするのが休日診療の小児科の有無です。毎週どちらかの小児科があると、とても安心致します。
- ・緊急で子供を診てほしい時や、出産等において24時間受診可能なER等設立されている機関が小金井市内にあると有難い。
- ・貫井北町5丁目、医療機関がありません。逆に、国分寺駅に近いこともあり、子供の病院は国分寺市の施設を利用しています。小金井市だけで取り組むのではなく、市を越えた近隣の市と共同で子育て環境づくりに取り組んでいただきたい。
- ・休日に体調不良（発熱等）になった時、当番医に小児科がない場合とても困ります。仕事の調整などが困難なときもあり、その日に受診しておく子どもにとってもよいと考えます。他市では保健センターのようなところに小児科医が来る体制をとっているところもあり、そういった対応があるとありがたい。
- ・子ども専門のクリニックが非常に少いので、そのようなクリニックを増設していただければと思う。
- ・子供の具合が悪くなるのは夜間であることが多く、小平市のように夜間に小児科医に受診ができる体制があれば大変助かる。
- ・武蔵小金井は小児科がいくつかあるが、東小金井はほとんどないため予約がとりづらい。小児科を増やしてほしい。
- ・小児科が少ないと思います。小児科を増やしてほしい。（2）
- ・病児病後児保育の場所が小金井市は少なく困っている。増やしてほしい。
- ・病児保育を増やしてほしい。（3）
- ・不妊治療に対する助成金がほしい。

◆学校について・・・14件

- ・小学校の学区の見直しをしてほしい。学校によって児童数に大きな差があり、今後大人の目が届かなくなるのではと心配。（5）
- ・小学校のトイレを早急に和式→洋式へ変えてほしい。（3）
- ・小学校の登下校時の見守りを増やしてほしい。又は民間のパトロールの様な人に見回りしてほしい。学校の近くも大事だが、1人になる遠くの子が心配。警察に直接言うほどのことでなくても、何か変だなと思う人はよくいるので相談できる所があれば教えてほしい。
- ・小学校教員のレベルを向上させてほしい。小学校通学路をスクールゾーンにしてほしい。四小の緑の道をスクールゾーンにしてほしい。車通りが多くて危ない。

- ・小金井市は東京都でも教育のレベルが高いと言われていたと聞きました。中でも緑小緑中は良いと聞いて他市から引っ越してきたという人もいます。たまたま緑小の地区に住んでいたため、それを聞いてとても嬉しく期待しています。兄2人が緑小へ通っていますが、大きな問題もなく楽しく通っています。せっかく、そのような声があるので、教育面で高い成果がでるよう力を入れていただけると、親としては、小金井市で子育てして良かったと思うと思います。
- ・三小が荒れており私立小に通わせています。その教育費の負担はとても重いです。なのに公立小の人へ使われる税金は負担させられ何も助成がないことに納得いきません。
- ・長女が第三小学校に通学しているが、児童数の増加と、施設の老朽化で、子供達の学習環境が悪化していると感じる。校庭に新たに学童保育施設を建設する計画があり、休み時間に子供達が遊ぶ場所が狭くなることや、運動会での混雑が助長されることが懸念されるため計画の見直しを望んでいる。トイレをそうじを保護者のボランティアの助けを借りるのではなく、子供の健康のためにトイレ改装や、掃除の人員を雇うことが必須である。また、児童数を調整するため、学区の再考を早急にお願したい。
- ・武蔵野市で行っている、セカンドスクールがとても良いと聞きました。農業体験や少し長めに親から離れて友達と過ごす等。

◆情報について・・・13件

- ・乳児を連れての保活は大変でした。市役所が開いている時間に保活（申請書）するとすると全て母親、という家が大多数。早く紙媒体でなくネットでやりとり出来るとう良い。
- ・子育て中の親に、「情報弱者」を作ることのないようにしてほしい。情報の格差が、貧困や悩み、自殺まで生むことがあると思います。私はたまたま、一時保育のしくみを知り、1才から預けて仕事を続けられましたが、これも、本当にラッキーなきっかけで知ったことでした。（市のホームページの導線も、とても見づらく、活用は不可能です）
- ・5月に三鷹市から引っ越しをしてきた為、小金井市の子育て環境をあまり知りません。市のホームページ以外の情報収集の仕方がわかりません。
- ・まだ子供が産まれて間もないため分からないことも多いですが、子育て支援やネットワークなどあれば積極的に参加したいので情報提供を分かりやすく頂きたい。例えば市報以外にも対象年齢のある家庭にはお知らせを送るなど。地域のイベントやあつまり、コミュニティ関連の周知をしてほしい。
- ・既に様々な事業等を展開されていると思うので、それら事業について、必要な人々への情報提供をし、より多くの人に活用してもらうことが重要と考えます。
- ・公園に関しての情報がわかりづらいです。例えば小金井公園のトイレにオムツ替えスペースはあるのか、授乳室はあるのか、行く前にわかると助かります。
- ・子育て支援のサイトにたどりつくまでわかりづらいです。ネットでの情報収集がしづらいので、支援の場に行ってる人しかわからない情報が多いのでは、と思います。
- ・市立公園での行事をもっとわかりやすく告知してほしい。
- ・小学校の学区内で、何か事件等が起きた場合、すぐに保護者に一斉メールを頂きたいです。人伝に聞くも、学校から連絡がないものもありました。
- ・小金井市が作成している保育園の資料に、各園の下記について追加してほしい。①布おむつ or 紙おむつ、②使用済おむつの廃棄方法（保護者持ち帰り or 保育園が有償で処分等）、③入園にあたり保護者が用意するもの（エプロン、ふとん、タオル等）、④説明会日、見学日。市には保育所の情報の取りまとめをもっと積極的に行って頂きたい。市内外の保育園を15以上見学しましたが、そこで得る質問はほぼ同じです。保育園の見学日等についても、市がとりまとめるのを、市のホームページで公開する等した方が効率的かと思う。
- ・小金井市は近隣の市とくらべて保育園数の増加が少なく、待機児童が多いという話をよく聞きます。新設園の情報などは造ることができた時点でおしえてほしい。
- ・色々なサービスについて冊子にまとめたものを配布されたり紹介されたりしたが、本当に必要と思った時には、探せなかった。どういう状況になったら活用してよい、した方がよいなどの助言がないと、こんなことで活用しても良いのか判断できず、活用しなかった。市報にのせている事で情報を提供しているという評価だと思うが、健診と健診の間の月齢などに、配布してもらったりすると、再認識しやすいと思う。
- ・幼児教育保育無償化についての情報を市民に伝えてほしいです。今、2歳児をもつ親は、今秋に保育園か幼稚園かどちらかの申し込みをしようか大変迷われたようです。一度、11月に入園手続きをする約10万円の入園料を支払うし、子どもを思うと1度慣れた環境を変えたくないという思いから、ほとんどの場合、途中で園を変えることはないようです。早く、行政から正確な情報を伝えていただければ助かる方がたくさんいると思う。

◆幼稚園について・・・11件

- ・来年の無償化はとても助かりますが、月々の利用料以外にも給食費や本の教材など負担があるので、今までの補助金、助成の継続を希望します。
- ・長女の幼稚園入園を機にこの小金井市に転入しました。世田谷で住んでいた時アトビーで大変だったのですが、この自然豊かな土地で改善。感謝しております。アトビーでなくともですが、この自然環境は宝だと思っています。一度失ってしまったらもう元に戻せないもの。ずっとこの宝が残っていくことを切に切に願っております。
- ・子が幼稚園に行っていますが、預かり保育がなく、その後の保育に困る事があります。現在就労していませんが、就労以外でも子を見る人がいない事は多くあり、親族が近くにいないと知人やファミサポにたよるしかなく、その場合の気づかいや金銭的不担を重く感じる事ががあります。幼稚園に入れたくて入れましたが、実際は保育時間が短く、より忙しくなった印象です。
- ・働いているママにとって小金井市の幼稚園は利用しにくいと思います。延長保育の時間帯、通園バス、給食を考えると、満足させる幼稚園は一つもないです。武蔵野市の幼稚園に通うことになりました。小金井にも働いているママのための幼稚園があったらいいと思う。
- ・小金井市は、駅から近い幼稚園が少なすぎます。
- ・働きたいと考えているお母さん方が多いように感じています。現に、来年度の幼稚園入園の募集では、定員割れしているところがほとんどと聞きます。幼稚園でも、預かりを充実させたり、こども園を増やしたり、そういう「働きたい」というニーズに答えて頂ければと思います。
- ・桜町付近に幼稚園がほとんどありません。なんとかならないでしょうか。
- ・幼稚園が無償になっても、補助金制度は残してほしい。
- ・幼稚園の給食をもっと充実させてほしい。小金井市は、ほとんどお弁当持参を推しているが、手作り弁当＝親からの愛情という発想は、今の時代ナンセンスだと思う。
- ・幼稚園や保育園の無償化は実現してほしいです。無理して働く人も減ると思います。心の余裕もうまれたら家族にもっとやさしく接してあげられる気がします。一時保育を利用するにも、手続きがすごく手間に感じます。もっとかんたんに預けられないでしょうか
- ・幼稚園入園時の入園金の補助があっても良かった。金額も大きいので負担になった。

◆学童について・・・8件

- ・フルタイムで働きたいが、現状、難しい状況もある。パートタイムで働いている家庭の子供にも、放課後や長期休暇中、利用できる環境にしてほしい。
- ・学童ひろばの開放時間の延長曜日を増やしてほしい。

資料編（Ⅰ. 就学前児童の保護者）

- ・ 学童保育の充実。現在3年生までだが、6年生まで（塾や習い事がない時に利用する）、長期休暇の昼食サービス。（有料で希望者のみ弁当宅配など）
- ・ 学童保育所に関しては、3年生までではなく6年生まで見て預かれるような保育所にしてほしい。（2）
- ・ 再来年から小学校に入るので朝学校が始まる前や放課後の時間に子供をあずかってくれる場所が充実することを願っています。
- ・ 就学児童に関してですが、学童保育で、親の活動（行事、役員など）の負担が大きすぎ、親の負担を軽くするか、または親の負担があるサービス学童とないものを選べるというのに、と思う。学童のように放課後の子どもを見てくれるサービスが、4～6年生にもほしいです。
- ・ 保育園は増えてきているが、その先、学童が足りないのではないかと思います。学童施設の増設、充実を図って行って頂きたい。

◆コミュニケーションについて・・・8件

- ・ アレルギー児の親の集まりを企画してください。悩んでいても、お医者さんによって方針が違っており、いつ治るのか、治らないのか、とても辛いです。今1番、子育てする上でストレスになっています。アレルギーが以前あった人の話でもいいですし、現在悩んでいる方がいたら、情報共有したり、共感したり励まし合って乗り越えていきたい。
- ・ もっと子供が参加できるイベント等があると良い。
- ・ 妻が外国人の為、子育てに困る事が多いです。外国人のコミュニティなどもっとあると良い。
- ・ 共働きで土、日に子供と過ごす中で、小金井公園でのイベントやお祭りなどたくさんイベントもありますが他にも楽しいイベント期待しています。シルバーの方にはお掃除の派遣などがあるのは有る様ですが、シルバー世代の方がもっと子育て世代とつながるといいなとも思う。
- ・ 子供家庭支援センターなど相談に行っても声を掛けづらかったり、周りが気になつたり相談しづらい雰囲気があるように感じた。もっと地域や子育ての広場などがオープンな場所であれば、子育てしやすい環境になるのではと思う。
- ・ 小金井はすごく子育てしやすい環境だと思っています。子どもに対する地域の人たちの優しさも感じています。（大泣きする子に話しかけたり、笑わせようとしてくれる人年配の方がとても丁寧に接してくれたり）これからも子育てしやすい町であってほしい。
- ・ 専業主婦を選んだものでも子供が0才～入園前は孤独を感じやすかったり、人から評価されてやりがいを見つけたかたりするので、そういう人達と協力し合って子供を見ながら各々が働きやすい時間に働けるような場所があったらいいなと思う。
- ・ 府中にある「たち」の様な母子が交流できる場所が駅近くにあつたら良いと思う。少額なら有料でも良いと思う。

◆障がい児支援・発達障がい支援について・・・8件

- ・ 障がい児を育てています。保活の時の保育課の対応が最悪（2015年）でした。その後3年経っていますが、当時保育課に伝えたことは、何も変わっていません。障がいのある子は家てみた方が…とも言われましたが、障がいの内容によっては、医師や専門家の方は、保育園への入園を勧めてくださるのが事実です。きちんと正確な状況を理解して、具体的に対策してほしい。上の子が障がいがあるとフルタイムの勤務が難しく、（通院定期健診や療育のため）、下の子の保活の点数が低くなり希望の園に行けない。せめて加点などでフルタイムと同等になるようにしてほしい。
- ・ きらりを利用させていただいています。平日、日中の利用で送迎や付き添いが必要なため、仕事を抜けてこなくてはならず、大変負担です。土日や夜間の利用が出来れば大変有り難い。
- ・ 児童発達支援センターを利用したいと考えたとしても混み合っていてなかなか予約が取りにくかったりするのでもう少し利用しやすいと良いと思う。
- ・ 障がいに優しい町づくりをするならぜひ、障がい児がいる世帯への支援をお願いします。好きで障がい児を産んだわけでもないのに、健常児と同じような暮らし（保育園に入る等）が出来ないのは、とても苦しく、子育てしていく気持ちが悪くなります。
- ・ 障がい児を育てており、小金井市の保育園探しに非常な苦労した経験があります。先日、障がいを持った新生児のお母さんとお話して同じように苦労されたこととお聞きし、まるで市役所の対応は変わっていないのだなととても残念に思います。苦労した点は、どの保育園が受け入れてくれるかわからず、片っ端から親が電話しなくてはならない。障がい児の母となって精神的なダメージがあるのに、断られ続け非常につらいどうすればよいのかわからなくて市役所に問い合わせるのに、心無い対応をされる。（きらりに聞けばばかりの対応）
- ・ 息子には障がいがありますが、他の市区町村に比べ、様々な点で不自由さと差別的なものを感じます。以下の点を討当してほしい。公立保育園の0才児からの受け入れ（障がい者差別解消条例を施行しておきながら、公立では受け入れれないのはおかしい）。保育園入園申込児の障がい児の加点。療育施設の拡充（4月～でないとい入れないのは困る）。障がいに関する手当の所得制限の撤回。職員全体に知識の乏しさを感じます。障がい者への理解を深めてほしい。
- ・ 小金井市には、きらりや賀川学園等の組織が大きく、また障害者福祉センターもあるため他の市に比べると障がい者の正しい知識がある人が多く、気持ちを理解してもらえて必要な支援もあるので優しく住みやすい街です。障がい児も親以外に社会との関わりがほしいです。毎日通える療育園の様な所は枠がいっぱいで、待機になっている子どもがいるので、全ての子どもに居場所を与えてほしい。療育園以外でも幼稚園や保育園でも障がい児を受け入れるだけの設備も整っていませんし、加配をつけるにも先生がいなく残念ながらお断りするケースも多いそうです。障がい者を受け入れる事が大変だからとか面倒だからといって切りすぎるのは大事な気づきと学びを経験するきっかけをもらわずに人生を歩むと思う。障がい者を受け入れやすい教育設備が整ってくれる事が願いです。大事な進路相談、参観日、学校の行事で専門家が障がい者を預かってくれる障害者福祉センターは本当に助かります。
- ・ 娘は早産で産まれ、発達が人よりも遅れています。足の方にも少し障がいが出るかもしれないと言われていました。児童館等に行くとやはり同じ月齢の子よりも発達が遅れていて少しあせりを感じる事が多かったです。同じ気持ちのお母さんはきっとたくさんいると思うので、出産時に何かしらあったママ達、または早産低体重の子たちのママを集めて意見交換できたらうれしく思う。

◆家庭支援センター「ゆりかご」について・・・7件

- ・ いつも「ゆりかご」のスタッフさんには優しく寄り添っていただき感謝しております。
- ・ 「ゆりかご」はとてもありがたい場所です。職員も皆さん総力でいつも助けられています。
- ・ よく「ゆりかご」を利用させていただいています。係の方々もとても優しく気遣って下さり、とても感謝しています。しかし、16時までだったり、日曜日はお休みだったり、規模が狭かったり。府中市の「たち」のように、17時までで、休みも少なく広かったりするととても助かる。
- ・ 「ゆりかご」を子どもが生後半年からよく利用させて頂いています。ゆりかごの先生たちとお話するだけで助けられています。本当に感謝しています。難しいかもしれませんがゆりかごの先生たちがより活動しやすく、また利用促進のためにも予算を増やしてあげてほしい。ゆりかごでのグループワーク事業などは定員もありますが、参加した母親としては、本当にあのような場を設けて頂き育児の悩みから救われました。もっとたくさんの方の機会を他のお父さんお母さんにも共有できるように願っております。
- ・ 小金井に越してきてもう1年になります。娘が0才のため時々「ゆりかご」に参加していますが、とても職員の方が親切で親しみやすく声をかけてくださるので、息抜きになっています。今後もこのような施設を利用したいと思っています。
- ・ 日曜日、祝日に「ゆりかご」や児童館など、子供を連れて遊びに行ける所があると助かる。土曜日はやっているが、日曜日は主人が仕事などで不在の場合、1人で3人の子供の面倒を見なければならぬ時に、公園等は安全に見れる自信がないので、室内で職員の方など手助けしてくれる人がいる場所があると、子供を安心して遊ばせることができると思う。
- ・ 「ゆりかご」の外遊びする場所に再度遊具をつけてほしい。今は砂場遊びしかできないので行く頻度が減ってしまった。

◆図書館・自習室について・・・7件

- ・小金井市の本館が「行きたくない」図書館ではなくとも驚きました。できれば、駅前北側の再開発に、子どもから年輩の方まで集まれるような文化的な施設があればとても市民のためになると思います。子どものうちから知的好奇心を高めるような環境が用意されていることはとても幸せなことだと思います。市内図書館の充実学校施設、学校用品の充実の為の予算配分を希望します。
- ・図書館での平日、乳幼児向け（0才～）の読み聞かせをしてほしい。素敵なお話室があるのに土曜（3才～）しか開催しないのはもったいない。
- ・図書館や公共施設が、子どもをつれて行きたいと思える場所になっておらず、特に図書館は、妊娠中の人向けの雑誌や新しい本、子ども（乳幼児）教育の本等が殆どなく不満でした。図書館が、妊娠～就学前児のいる親の情報収集や子どもを連れて行ける場所になることを希望します。武蔵野市の武蔵野プレイスは、書籍のラインナップもよく、場所も明るく清潔で、とてもよいと思いました。
- ・図書館を充実させてほしいです。本館によく行きますがゆっくり読書ができません。せまい、本が少ない、読書するスペースが少ない、排架がきちんとされていない、全然ためだと思えます。子供とゆっくり本を読みたい。
- ・大きな充実した図書館がほしい。あまりにも小さすぎです。学習スペースの部屋がとれる等。
- ・図書館等施設を作り、そこで人が集まれる事を企画してほしい。
- ・隣の武蔵野プレイスまではいかないにせよ、子供の教育の場の充実を期待したい。小金井市は教育水準が高いのが他市と比べ強み、その強みをより強くしてほしい。

◆健診について・・・7件

- ・3ヶ月、1才半健診で行なわれる積み木を積む、絵を指さす、などどういう目的でされているのか一言説明がほしい。ぐずりやすい時間帯で知らない場所、知らない人にすぐ反応できない子どもも多いと思う。
- ・許乳幼児健診は保健師により、同じことをしていても注意されたりされなかったり言われることが違うので困ってしまいます。親の育て方を尊重せず、たいへんマニュアル的でマニュアルから外れると注意してくるというのは、親は自分を否定されているようで、なんのための健診なのかわかりません。健診は母子の心身の健康のためというより、「外れている者探し」になっているような気がします。
- ・健診について：2人目の乳幼児健診に行った時、受付時間より前に整理番号を配布されている事を知りました。上の子の幼稚園のお迎え時間もあり、受付開始に合わせて早めに到着したのに、すでに待ちが20番台。知り合いがいたのでその番号は一ヶ台だったので聞いたら受付の30分前に来ていたとの事。結局、時間もかかって幼稚園のお迎え時間に間に合わず。整理番号を配るなら、そのようにアナウンスして欲しかった。口コミでしかわかりません。できれば健診は午前中にやってほしい。
- ・健診の案内の郵便物の子供の名前が、”様方”で書かれていて、とても不快でした。自分の家に生まれている子供なのに、どうして”様方”と書かれているのか全く意味がわかりません。
- ・健診や両親学校（エンジェル等）で保健センターを利用する機会が多いが遠い。小さい子供を連れての移動は本当に大変なのでせめて駅の近くにしてほしい。
- ・出産までの健診で、補助券（市からもらえるもの）を使用しても、検査や予定日を超過した時の健診などで自費が発生し、金額もそれなりだったので、負担が大きかった。
- ・乳幼児健康調査の時間を午前中にしてほしいです。午後の時間帯が昼寝の時間とかぶる為子供の機嫌が悪くスムーズにいきません。

◆相談窓口対応について・・・7件

- ・子育て、経済的に困難を感じ、市に相談したくても、対応してもらえる窓口が無い。あちこちの窓口を紹介され、結局対応ができるサービスはないという返答。小金井市での子そだては極めて困難に感じる。
- ・窓口等に行った時、小さい子がいると必要最低限の事しかできません。ちょっと聞きたい事があっても、子どもがいると聞きづらかったり、注意散漫で聞きのがしたりします。もう少しおちついて窓口等で話せるような対応をしていただけたらうれしい。
- ・他区から小金井市に引っ越して来た時に、子どもの手当ての手続きで市役所の窓口を訪れた際、必要手続きだけで、児童館や保健センターのことなどは特に教えてくれず、数日間不安でした。たまたま公園で知り合ったお母さんにいろいろ教えてもらいました。今では小金井市の子育て支援全般に大変満足しています。
- ・妊婦面談について健康面や生活についてのアドバイスや困っていることについての相談に乗ってくれるのかと思ったが、決められた情報を取るための面談のように思った。細かいこと、聞かれたくないことを聞かれ不快だった。答えない権利も認めてほしいと思う。
- ・平日、昼間は何かあったときの対応先がたくさんあるが、夜間、休日の相談先などは少ないため充実してほしい。
- ・保育課、保健センター、ゆりかごのみなさん、とても誠実で対応がよく感謝しています。わかたけ保育園の職員のみなさま、大変すばらしく感謝してもしきれません。
- ・保育課の方が親身に話を聞いてくれ、アドバイスをいただくことができとても助かり嬉しかったです。妊婦面談等、支援の提供場所が武蔵小金井側に集中しているものがあり、不便を感じています。東小金井側の住人としては、支援内容に好感があったり、利用したいと思ったりしても、物理的な不便さから利用まで至らないことがあります。

◆育児休業について・・・6件

- ・育事休暇が2年あれば、保育園の待機児童数も減少すると思います。
- ・育児休業制度が複雑なためなかなか理解できません。また、育児休業の延長について、不承諾通知を前提とするのではなく、保護者の希望により延長できるように考えていただきたい。
- ・会社での育休が2年とれるが、2年もつては、保育園に入れず復職できない可能性がとても高い。せっかくの育休を十分に活用できず、おさない0才で預けなければならないのは、保活しているときから心苦しかった。もっと保育園の充実や、対策をとってほしい。せめて、1才過ぎてから預けたい。
- ・子どもが保育園に入らず、育休を延長しました。そのせいで、職場の関係ない人の人事にまで影響が及び、大変な迷惑をかけてしまいました。市役所にも何度も足を運んで相談し、異議申し立てもしましたが、何も変わらず、結局保育園に入れませんでした。その後の1年間は40ヶ所ほど保育園を見学するなど保活で心身をすり減らしました。何とか入ることができたので良かったけれど、育休延長はやはり簡単ではなく、あきらめて仕事を辞める方もいます。他の支援や保育無償化より、とにかく保育園を作ってください。
- ・子育てをして思うのは、子育て、家事、仕事の両立が非常に難しいということです。特にうちの子は病気をもっており、病院通いや入院もある中で兄弟の面倒も家のこともやらなければならない、今育休中ですが復帰できるか不安です。そういう状況でもうまく両立できる環境を整えてほしいと思う。（例えば保育園に必ず看護師を一人配置する、兄弟で同じ園に通えるようにする、保育園にいながらも発達をサポートを受けられるようにする、など）
- ・働く母親として、職場で保証された育休期間をしっかりと取得してから復職したいが、育休を延長すると希望の保育園に入れない。上の子が保育園を出されてしまう等の理由で、育休を早めに切り上げざるを得ない場合が多い。0、1、2才どの年齢でも安心して保育園に入れることのできる見通しや、上の子の年齢によっては退園しなくてもよい措置が充実すると大変ありがたいと思う。

◆講習について・・・5件

- ・子どもとの関わりが上手でない親がたくさんいる、と思います。親の生育環境が良くなかったりして、良い子育てモデルを知らないなど。「親のしかた講座」や、「子供との関わり方の基本（受容のしかた）」など根本的なことを教える機会がたくさんあっても良いのではと思う。
- ・どうしても母親中心になってしまう育児をかえたい。父親も育児に積極的に参加できるような社会のあり方にしたい。父親講習会をしたらどうか。
- ・子育てに関わる担当課市の職員は、幼稚園や保育園での現場体験をマストとすべき。机上での経験、判断のみであまりにも現実的ではない思考にとどまり、真の育児を理解できていない。園の父母役員会へのオブザーブ参加もマストとすべき。
- ・両親学級に行きたかったが、土日開催は働いている妊婦のためにあるような記述に気後れし行くのをやめた。私は働いていない妊婦だったが、土日休みの主人と一緒に行きたかった。非常に残念だった。
- ・両親学級というのは、多くの場合、妊娠出産に関する基本的な知識や心構えについての内容が多いと思いますが、本当に子育てが大変な時の対応については産後なかなか聞く機会がないお母さんも多いと思う。子どもを育てるといっても責任があり、大変な仕事を喜びをもって楽しんで少しでも事前を知っておくことで心理的（精神的）助けになることはたくさんあると思います。お母さんという一人の人の人格形成に携わる大事な役割について、なぜ「お母さん学校」はないのだろうと思う。

◆アンケートについて・・・25件

- ・アンケート項目が多すぎる。簡略化してほしい。（12）
- ・アンケートでわかりにくい部分もあり改善していただきたい。（3）
- ・アンケートを実施して、市の子育て支援施策に活かされることを期待します。（3）
- ・アンケートがどのように活かされるのか、活かされたのかも知りたい。（2）
- ・アンケート調査はwebでやった方が少ない経費削減につながると思う。（2）
- ・この冊子が厚いので、マークシートにしていただくとありがたいです。
- ・今回のアンケートで、知らないことも知ることができたので、良いきっかけとなりました。
- ・今回のこのアンケート結果を集計して、どのように子育て支援の充実へ活かされるのか疑問を感じました。

◆その他

- ・3人目の子供もほしいと思う時もあるが、大学までの学費と考えるとキビしい。現在は未就学だが、小学校に入ったら、今まで通りのフルタイムワークが難しくなるのが不安。学童の時間がもっと長くなってくれば良いが、このままフルタイムを続けると子供の登校より早く自分が出勤するし、お迎えも間に合わない。また、土日祝関係ない仕事なので、学童が休みになってしまう日祝はどうしようと思う。
- ・認可保育園に入れ、子育て、仕事の両立がなんとかできています。もう少しゆったり子育てしながら仕事もできたらいいと思うこともありますが、社会全体を見ても自分だけそんなことが言える時代でもないのかなと思います。
- ・まだ数カ月、これからこの地域での子育てに参加していく気持ちです。子供の体力がアップするような遊びを毎日できればと思っています。
- ・働き続けたい人ともっと生みたい人、両方のニーズは別のところにあると思うので、うまく適応できるサービスを個々に提供して頂けると助かる。
- ・なかなか紙面だけで情報を得るのは難しいと思いますが、親が笑顔でいられる為に何が必要なか、理解して頂ければ幸いです。
- ・以前、住んでいた杉並区では妊娠中から産後の2年くらいの間使える子育て応援券が配布されました。マタニティヨガ、ベビーサイン教室、親子エクササイズなど無料、もしくは割引され、外出するきっかけになっていました。子育て支援とはどういうものか私にはよく分かりませんが、そこには間違いなく区の目論見があり、喜んで利用するママがいて、情報交換があり、クチコミがあふれ、活気になっていたと思います。つい先月出産しましたが新生児のスクリーニングテストが桜町のみ無料と退院後に知りました。なぜ保健センターの妊婦面談でも、市役所へ母子手帳を受け取りに行った時も教えてもらえなかったのでしょうか。こどもたちを守るためにはママが健康な心を保てる環境をつくり、街みんなで子育てをすべきだと思います。専業主婦のいちばんのストレスはお金をつかうのに自由がないことです。例えば産後1年以内に市内でファミリーカーに買い換えたなら補助金が出るとか。チャイルドシートプレゼント、ほんの短期間しか使わない新生児のチャイルドシートを無料でレンタルできるとか。小平の産院では、スタジオアリスのサービス券をもらえました。それから、1歳の誕生日にプレゼント代と称した商品券なりQUOカードなりお金がもらえるとか。1歳のこどもに毎月抽選で〇名にオムツ無料券が当たるとか。市内の野菜詰め合わせが当たるとか。ゴミ拾いに参加したこどもへ抽選でサンタ（市長）が欲しかったおもちゃをもって家に来てくれるとか。小金井市の友好都市の他見への家族旅行券が当たるとか。要らなくなった赤ちゃん用品を寄付ではなく買い取ってくれるとか、初宮参りや七五三などめでたい席へ市内の大学の写真部の学生さんたちに安価で出張カメラマンを依頼するとか、家事代行も同じく学生さんを使うとか。ファミサポのようにそこに利益を生み出すことも大切だと思いますが、助けてほしい人がお金をささず利用できるようなサービスがあってはいけませんか。若い世代のそういったサービスの貢献は経験ややりがいになります。それも組み込んでいいのではないのでしょうか。
- ・育児支援ヘルパーを利用したが最終日に夫の仕事を確認され、そのヘルパーの知り合いの子どもを弟子にできないかと云われて困惑した。子どもの容姿にやたら言及したり「きょうだいを作ってあげないと」と云われたり、本来プライバシーに踏み込まないよう決っていたはずだったので疲れてしまった。それでも親類に手助けを頼めなければ頼るしかないで不満でした。
- ・下の子を出産する際に、産後ヘルパーを利用したく、規定通り、1ヶ月前に申し込んだ。予定日の1週間前に見つからないので、民間のサービスも検討するようにとのtelがあった。予定日の1週間前、どうやって探せというのか。大変困った。申し込み時期を1ヶ月前ではなく半年前くらいから受付け、ヘルパーの調整してほしい。
- ・虐待に関して、ずっと忘れられない体験があります。結婚してすぐの頃、同じアパートの向かいの棟から、毎日のようにヒステリーな母親の声と男の子の泣き声がしていました。夜は夫婦ケンカもひどく、小金井市の相談窓口にも連絡し、おそらく担当になったと思われる方が家を訪問されたところも見かけました。その後すぐに報告の連絡があり、問題はなさそうだとのことだったので、「もう少し長い期間、夕方や夜に一度でいいから来てほしい。毎日のことですし、叫び声やとなり声も録音があります」と話したところ、急に対応が変わり、鼻で笑うような態度、そして私が出産経験がないことがわかると「子育てはそんな簡単ではないんですよ」と語気強く言われました。その後大家さんに連絡、すると、入居してすぐの頃にその母親が育児ノイローゼをおこして大家さんと本人と本人の母親の3人で話し合いをして、様子見の状態であったと聞かされました。市の方の態度、すごくショックでした。今、自分も母親になりたいか子育ての大変さ痛感しております。でも、それと報告時の子育て経験の有無は関係なかったのではないのでしょうか。色々なサービスで市役所の皆さんには本当にお世話になっており感謝しております。どうか同じことが繰り返されないようお願い致します。
- ・虐待のニュースをみると心が痛みますが、今のママパパは共働きで、時間や体力に余裕がなく、常にストレス状態です。たとえ、虐待レベルのことまでしてなくても、親に常に怒られていたり、子どものよりよい関わり方がないがしろにされてしまったり、夫婦ケンカが絶えない家庭であったり、そういう家庭で育った子どもは幸せになれるか、とても心配です。「親への子育ての学習機会」「声かけのよい例」「子どもを少しでも預けて自分の時間をもてるようなサービスサポート」など、親へのサポートを皆必要としているのではないのでしょうか。
- ・共働き（時短とフルタイム）なので経済的にはあまり問題ないが子供との時間があまりにも短い。休日は一緒にずっといられるが平日は殆どないようなもの。もっと一緒にいてあげたいです。仕事をやめて又はパートにするのも考えましたが、逆に経済的余裕がなくなる又パートの場合はほぼ子供を預けられない（待機児童）、パートに出てもプライマイオになる程経済的負担が大きい。子供を保育園に預けてまで働いて経済的余裕がある世帯でも、子も親も「もっと一緒にいたい」とさみしい思いをしている。もっとゆっくり子供と向き合う時間が将来の日本の為になると考えます。

- ・最近小金井市にも外国人の方が増えていて感じたこと。外国の方と日本人では文化や感覚も異なります。例えば公園でのマナー。すべり台に外国人親子がすっと座りこんでいて、他の子供たちがすべり台で遊べない状況。また外国人親子が自転車で公園内を走っているのを見かけました。悪気はないのかもしれませんがマナー違反にならないように多言語（最低でも英語）で注意書きが必要ではないでしょうか。
- ・子どもの権利は小金井市の誇りです。推進していけるよう、推進するための計画をつくり、日本一の子育ち環境をつくって下さい。
- ・子どもはかわいいですが、社会が共に子どもを育てる、というような日本になればと思います。出産前に小金井市に越してきましたが、行政サービスが充実したところをきちんと選べば良かったと後悔しています。
- ・子供のすべてに関することですぐに相談したり、サポートしてもらえたりする環境があれば安心して生活できると思います。
- ・「こどもは、親と共に社会が育てていく」という思いをもって子育て支援をして頂きたいと思います。ネットに頼らなくて済むように、顔を見て相談できるコミュニティがあることが大切だと思います。そんな時にいつも身近にいて、共に子育てしてくれているは、保育園です。私は担任の保育士さんとの会話の中、あるいは相談に乗ってもらったことで、どれほど救われたかわかりません。また、保育園の父母会があったからこそ横の繋がりが出来、父母会関連や保育園主催の勉強会で素晴らしい学びを得ることができています。私立の、父母会もなく、保護者と保育士が対立関係になっている園や、保育内容に不満があって市に訴えても、相当な数にならないと動けない、納得いかないまま仕方ないと妥協している親御さんやそんな保育が当たり前、保育園なんてそんなものだと思って声を上げずにいる保護者も少なからずいると思われま。なぜなら私自身、小金井に引っ越してくるまでは第一子を職場の小規模保育室に預けており、そこでの保育内容に疑問や不満、違和感があっても、「預かってくれるだけでありがたい」「保育士さんも悪い人ではないし」という思いで、約3年間1度も苦情や意見を言ったことはなかったからです。懇親会でも周囲に同調して感謝を述べたのみで、正直な感想や苦情は口に出せませんでした。今思えばその違和感は、「良い保育」というものが解らないために、何が問題なのかわからない、言葉に出来ないということだったのかと思います。市に出来ることは、一人一人が頑張らなくても、当たり前前に良質な保育が受けられる環境を整えることだと思います。私は現在保育園の父母会会長をしています。公立園民営化に反対の立場です。今後公立保育園を減らすのではなく、子育て支援の足場としてこれまで以上にもっともっと有効利用していただきたいと思っています。そしてこれまで明確なビジョンを持たずに素晴らしい保育が出来ていたのは五園の連携と現場の力の賜物に他ならないと思いますが、その現場の力をないがしろにするのではなく、より地域全体の保育の質を上げるために、有効活用していただくことこそが、個々人に直接届く子育て支援につながると思います。
- ・小金井市に引っ越して4年になります。絶望的に子連れに不親切な街だと感じていましたが、去年おととしくらいから公民館の講座などに「保育つき」の文字が見られるようになり、心強く感じています。第2子が生まれ、折々利用させて頂いております。それでも、他市に比べ子どもを預ける先の少なさが残念です。預け先、リフレッシュでの必要もさることながら、親の病気など突発的な保育の必要に対応して下さる所を作って下さい。一時保育登録会、児童館の幼児グループは、1才児グループ、2才児グループ、3才児グループと年齢ごとに作れないでしょうか。以前住んでいた市ではそうでした。
- ・緑豊かで住みやすい街であるにも関わらず、行政サービスがよくないということで、子育て世代が住みにくいと感じることは残念です。23区、武蔵野市レベルのサービスを期待します。
- ・新しいマンションや戸建がたくさんできて、割合はともかく、子供の数が増えているハズなのに、子供が主役の活動取組が目に見える機会が少ないと思います。スポーツ少年団や中高の部活動、コンクール等の金銭的人的な補助、施設の充実、積極的な貸出、など。親は子供が楽しい、となれば、参加させたいし、消費したい、利用したい、広めたい、となると思います。新しいことを始めるのも良いですが、今すでにあるもの、活動されている方、取組みを支え、広め、育てるのもやっていただきたい。小金井には小さくても魅力的なものがあると思います。
- ・地域全体で子育てに関心を持ってもらいたい。
- ・今は、地域で育ててもらっているという意識は感じられない。ぜひ地域みんなで子供を育ててもらっているという地域になってほしいと感じる。
- ・子どもは毎日一生懸命、すごいスピードでいろんなことを吸収して成長しているので、「問い合わせてください」ではなく、「来てください」「体験しませんか、やりましょうよ」と外へ連れ出す具体的な行動をもっとやってください。せっかく広い公園があるので、もっといろんな体験教室を開いて活用して、子どもの身体を作る催しものを実現してほしい。
- ・落ち着きがない子、夜寝ない子など理想通りの子育てでないものばかりなので、虐待に対する定義みたいなものを明確にしてほしい。1度通報されたのが原因で、夜少しでも泣かれたりすると焦って逆にストレスが溜まり逆効果です。ふだん親バカなのは知られず、泣いた時や騒がしい時の印象が持たれているのは不快。ニュースでも見ますが、本当に虐待がなくても引きはなされてしまうこともあるので本当に怖い。虐待はよくないし本当に起きているなら絶対に子供を守ってほしいが、もっとその家庭や子を理解した上で対応してほしい。

Ⅱ. 就学児童の保護者

子育て環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

（ ）内は同様意見の数

◆生活支援について・・・54件

- ・医療費助成、児童手当、私学助成、就学支援などの助成について、所得制限を設けなくてほしい。(31)
- ・医療費助成、児童手当、私学助成、就学支援などの助成について、中学（高校）までを延長してほしい。(6)
- ・医療助成の所得制限は理解しておりますが、過剰に医療機関を受診している母親を多く見聞きます。何か対策を講じるべきだと思う。
- ・医療費などをみても23区や三鷹、武蔵野市などとは格差があり、子育てしていくに厳しいと思う。
- ・義務教育医療費補助制度について、通院の回数、金額所得額、子供の年齢、人数など段階的に変わる制度にしてほしい。
- ・助成について、所得だけではなく、子供の数なども考慮していただけるともっと子供を産み育てたいという気持ちになります。
- ・小金井市は他の市や区にくらべて子供への医療費控除が少ない。現在は多様な職業の人が住み、大半が働いている。それは日々の生活以外の必要不可欠な費用の為にしたら医療費控除額の幅を広げるのも一つの方法なのではないかと思う。
- ・今後公立中学校に入学する際、必要となってくる制服の費用などが心配です。制服のリサイクルまたは制服の廃止など、入学時に高額な費用が必要となるスタイルがなくなれば、どの家庭も不安を抱えず進学できると思う。
- ・子どもは持病があり毎月通院しています。その度に治療費がかかります。ぜひ中学校卒業までは病院の通院費を無料化してほしい。
- ・子どもを産めば産む程家計が厳しくなる現状を改善してほしい。
- ・23区のような医療費助成はしなくていいので、その分学校にお金をかけてくれたらと思う。
- ・中学高校大学と子供の年齢が高くなるほど、金銭的に不安な事が多くなります。乳幼児期の支援も大切ではありますが、10代の子供を持つ家庭にも支援が必要だと思う。中学の制服等の購入事に負担を減らすことや、無料の学習塾などがあると助かる。
- ・母子、父子福祉資金貸付事業について、申し込みをしたが、私学に通っているからという理由で断られた。それからあまり相談しようと思わなくなった。
- ・経済的事情あると思うが、予防接種（インフルエンザ等）の補助を充実させてほしい。
- ・就学援助金の所得基準が、毎年のように引き下げられてしまい、我が家はギリギリのところまで基準からもれてしまっています。子どもが5人もいるので、正直きつい。多子世帯にもう少し優しくしてほしい。

◆学校生活／教育について・・・34件

- ・学校のトイレが汚いのでキレイにしてほしい。新しくしてほしい。(7)
- ・三小学区ですが、ここ数年一学年の人数が多すぎる。適正な人数になるように工夫していただきたい。(7)
- ・家庭以外での子育て教育の場の中で、子どもの特性の理解やその対応が出来る職員を増やしてほしい。
- ・マンション等が建設され学校により人数が違い、教師や対応も違ってきていると感じます。教師や学校の人員に対して充実をお願いしたい。学区の見直しも希望します。
- ・学校で勉強が苦手な人や、ついていけない人に勉強を楽しく教えてほしい。
- ・小学校の学区の見直し。教員の質の向上。
- ・教育人材にもっと予算を投入すべきです。人育てには、人材が大切。人を育て、育てられる信頼関係が足りない。子供たちには、管理しやすい教育（従来の学校教育）からお互い多様性を認め合える環境を低学年から受け入れるべき。
- ・公立小学校の先生教員の確保、教員の待遇を向上させ先生達が負担を感じすぎない環境にしてほしい。
- ・今年の夏はとても暑かったと思いますが、小学校も中学校も水泳教室がなくなったり部活が中止になったりしました。ところが、夏休みに入ると、35度位でも中学校の部活はあるし、試合等が組んであると朝早くから19時位まで帰らず、親も心配して待つ状況でした。市として決め事を作ったほうが良いと思う。
- ・質の良い教育保健を平等に確保することが子どもの可能性と選択肢を広げるという意味で何よりも大切です。
- ・市立の小学校や中学校の役員の業務は負荷がかかるので市や、各家庭から資金を出し、役員に支払ってはどうか。手を挙げる方がいないのではないかと。
- ・子どもがしばらく学校に適應できず、大変でした。不安が強く、付きそいの大人が必要な状況があるなか、支援員の先生は1人なので、足りないと感じました。低学年（特に1年生）には、1クラス1人、支援員や、補助の先生が居る、くらいの体制だと安心できるので、そうしてほしい。
- ・小学校の教師に子供達が辛い目に合わされたことがあります。大人からのいじめ、ましてや担任となると、子供にも逃げ場はありませんし、親も声を上げづらいです。
- ・第一中学校の制服を変えてほしい。30年以上変わっていないのではないのでしょうか。
- ・色々な理由で小金井市の教師が少ないという話を聞いた事があります。子供に教える立場の仕事なだけに、もう少し細かいチェック等入れていただくと親としては安心できる。
- ・人の目が届かない子が一番つらい思いをしていると思います。他人で良いので、必ず、定期的に誰かの目に届く環境が必要です。
- ・前原小学校は、本当に素晴らしい学校です。子の未来へよく学べ（プログラミングやIT）、感謝しています。
- ・緑中は宿題や行事が多すぎて子供も親も忙しいのに、本来のやりたい事ができなくなりギスギスしてしまう。
- ・適切な支援があれば、学習できる子ども達を、「無理して勉強させる必要はないでしょ」の一言で片付けなくてほしい。
- ・幼稚園が14時までなのですが、小学校の身体検査や説明会が14時から始まるのでわざわざ早退させたりしなければいけなくて周りの母親たちみんな困っています。小学校の説明会などじゃ大事なことになるので時間をずらすなど幼稚園の終わる時間を考慮した時間設定でやってほしいです。
- ・緑小です。かばんが重すぎる。早急に対応すべきだと思う。
- ・子供は支援学級に在籍しておりますが、学区内の小学校には学級がないので学区外に越境して通っています。バスでの送迎もして頂いていますが、朝早く家を出なければいけないので本人に負担が…。学区内全ての学校に支援があればいいのにと感じます。又、情緒の学級を希望したかったのでなかったのが残念です。

- ・二小のさくら学級のスクールバスを6年間利用できるようにしてほしい。緑小にさくら学級のような受入れたいせいがないため、仕方なく二小に通っている。
- ・保育士、学校の教師など、教育に直接関わる方たちの待遇改善、就労環境の改善がなされることを希望します。
- ・学校の先生方は状況を伝えたとこ自身になり、サポートをしてくれましたが、市役所は何度も足を運び相談したが、あまり情報やアドバイスを頂けず残念だった。

◆遊ぶ場所について・・・28件

- ・ボールで遊べる公園をなくさないでほしい。作ってほしいです。(2)
- ・バスケットボールができる公園が少ない。小金井市の坂下に温水プールなどの施設がない。
- ・公園でボール遊びが出来ない事で特に男の子は遊びづらいのではと感じる。ボール禁止であるのなら、ボールで遊べる場所を設けてほしい。
- ・公園もボール遊び禁止の看板があり、子供達を家の中に静かにとじこめ、ゲームTVづけにするのは今の冷たい世の中だと感じます。笑い声をとりあげないでほしい。
- ・小学校高学年になると、校庭以外でボールをできる場所が極端に少ないと実感します。小平市に網（フェンス）で囲われた公園を3ヶ所も見ます。これも手なのかな、と思うことがあります。スポーツクラブに属さずともボール遊びができる公園を増やしてほしい。
- ・近くに大きな公園が今はあるが、市役所の建設が始まると無くなってしまおうので、代わりとなる場所がほしい。特にキャッチボールや自転車等の練習が十分にできるような場所で気軽にに行ける環境が望ましい。
- ・子どもたちが安心して遊べる公園や施設を維持してほしい。スポーツ施設など充実させてほしい。
- ・小学生が自主的に集まって体を動かして遊べる場所が数少なく、公園でもボール使用禁止などの規制があり本来の遊び方ではなく（ゲームなど）、子供達が自由に遊べる場所が減っています。
- ・息子が野球をやっているのですが、小金井市は野球ができるグラウンドが極端に少ないと思います。また、二小に関しては、芝生を大事にしすぎて雨が降った次の日は使ってはいけないなどの制限が多すぎると思う。
- ・二小の芝が芝保護のために遊べない。自由に遊べる場所がほしい。
- ・学校がたくさんあるので、使用していない施設など利用し、子供達の学びや遊び、スポーツなど定期利用できると思う。
- ・栗山公園の環境整備を進めて頂きたい。
- ・子供達が学校など親のいない所で何か問題があった時などに、連携をとって対応して頂けるとすごく心強いと思います。最近では子供が大きな声で遊ぶことのできる場所を見つけるのも大変なのでのびのびと生活できる環境があるととても助かります。
- ・小金井の魅力は野川など自然が豊かなことです。これからも野川や公園などの環境を保つような政策をお願いします。
- ・道路は作らず、今のままの野川を残してください。一度壊した自然を戻す事は本当に大変です。子供達はありのままの自然でたくましく遊びます。
- ・野川やはげの森などの自然を大切にしてほしい。
- ・緑も多く野川はじめ自然が大切にされています。子どもたちがその自然の中や外遊びできる雰囲気や環境が広がっていくといいなと願っています
- ・小金井は外で遊べる所が少ないです。特に学童が終った4年生はどこで遊んでいいのかわからない。学童が終った子たちが遊べたり学べたりできる場所があるといいと思う。
- ・屋内で親子あるいは子どもが長時間安心して過ごせる場所が、あまりありません。近隣自治体を参考にそうした施設を充実してほしい。
- ・小金井公園のわんぱく広場を人工芝か芝生にして頂きたい。
- ・最近子供たちが遊べる公園が減ってきたように思います。お年寄りから締め出しを受け、子供とお年寄り世代との対立のようなものを感じています。大きな公園までは遠く、小学校の校庭は狭くて、高学年と低学年との共存は難しく感じ、子供たちが思いっきり遊べる場所が少なくてかわいそうな気がします。
- ・公園などの緑が減少することのないような街づくりをしてほしいと思います。豊かな自然の中、のびのびと過ごせることは子どもにとって重要なことと思われれます。
- ・武蔵野市が行っている「あそべえ」のような環境を導入してほしい。一小的周りには、公園も少なく、校庭開放も週2日程度しかなく、安全に遊べる環境を提供してほしい。
- ・本町エリアには、子どもがのびのび話せるような場所がとても少ない。子どもがのびのび過ごせる居場所作りにとりくんでいただきたい。
- ・点在する小さな公園は整備がいきといていない場所が多く、ゴミ、吸い殻がちらかり、雑草が多く蚊がウヨウヨ、垣根は壊れうす暗く危険な場所ではもったいない。
- ・公園の清掃がなされてなく、木ものびばなし子供にきたない公園では、あそんでほしくないで公園に行く事も少なくなっています。
- ・長期休み（特に夏休み）が心配です。子どもたちが自由に集まったり楽しすぐせたりする、見守ってもらえる場所がほしい。

◆児童館について・・・25件

- ・児童館の催し物に参加しようとすると申し込み制で、定員数名の場合が多く、定員に入れず参加できない事が何度もありました。その日集まった子がみんな体験できたり、参加できたりする催しをやり方してほしい。
- ・児童館など安心して遊べる場所が一小区域に無いのでほしい。
- ・一小に通っています。一小学区内に公園あるいは児童館を作してほしいです。
- ・一小学区に児童館がなく、市役所建設予定地がなくなると子供達の遊び場がなくなる。健全に遊べる場を提供してほしい。
- ・一小学区には児童館がありません。その為放課後の遊び場が少なく、一小の校庭を保護者の当番で開放して遊ばせています。この当番は強制であり仕事を持つ人には負担となっている。放課後の居場所作りのために一小学区にも児童館を建ててもらえたらありがたいです。
- ・小金井市前原町4丁目に住居しておりますが児童館が遠く、小学校も徒歩40分です。帰り道は暗く、小金井病院、多磨霊園と、外遊びも心配です。
- ・前原小、南小エリアに児童館がないのが不満です。
- ・前原町に児童館がないので、夏休みや放課後に子どもたちが集まれるスペースがあるとよい。
- ・中町には児童館がなく、子どもが集まって安心して遊べる場が少い。
- ・南小の学区に住んでいますが、低学年の子どもが1人でいける範囲には児童館がありません。放課後の居場所を充実させてほしい。
- ・南小の近くに児童館がほしい。貫井南までは遠くて（火）に定期的に通えるが6時間授業で帰ってから行く間に合わない。
- ・児童館（幼児クラス）のおもちゃの充実をさせて下さい。花小金井南児童館は、乳幼児から高校生まで遊びにきており、とても充実しています。親

資料編（Ⅱ. 就学児童の保護者）

- 子で楽しめるイベントとも開催されており、人気があります。
- 児童館学校の図書館等、子供は設備や内容に不満を感じている。
- 役場や学校の対応はとても親切が良いが、児童館は不親切でした。子供たちに対する態度も正直あまり良くなかった。
- 梶野町にも児童館がほしい。
- 児童館やセンターで色々な企画をされてて、ありがたいと思っています。ただ、以前縁センターで料理室を使わせて頂いたとき、調理器具やスポンジ、石けんなどがボロボロで不衛生だと思いました。
- 児童館を利用したとき、スタッフの人に、「1人目も2人目も女の子で残念だったわね。」と言われ、心底びっくりしました。その人は男女のお母さんだったので、それがベストで、みんながそういう考えたのだと思います。時代錯誤もいいところで、怒りよりびっくりでした。スタッフに研修とかしていないのでしょうか。
- 住んでいる地域に児童館がないので子供が「約束してなくてもそこにいけば誰か友達がいる」という場所がない。
- 小学校によって児童館が併設されているところと遠く離れている所がある。放課後、子供たちが楽しく、安全に過ごせる場所として、また子供達の集合場所（待ち合わせ）としても有効だと思う。
- 武蔵野公園で偶然見付けた移動児童館わんぱく号に参加しました。こういう活動はありがたいと思いました。
- 貫井南児童館の庭に明かりが全くなく、夕方になると真暗になってしまい、大変危険です。
- 児童館など行きなれた場所で、2、3時間あすかっただけのようだと助かります。東小学校の下校から直接東児童館へ行くことが基本禁止されていますが、そのまま行ってもらえることで、親としてはとても助かる。

◆学童について・・・21件

- 学童が定員に対して、建物や面積、職員数が少ない。拡充を要望します。(2)
- 学童保育を6年生まで延長してほしい。(4)
- 上の子が4年生になったら働きたいです。4年生になったら、学童へ入れないのは、とても働きにくい。
- 小4からの夏季休暇中のすこしが大変苦労した。(子供2人とともに)。学童保育所は小6まであってよいのではないかな。
- 小4以降の子どもが安心して居られる場所を作ってほしい。学童とは別の見守りつきの居場所をぜひお願いします。仕事するにも、働きたくても時間にしばられ、フルで働くことができません。
- 学童が3年生までという事で、4年生以上の高学年の子供の居場所が無いように思え、出来れば、そういう子供達、高学年の子が安心して、遊べる室内の居場所を作ってほしい。
- 学童のあとの場がなかなかない。4年生から1人での時間を過ごす子も多いと思う4年生まで学童のOBの場があれば良いと思った。行っても行かなくても自由だけあつまる場。
- 3年生で学童保育所の預かりが終わり、4年生から急にひとりで留守番が不安。6年生まで定期的に利用できる場所がほしい。
- 学童保育の延長（20時、せめて19:30）、対象拡大（小4、小5まで）をお願いしたい。
- 学校の長期休暇期間中にふだん学童へ行っていない子供たちも行けるような取り組みをぜひ考えていただきたい。
- 学童に条件的（パート、アルバイト）には入れないが、子どもを預けて働きたい場合などに安心して預けられる先がほしい。
- 学童の全体のイベントの継続を希望します。運動会、ドッチボール大会と、大人数で、大変ですが、今までの歴史もあり、参加する子供たちのことを思うと、続けていければと思います。
- 学童保育は、現在就労している親でないと利用基準に満たないと思いますが、親が、祖父母の介護のため、就労はできないかつ、通いで介護のため、子供の帰宅時に在宅できない場合にも、利用できるようにしてほしい。
- 仕事をしたくても、学童保育の入所の条件が厳しい。母親が週4で～16時まで仕事はハードルが高い週2～3回で～15時くらいでない子供にも負担がかかる。でもそれだと学童に入れず、平日はなんとか頑張って長い休み春、夏、冬休みの子供の面倒をどうするか悩んでいる母親はとても多い。学童保育の条件をもう少しゆるくしてほしい。
- 今年度で学童保育所の利用が終わります。来年から、放課後はもとより、夏休みなどの長期の休みの際にどう過ごすか、悩んだ結果、仕事をやめることにしました。20年以上正規職員として勤めましたが、これからはパートで短時間短期の仕事がさがつもりです。学童保育所が、6年生まであればよいのにと思いつつも、これからは、もう少し、子供に寄りそえたら、とも考えています。
- 小金井市の学童、学校には大変感謝しています。他の市ではここまで丁寧な学童や学校が子供たちを見てくれないと聞きます。特に学童の先生方の熱心さにはとても感謝しています。うちの子は学童に育てていただいたようなものです。

◆保育について・・・15件

- 一時預かりしてくれる施設がとにかく欲しかった。働くママのための保育所だけでなく、専業主婦のためにも一時保育の施設を。
- 近所に外国籍のファミリーが引っ越してきましたが、保育園選びや申し込みで苦労されていました。言語の壁や文化の違い、様々な要因で社会的弱者となる人にとって、行政や地域がしっかりと目を向けてほしい。
- 公立保育園の民営化の議論については、実際の登園している子供のことを最優先で考えていただきたい。
- 公立保育園の民営化は財政的以外に何のメリットがあるのでしょうか？子供の育ち、心と身体の発達をもっと考えてほしい。
- 財政面からの子育て環境ではなく、子どもの外内の身体、心の発達をしっかりと考えて公立の民営化の話を考えてほしい。市内の私立保育園の保育の内容、親の意見をしっかりと聞いて、保育園を調査してほしい。
- 子供が幼稚園や保育園に入るまでの支援は、自治体が頼りだと思っています。我家のように外から来て、友人もいない土地での子育ては、同じくらいの子供を持つ「ママ友」の存在が不可欠で、その場を作るのは自治体であってほしいです。
- 市内の幼稚園情報を1つにまとめるべき。市のHPはとても利用しにくい。小平市を見習っては。
- 希望した人が全員保育園に入所できることが理想ではありますが、難しいのであれば多少高いお金を払ってもどこかの保育園（質の安定している）に入りたいため、認証保育園ももっと増やしてほしい。
- 待機児童が多すぎる。勤務時間が増やせないから、収入が増えない。一時保育の料金が安いのはかなり助かったが、結局幼稚園にした。幼稚園が私立しかないのも残念。
- 夫婦で共に働かないと生活が出来ない現状です。子供を授かって保育所入口で苦労しましたが、子供を育てるという事は保育園の事だけではなく成長と共に様々な問題が起きてきます。小学校中学校の教育、勉強方法、教材費の見直し等検討をして頂く事を強く希望します。
- 保育園と幼稚園の預り保育のさらなる拡充をお願いします。小金井市内の保育園に入れず、より預かり保育が充実している小平市の幼稚園に預っている子供がたくさんいます。

- ・保育園の数が少ない。園の質を下げて待機児童を減らすことは求めていない。保育士の数を確保し、アパートの一室のような園ではなく、園庭がある広々とした園を増やし、待機児童の解消を求めています。絶対に質は下げないでほしい。ただ数を増やすのはやめてほしい。
- ・保育園までは1人1人を大切に大人が見て、その子の育ちや気持ちをくんで保育士と保護者と共に育てている感覚があった。しかし、小中学校では、子どもを大人の望む扱いやすさに支配して、そこから外れている子は放っておかれてしまうのだと思う。
- ・保育園無償化が進んでいいと思いますが、中高といちばんお金がかかってくる世代をもっと援助してほしい。
- ・以前働いていたので、子供が小さい時に保育園に入っていました。市立と民間では設備（運動場の広さ）、人員、給食など差があり、市立の保育園を増やしてほしい。市立も、臨時職員を増やすのではなく、職員の待遇をしっかりと守って、質を保ってほしい。

◆図書館・自習室について・・・14件

- ・図書館を充実させてほしい。（2）
- ・図書館開館時間の拡大、床面積、図書数の増大をお願いします。
- ・図書館の本を充実してほしい。
- ・図書館や学校の図書室の児童向けの書籍が不足している。自習室等、勉強できる場所が少ない。
- ・図書館中高生向けの本が少ないです。
- ・梶野町に図書館を作ってほしい。武蔵野プレイスの勉強スペースは、土、日の朝開く前から並んで場所とりをしています。すぐに満員になっています。
- ・学びの場所の提供として充実した図書館を希望します。ゆっくり読めるスペースも少なく、蔵書も少ない。
- ・武蔵野市のような充実した支援を参考にしてください。子どもだけで長期間宿泊体験、充実した図書館、スポーツセンター、放課後利用できるあそべえ。
- ・南口の新しいビルの所にお店だけではなく市民が使える図書館等、入るとうれいです。子供もですが、中学～大学生も学校帰りに使えれば、助かります。
- ・図書館などの施設をより充実したり、武蔵野市の「あそべえ」システムなどを参考にしつつより文化的に遊び学ぶ場を増やしたりするとより良いと思う。
- ・図書館に学習できる場所を増やしてほしい。武蔵市にある、武蔵プレイスの用な、子供達が使える自由な場所ができると嬉しい。
- ・市内で図書館やプールをよく利用しているが古くて汚いので、充実させてほしい。

◆障がい児支援・発達障がい支援について・・・11件

- ・就学相談や、きらりなど、障がいのある子どもを持ってはじめて知ったサポートがありました。困っている親御さんに、広く届き、希望するものを全員が受けられるようになれば良いと思う。
- ・障がいがある子どもが日常的に地域で交流できるような仕組みを整えていただきたい。
- ・未就園時に障がいのある子の一時預かりは全く利用できません（一時預かりは健常児であっても利用困難ですが）「きらり」などでそのような（一時預かり）事業を展開してもらえると嬉しいです。また、就学しても、放課後教室などには参加しづらいです。放課後デイサービスに頼るしかないですが、小金井市には低学年は3つの事業所（きらり、ビーボ、おもちゃ箱）しかなく、選択肢が少なく預けたいと思うところに空きはなく、納得のいかない所でも預けるような状況です。もっと他の事業所も誘致してサービスの質を向上してもらいたい。
- ・高齢の親をかかえながら、子育てをしている方は、とても大変な思いをしていると思います。同居はしていませんが、80歳をこえてくると検査だ、入院だと認知症だと、病院には一緒に来て下さいと言われますが、行けないこともありますし、お兄ちゃんは、発達障がい、娘も「きらり」に相談に行っています。働いてない家庭でも、長くあずけられる様になってほしい。
- ・障がいがある子を受け入れてくれる保育園幼稚園が少なくとても悲しい思いをしました。障がいや病気のある子をまだまだ理解してもらえていない、その前に知られていないと感じた6年間でした。今後障がいがある子たちの居場所が増えてくれることを願っています。
- ・障がい児の就学先の幅を広げてほしい。
- ・障がい児（者）に対する学習、就労の場の支援。
- ・例えば国分寺市だと、放課後等デイサービスが必要な子に対し、市が通える所を示してくれるサービスがあると聞いた。小金井市は、まだまだ、相談にのってもらえる窓口が少ない、もう少し他市のサービスも参考にしながら、取組んでほしいと思う。
- ・障がい児がいる家庭に対して、個別にきめ細かい支援が必要。（障がいは幅広いため）
- ・特別支援学級を学内で実施して頂けるのは本当に有難いです。
- ・子供の病気の事で支援を申し出たことがありますが、障がい者手帳の対象外なコトや、支援を待っている人が多くいるため、うちの子の場合、不可となりました。それは、やむを得ないコトだと、承知しましたが、とても残念で悲しかったです。

◆安全について・・・10件

- ・安全が守られることが一番大切だと思う。すべての子どもが安全に育つ町であるようにと思っています。
- ・市立学校のセキュリティが心配です。三鷹や府中、調布、等々を見習い、シルバーさんを学校の見守りに活躍させてほしい。
- ・自転車に1人で乗っていいことを各学校によって小3や小4から（安全教室をうけてから）ということになっているが、学校が決めるのではなく各家庭で決めることだと思う。
- ・自転車の運転がとても危ない子供が多いので、高学年でも講習をしてもらいたい
- ・不審者に遭遇した経験もあり、迅速な対応であったり、防犯についても常に意識したりしていく必要があると思う。地域で力を合わせて、目を光らせて取り組んでいくべきだと思う。
- ・小金井市は道路の狭い所が多いと思います。学校の周りもです。子供たちが安全安心して登下校できる対策をしてほしい。
- ・第四小学校の西側にある、中央線高架下近くにある十字路に信号機がないことの危険性については問題視されていますでしょうか。第四小学校沿いの連雀通りにガードレールがないので危険ではないか。
- ・通学路の街灯が少なく、冬の帰り道に徒歩で帰らせるのが心配です。学童の先生にも負担がかかるため、設置箇所を増やして頂けると幸いです。また、防犯カメラも必要な時代になりつつあるとも考えます。維持費等、財政との兼ね合いがあると思いますが、未来を担う子供達のためにご配慮願います。
- ・子どものための安全（犯罪、不審者等）、環境、教育、保育等を、子供のためにと純粋に考えてほしい。
- ・通学路の整備：歩道が狭かったり自転車も歩道を走らざるを得ない状況だったり、通学時の安全が確保できていない。まずは、毎日事故なく安全に学校に通える環境を整えてほしい。

◆放課後子ども教室について・・・4件

- ・私立に通う子どもたちが放課後子ども教室を利用しやすくなる（参加しやすくなる）ような工夫があるとよい。
- ・放課後教室が充実していて、とてもありがたいです。子どもも毎回楽しみにしています。
- ・放課後子ども教室の学校による格差が無くなればよいと思う。
- ・放課後子ども教室の充実を望みます。教室の種類や回数を増やしてほしい。子どもが行きたいと思えるような内容にしてほしい。

◆施設・環境整備について・・・4件

- ・市の坂上と坂下での施設差が著しいと思います。特に前原町辺りにおいては、駅前まで行かないと様々なサービス（図書館、スポーツ施設）が受けられない。できれば、スポーツ施設など坂下にもあると助かります。
- ・市の東側に住んでいるため、健康センター、市役所なども遠く、利用しづらい。
- ・今いる住民に豊かに暮らせる環境を整備してほしい。「便利さや都会化すること」≠「豊かな子育て」です。沢山の自然や広い空間でののびのび子育てができるのが小金井のよさであり、今以上の住宅開発をせず、畑で泥や野菜に触れ、広い公園であそぶ事、数年前のようにのんびりすごせる事を望みます。
- ・子ども家庭支援センターが市の端の場所にあって、健診に行くのが大変でした。駅から近い場所や駐車場を備えた施設だと利用しやすい。

◆コミュニケーションについて・・・4件

- ・様々な世代の人が風通しよく交流できる場を充実させることが大切かと思う。子育てや高齢で孤立していらっしゃる方々と子供たちが立ち寄りやすい空間があるとよいと思う。
- ・子どもが小学校に入り、学校での様子などが今まで以上にわからなくなり、はじめは不安に思いました。環境が変わる年に、親側にも何か集まれる場があればいいと思う。
- ・交流の場に親が足を運んで、担当の方と意見交換するなどして、子供にとって一番の事をコミュニケーションとりながら見つけてあげる必要はあると思う。
- ・子育てのあり方として不変な物事や考え方と、適応して変わってきているものがあると思います。漠然としたその辺の変化を見える化して、地域や子育て世代が共有できると、それぞれの理解が深まり協力的で理解のある子育てやコミュニティができると思う。

◆PTAについて・・・2件

- ・PTAのムダをなくしてほしい。
- ・働く母親は、休む暇なく、常に多忙です。それなのに、学校での役員やその他様々な活動までも全て母親が任せています。そのような負担が少しでも軽減されるようにしてほしい。

◆その他

- ・困っているから相談しているのに無料相談など紹介してもらえなかった。イライラしていて全く検討違いの事をいわれた。
- ・一人親の家庭。本当に困っている方を助けて、その方達が親子で幸せに過ごせる環境を整えたいと思います。私達市民も行政に不満ばかり言うのではなく、色々な事を知り学習しなければと思う。
- ・たくさんの方の縁に囲まれて子育てできる環境を守ってほしい。
- ・外国籍で日本語に不自由な子供の転入のケースが増えているように思います。日本語に慣れるまでのサポート体制、（専任のサポートの先生がつくなど）して下さると、転入してきた子供も、安心してすごせるのではないのでしょうか。
- ・在宅ワークが出来たら、家にいながら、子育ても就労も出来ます。費用面での支援や、在宅ワークに力を入れている企業の情報公開、また近くの中企業に在宅ワークの仕事を増やすなどの働きかけをしてもらいたい。
- ・子育てに困惑した時、テレホンセンターみたいな24時間受付にしてほしい。
- ・私の子どもはプレーパークに大変お世話になっています。学校が辛い時、安心できる居場所になってくれました。これは子どもだけでなく、母の心の負担も軽くしてくれました。ほどよい距離を保ちつつ見守って下さるスタッフさん達にどれだけ感謝しても足りません。
- ・相談する施設や場所はいっぱい設けてありますが実際問題を抱えて相談しに行くときと真剣に向きあってちゃんと解決できる場所はありませんでした。ただ形だけではなく中身を充実した相談場所がほしい。
- ・品川区が実施している「品川ステューデント」経済活動教育のひとつ調べてみて下さい。
- ・学童・保育園にきちんと予算を配分して、「来年学童／保育園がどうなるかわからない」という不安なく、親も子ども安心してすごせるようにしてほしい。子どもに直接接する大人（学童指導員、保育園職員、学校の先生他）の育成を重視してほしい。
- ・自分が具合の悪いときや、何か用事のあるときは、子供をみてもらえる親族が近くに全くいない環境での子育ては本当に大変でした。子供が大きくなった今でも、フルタイムの仕事に就くことを躊躇うようになってしまった原因ともなっているように感じます。
- ・土日の夜間、平日夜間に対応できる医療機関がなく困る。日祝だけでなく医療機関が閉まった後に対応可能な病院を設置してほしい。
- ・他の市や区では、自宅に来てくれるファミサポさんがいると聞きます。小金井市にもいてくれたら助かります。
- ・介護と育児の両立のWの人は子育てが特に大変だと思うので、相談窓口があると良いと思う。
- ・子づれでも大丈夫なアレルギー対応料理教室など、アレルギーや難病もちで普通の遊び場に連れて行けないので、対応してくれる場所や広場がほしい。
- ・小金井市公民館本館を習い事の前に利用しているが、ゲームを持参している小学生がロビーでとても大きな声で騒いでいる。貼り紙には「静かに」と書いてあるが、職員の方に相談しても「いつものあの様な感じ」と言われるだけで、注意してくれず
- ・地域の子ども会活動に参加していますが、年々加入者が減少しそのうち無くなるのではと心配しています。たて割りで、子ども中心の活動、すばらしい活動をしてほしいと思います。新しい事業をおこすのではなく、すでにある子ども会放課後子ども教室等を活性化する方向に力を入れていただきたい。

Ⅲ．中学校・高校年代の保護者

子育て環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

（ ）内は同様意見の数

◆生活支援について・・・42件

- ・医療費助成、児童手当、私学助成、就学支援などの助成について、所得制限を設けなくてほしい。(24)
- ・医療費助成、児童手当、私学助成、就学支援などの助成について、対象年齢を延長してほしい。(10)
- ・3人以上お子さんのいる家庭への経済面の支援策をもっと充実させてほしい。
- ・子供手当の支給について、第1子が16才以上になると、第3子が第3子として扱われない事について不満がある。3人産んだ事に変わりはないわけだから、プラス5,000円のままの支給にしてほしい。
- ・塾代の補助を出してほしい。もしくは学校での塾のようなものをやしてほしい。
- ・中学生までは、児童手当や医療費などでとても助かりましたが高校に入ったら、私立という事もあり、学費や医療費などで経済的に大変です。これから、大学となると、ますます苦しくなるでしょう。不安です。
- ・子供たちにインフルエンザの予防接種を無料でやっていただけたらありがたい。
- ・私立も都立も負担が同じくらいになれば家計が豊かではない家庭も同じ教育がうけられるのではないかと思います。
- ・子供が大きくなるにつれ、スポーツや塾代がかかって家計がキツイ。高校生だってお金がかかるのに児童手当では終わってしまった。お金がないから塾に行かせられず、大学も行けるかわからない。
- ・塾（学習塾）に通うための補助金申請を簡単にしてほしい、塾自体に申請書類や案内を敷設してもらいたい。
- ・教育費はすべて小学校から大学まで無償にしてほしい。
- ・習い事も多種多様で金額も安くなく。今の生活をしていく事が精一杯で、先行きが不安である。
- ・塾もたしかに高く部活一つにしてもお金がかかり、卒業後は支援がゼロになります。相談は大切ですが、何が必要かはお金です。子供を一人前にする支援を接に願います。
- ・子どもの夢をかなえるためのサポート。(経済的、物理的両面から)
- ・3食食べられないお子さんに「食べもの券」のようなものを作ってあげて、市内のどこか提携するお店とかでおにぎりだけでももらえるような、そんな子供本位の施策とかを実施してほしい。
- ・もう少し子育てにお金のかからない社会にしてほしい。(2)
- ・私は共働き(フルタイム)です。家計に余裕があるわけでもないのに、支援が受けられないのは不公平に思う時もあります。大学進学にあたり、給付型の奨学金は申請できませんでした。共働き家庭が不公平感を感じない施策を期待します。

◆学校生活／教育について・・・31件

- ・中学生時代、まわりで不登校のお子さんが多いのが気になりました。一つには、子ども達に大人が思う理想的な中学生であることが強く求められる状況があるように思う。もうすこしゆとりが、自由が許されるといいのではないかと思います。(2)
- ・横並びではなく、子供1人1人が好きなことを伸ばせる教育をして頂きたいと思う。
- ・学校、校長、副校長やスクールカウンセラーに相談の際、もっと真摯に向き合って、きちんと対応してほしい。
- ・学校での”道徳”の授業は人間の多様性を拒否する行為と考えますので、廃止を検討頂きたい。
- ・学校教育現場において、子供の人権が守られていないと感じる時がある。小学校高学年から中学にかけては、サービスや事業よりも、学校教育そのものの改善に力を入れてほしいと思う。
- ・学校内に加配が必要なお子さんがいること、小学生も中学生もたくさんのお子さんが塾に通っていることが気になる。学校での指導に期待が薄いため、塾が必要な感じとなっている。
- ・基本的に不登校児への支援はありません。先生も余力がなく放置されている。まだいじめも明確な証拠がないと対応しきれないのか、放置される。とにかく親身になって聞いて、考えてくださる体制がとれる、人の配置がなにより必要と感じている。
- ・小学校中学校のカウンセリングの先生方は親身に对应してくれ、このような体制の維持を今後も希望いたします。
- ・小学中学では他機関に頼ることなく、きちんと基礎学力がつくような指導をお願いしたい。
- ・公立小中学校の教師の質を上げてほしい。受験について無知な先生が多い。
- ・公立中学校に通っていますが、学校で求められるのは、勉強、スポーツ、文化芸術部活動、すべて完璧にこなす事のように感じる。公立中でも市内越境を前提で、例えば文化芸術スポーツ等に専念できるような学級を作ったらどうか。
- ・姉妹の子育てをしていますが(大2、高2)姉は市立中学校で男子からいやからせをされて妹は私立中学へと入学させました。長女は頑張って不登校へはなりませんでしたが。担任の先生への働きかけで解決はしましたが、クラスによって、学年によって、市内の中学によってだいぶ指導が違うようです。
- ・子どもとせず、人は1人1人違った考えを持っているのが普通だということが共通認識として受けとられている社会になることを望む。子ども1人1人の個性によりそえる教育のためにはもっと少人数で1クラスを構成できるようになるといいと思う。
- ・数年前不登校時の中学校の対応は(特に校長)大変遺憾でした。ルールをはずれた生徒に対して、もう少し気持ちにより添った対応をしていただきたいと思います。当時進学至上主義を感じた。
- ・子供もそうですが、子供の意見、考えを尊重できない大人が多い様な気がする。不登校の子供達がまわりにもたくさんおります。その子達の心の声を聞ける世の中になって頂ければと思う。
- ・小金井市から落ちこぼれの子供をなくしたい。小学校では、勉強ができる子、できない子が一律同じ教室で学び、きめ細かい先生からの指導ができない。本来は、学力が同じレベルの子が集まり、教育を受けることが、子供たちにとって幸せなこと。
- ・小金井市は学力が高い市と言われていて、その事に一喜一憂しているだけではなく、未来を担う子ども達の社会性に必要な、学力だけではなく経験を与えるのが大切だと思う。
- ・小金井市は学力的に高いという話をききますが、学習能力の低い子たちに対する学校のサポートがないと思う。

資料編（Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者）

- ・第三小学校の児童トイレが「古くて汚ない」と現在通っている下の子が言っています。その辺りの環境整備にも目を配って頂ければと感じております。
- ・第二中学の雨もりがひどく心配しています。予算がなくて直せないという回答があったようですが、構造的にも衛生的にも心配です。なんとか対応方法考えてほしい。（2）
- ・中学校での学生ボランティアについて、思春期で先生方もとても大変な思いをしているので、学生ボランティアなど若い人をもっと入れてほしい。子供達も話しやすい大学生など教員になりたい方の勉強にもなると思うので切に願います。
- ・中学校のグラウンドに夜間照明をつけていただきたい。知っているだけでも他のいくつかの市ではナイター設備があり暗くなくてもしっかりと部活ができていますが、小金井市では冬の間まっ暗な校庭で部活をしています。東京の他市と同じように小金井市の中学生にも明るい校庭で部活をさせてあげたいです。
- ・中学校の吹奏楽の楽器が古く、故障していても予算がないと修理してもらえない。市の予算を教育現場（子供達）へ使ってほしい。
- ・都立高校も給食制度をとり入れてほしい。
- ・品川区立全小学校5年生を対象に現在実施されている教育があります。経済活動体験「スチューデントシティ」品川区の教育委員会と（公財）ジュニアアチーブメント日本の共催で企画、実施されています。良さそうな取り組みです。
- ・不登校児を抱えています。学習への意欲はあるものの、学校と同じ学習を続けて行く事は、一般家庭では無理があります。不登校児への学習支援（特別教室あるいは、金銭面）が、あればと思う。クラス編成や、クラス替えなど、もっと柔軟に出来ないものかとも思う。他の生徒への影響等もあるから容易には受けられない事もわかりますが、生徒と先生のコミュニケーションを大事にしてもらいたい。
- ・娘が高校生で、今は地域の施設やサービスを受ける機会がなくなったこと。娘のことで子育て困った時は、スクールカウンセラーや、他市にある学内機関の支援をさがしました。せめていつの年令になっても利用できる図書館の整備、充実をお願いしたい。
- ・緑中学校の体育館がせまいので、拡張してほしい。

◆図書館・自習室について・・・23件

- ・図書館の充実を図って頂きたい。開館時間延長。中高生の学習スペースの確保をしてほしい（8）
- ・武蔵野プレイスのように充実した図書館があれば子育て環境の改善、子育て支援になると思う。（6）
- ・学習できる環境を確保してほしい。（6）
- ・市内図書館の本の充実。
- ・とにかく学習する場所が少ない。できれば図書館本館の場合1F等の机で勉強できるようになるとありがたい。
- ・子供が以前、勉強しようと思って貴井北町にできた図書館に行ったら、ここで勉強するなど追い出された。
- ・学校の先生が、孤立するように感じることがあります。ソーシャルワーカーを増やしてほしい。

◆遊ぶ場所について・・・13件

- ・今どき公園ではボール遊びをしてはいけないとか、大きな声で遊べないような話が多い中、武蔵野公園では、児童館の夏のイベントで穴をほって池を作ったり、公園に1泊したり、本当にすばらしいと思っています。また、“ミステリートレイン”も子供達の楽しみの一つです。
- ・ボールを使えるぐらいの広さがある遊ぶ場がない。中学高校生が楽しめるような場がない。（2）
- ・家の近くでちょっと遊べる公園が他市と比べ少ないと思う。小さいお子さんのいわゆる公園デビューできるような場所があるとママ友が出来、子育ての相談もし合えるなど、親子共に楽しめる。
- ・公園をきれいにしてほしい。梶野町1丁目のカバが2匹いる公園、ベンチがこわれ、さくの木が折れている草刈もめったにしていない
- ・子どもが禁止事項にしばられずにのびのび遊べる場所が増えるとうい。
- ・公園はあっても遊具がない。
- ・子供が幼い時期に、室内での遊び場が小金井市には少なく、しかもせまかったのでとても不便でした。
- ・子供が安心して遊べる場所が限られてしまっている。
- ・自由で安全に遊べて、おしゃべりができる場所をふやしてほしい。
- ・キャッチボールする場所さえほとんどありません。ましてやバッティング練習する場所もありません。近くの多摩科学技術高校にはとても立派なグラウンドがあり、硬球を使った野球は禁止されているようですが中学生の力であればネットを越えることも考えられず、もっと利用について緩和してほしいです。サッカーやバスケットも同様なのではないでしょうか。
- ・こんなに児童公園（小さい公園）がなくて、子供達はどこで遊んでいるのか不思議に思っています。児童館でしょうか？（よく集まっているのを見ます）
- ・道路で遊ぶ小さな子供や遊ばせる親が増えていると思うので、道路で遊ばせないような教育を充実させてほしい。

◆施設・環境整備について・・・12件

- ・貴井北町センターのようなところが市内にもう少しふえてほしい。（子供たちが一人で行けるような距離に）
- ・貴井南町には通いたいと思うような公共施設が何もない
- ・子育て支援のいろいろな制度や施設を利用したことはありません、これからも利用する予定はありませんが、いざ困った時には助けを求めたいと思うので、ニーズがないからということにならないでほしい。
- ・小学校高学年から中学生にとってのサービスが少ないと感じます。家族や学校とも違い、安心して集まれる場所や、勉強できる場所がもっと多いと思う。
- ・市内の子育てに関する施設がとても古くて安全面でも安心とは言えない状態だと思う。
- ・小金井市のはすれに住んでいますので、図書館やプールなどはもっぱら府中市の施設を利用しています。近隣自治体と連携協力共有という視点で是非拡充してほしい。
- ・水はけのよいグラウンドやスタジアムがまったくなく、まともな指導者のいない少年団チームで小学校のグラウンドでサッカーするしかなく、他地域の子供達のようなクラブチームで高度なサッカーを学ぶチャンスがほとんどなかった。
- ・前原町1～2丁目付近は、子ども家庭支援センターが遠く、子どもが乳幼児の頃は特に移動が大変でした。せめて駅近くなど交通アクセスが良い場所にあったら良いと思っていました。
- ・前原町には児童館がありません。子供が幼い時、貴井南町の児童館まで行きましたが大変でした。保育園ではなく手元で育てている親には、家の近くに、いつでも安心して遊ばせられる、親もひと息つける施設があると助かります。

- ・誰でも気軽に立ち寄れる子育ての広場であったり、SNSで相談できるオープンな場があったりすることで、育児で一人にならず、ノイローゼにならずにいられたという経験があります。このような体験からサークルを作ったり子育て支援をされている方もたくさんいらっしゃると思うので、行政の方にはぜひこれらの方々活動の場を提供したりサポートして頂きたい。
- ・立川のまんがパークのような、子どもも大人もそして市外の方も楽しめる施設を作ってほしい。

◆障がい児支援・発達障がい支援について・・・8件

- ・障がいのある子供についていろんなところで相談しましたが、皆さん知識はたくさんあるのですが、本に書いてあるようなことを繰り返すばかりでがっかりした。目の前の子供を見て一緒にいろんなことを考えてくれる大人がいるといいなと思う。
- ・検診で、障がいの疑いが指摘され、幼児から療育を始める事ができ、たまたま順調に成長でき環境に恵まれたと思います。ただ子育てには色々な状況がある事だと思うので、柔軟に対応できる環境を今後も目指していただきたい。
- ・子供には知的障がいがあり特別支援学校に通っていますが、始業式や終業式等で早く下校するとき、移動支援を使いたいが、小金井市は学校や習いごとの送迎に使えないためとても不便です。安心して親が働きつけられるよう、早急に、移動支援を送迎にも使えるように改善していただきたい。また、現在利用している放課後等デイサービスは、一日定員10人のところ、毎日12～13人を受け入れていて、一人当たりのスペースが狭くなっています。短期入所できるところがなかなか見つからず、土曜出勤のとき困っています。事業所の誘致を市として早急に真剣にすすめていただきたい。
- ・下の子は軽度の発達障がいがありますが混合教育をかかける学校に入学し、子育てに関しての相談は学校と療育センターとで充分満足しております。
- ・障がい児を育てていますが、23区や近隣他市と比較して放課後等デイサービス、短期入所、移動支援、日中一時支援どれも利用しにくい状況です。支給量をだしていただいても事業所の受け入れが足りず結局使い切ることが出来ないでいます。他市のせめて半分でも利用できるようになってほしい。
- ・他県や他区で耳にする障がいのある子供の支援級、通級に担当するものが市内にあるのか、あるならばどの程度ニーズに見合っているのかが、情報としてみえてこない。利用するしないに関わらずそのような話題が普通に耳に入ってくるような環境があたり前にあればよいと思う。
- ・発達障がいなど、子どもの特性に合わせた適切な指導ができる人材を、学校現場へ広く配置してもらえたら助かります。
- ・発達障がいの子供を小金井で育ててきました。幼稚園から混合教育を行っている私学に通いましたので地域とのつながりは一斉ありませんでした。親交会からも入学の際に子供会などのお知らせもなく寂しい思いをしました。小5の時に「きらり」が出来て1年半通うことができました。子供はそこで始めて近所の友達ができました。きらりでは良いアドバイスを頂き大変お世話になりました。障がいのある子供も地域とつながりが持てるような何かがあると良いのですが。

◆コミュニケーションについて・・・7件

- ・色々な人との交流があったからこそ、たくさんの知恵を親子ともいただくことができたと思うので、コミュニケーションの大切さをとても感じます。これからの環境作り支援も、声をききながら、たくさんのコミュニケーションのとれるものと考えていただけたらと思います。
- ・小中と私立だったので地域の活動にほとんど参加できていない。公立私立にかかわらず平等な対応をしてほしい。市からアドバイザー等を派遣して子供中心の楽しめる場であってほしい。
- ・子どもが産まれてから話すのは近所の商店街のおじさんおばさんでした。ちょっとした会話がとても嬉しかったのを思い出しました。近くの児童館にも行きましたが通う事はなく孤立しつつある私を救ってくれたのは、近所でやっている野球チームに息子が入団した事です。地域とのかかわりもなかった主人も野球を通じて知人が増え、外に出やすい環境になりました。家族から一歩踏み出して、外に出て、色々な方々とのかかわりを持つ事の必要性、大切さを改めて感じました。
- ・公共施設や街中で、中高生に対するご年配（男性）がたからの注意が厳しすぎる。弱い女子小中高生に対しては特にきつい言葉で意味のわからない注意が多い。幅広い世代での交流があれば、理解が深まるのかなと思う。
- ・中学生以上の子どもが参加できる地域の催しが、小学生以下に比べて少ないし、中学生にもなると地域以外の社会、学校や習い事の友達との付き合いの方が多くなるので、ますます地域との関わりが持てないような気がします。
- ・小学校の時は、習い事、中学では部活に所属していると、なかなか、地域のボランティア活動や交流ができません。いろいろと楽しい、良い経験ができるイベントや活動があるのに残念。
- ・親世代の人達、高齢者の方々が、押し付けではなく、地域の中で子供達と接することが出来る環境が作られると、子供達に接して家庭に問題を抱えている子供達に、大切にされているということを実感させてあげられるのではないかな。

◆保育園について・・・6件

- ・10年前より保育園が増えて働く母親も増えている印象です。私のようにパートでフルタイム勤務の人も正社員の同じ点数で保育園に入りやすくてほしかった。
- ・今まで一番大変だったのは、保育園に入れるかどうかわからなかったこと。入園できないと職場に復帰することができず、とても心配した。
- ・子どもが小さい頃は、保育園の園庭開放日に遊ばせてもらったり、児童館での2、3才児の集まりみたいなのに参加したりして、ママ友もできたことを思い出しました。大変その頃はそれに関わる方々にお世話になったことを感謝します。これから子育てをするお母さん達が子育てしやすい環境を整えていけると良いと思う。
- ・保育環境や乳幼児の父母の集える場（絵本、遊具）の整備、スポーツ、音楽、ゲーム、等若者が主役になれる大会などの運営等を市が積極的に行う。
- ・保育環境のハード面、ソフト面（保育の質）の整備改善をしてほしい。
- ・保育園に通えない子は、同年代と交流する機会が少なく、市で遊び場用意してもらえるとありがたいと思います。今、18才なので忘れていますが、数時間単位で預り保育してもらえるとよかったです。他の子が病気のとき、自分が病気の時、ハローワークに行くとき、とても困った。

◆情報について・・・4件

- ・ひきこもりの子を持つ親に対しての情報提供、支援内容が分かりづらい。
- ・支援の制度は大変ありがたいです。市報のお知らせで知っておりますが、該当する人に直接案内があれば、もっと制度を利用しやすくなると思う。
- ・親子のつどいや集会などは、市報などで知らせるだけでなく、一世帯ずつ全地域の情報や集まり方などの詳細が書かれた物を送付するなどしてほしい。支援などをインターネットで調べても情報が得られず、あきらめることが多い。
- ・小金井市の子どもに対する権利条例も子どものための催しも、知りませんでした。市役所等での説明もなかったのです。

◆安全について・・・4件

- ・もっと防犯カメラを増やすことを考えてほしい。警察のパトロールが少なすぎる。
- ・保育園のすぐ近くに住んでいますが駐車場子どもを野放しにしている親が多く、急に道路にとびだしてきてヒヤッとしたことが何度かあります。また、チャイルドシート未着用の保護者がよくみられ、保育園側では何か指導しないのかと思います。大事な子どもの命を守るため、親に対しても教育をしていくことが必要なのではないかと思う。

資料編（Ⅲ. 中学校・高校年代の保護者）

- ・ 子供を自転車に乗せている人や今後乗せることがある人にも、講習を受ける様な機会を作ってほしい。

◆学童について・・・3件

- ・ 学童民営化で子供への対応が悪くならないようにしてほしい。
- ・ 両親とも土日祝日が勤務の職場だったため、土日祝日の子供の預け場所に大変苦労しました。市立の保育は、学童1ヶ所でもよいので、日曜に開園、保育してくれていたらと思っていました。
- ・ 親が働いていなくても利用できる学童があると良い。

◆病児病後児保育について・・・3件

- ・ 国分寺市では病児病後児保育が10年前から取り組みがされているが、小金井市は遅れている現状。市での充実をはかってほしい。
- ・ 一時保育の充実やショートステイ、病児保育のさらなる充実など働きやすい環境を次世代のために作ってほしい。
- ・ 病児保育の拡充と土日祝日保育の充実。

◆PTAについて・・・2件

- ・ PTAにいろいろ負担をかけるのはやめてほしい。共働き世帯が増え、PTAも活動を軽減中です。
- ・ PTA制度の見直しを早急をお願いします。

◆その他

- ・ 子供への虐待を防ぐことに強力に取り組んでもらいたい。
- ・ 半年程前あいさつ程度のご近所のお母さんが、1才半の女の子が熱を出していたのですが、保育園では見てもらえず我が家に来られ預かることになり、無事何事もなかった。その子が私の事を「せんせい」と呼ぶようになり、今ではご近所つきあいが始まりました。人を信じる事の出来る子育て支援をお願いしたいです。
- ・ 小金井市は23区に比べると劣りますが、全国区から見ると充実している方だと思います。緑豊かな小金井市は、環境もよく良い意味で東京にいても東京を感じさせない場所です。（子育てには良い環境）お金の支援も良いですが「環境」をつくる支援もとても大事だと思います。
- ・ たとえ家庭環境に恵まれていないとしても、すべての子ども（特に小中学生）が自己実現できるような後押しをしてほしい。（例えば、表彰などを増やしたり、家庭環境に恵まれない子供への物的支援をしたり、体験など）「すべての子どもの自己実現を応援する小金井市」
- ・ 引越してきたばかりの頃は右も左も分からず、親せきや親もいなくて、自分の体調が良くない時は助けを求めていましたが、どこにも頼るところがなく無理すぎて何度も救急車で運ばれたこともあります。夫も仕事で帰らないことも多く、自分でなんとかするしかありませんでした。気軽にサポートがつけられるところがあったらと思いました。
- ・ 我が家は祖父母が両方とも地方だったために子供が幼い頃の育児は大変な時もありました。だけど本当に大変な時期はわずかですし、上手に支援を利用して乗りこえられたら、子育てはとても楽しいものです。今まさに、その真っ只中にいる人は本当に大変だと思います。先々の見通しがたてるような支援があると良いかもしれません。
- ・ 近隣市と比べて支援が少なく思います。相談所の人も自分の経験を話すのみ子どもの個性など全く考えられない人で失望しました。本当に子どもの立場になって考えられる人、行動できる人に対応してほしい。貧困、虐待に苦しんでいる子を救ってあげられるようになってほしい。
- ・ 子育ての場面で親子ともにその不幸や問題を気づかれぬまま放置されないよう第三者の介在できるシチュエーションを増やせる事業をしてあげるべき。
- ・ 子供が、子供としての権利を守られ、のびのび生き生き、成長できるようになることはとても大切なことですが、つまり立ち止まってしまった子供が、もう一度スムーズに社会に参画できるようになることも大切だと思う。
- ・ 単に保育所を増やすとか、保育士を育成するというハード面だけではなく、回りの人から子供を育てる事を歓迎されているような環境作り、つまりソフト面をいかに充実させていくかが大切なのではないかと思う。
- ・ 自宅前の私道が子どものあそび場になり夜遅くまで騒がしい。受験もひかえているため、配慮してほしいが近所つきあいも考えると言いづらい。お互い様なので我慢するしかない
- ・ 出産後の保健師さんの家庭訪問とエンジェル教室に大変助けられました。第一子を出産した後の母親を孤立させない支援を続けてほしいと思います。
- ・ 出産前後に地域の子育てによる支援を案内していただけてと充実していくのではないのでしょうか。
- ・ 弟が二小のさくら学級に通っています。緑町に住んでいます。スクールバスは小3までしか利用できないので徒歩で二小まで行く必要があります。スクールバスをもう1台ふやして下さい。緑小にさくら学級のような受け入れができていないのであればスクールバスを6年間利用させて下さい。
- ・ 小金井は自然に恵まれ、周囲の方々も意識が高く、子育てにも積極的な方が多いと感じます。しかし、市政が子育てに熱心だとか力を入れているなど感じた事はありません。共働きで親の支援が得られない人は小金井では子育てはできません。
- ・ 小さな頃にもっと他人の手を借りたり相談できる人に出会えたりしたらもっとよかったと思うこともあります。楽しむ心の切りかえや余裕など、うまくできないタイプなので自分からとびこんでいくのは難しいと感じます。孤立しがち、それでもどこかにつながりたい。そんなときSSWの心暖かい方に出会うことができれば理解してもらえました。もっとSSWの人に寄り添える人材を育てて下さい。
- ・ 小金井市は児童館や図書館も充実しているし子供会活動、社会福祉協議会の協力もあってミステリートレインといったとても貴重な体験もできる環境を作られていて素晴らしいと思います
- ・ 小金井市は大小、公園が多にあり、子育て環境は比較的良好な方だと思います。児童館等のイベントもあり、子育てしやすい地域です。ただ、最近の保護者の方たちのマナーが気になることがしばしばあります。できることなら、保護者のしつけやマナー、常識的なことも子育て支援と共に助言してほしい。
- ・ 性別にとらわれず子育てに関われること、子育てに対する職場の理解がすべてだと思います
- ・ 待機児童を解消することは子どもの幸せになるのかをよく考えたい（親がしっかり育児に向き合う時は大事）それと同時に、母親が孤立した育児に陥ることのないような地域のサポート、住民の意識は大切だと思う。子どもが活気のある地域は未来が明るい！小金井は老若男女、生き生きと生活できる場であってほしい。
- ・ 埋もれてしまっている問題（特に虐待問題）の洗い出しと施策は強く進めてほしい。近隣住民や保護者間での相互扶助でやりくりできている部分はあるが、市（行政）からのバックアップがあるとより住みやすい街になると思う。子どもの権利に関する条例があるので、それを具現化していくことが、子どもたちの自信と自立への促しにつながると思います。子どもがあきらめない街を作ってほしい。
- ・ 夫共々地方出身の為子育てを実家に頼れず辛い思いをしながら子育てをしてきた思いがある。しかし、その分子どもと正面から向き合えたような気もする。充分すぎる支援が本当に必要かどうか疑問も最近感じます。
- ・ 娘は産後うつ病にかかり子育てを放棄してしまいました。代わりに祖父母で子育てをして参りましたが、色々な手続きは娘本人が行わなければならない、受けられる支援も受けられないこともあったと思います。うつ病やパニック障がいがかかっていると市役所に出向くことも難しいので、代理人でも手続きできるようになるとよいと思います。

Ⅳ．中学校・高校年代の青少年

子どもの環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

（ ）内は同様意見の数

◆学校生活／教育について・・・19件

- ・小金井市の小学校、特に私が卒業した学校はすごく国際交流に力を入れています。ボランティアの方々が中心となってやっています。6年間行ってきたおかげで中学校でのネイティブの先生による授業もきちんと理解できていると実感しています。この素晴らしい事業を一度見学していただきたい。
- ・「インターネットの危険性について」の動画のジェネレーションギャップが大きく、理解ができなかった。時代に合ったモノを教育に活用してほしい。
- ・若い世代に子育てやその実体験を語り、若い世代に響くような講座をより多く設けるべきだと思う。
- ・いじめをなくすのではなく、いじめに合った時に支えてくれる友人の作り方を教えるのに力を入れて頂きたい。スクールカウンセラーを常勤にしてほしい。
- ・学校に行けない子同士で話したり、以前不登校だった人の話をきく機会が少しあったりすれば良いと思う。小中学校では例えば相談室を保健室とつなげて保健室の奥に相談室をつくるなど、相談室に入りやすくする工夫も必要だと思う。
- ・学生が自分の考えを示し、他の学生と論議出来るアゴラのような場がほしい。
- ・小学校の授業で、進みの遅い子に合わせるのはとても大切だと思いますが、進みの速い子が暇をもてあましてしまうこともあります。そういった子にももう少し気を使ってほしいと思います。
- ・性別や恋愛相手（LGBTQ）などについての意見（偏見）は幼いうちの教育により成り立つものだと思います。小さい頃から偏見や差別意識を失くす教育を行ってほしいです。少なくとも私は（H24に小学校を卒業しました）幼い頃はLGBTQについて教えられずに男らしく、女らしく、という考えの教育を受けてきました。性の多様化に即した教育をお願い致します。
- ・成績悪い子に「あなたでできないんだから」と先生から言われている子がいた。分かったようなことを言わないでほしい。
- ・学校の先生で男女差別やひいきがあるのでやめてほしい。
- ・ALTの先生をもっと派遣してほしい。
- ・生徒への指導を中心とせず、先生への指導も強化したり、教育をしっかりとしたりして、学校が文字通り「学び舎」となるような楽しい教育活動が出来る場となってほしい。
- ・猛暑日に屋外で部活をするのを止めてほしい。誰も止めないから今年も何人も具合の悪い人が出てしまった。
- ・学校の授業の体育の時、決められた半袖とジャージしか着ていけないのはおかしいと思う。
- ・中学校、小学校をきれいにしてほしい。(3)
- ・給食をおいしくしてほしい。
- ・学校のトイレを改善してほしい。

◆図書館・自習室について・・・17件

- ・自習室を増やしてほしい。自習室を使える時間を延ばしてほしい。(13)
- ・学芸大の学生が小中学生のために行っている「てらこや」のような場がもっと増えれば良いと思う。高校生が落ち着いて勉強できる場があれば良いと思う。
- ・小金井宮地楽器ホールや図書館の勉強できるスペースを広げ、落ちついて安心できるような場所にしてほしい。
- ・武蔵野プレイスぐらい大きな図書館を作ってほしい。
- ・お金ない人のために、無料の塾があったほうが良いと思う。

◆遊ぶ場所について・・・8件

- ・中高生が集まって遊べる場所や勉強を自由にできるスペースがほしい。(3)
- ・小金井市は体を動かせる場所がほぼ無いため、子ども達が気軽に体を動かせる場所をもっと増やしてほしい。
- ・公園で「野球ボールの使用禁止」というところが見られるが、そのような場所をなくしてほしい。
- ・子どもが休日楽しくすごせるようなところを第1に考えてほしい。
- ・公園（特に坂下）の遊具や、広い公園、遊べるところが減ってきているので、近所に住んでいる小学生くらいの子たちが満足に遊べていないような気がします。
- ・私は小さいころから野川であそんでいて、子供にとっては必要不可欠な場所です。自然は子供にとって大事だと思うし、野川の自然がなくなったら小金井の魅力がなくなってしまうと思います。野川だけは守ってください。

◆施設・環境整備について・・・6件

- ・施設や公園等、もう少し充実させてほしい。
- ・もう少し、歩道を全体的に大きくしてほしい。
- ・町に緑や自然を増してほしい。人通りがすくないところには、電灯をつけてほしい。
- ・東小金井～武蔵小金井駅間の中央通りの雑草をキレイにしてほしい。町（通りに）に街灯が足りない。
- ・小金井市は良い施設が多くあるので、もっと全ての人が使いやすいような環境ができればよいと思っています。
- ・今の中学生には土日などの休日、行く場所ない図書館に行ったりサイクリングをしたりして時間を過ごしているが、中学生高校生が自由に過ごせるような施設（スペース）がもっとあるとよいと思う。武蔵野市には、武蔵境にプレイスという図書館があるが、この地下2Fのような空間は、中学生高校生にとって貴重な勉強スペースであり、憩の場であり、友達と自由に過ごせる場所だ。

◆生活支援について・・・5件

- ・子供の医療費助成において保護者の所得制限無しにしてほしい。(2)
- ・18歳を過ぎても母子家庭などに対する支援をしてほしい。
- ・もっと子供がいる家庭を支援してほしい。両親の負担を減らすために子供の教育面のお金を負担してほしい。
- ・子育て支援の上で子どもだけではなく、お母さん達やお父さん達への支援をもっと充実させることでより良くなると思います。

◆交流について・・・4件

- ・もっと地域の子どもと高校生などが関わる機会が増えれば嬉しいです。
- ・引っ越してきたばかりで、近所の友達がほしい。お祭りとかもう少しやりたい。
- ・学童運動会のように「中学校対抗運動会」みたいな、他校との交流を深める行事があると良い。
- ・市立の学校だけでなく、市外の学校の人にも聞けるようにしたいです。

◆情報提供について・・・3件

- ・学生が利用できる施設、健康診断、ちょっと病気になった時の病院案内（内科、外科など）などをまとめたパンフなどを頂きたい。
- ・市に、どういう施設があるかどういう取り組みをしているのか、掲示板などを使ってもっと周知した方が良いと思う。
- ・学校生活や子育てで悩んだときに電話で相談できることこれを見て初めて知りました。電話で相談できる人が、今時どのくらいいるのかはわかりませんが、もう少し広めてもいいのではないかと思います。

◆安全について・・・3件

- ・東小金井駅北口には交番があるのに、南口にはないのが少し困る。駅付近で交通ルールを守らない人が多い。大人が自転車で飛ばしてくる。危ないので交通ルールを守ってほしい。
- ・信号とか、ルールを守らない大人が多い。
- ・「家族とは仲が良いものだ」や「子どもとはこういうものだ」という固定概念を取り払って、子どもが何かあった時に逃げこめる場所を増やしてほしい。

◆その他

- ・小金井市は治安がよく、犯罪も少ないから住みやすく良い町だと思います。(4)
- ・4歳で小金井に引越してきて、ここで育ててよかったです。ゴミのこととか、市庁舎とか、いろいろ不満に思うこともあったけど、公園がたくさんあって、大好きなサッカーをできる場所がたくさんあって、緑もたくさんあって、私が通った前原小も緑中も最高に素敵な学校で、小金井市には本当に感謝しています。
- ・小金井市の施設や子ども会（地域）活動について考えてみたらとても充実していることが分かりました。前に朝、ランニングをしていたら前市長さんがゴミ拾い活動をしていてとても感心しました。
- ・運動音痴の人や手先が不器用な人への差別をできるだけなくしてほしい。
- ・子どもがいじめられてから、問題が起きてから対応するのではなく、いじめが起きないように、問題が起きないようにしてほしい。
- ・私はスーパーマーケットのレジで働いています。つい先日、子どもに支払いの経験をさせようとしている親子がレジに来ました。5千円を超える難しい支払いだったのですが、まだ4才頃の女の子は上手にお金を払ってくれました。ですが、次のレジにならんでいたご夫人が、時間がかかっていることにイライラしていました。そういう態度を女の子のお母さんに見せつけるような程に表していました。お母さんはあやまっていたのに、無視をしていました。スーパーで支払いを実際に練習することはめいわくなのでしょうか。子どもたちはどこで学んだことを実践して上達すれば良いのでしょうか。地域で子どもを育てていくことができていない。一人一人の意識が低いと思います。
- ・小金井でタバコを売らないでほしいです。
- ・中学生の時もこのアンケートを書いたが、小さな変化も感じられなかったので、このアンケートをしっかりと生かしてほしい。



小金井市子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

平成 31 年3月

発 行 小金井市 子ども家庭部子育て支援課

〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号

TEL : 042-387-9836 (直通) FAX : 042-386-2609